

平成 28 年度
横浜市民スポーツ意識調査
報告書

はじめに

平成28年8月に開催されたリオオリンピックでは、史上最多の41個のメダル獲得という日本選手団の素晴らしい活躍もあり、多くの国民が感動を共有し、「人々のつながりを深める」という、スポーツのもつ力を再確認することができました。また、9月に開催されたリオパラリンピックでは、人間のもつ無限の可能性とともに「スポーツの価値はすべての人に共通する」ということを改めて実感することができました。

一方で横浜市は、トップスポーツ選手のプレーを気軽に間近で観ることができ、スポーツのもつ力を享受しやすい、恵まれた環境にあり、今年度も様々なプロスポーツチームが目覚しい活躍を繰り広げ、市内のスポーツを盛り上げてくれています。

9月には、新たにプロバスケットボールリーグ「Bリーグ」が開幕し、「横浜ビー・コルセアーズ」が現在も奮闘しており、プロ野球でも昨シーズンは、「横浜DeNAベイスターズ」が初めてのクライマックスシリーズに進出するとともに、194万人もの観客が横浜スタジアムに集まりました。

また、プロサッカーリーグでは、「横浜F・マリノス」や「横浜FC」等のチームが、Jリーグの理念に基づき、地域のチームとして市や区に根付いた活動を継続的に行っています。

そしてこの春には、プロのランニングクラブとして、DeNAランニングクラブが「横浜DeNAランニングクラブ」となり、横浜で新たな一歩を踏み出す予定となりました。

これらのプロスポーツチームの「観る」スポーツに「する、支える」スポーツを有機的に結びつけて、スポーツによる健康づくり、地域コミュニティの形成、経済活性化などを進めていく必要があると考えております。

さて、本調査では、今年度は医療費や健康寿命に関する質問を新たに追加しました。医療費の削減や健康寿命の延伸にあたり、この分野でもスポーツに求められる効用は今後ますます高まっています。実施率・実施頻度との関係性については、今後も引き続き調査を継続していきたいと思っております。

この調査結果を、横浜市や市内の各競技種目別団体などの関係団体の方々にもご覧いただき、市民の皆様の声が今後の事業等に反映されるよう協力を要請していくとともに、当協会が運営する施設や事業にも反映させ、横浜市民のよりよいスポーツ環境の創造への貢献を進めて参ります。

結びになりますが、本調査にご協力いただきました多くの市民の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成29年3月

公益財団法人横浜市体育協会
会長 山口 宏

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

第 1 章 調査概要	4
1-1 目的.....	4
1-2 調査対象者.....	4
1-3 抽出方法.....	4
1-4 調査方法.....	4
1-5 調査実施機関.....	4
1-6 調査期間.....	4
1-7 調査票回収状況.....	4
1-8 集計方法.....	5
1-9 集計上の留意点.....	5
1-10 本報告書の見方.....	5
1-11 標本誤差.....	5
1-12 回答者の属性.....	6
第 2 章 調査結果	10
2-1 前回調査の概要.....	10
2-2 運動・スポーツについてどのように感じているか.....	11
2-3 現在の運動・スポーツ実施状況への満足度.....	13
2-4 今現在、運動不足だと感じているか.....	15
2-5 過去 1 年間に行った運動・スポーツ.....	17
2-6 過去 1 年間の運動・スポーツの実施率.....	18
2-7 過去 1 年間の運動・スポーツの実施頻度.....	20
2-8 運動・スポーツを行った理由.....	22
2-9 運動・スポーツを行った場所.....	24
2-10 運動・スポーツを行わなかった（年に 1～3 日しか行わなかった）理由.....	26
2-11 運動・スポーツに費やしても良いと感じる金額（月額）.....	28
2-12 今後行ってみたい運動・スポーツ.....	29
2-13 今後行ってみたい運動・スポーツと過去 1 年間に行った運動・スポーツ.....	30
2-14 過去 1 年間に会場で観戦したトップアスリートの大会やプロスポーツ.....	31
2-15 過去 1 年間に会場で観戦したトップアスリートの大会やプロスポーツの回数.....	33
2-16 今後、会場で観戦したいトップアスリートの大会やプロスポーツ.....	34
2-17 過去 1 年間に行った運動・スポーツに関するボランティア活動.....	35
2-18 興味があるスポーツボランティア.....	36
2-19 今後、スポーツボランティア活動に参加したいか.....	37
2-20 どのようなきっかけがあればボランティア活動に参加（継続）するか.....	38
2-21 子どもの頃に身体を動かして遊ぶことが好きだったか.....	40
2-22 子どもの頃に行っていた運動・スポーツ.....	41

2-23	お子さんが学校の授業やカリキュラム以外で運動・スポーツを行っているか	43
2-24	お子さんが定期的に行っている運動・スポーツ	44
2-25	子どもの頃に行っていた運動・スポーツとお子さんが行っている運動・スポーツ	45
2-26	横浜市内や区内のスポーツに関する情報の入手先	46
2-27	どのようなスポーツ情報が欲しいか	48
2-28	知っている施設	50
2-29	利用したことがある施設	51
2-30	知っている事業	52
2-31	参加・利用したことがある事業	53
2-32	公共スポーツ施設に望むこと	54
2-33	横浜市内のスポーツが盛んになるために必要なこと	56
2-34	運動・スポーツを行うにあたって必要な指導者	57
2-35	リオオリンピック・パラリンピックに対する行動	58
2-36	リオオリンピック・パラリンピック観戦（イベント参加）後の行動変化	58
2-37	オリンピック・パラリンピック東京大会について	59
2-38	2019年ラグビーワールドカップについて	60
2-39	今現在、健康だと感じているか	61
2-40	直近1年間の医療費について	63
2-41	健康寿命を延ばすために取り組みたいこと	65

第3章 実施者・非実施者に関する比較..... 67

3-1	過去1年間の運動・スポーツ実施率（性別と年代による比較）【再掲】	67
3-2	運動・スポーツについてどのように感じているか	68
3-3	現在の運動・スポーツの実施状況への満足度	68
3-4	今現在、運動不足だと感じているか	69
3-5	運動・スポーツを行わなかった（年に1～3日しか行わなかった）理由	69
3-6	今後行ってみたい運動・スポーツ	70
3-7	過去1年間に会場で観戦したトップアスリートの大会やプロスポーツ	70
3-8	過去1年間に行った運動・スポーツに関するボランティア活動	71
3-9	子どもの頃に身体を動かして遊ぶことが好きだったか	71
3-10	お子さんが学校の授業やカリキュラム以外で運動・スポーツを行っているか	72
3-11	お子さんが定期的に行っている運動・スポーツ	72
3-12	今現在、健康だと感じているか	73
3-13	直近1年間の医療費について	73
3-14	健康寿命を延ばすために取り組みたいこと	76

第4章 まとめ..... 77

4-1	運動・スポーツの感じ方	77
4-2	運動・スポーツ実施状況への満足度	77
4-3	運動不足に対する意識	77

4-4 運動・スポーツの実施率と実施頻度	78
4-5 運動・スポーツの会場での観戦率	78
4-6 運動・スポーツのボランティア活動への参加率	79
4-7 子どもの頃の状況	79
4-8 回答者が子どもの頃と回答者のお子さんが行っているスポーツ	79
4-9 健康への関心	80
4-10 健康寿命を延ばすためには	80
4-11 おわりに	80
資料	81
1 調査項目	81
2 単純集計	90
3 自由記述欄の回答内容	115

第1章 調査概要

1-1 目的

本調査は、横浜市スポーツ推進計画やスポーツ基本計画、スポーツ立国戦略の中で掲げられている、スポーツ・運動の実施率について、横浜市における現状を把握するため、また、市民の皆様のスポーツに対する様々なニーズや行動・意識を調査し、スポーツ教室や大会・イベント・地域スポーツ活動等の各種事業の現状と課題について考察するため、実施したものである。

1-2 調査対象者

横浜市に居住する満20歳以上の調査機関の登録者（モニタ）男女個人1,600人

1-3 抽出方法

住民基本台帳登録者数（平成28年3月末現在）における性別・年齢・居住区の構成比率を基に、有意抽出方法（割当て法）により抽出した。

居住区	住基台帳登録者数	人口構成比	サンプル想定数	実サンプル数	年齢層	性別	住基台帳登録者数	人口構成比	サンプル想定数	合計サンプル数
鶴見	237,907	7.7%	123.6	123	20歳代	男性	202,917	6.6%	105.4	105
神奈川	197,850	6.4%	102.8	103		女性	191,934	6.2%	99.7	100
西	83,905	2.7%	43.6	44	30歳代	男性	254,244	8.3%	132.1	132
中	128,832	4.2%	66.9	67		女性	241,640	7.8%	125.5	126
南	170,010	5.5%	88.3	88	40歳代	男性	324,765	10.5%	168.7	169
港南	180,117	5.8%	93.6	94		女性	308,544	10.0%	160.3	160
保土ヶ谷	171,367	5.6%	89.0	89	50歳代	男性	245,914	8.0%	127.8	128
旭	206,741	6.7%	107.4	107		女性	228,216	7.4%	118.6	119
磯子	140,595	4.6%	73.0	73	60歳代	男性	233,356	7.6%	121.2	121
金沢	167,623	5.4%	87.1	87		女性	236,699	7.7%	123.0	123
港北	281,971	9.2%	146.5	146	70歳以上	男性	261,951	8.5%	136.1	136
緑	145,645	4.7%	75.7	76		女性	349,288	11.3%	181.5	181
青葉	247,434	8.0%	128.6	129	男女計	男性	1,523,147	49.5%	791.4	791
都筑	162,932	5.3%	84.7	85		女性	1,556,321	50.5%	808.6	809
戸塚	224,988	7.3%	116.9	117	総合計		3,079,468	100.0%	1600.0	1,600
栄	101,658	3.3%	52.8	53						
泉	127,404	4.1%	66.2	66						
瀬谷	102,489	3.3%	53.3	53						
合計	3,079,468	100.0%	1600.0	1600						

※住民基本台帳登録者数は28年3月末現在

1-4 調査方法

インターネットによるアンケート調査

1-5 調査実施機関

株式会社クロス・マーケティング

1-6 調査期間

配信日：平成28年10月12日

回収締切日：平成28年10月18日

1-7 調査票回収状況

有効回答数：1,600件

1-8 集計方法

調査結果について、単純集計やクロス集計等、統計的な処理を行い、実施状況を年代や性別などで分析し、顕著な傾向が見られるものを掲載している。

1-9 集計上の留意点

横浜市全体の人口構成比に基づいてサンプル数を割付しているが、回収したサンプル数を見ると60代女性と70代女性が異なっている。そのため、横浜市全体の縮図となるよう、「ウェイトバック集計」という集計方法を利用し、市内人口の年齢構成比に合わせて集計している。(以下表参照) なお、居住区は割付とおりに回収しているため、ウェイトバックは行っていない。

※ウェイトバック集計・・・アンケートなどで回収されたデータを母集団の実際の構成比に合わせて、データに重みづけをして集計する集計方法。ウェイト値は各年代の人口構成比と調査設計1,600サンプルの割当て件数で算出。

【ウェイト値】

年齢層	性別	住基台帳登録者数	人口構成比	サンプル想定数	割付サンプル数【A】	回収数【B】	ウェイト値【C=A/B】	ウェイトバック後サンプル数【B*C】
20歳代	男性	202,917	6.6%	105.4	105	105	1.0000	105
	女性	191,934	6.2%	99.7	100	100	1.0000	100
30歳代	男性	254,244	8.3%	132.1	132	132	1.0000	132
	女性	241,640	7.8%	125.5	126	126	1.0000	126
40歳代	男性	324,765	10.5%	168.7	169	169	1.0000	169
	女性	308,544	10.0%	160.3	160	160	1.0000	160
50歳代	男性	245,914	8.0%	127.8	128	128	1.0000	128
	女性	228,216	7.4%	118.6	119	119	1.0000	119
60歳代	男性	233,356	7.6%	121.2	121	121	1.0000	121
	女性	236,699	7.7%	123.0	123	137	0.8978	123
70歳以上	男性	261,951	8.5%	136.1	136	136	1.0000	136
	女性	349,288	11.3%	181.5	181	167	1.0838	181
男女計	男性	1,523,147	49.5%	791.4	791	791	1.0000	791
	女性	1,556,321	50.5%	808.6	809	809	1.0000	809
総合計		3,079,468	100.0%	1600.0	1,600	1,600		1,600

1-10 本報告書の見方

- (1)各グラフ、図に示してある「n」は回答者数を示している。
- (2)複数回答の場合、回答が2つ以上あるため、合計比率は100%を超える場合がある。
- (3)回答比率は、全て「n」を基準とした百分率で表し、小数点第2位を四捨五入した。
このため、合計比率は100%に満たない、あるいは上回る場合がある。
また、個々の比率を合計した場合と、個々の回答件数を基に四捨五入せず算出した比率が一致しない場合がある。
- (4)「n」数が少ない場合 (n≤30) のデータは参考値である。
- (5)統計学的検定は、Z検定を用い、有意水準5%で有意差ありとした (p<0.05)。

1-11 標本誤差

無作為抽出を行っていないため、標本誤差は算出できない。

1-12 回答者の属性

(1) 性別

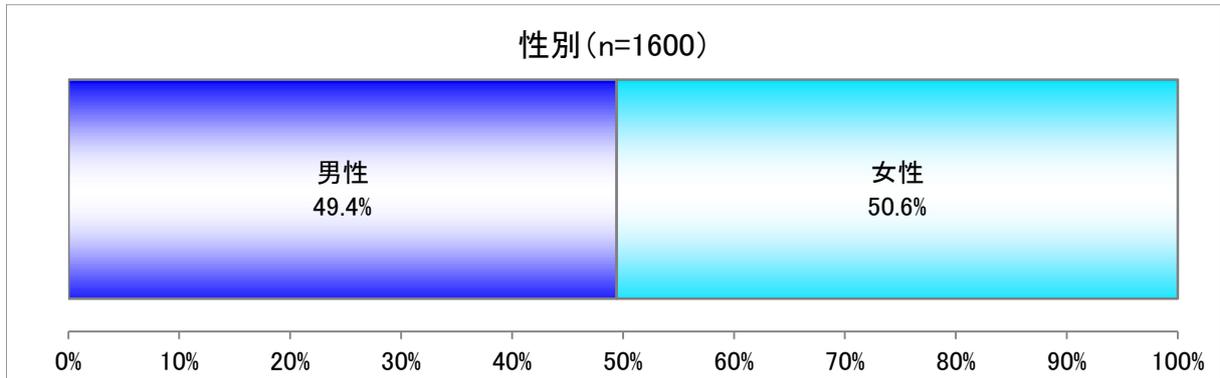


図 1

性別は、「男性」(49.4%)、「女性」(50.6%)となっている。

(2) 年齢層

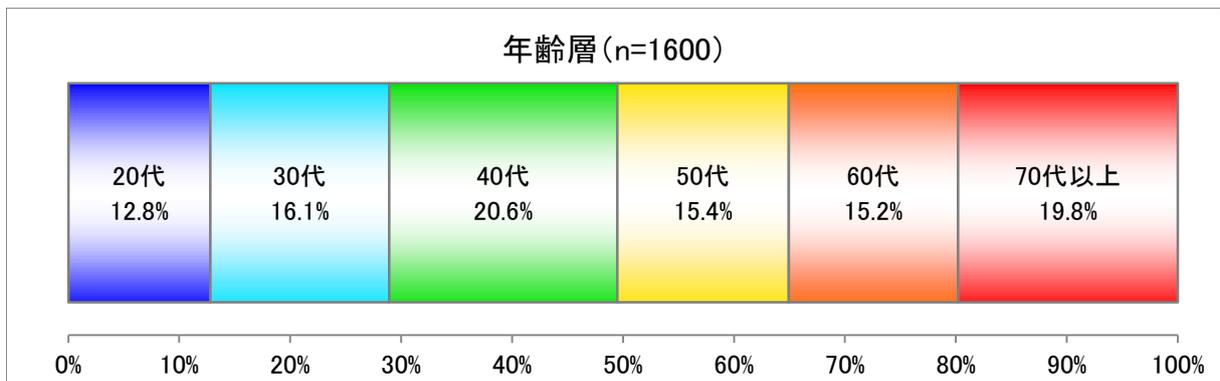


図 2

年代は、「40歳代」(20.6%)が一番高く、「70代以上」(19.8%)、「30歳代」(16.1%)と続く。

(3) 職業

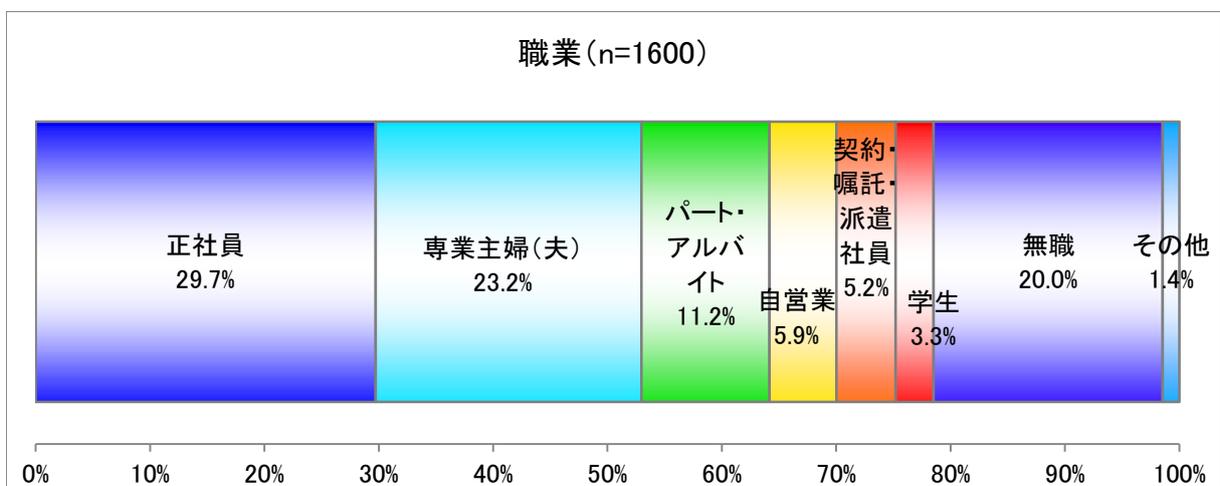


図 3

職業は、「正社員」(29.7%)が一番高く、「専業主婦(夫)」(23.2%)、「無職」(20.0%)と続く。

(4) 居住区

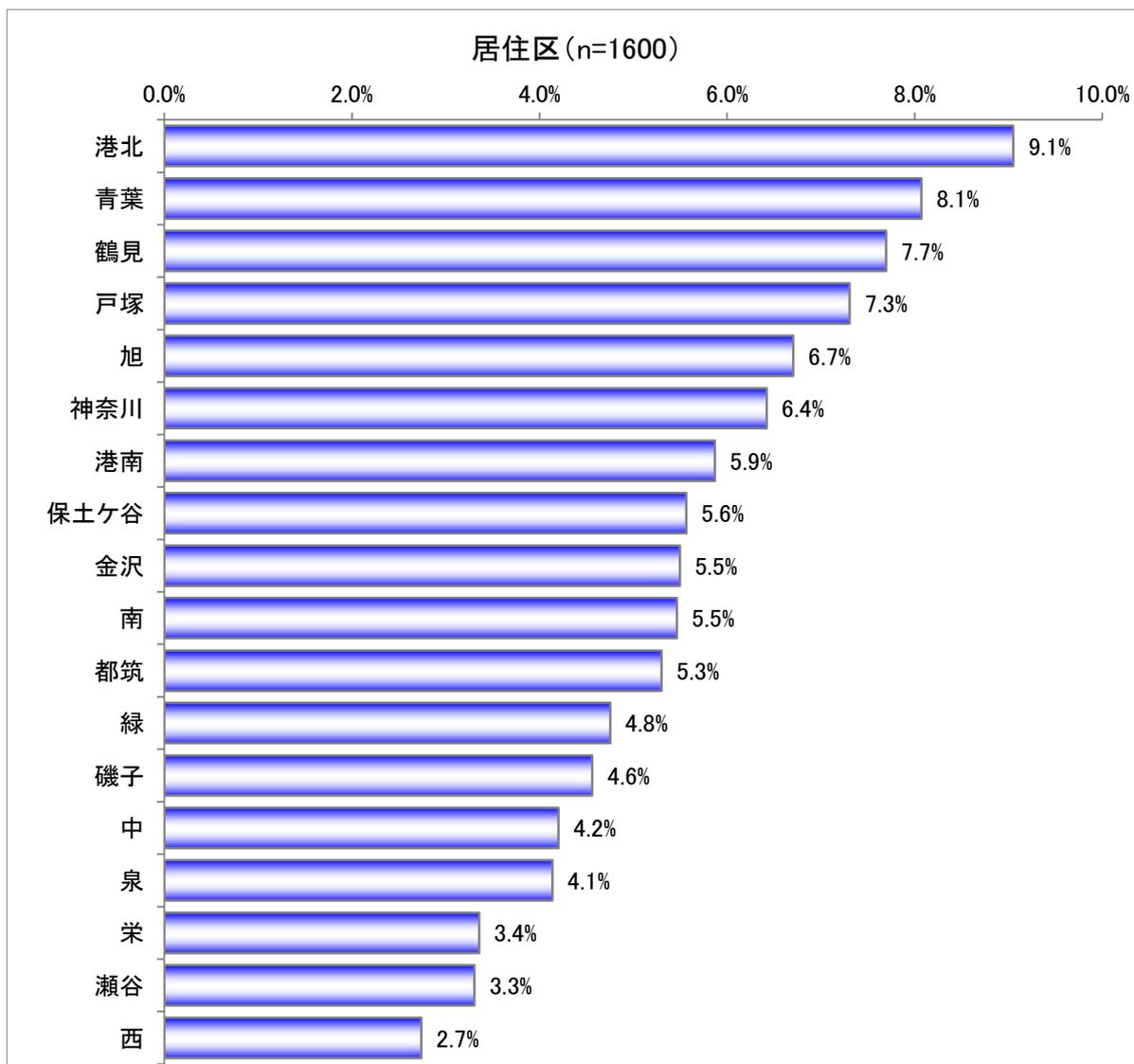


図 4

居住区は、「港北区」(9.1%)が一番高く、「青葉区」(8.1%)、「鶴見区」(7.7%)、「戸塚区」(7.3%)、「旭区」(6.7%)と続く。

(5) 既婚者・未婚者

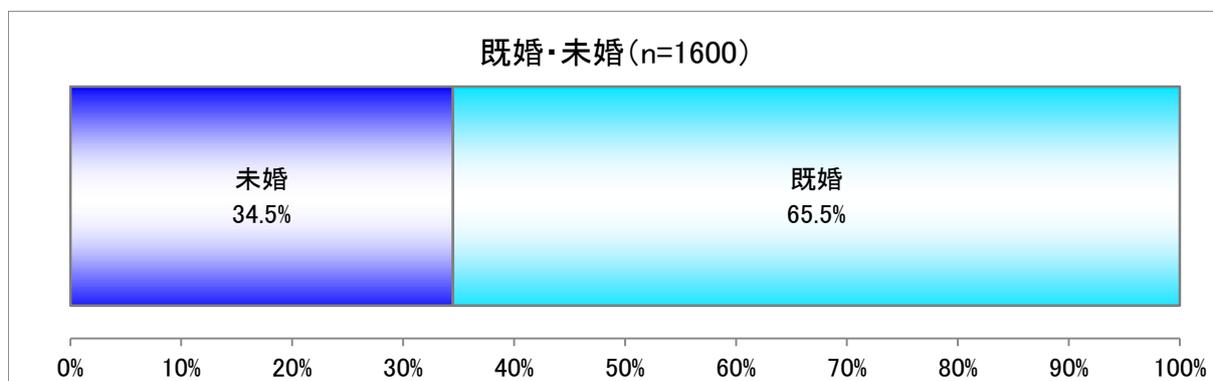


図 5

「未婚」(34.5%)、「既婚」(65.5%)となっている。

(6) 子どもの有無

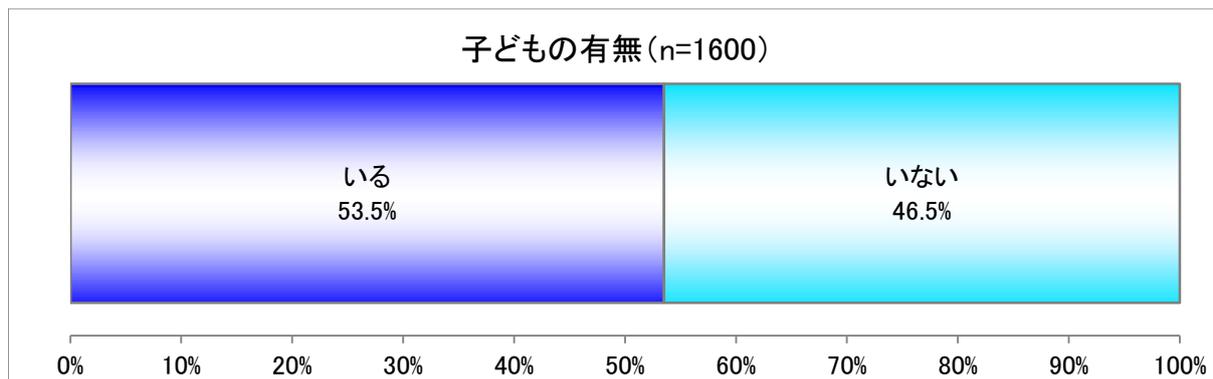


図 6

子どもが「いる」(53.5%)、「いない」(46.5%)となっている。

(7) 子どもの年齢層

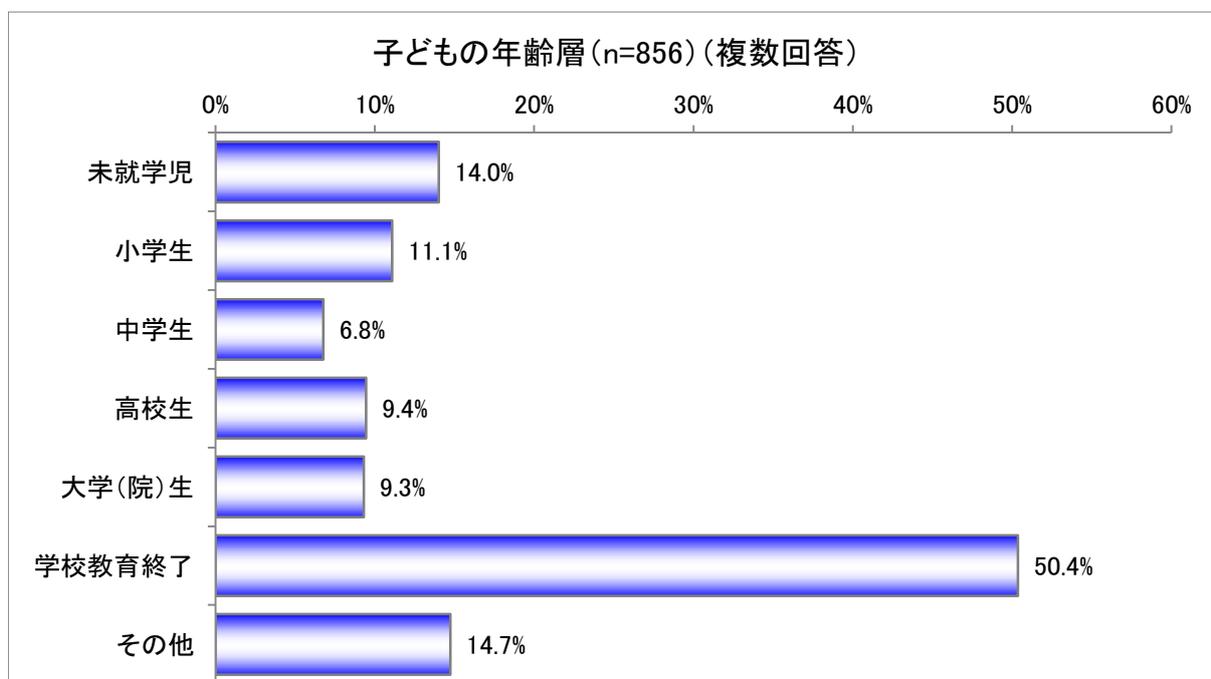


図 7

子どもの年齢層は、「学校教育終了」(50.4%)が一番高く、「未就学児」(14.0%)、「その他」(14.7%)、「小学生」(11.1%)と続く。

(8) 地域コミュニティー活動への参加状況

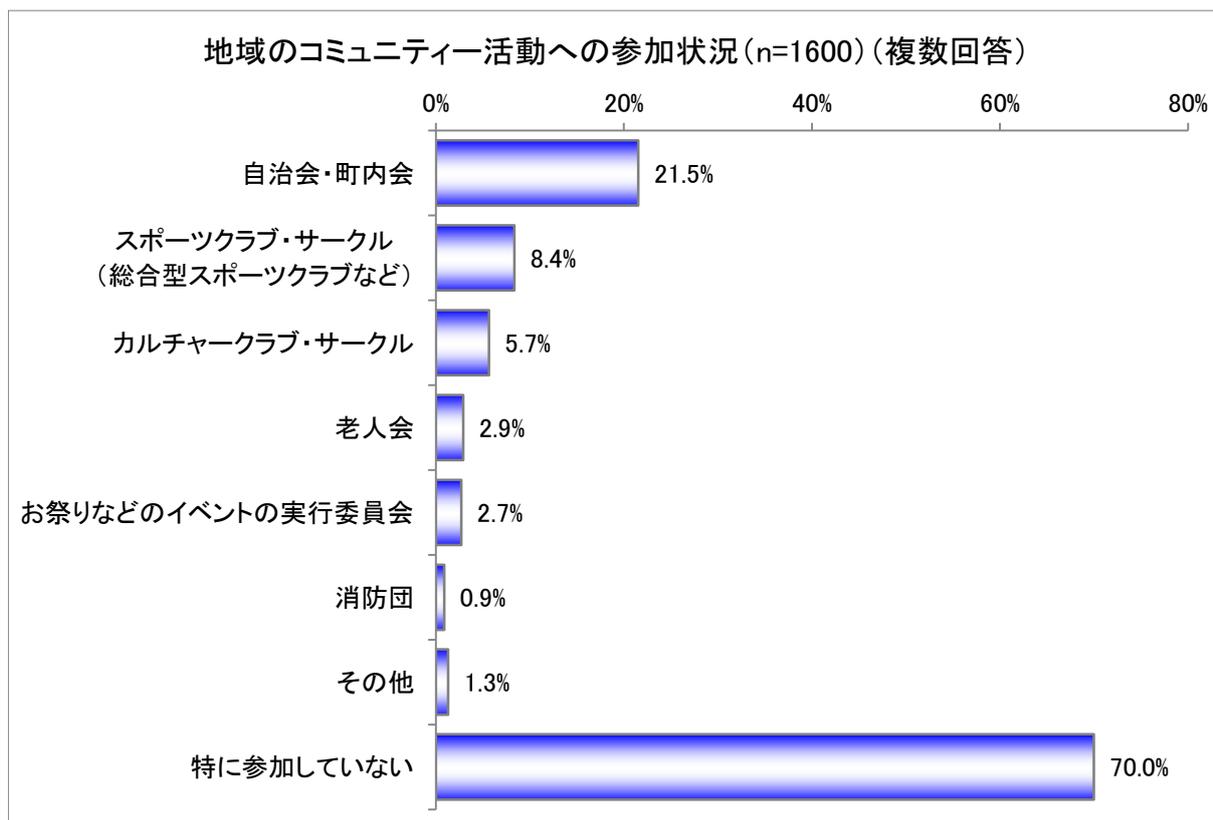


図 8

地域のコミュニティー活動には、「特に参加していない」(70.0%)が一番高く、「自治体・町内会」(21.5%)、「スポーツクラブ・サークル(総合型地域スポーツクラブなど)」(8.4%)、「カルチャークラブ・サークル」(5.7%)と続く。

第2章 調査結果

第2章では、今回の調査結果と前回の調査（平成27年度）結果を比較したものを記載している。ただし、今回の調査で新たに追加した設問については、今回の結果のみを記載している。

また、一部の設問項目については、性別による比較、年代による比較や他の設問との結果比較などを行っている。

2-1 前回調査の概要

(1) 対象者

横浜市に居住する満20歳以上の調査機関の登録者（モニタ）男女個人1,600人

(2) 抽出方法

住民基本台帳登録者数（平成27年3月末現在）における性別、年齢、居住区の構成比率を基に、有意抽出方法（割当て法）により抽出した。

(3) 調査方法

インターネットによるアンケート調査

(4) 調査実施機関

株式会社クロス・マーケティング

(5) 調査期間

配信日：平成27年10月16日 回収締切日：平成27年10月19日

(6) 調査票回収状況

有効回答数：1,600件

(7) 集計方法

調査結果について、単純集計やクロス集計等、統計的な処理を行い、実施状況を性別や年代など多角的に分析し、顕著な傾向が見られるものを掲載した。

2-2 運動・スポーツについてどのように感じているか

(1) 単純集計結果（前年度比）

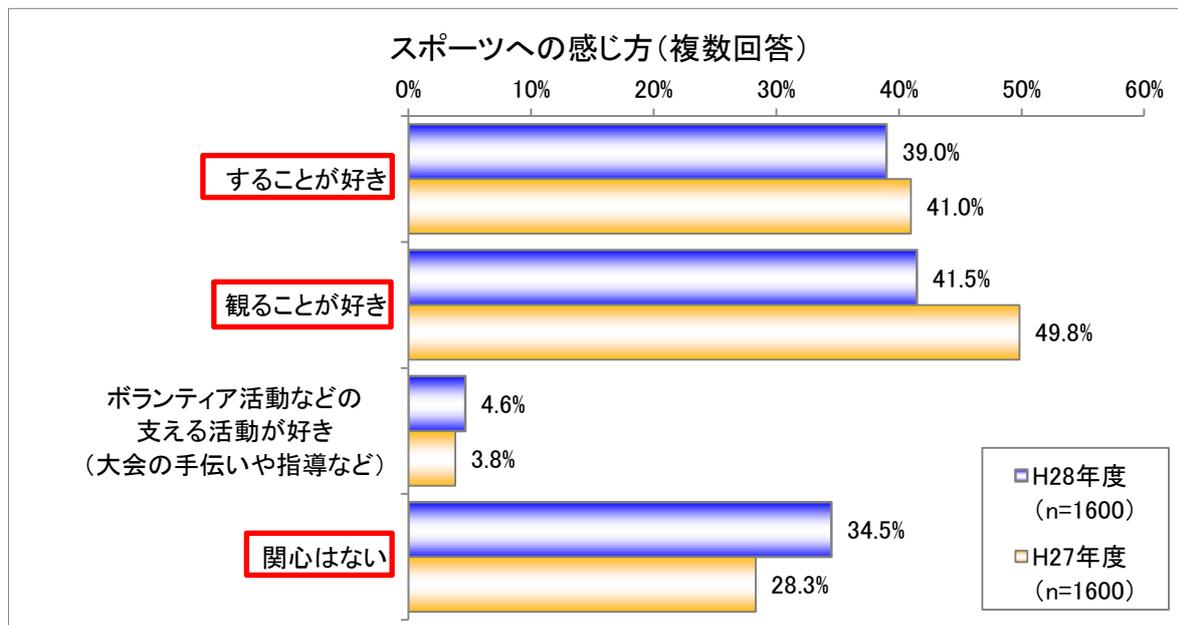


図 9

運動・スポーツに対する感じ方は、「することが好き」（39.0%）、「観ることが好き」（41.5%）となっており、「すること」よりも「観ること」が好きな割合が若干高い。また、「興味はない」が34.5%を占めている。

27年度と比較しても、感じ方の割合・傾向共にあまり変わりはないが、「観ることが好き」が8.3ポイント減少し、「興味はない」が6.2ポイント増加した。

(2) 性別による比較

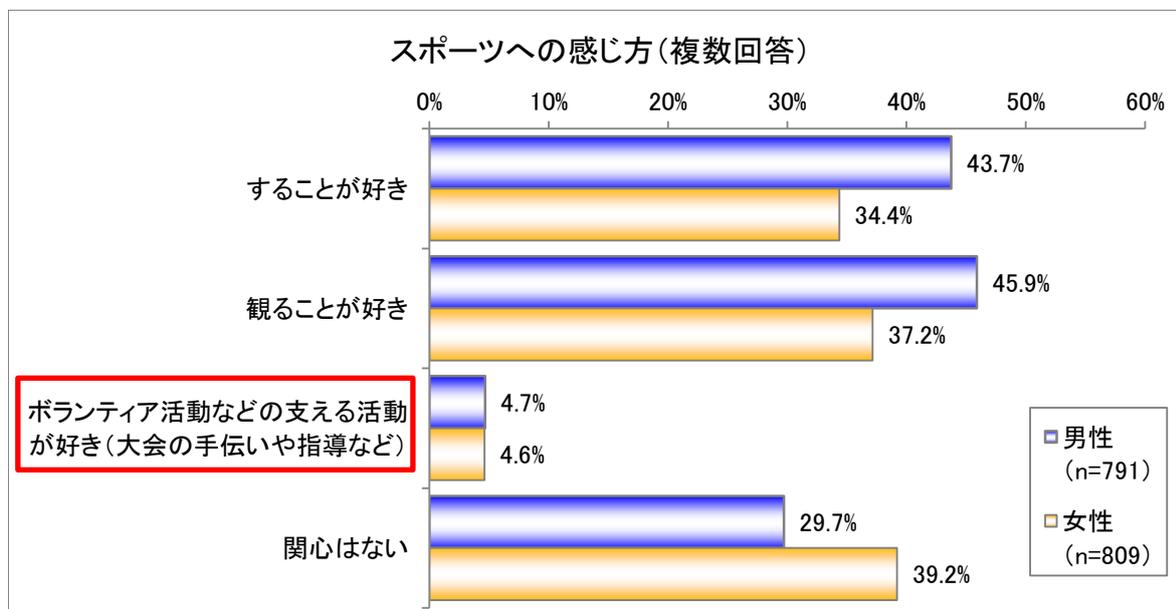


図 10

男女ともに、「すること」よりも「観ること」が好きな割合が若干高い。また、男女ともに、「ボランティア活動などの支える活動が好き」な割合は5%弱に留まる。

【男性】は【女性】よりも、「すること」も「観ること」も好きな割合が高く、【男性】と【女性】には有意差があった ($p < 0.05$)。結果として、スポーツへの「興味」は、【女性】より【男性】のほうが高い。

(3) 年代による比較

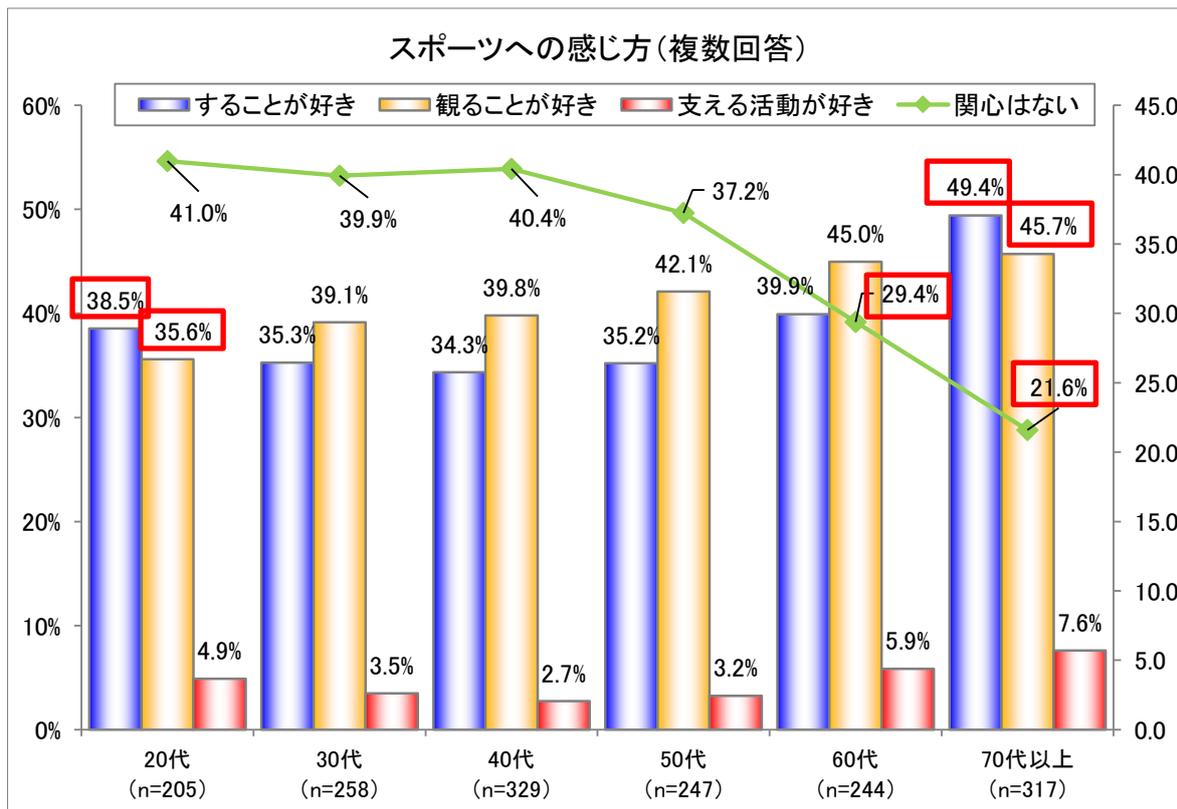


図 11

年代で比較すると、【20代】と【70代】は、「観ること」よりも「することが好き」な割合が高い。それ以外の年代では、「観ること」の方が好きな割合が高い。
 いずれの年代も、「ボランティアなどの支える活動」が好きな割合は低く、10%未満に留まる。
 また、【60代】と【70代】は、「関心がない」割合が3割以下と低くなっているものの、【20代～50代】は、関心がない割合が約4割に達している。

2-3 現在の運動・スポーツ実施状況への満足度

(1) 単純集計結果（前年度比）

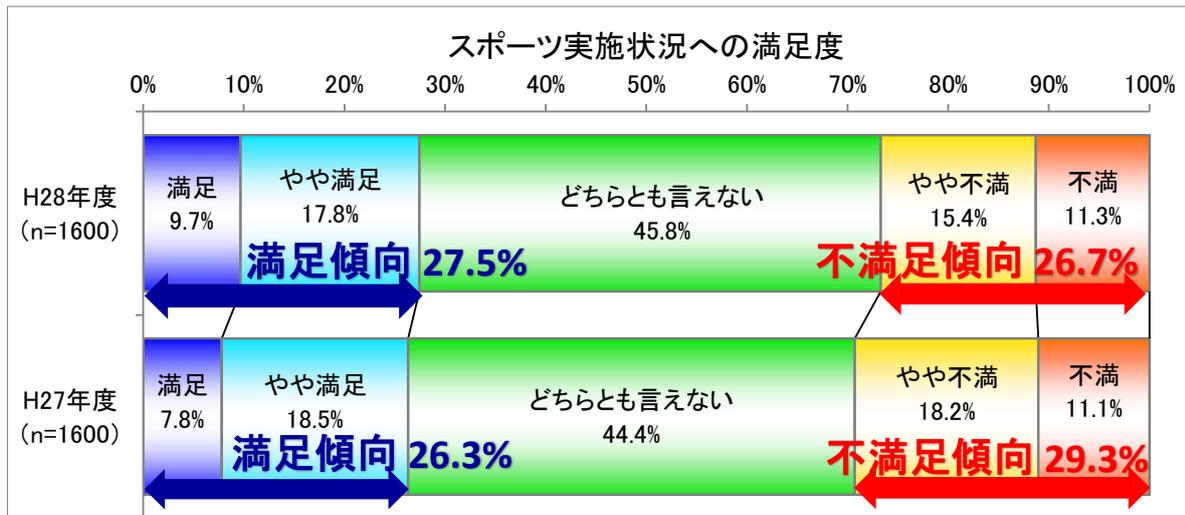


図 12

実施状況の満足度は、「どちらとも言えない」（45.8%）が一番高く、「やや満足」（17.8%）、「やや不満」（15.4%）と続く。「満足」と「やや満足」を足した「満足傾向」（27.5%）と、「やや不満」と「不満」を足した「不満足傾向」（26.7%）は、どちらも約3割でほぼ同じ割合となっている。

27年度も、「満足傾向」・「不満足傾向」がともに約3割となっており、割合・傾向ともにあまり変わらない。ただし、「満足傾向」は26.3%から27.5%に微増（+1.2ポイント）となっており、「不満足傾向」は29.3%から26.7%に微減（▲2.6ポイント）となっている。

(2) 性別による比較

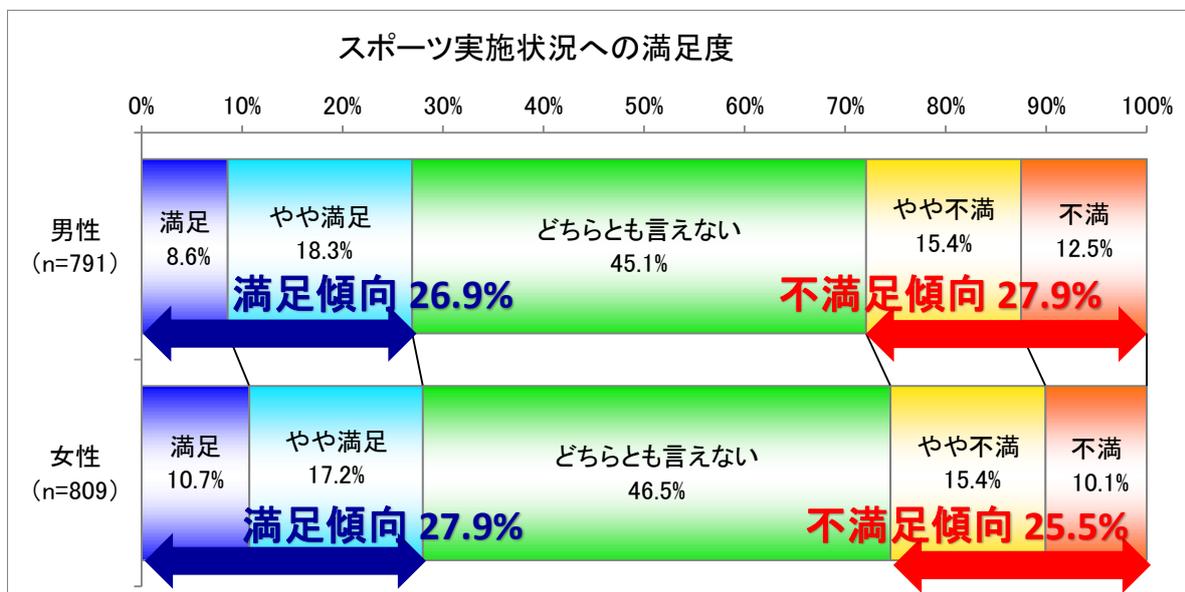


図 13

男女ともに「どちらとも言えない」が一番高い。【男性】は、「やや満足」（18.3%）、「やや不満」（15.4%）と続く。【女性】も、「やや満足」（17.2%）「やや不満」（15.4%）、と続く。

「満足」と「やや満足」を足した「満足傾向」と、「やや不満」と「不満」を足した「不満足傾向」の割合は、男女ともに約3割でほぼ同じ位である。

しかし、【男性】の方が「不満足傾向」が高く、【女性】の方が「満足傾向」が高くなっている。

(3) 年代による比較

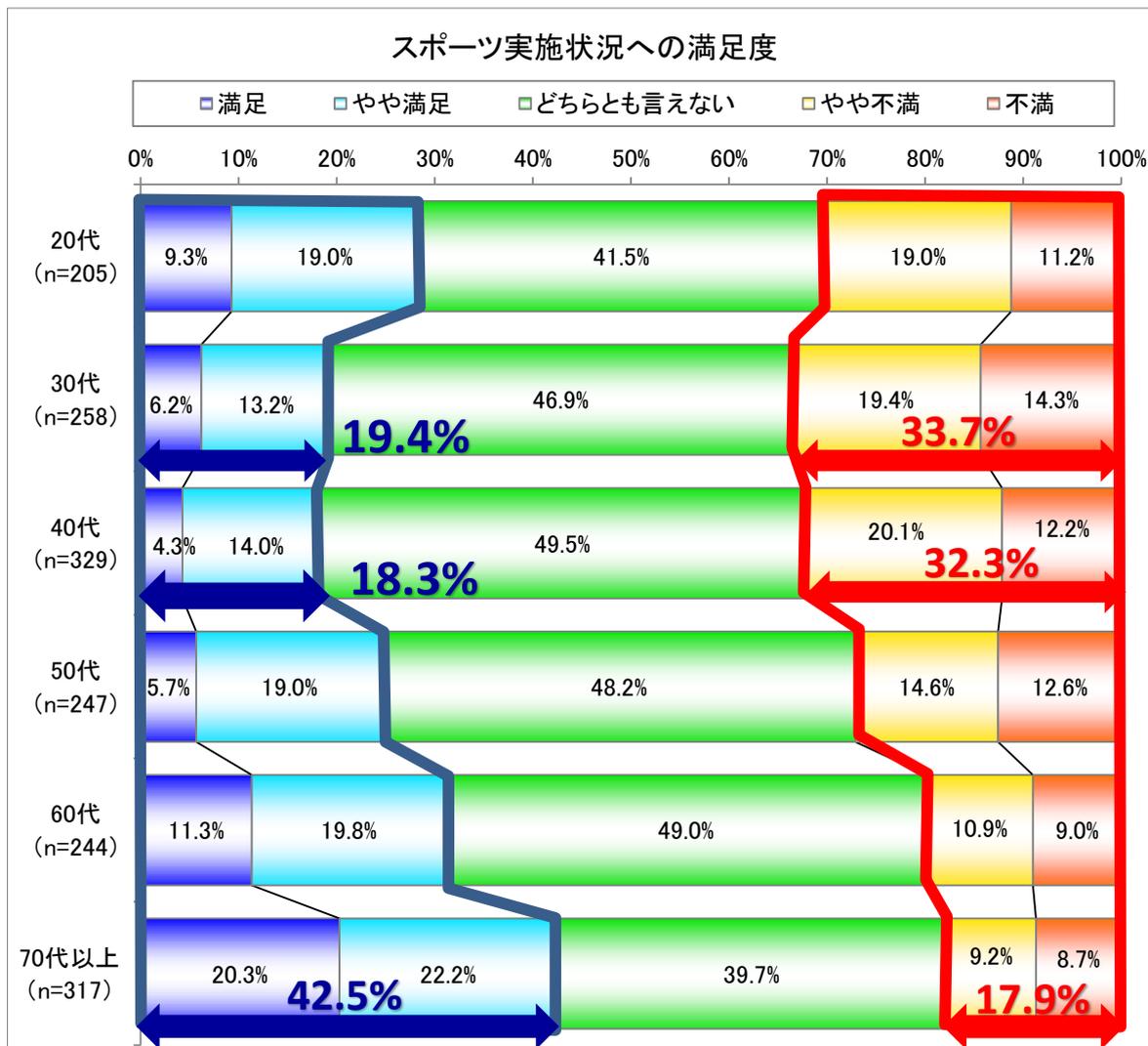


図 14

年代で比較すると、どの年代においても「どちらとも言えない」が一番高く、4割から5割を占めている。

【70代以上】は、「満足」と「やや満足」を足した「満足傾向」の割合が全年代の中で一番高く、42.5%にもものぼる。逆に、「やや不満」と「不満」を足した「不満足傾向」の割合は17.9%と全年代の中で一番低く、「満足傾向」が高い状況と言える。

【20代～50代】は、「満足傾向」よりも「不満足傾向」が上回っている状況となっている。

中でも、【40代】は、「満足傾向」の割合が全年代の中で一番低く18.3%に留まった。また、【30代】も「満足傾向」が低く19.4%に留まった。いずれも、【70代以上】(42.5%)の1/2以下となっており、「満足傾向」が極めて低い状況となっている。

逆に、「不満足傾向」の割合は【40代】が32.3%、【30代】が33.7%となっており、いずれも、【70代以上】(17.9%)の約2倍にも及び、「不満足傾向」が極めて高い状況と言える。

2-4 今現在、運動不足だと感じているか

(1) 単純集計結果（前年度比）

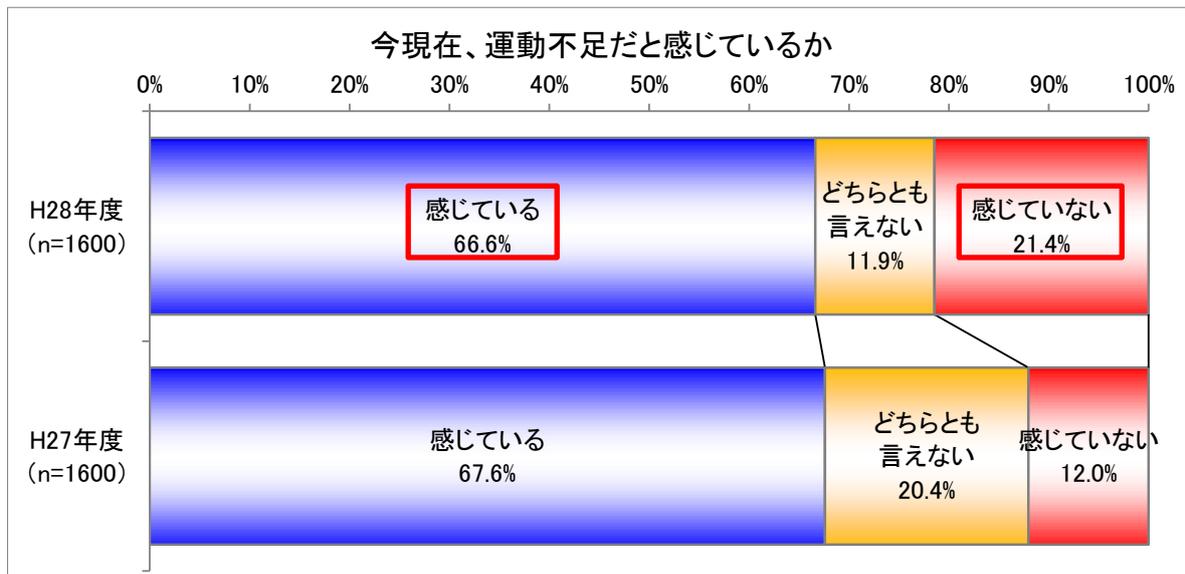


図 15

運動不足については、「感じている」（66.6%）が約7割となっており、「感じていない」（21.4%）が約2割程度となっている。多くの市民が「運動不足だと感じている」結果となった。27年度についても、運動不足だと「感じている」割合が約7割と圧倒的に高く、割合・傾向にあまり変わりはない。一方で、「感じていない」（21.4%）は、約2倍に増加している。

(2) 性別による比較

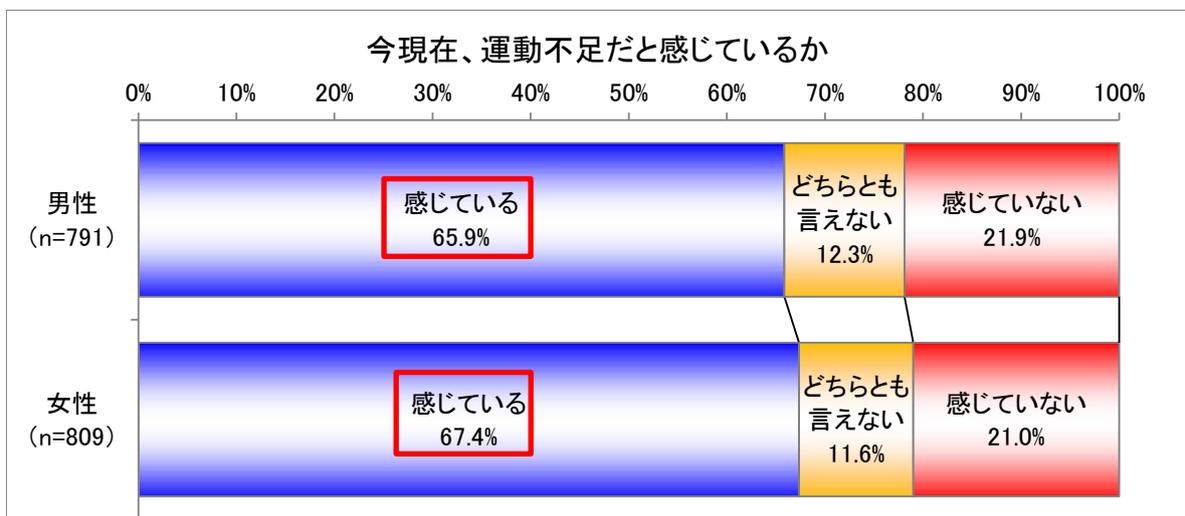


図 16

男女ともに、運動不足を「感じている」が約7割に達しており、感じていないが約2割程度となっている。

【女性】の方が運動不足を「感じている」割合が若干高いが、男女での大きな差はない。

(3) 年代による比較

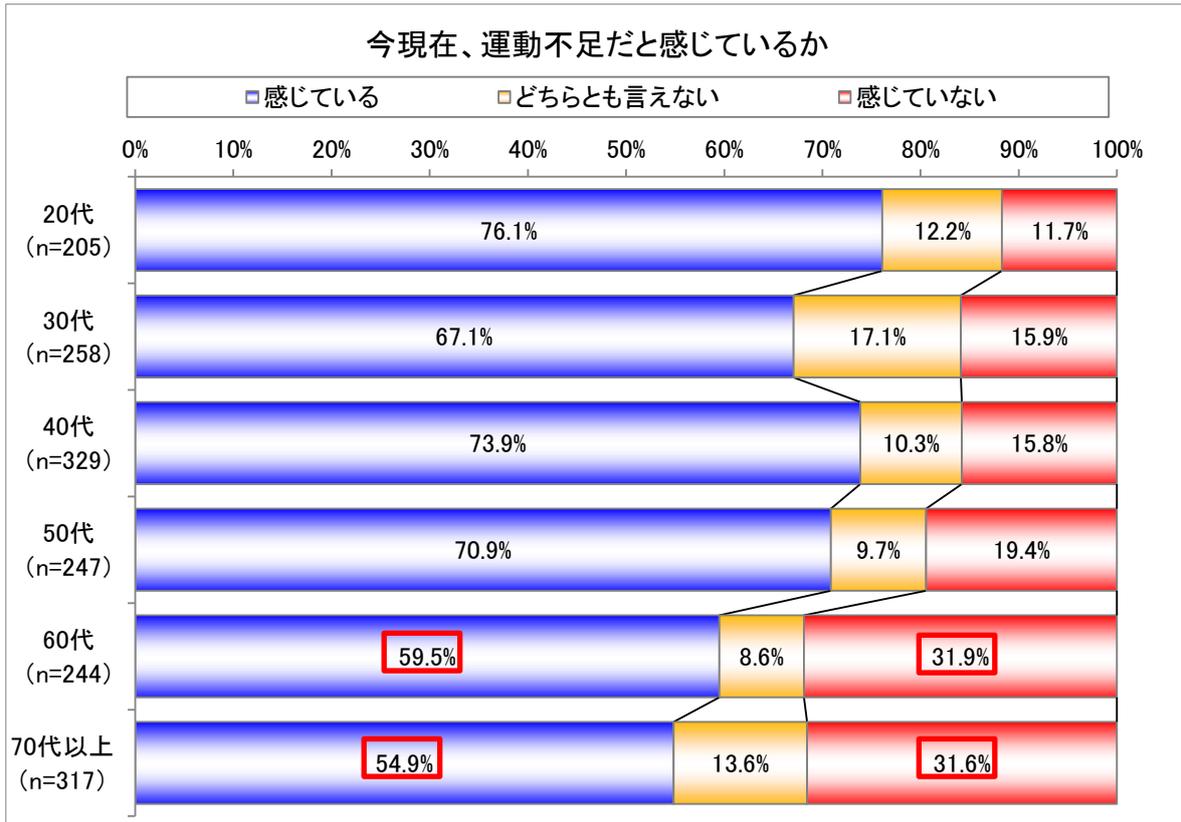


図 17

年代で比較すると、どの年代も運動不足だと「感じている」割合が高く、多くの年代で約7割に達している。

しかし、【60代】・【70代以上】は、運動不足だと「感じている」割合が他の年代に比べて低く、6割弱に留まっている。また、運動不足だと「感じていない」割合も3割程度に達している。

2-5 過去1年間に行った運動・スポーツ

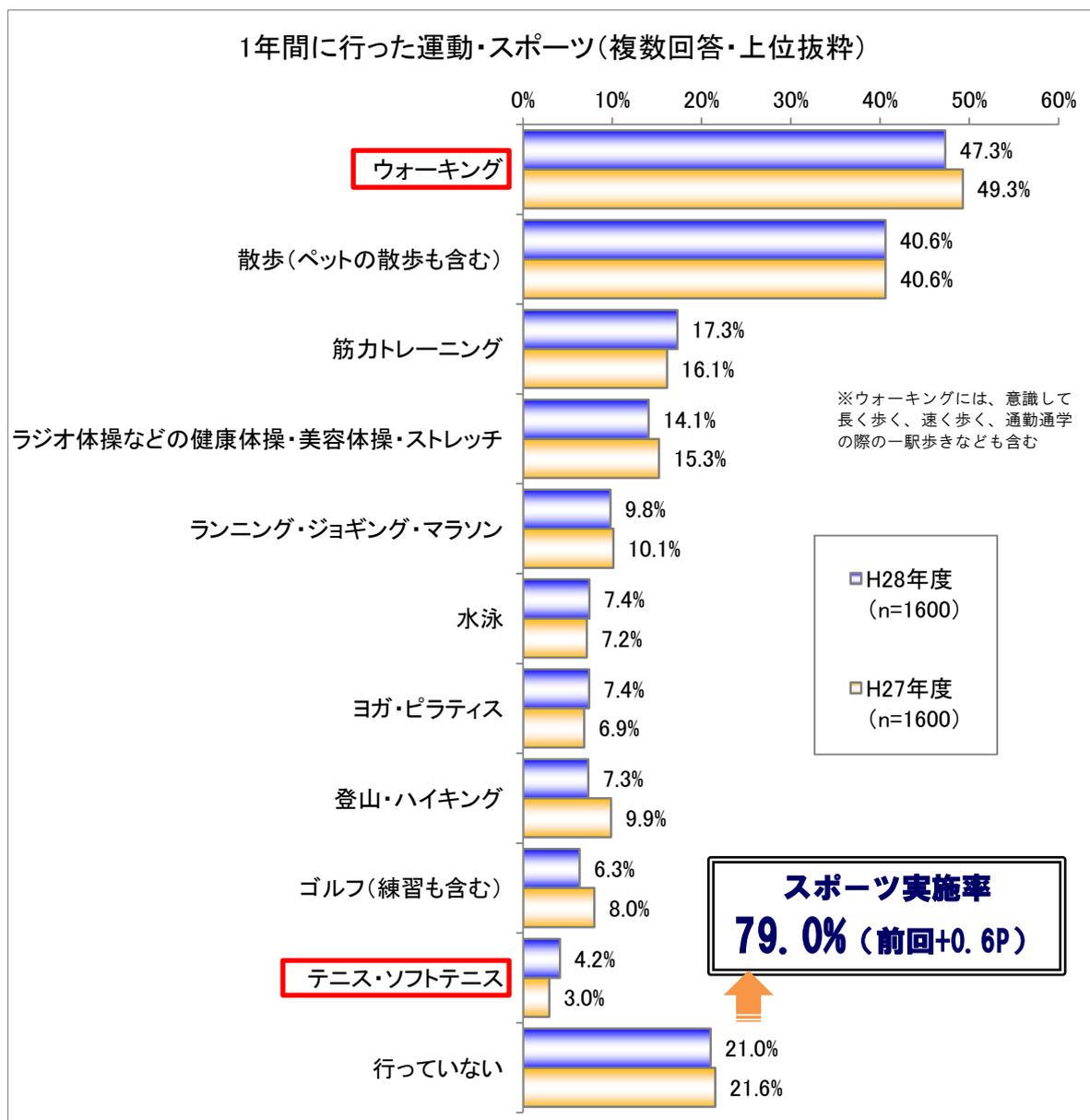


図 18

1年間に行った運動・スポーツは、「ウォーキング」(47.3%)が一番高く、約5割に迫っている。「散歩(ペットの散歩も含む)」(40.6%)、「筋力トレーニング」(17.3%)、「ラジオ体操などの健康体操・美容体操・ストレッチ」(14.1%)と続く。

また、「行っていない」が21.0%となったため、運動・スポーツの実施率は79.0%(前回+0.6ポイント)となった。(次頁に実施率比較)

27年度と比較しても、上位10位の項目は、順位の上下動はあるものの大きな変わりはない。ただし、前回調査では15位であった「テニス・ソフトテニス」は、3.0%から4.2%に微増(+1.2ポイント)となり10位に入った。一方、10位に入っていた「ボウリング」(H27年度5.1%)は、14位(2.6%)に下がった(▲2.5ポイント)。

2-6 過去1年間の運動・スポーツの実施率

(1) 単純集計結果（前年度比）

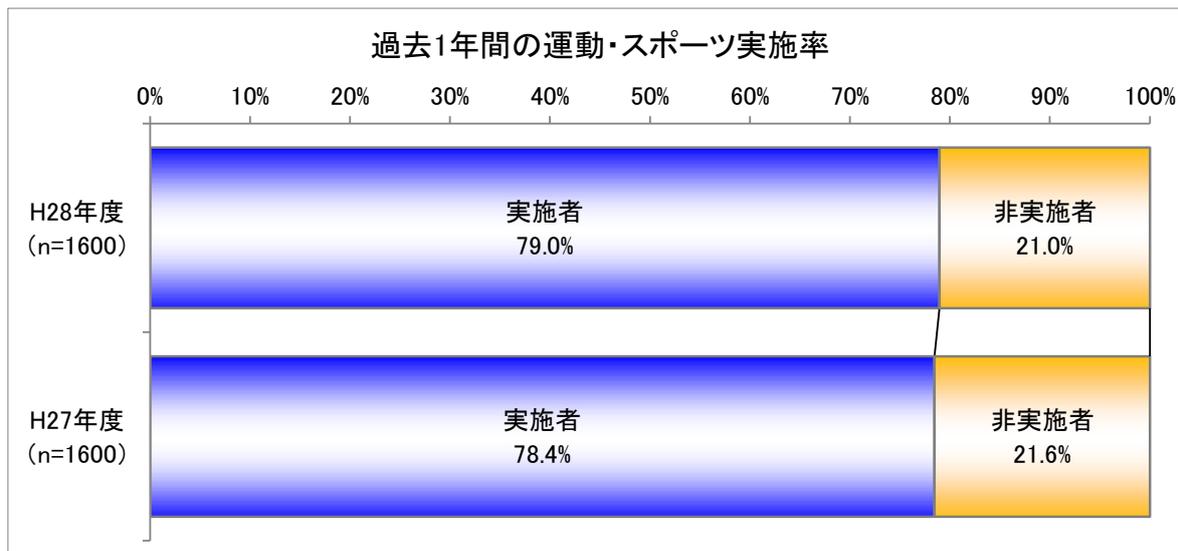


図 19

過去1年間の運動・スポーツの実施者は79.0%、非実施者は21.0%となった。27年度と比較すると、運動・スポーツの実施者は0.6ポイントの微増となった。

(2) 性別による比較

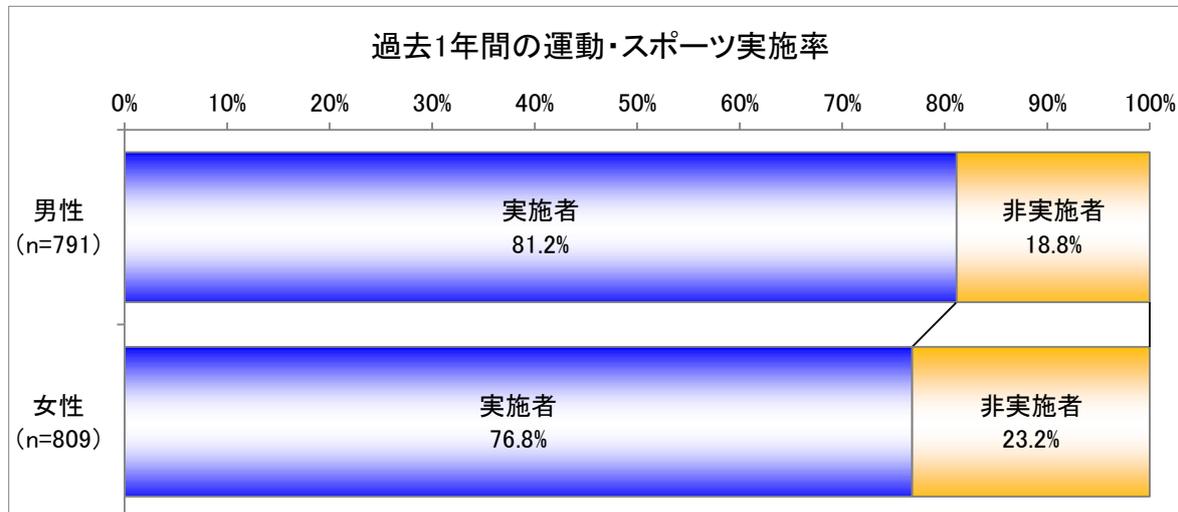


図 20

【男性】の実施率は81.2%、【女性】の実施率は76.8%となった。
【男性】の方が4.4ポイント高くなっており、運動・スポーツの実施率は、【男性】の方が【女性】よりも比較的高い傾向にある。

(3) 年代による比較

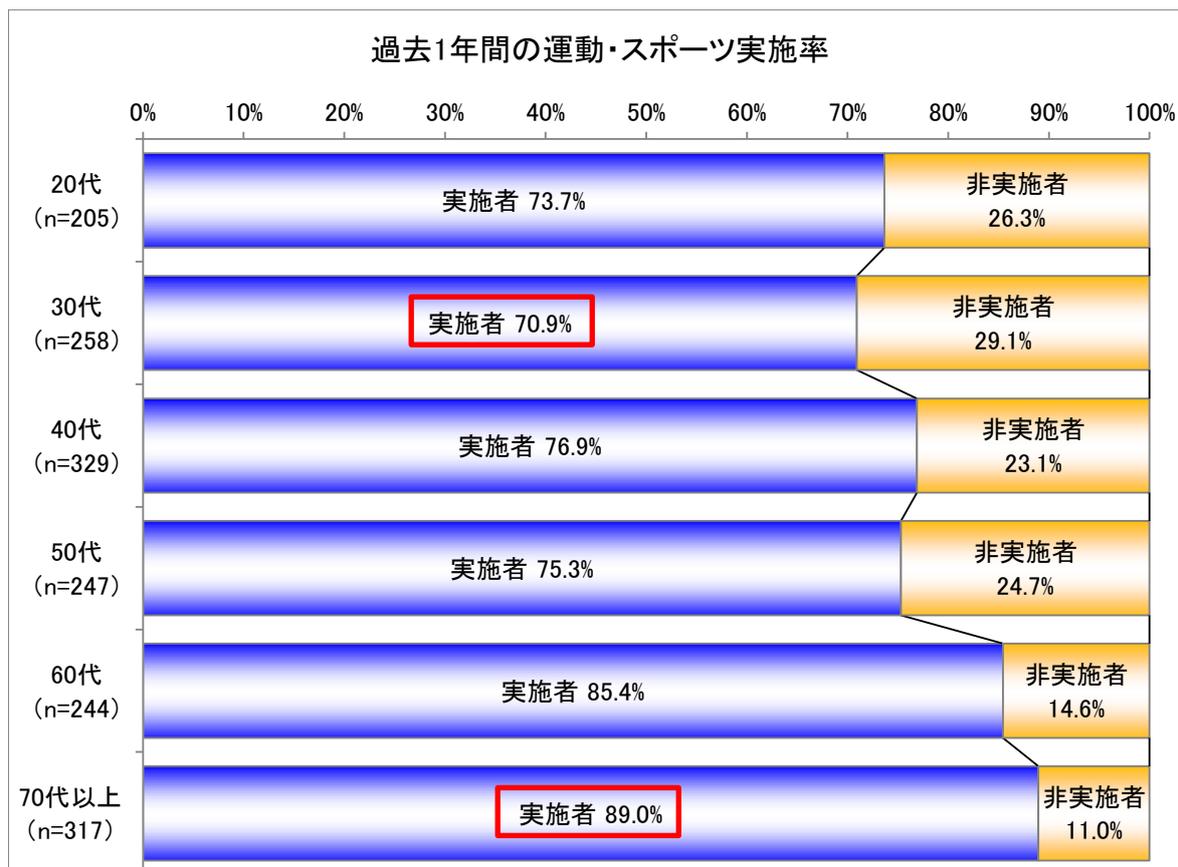


図 21

【70代以上】の実施率は89.0%となり、全年代の中で一番高くなっている。【30代】の実施率は70.9%となり、全年代の中で一番低くなっている。【30代】と【70代以上】の運動・スポーツ実施率は、18.1ポイントもの差が生じている。

20代～50代と60代以上との間には、10ポイント以上の差があり、現役世代とそれ以上の世代との間に実施率の壁ができています。【20・30・40・50代】各々と【60・70代以上】には、有意差があった ($p < 0.05$)。

2-7 過去1年間の運動・スポーツの実施頻度

(1) 単純集計結果（前年度比）

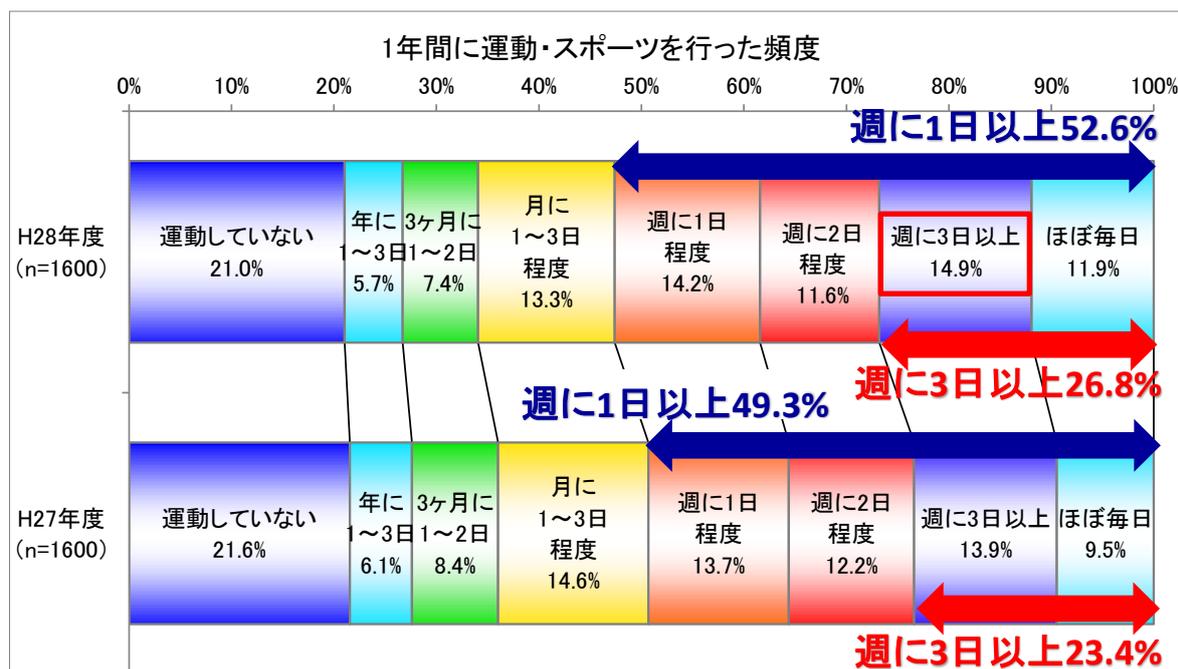


図 22

28年度は、1年間に運動・スポーツを行った人の内、「週に3日以上（年151日以上）」（14.9%）が一番高く、「週に1日程度（年51～100日）」（14.2%）、「月に1～3日程度（年12～50日）」（13.3%）と続く。

27年度と比較すると、「週に1日以上」は49.3%から52.6%（+3.3ポイントの微増）、「週に3日以上」は23.4%から26.8%（+3.4ポイントの微増）となっており、実施頻度が若干上がっている。しかしながら、国及び横浜市が計画の中で掲げる目標※には達しなかった。

※国のスポーツ基本計画では、『できるかぎり早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人（65%程度）、週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人（30%程度）となることを目標とする』としており、横浜市のスポーツ推進計画も同様となっている。

■実施頻度比較

	国・市 計画目標	実績	差
週に1回以上の実施率	65%程度	52.6%	▲12.4ポイント
週に3回以上の実施率	30%程度	26.8%	▲3.2ポイント

(2) 性別・年代による比較

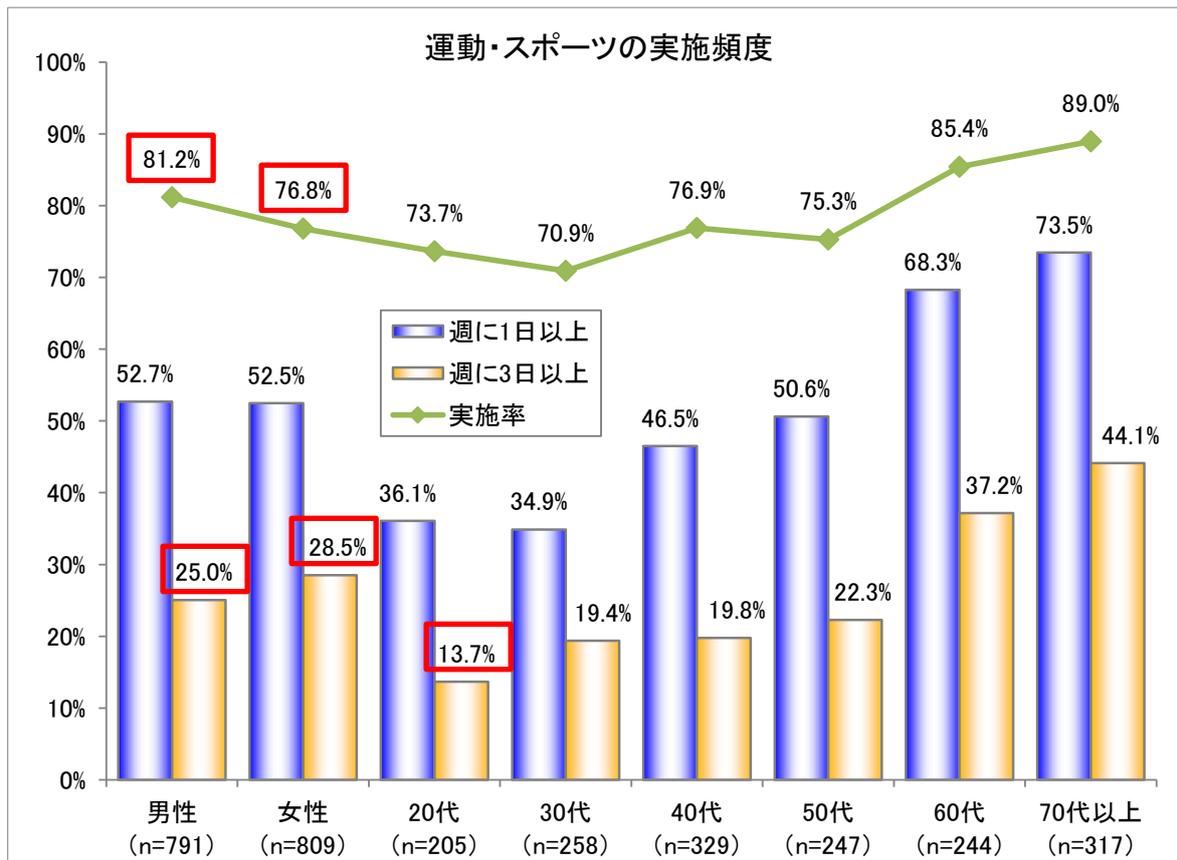


図 23

【男性】は【女性】よりも実施率が4.4ポイント高いものの、週に3日以上の実施率は▲3.5ポイント低い。週に1日以上の実施率はあまり変わらないため、【男性】よりも【女性】の方が比較的实施頻度が高い。

【60代】と【70代以上】は、実施率も高く、また実施頻度も高い状態である。一方、【20代】や【30代】は、実施率も低く実施頻度も低い状態である。特に、【20代】は週に3日以上の実施率が13.7%となっており、最も実施頻度が低い。

2-8 運動・スポーツを行った理由

(1) 単純集計結果（前年度比）

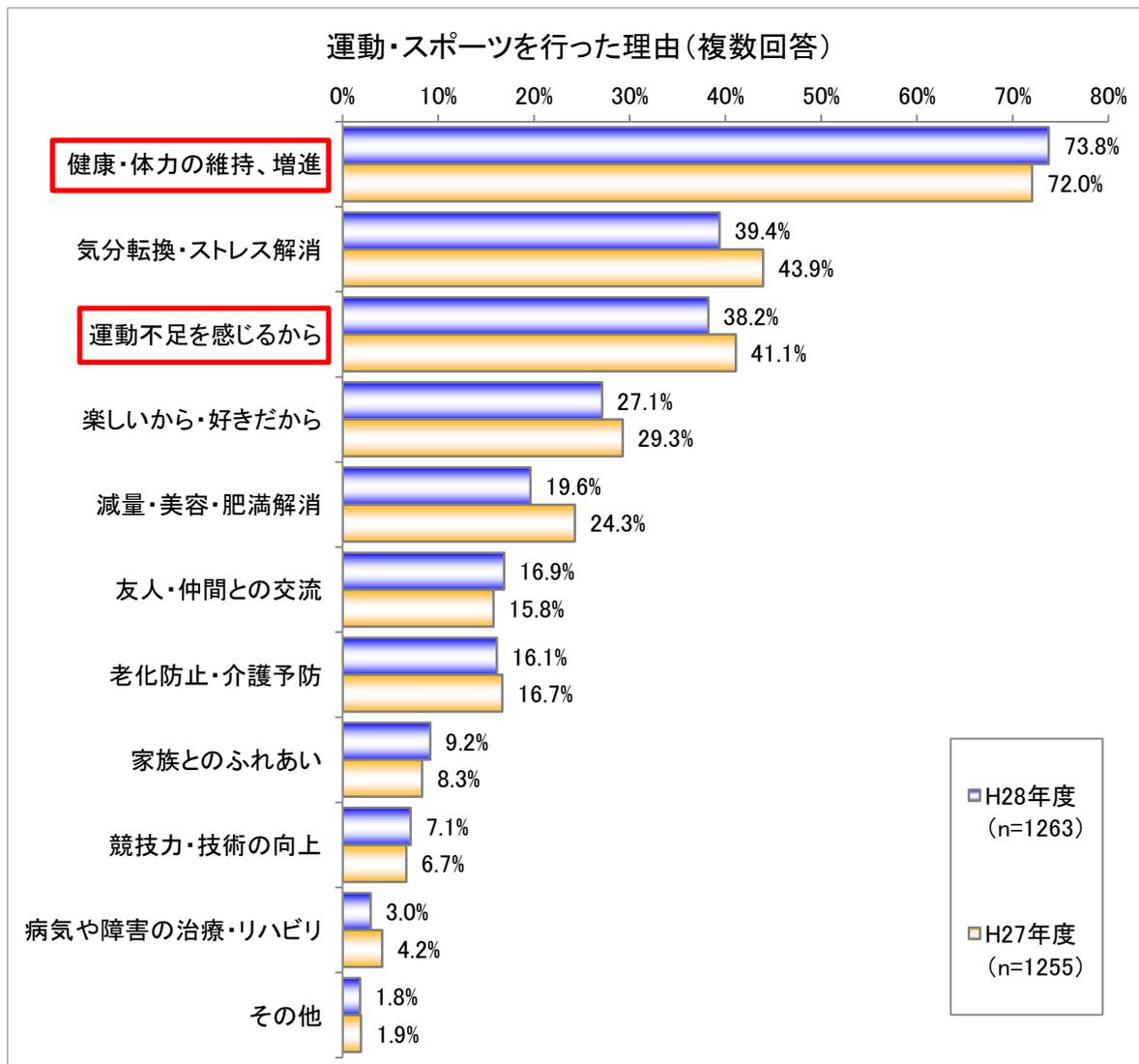


図 24

運動・スポーツを行った理由は、「健康・体力の維持、増進」（73.8%）が圧倒的に高く 7 割を超えている。これに、「気分転換・ストレス解消」（39.4%）、「運動不足を感じるから」（38.2%）、「楽しいから・好きだから」（27.1%）と続く。

27 年度と比較しても、割合・順位ともに大きな変動はない。

(2) 年代による比較

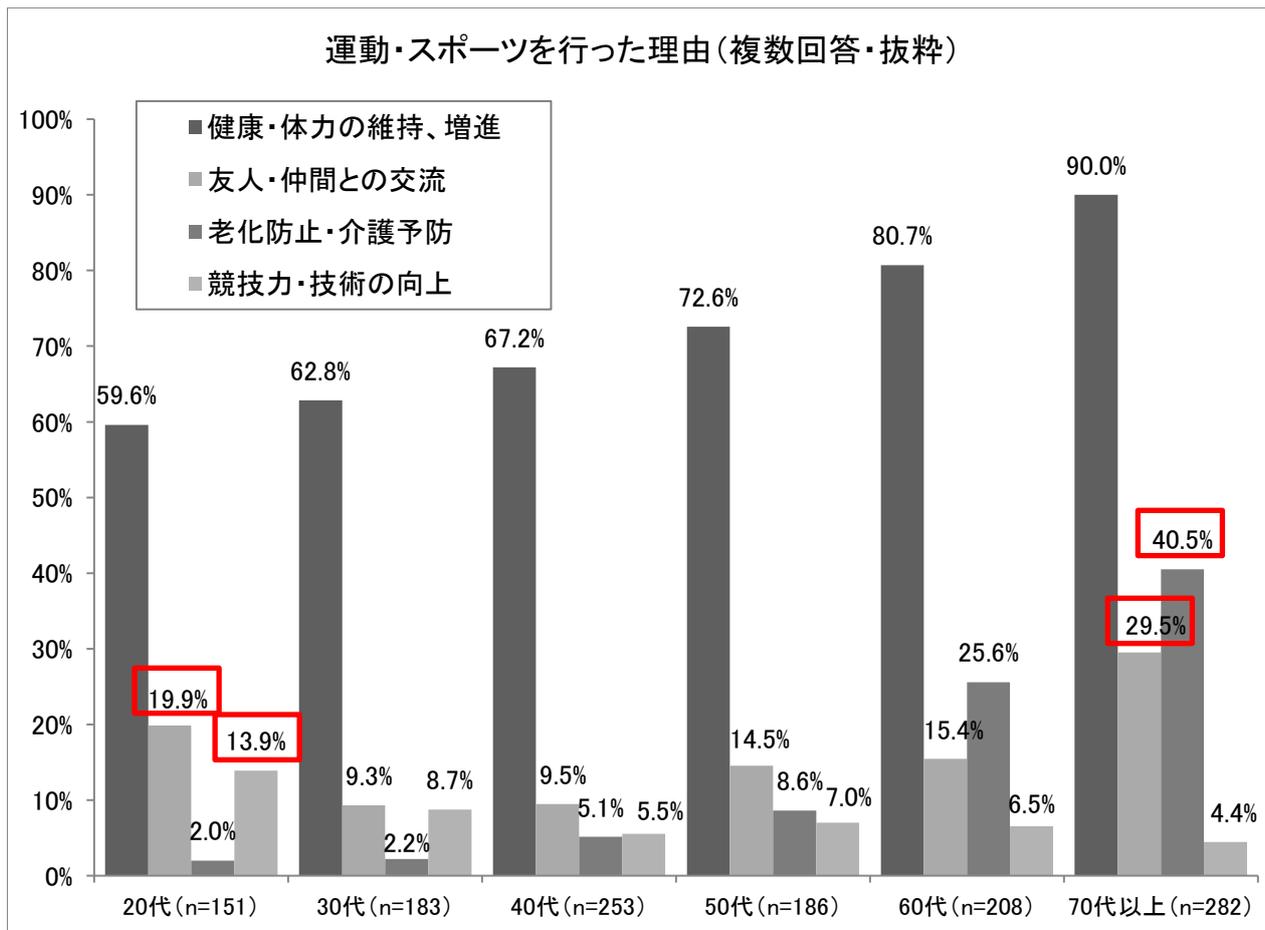


図 25

いずれの年代も「健康・体力の維持、増進」の割合が一番高い。

【70代以上】は、「老化防止・介護予防」の割合が高く 40.5%に達する。また、「友人・仲間との交流」の割合も比較的高い。【20代】も「友人・仲間との交流」(19.9%)の割合が高く、【70代以上】について、2位となっている。

また、【20代】は、「競技力・技術の向上」の割合がどの年代よりも高く、13.9%となっている。

2-9 運動・スポーツを行った場所

(1) 単純集計結果（前年度比）

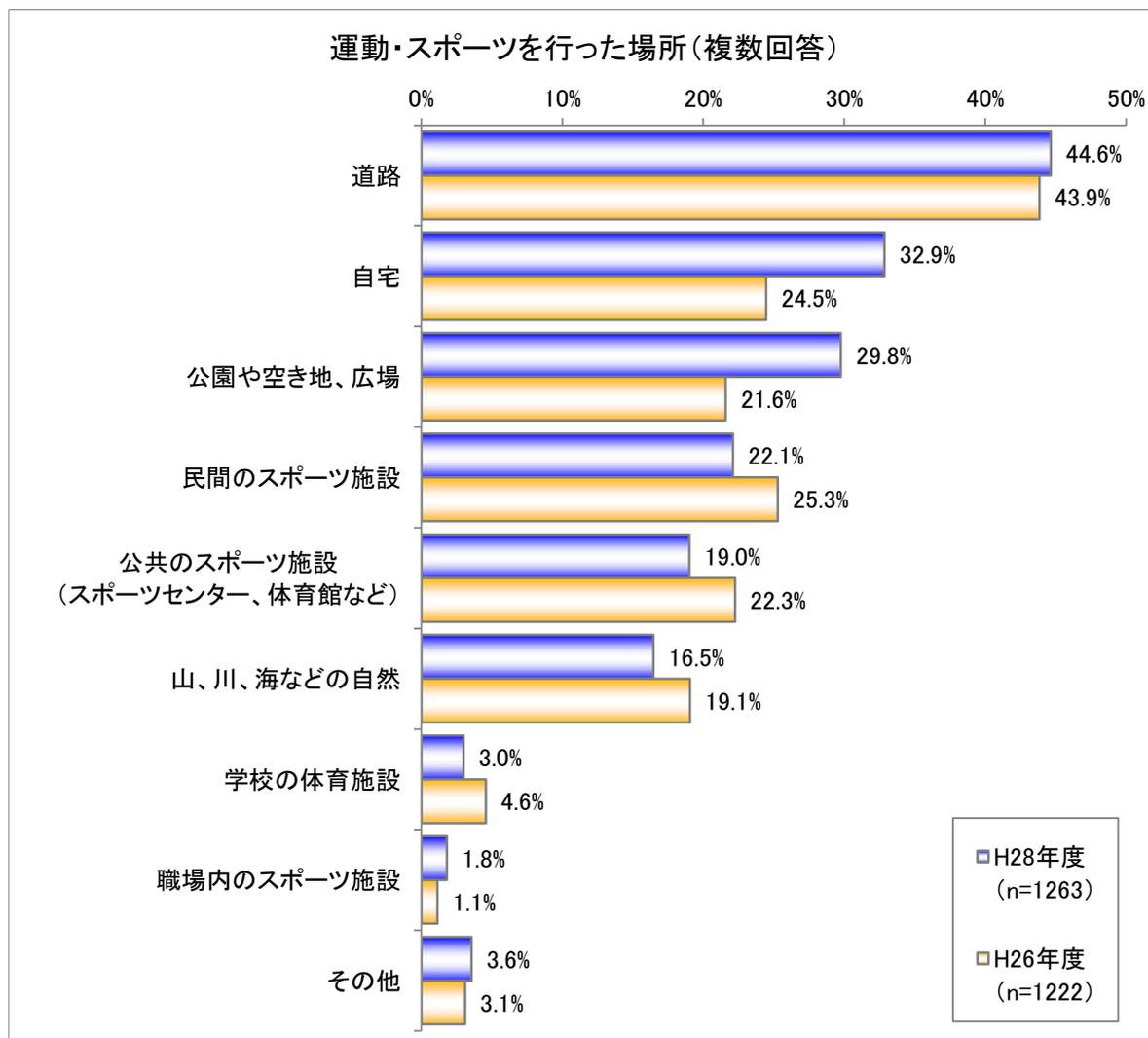


図 26

運動・スポーツを行った場所は、「道路」（44.6%）と「自宅」（32.9%）が高い。これに、「公園や空き地、広場」（29.8%）、「民間のスポーツ施設」（22.1%）と続く。散歩やウォーキング、ランニング・ジョギング等の場所として利用している人が多いと考えられる。

27年度は調査項目になかったため、26年度と比較すると、「道路」が約4割と高い傾向は変わらないが、「民間のスポーツ施設」や「公共のスポーツ施設」の割合が減り、「自宅」や「公園や空き地、広場」の割合が増えている。運動・スポーツの行った項目の上位は以下のとおり。

■実施種目比較

	H28年度	回答数 (n)	回等率 (%)	H26年度	回答数 (n)	回等率 (%)
1	ウォーキング	757	47.3	散歩・ウォーキング	916	56.7
2	散歩	650	40.6	筋力、体カトレーニング	250	15.5
3	筋カトレーニング	277	17.3	体操・健康体操	194	12.0
4	ラジオ体操などの健康体操・ 美容体操・ストレッチ	225	14.1	ランニング・ジョギング・マラソン	183	11.3
5	ランニング・ジョギング・マラソン	157	9.8	登山・ハイキング	167	10.3

(2) 年代による比較

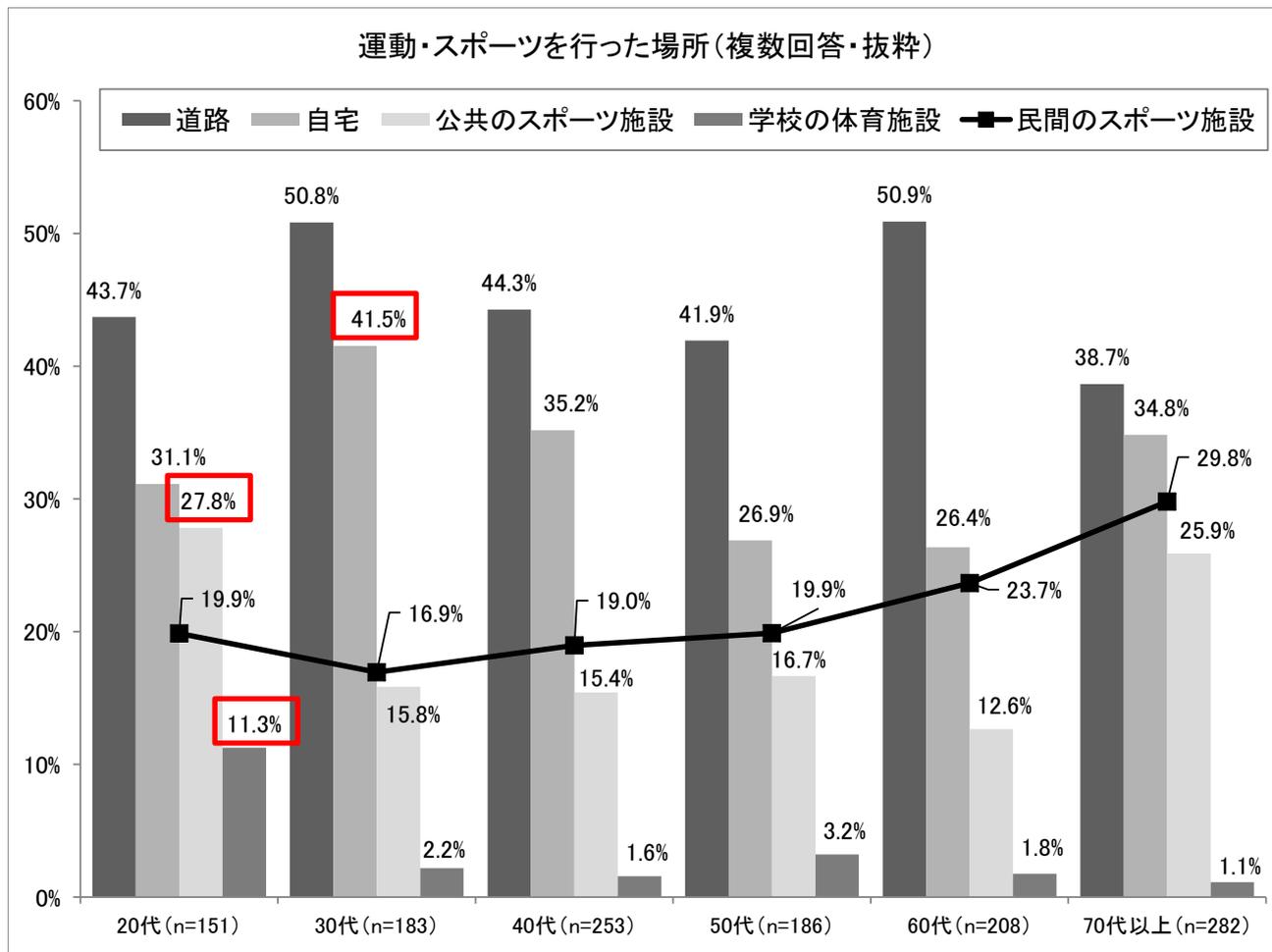


図 27

いずれの年代も「道路」が一番高く、「自宅」が続く。

【20代】は、「公共のスポーツ施設」(27.8%)の割合が高く、「学校の体育施設」(11.3%)で行っている割合も高い。【30代】は「自宅」(41.5%)の割合が他の年代よりも高く、4割を超えている。

また、【60代】、【70代以上】と年齢層が上がるにつれて、「民間のスポーツ施設」の割合が高くなっている。【70代以上】は、運動エリアがどこかに突出することなく、比較的色々な場所で運動している。

2-10 運動・スポーツを行わなかった(年に1～3日しか行わなかった)理由

(1) 単純集計結果（前年度比）

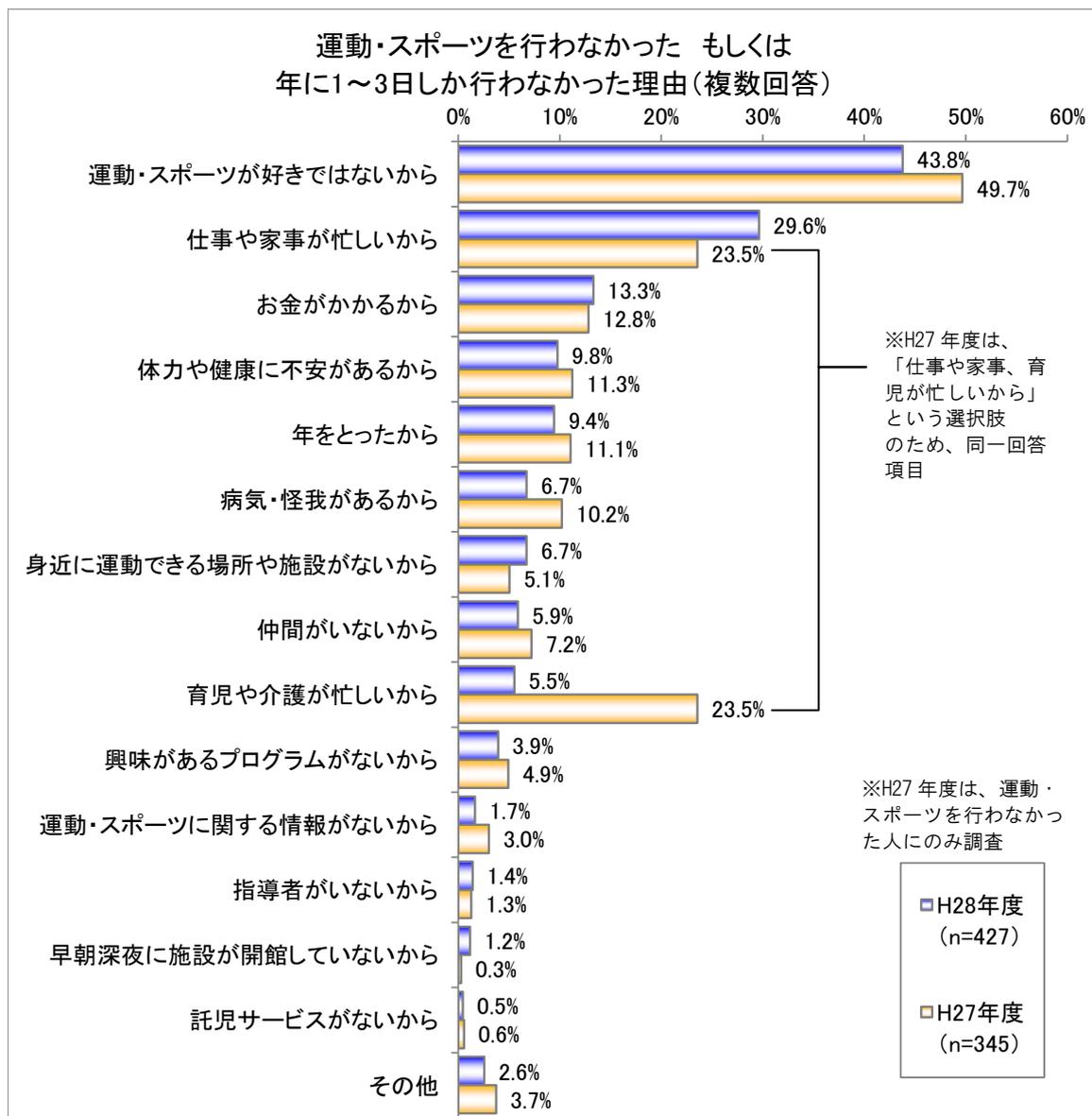


図 28

運動・スポーツを行わなかった理由は、「運動・スポーツが好きではないから」（43.8%）と「仕事や家事が忙しいから」（29.6%）が高い。これに、「お金がかかるから」（13.3%）、「体力や健康に不安があるから」（9.8%）、「年をとったから」（9.4%）と続く。

27年度と比較しても、割合・順位ともに大きな変動はない。ただし、28年度は、「仕事や家事・育児が忙しいから」という選択肢を「仕事や家事」と「育児や介護」に分けて設定。両方の選択肢を選択した割合は3.0%であった。「育児や介護」よりも「仕事や家事」が運動・スポーツを行わなかった理由となっていることが分かる。

■非実施理由比較

	選択肢	回答数(n)	回等率(%)
28年度	仕事や家事が忙しいから	127	29.6
	育児や介護が忙しいから	24	5.5
	仕事や家事が忙しいから&育児や介護が忙しいから	13	3.0
27年度	仕事や家事・育児が忙しいから	91	23.5

(2) 年代による比較

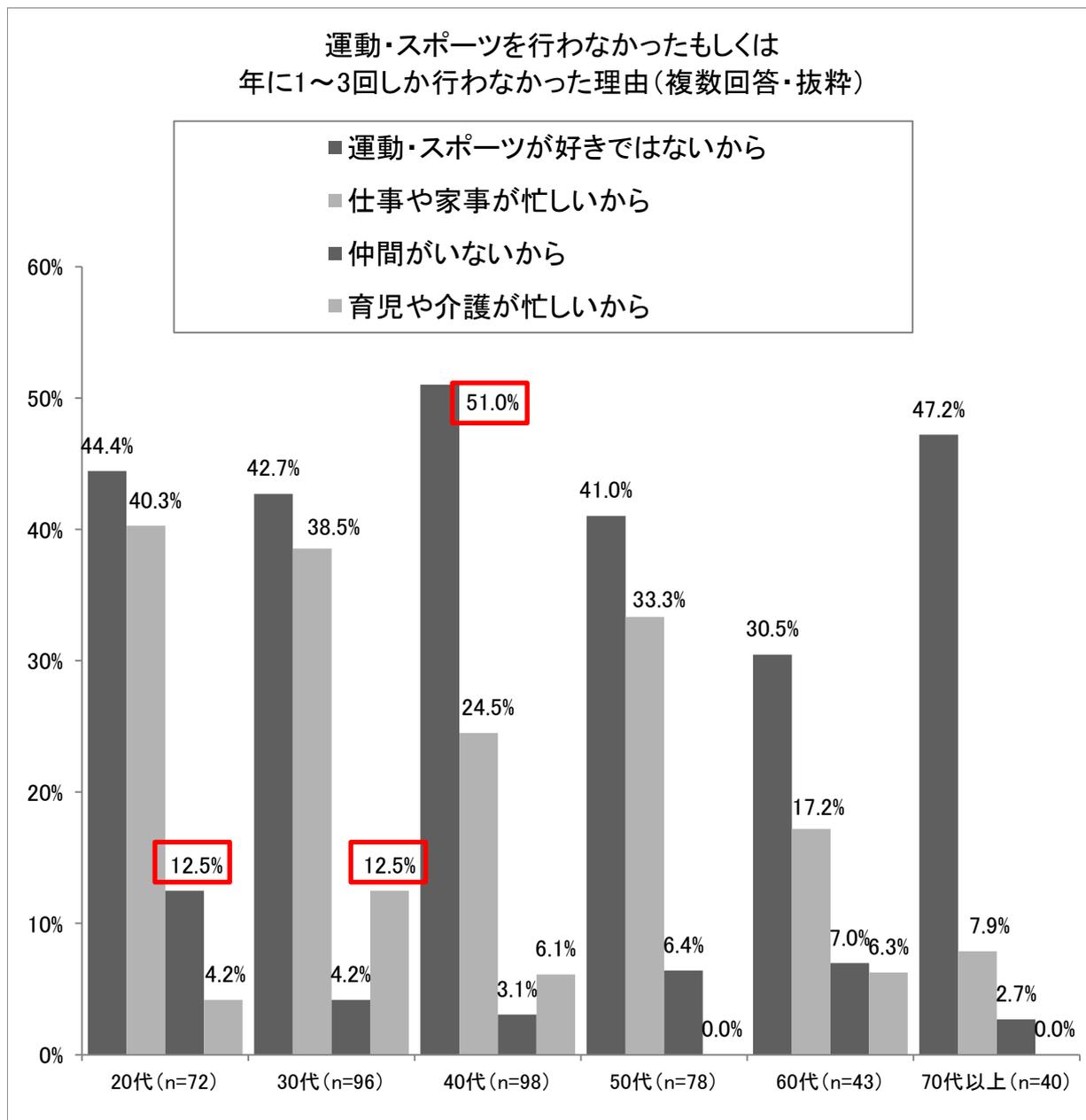


図 29

どの年代においても、「運動・スポーツが好きではないから」が一番高い。特に、【40代】は「好きではないから」(51.0%)の割合が過半数を超えている。

【20代】、【30代】、【50代】は、「仕事や家事が忙しいから」の割合が高く、3割～4割に達する。また、【20代】は、「仲間がいないから」(12.5%)の割合、【30代】は「育児や介護が忙しいから」(12.5%)の割合が比較的高い。

2-11 運動・スポーツに費やしても良いと感じる金額(月額)

(1) 単純集計結果

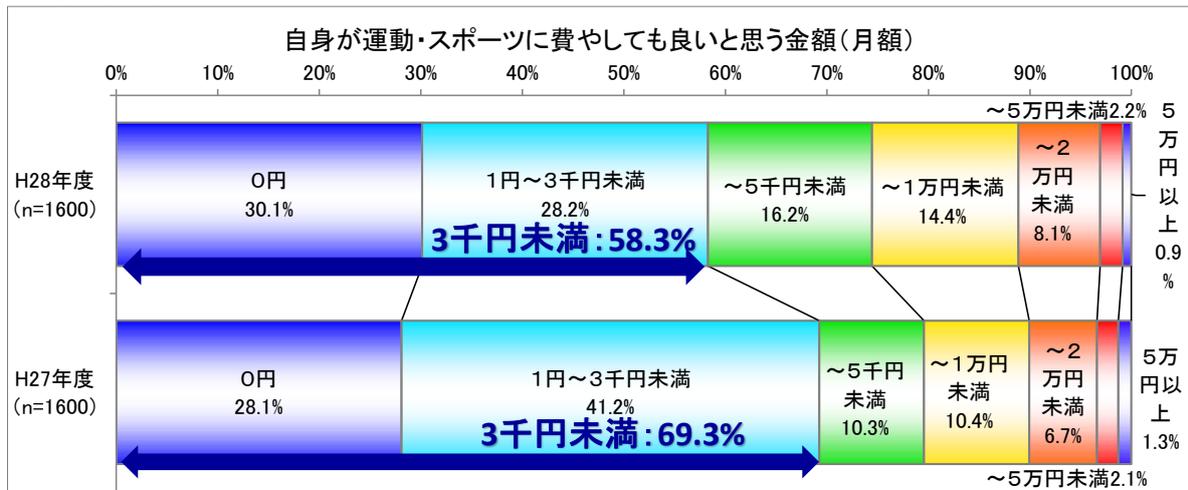


図 30

自身が運動・スポーツに費やしても良いと思う金額は、月額「0円」(30.1%)と「1円~3千円未満」(28.2%)が高い。これに、「3千円~5千円未満」(16.2%)と続く。「0円」の希望が3割近くあるものの、「お金を費やしてもよい」とする割合が約7割を占めている。

27年度は、「1年間に費やしても良いと思う金額」を調査しているため一概には比較できないが、27年度は、「月額3千円未満」が約7割だったのに対し、28年度は、6割弱となっており、全体的に費やしても良いとする金額が高くなっている。ただし、27年度と比較しても、「0円」の割合は3割程度と変わらない。

(2) 年代による比較

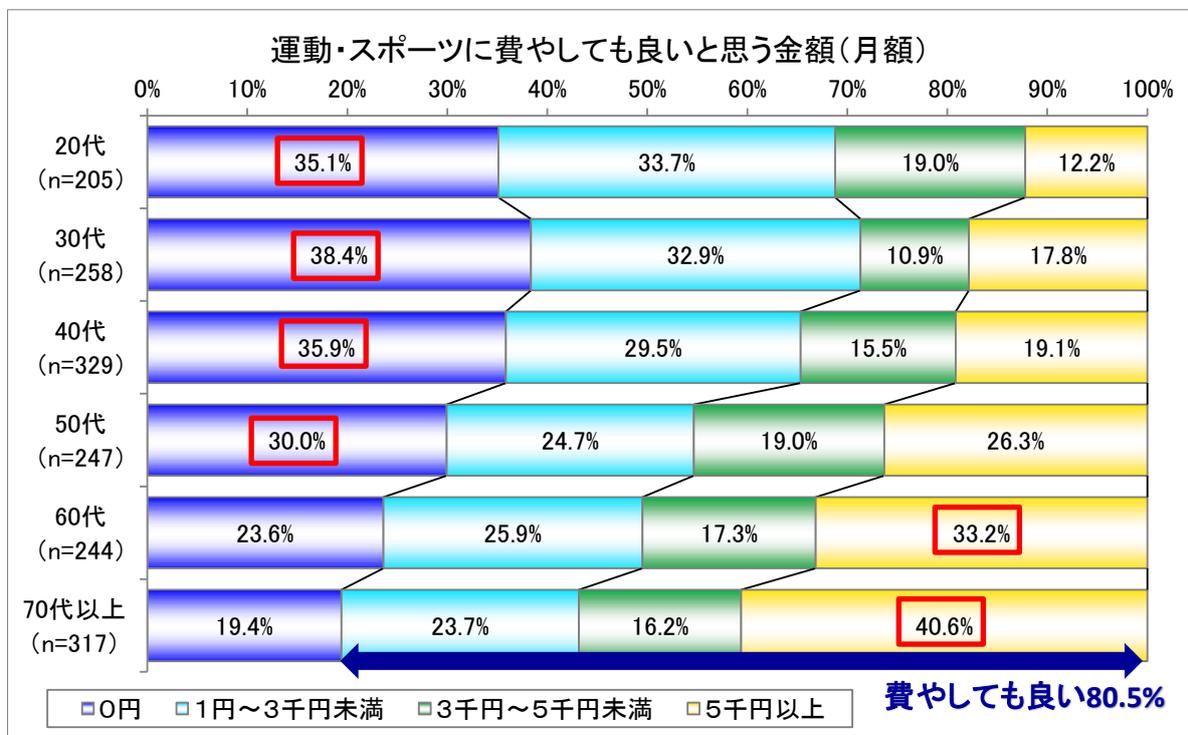


図 31

年代で比較すると、【20代~50代】では、3割以上が月額「0円」となっている。一方【70代以上】は、「お金を費やしても良い」と考えている割合が8割を超えている。

【60代】、【70代以上】は、月額「5千円以上費やしても良い」とする割合が3割を超えるとともに、3千円以上の割合が過半数を超えている。

2-12 今後行ってみたい運動・スポーツ

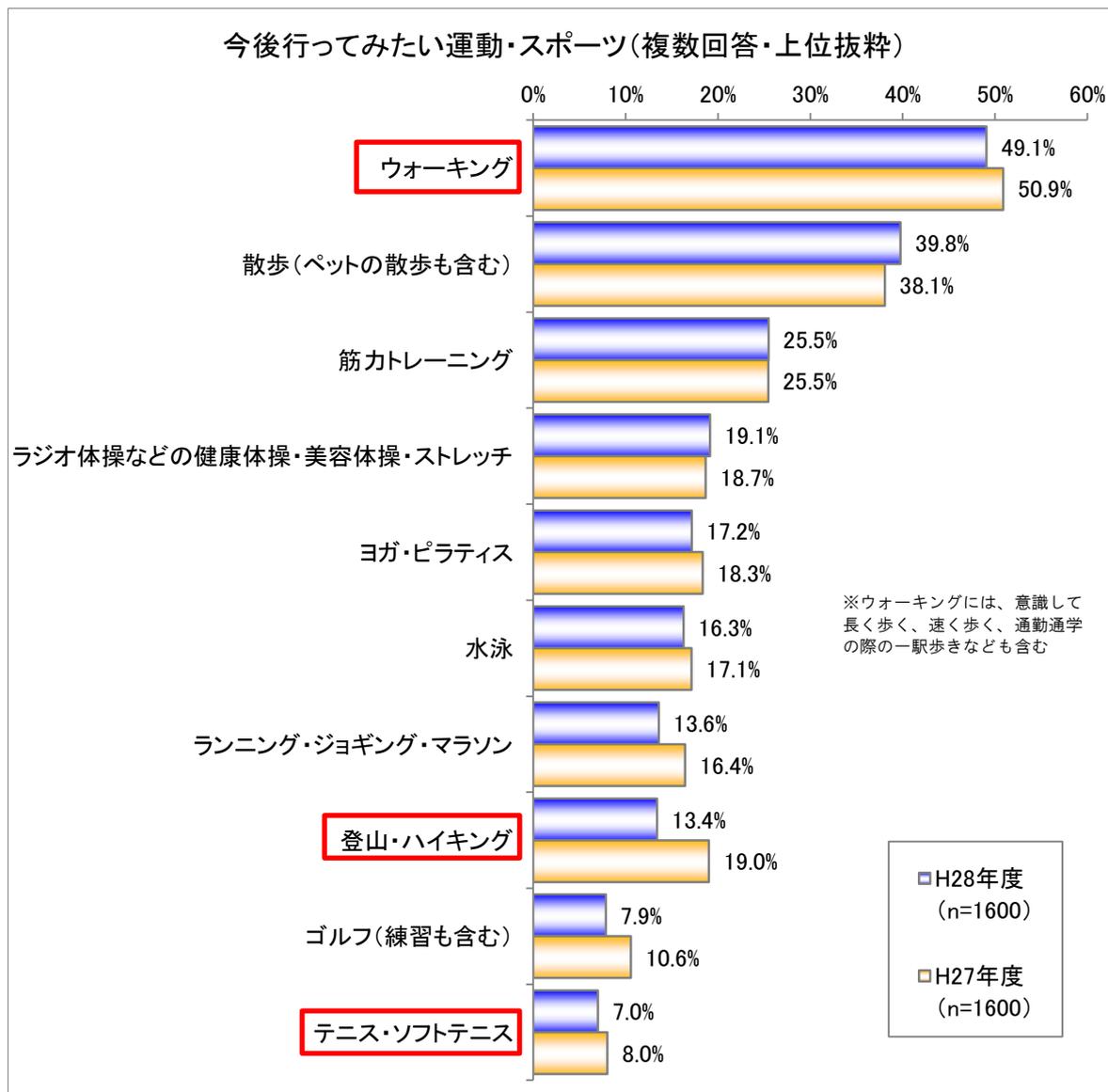


図 32

今後行ってみたい運動・スポーツは、「ウォーキング」(49.1%)が高く、過半数近くが回答している。次いで、「散歩」(39.8%)が高く、「筋カトレーニング」(25.5%)、「ラジオ体操などの健康体操・美容体操・ストレッチ」(19.1%)、「ヨガ・ピラティス」(17.2%)と続く。

27年度と比較しても、上位10位の項目は、順位の上下動はあるものの大きな変わりはない。ただし、前回調査では12位であった「テニス・ソフトテニス」が、8.0%から7.0%に微減(▲1.0ポイント)となったものの10位に入った。一方、10位に入っていた「サイクリング・サイクルスポーツ」(H27年度9.8%)は、11位(6.7%)に下がった(▲3.1ポイント)。また、「登山・ハイキング」は、19.0%から13.4%に減少し(▲5.6ポイント)、4位から8位に下がった。

2-13 今後行ってみたい運動・スポーツと過去1年間に行った運動・スポーツ

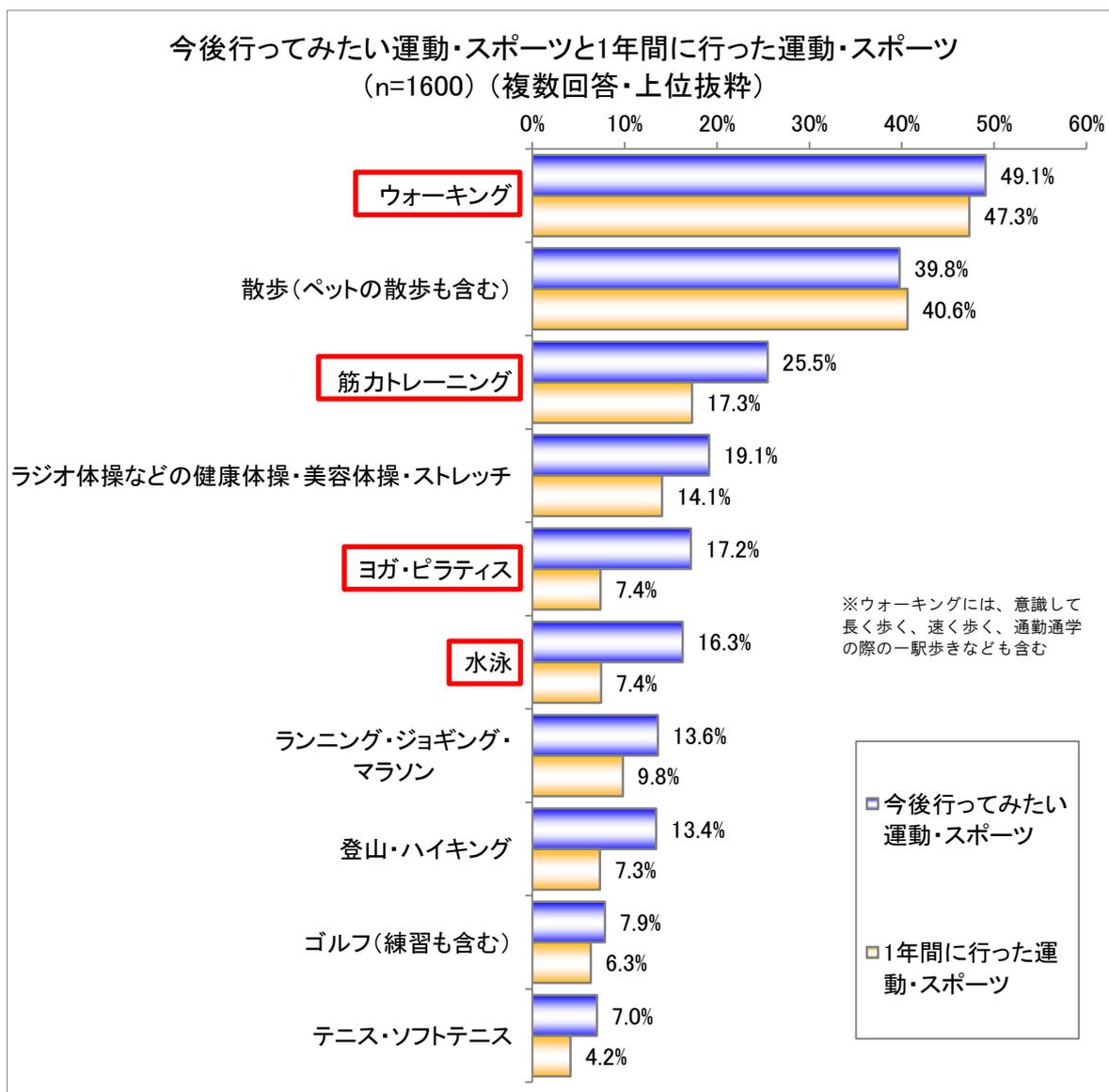


図 33

「ウォーキング」は、【今後行ってみたい運動・スポーツ】(49.1%)としても、【過去1年間に行った運動・スポーツ】(47.3%)としても1位となっている。

以下、「散歩」(39.8%)、「筋カトレーニング」(25.5%)、「ラジオ体操などの健康体操・美容体操・ストレッチ」(19.1%)と続いており、【今後行ってみたい種目】と【行った種目】はほぼ同じ傾向となっている。

ただし、「筋カトレーニング」は、【行ってみたい】(25.5%)とする割合の方が、【行った】(17.3%)割合よりも8.2ポイントも高い。

同様に、「ヨガ・ピラティス」(17.2%)や「水泳」(16.3%)も、【行った】割合を約10ポイント近く上回る割合で、【今後行ってみたい運動・スポーツ】として挙げられている。これらの種目は、【行ってみたい運動・スポーツ】としての人気が高いと言える。また、一方で、行う機会や場所がなく、実際に行うことができない可能性もある。

2-14 過去1年間に会場で観戦したトップアスリートの大会やプロスポーツ

(1) 単純集計結果（前年度比）

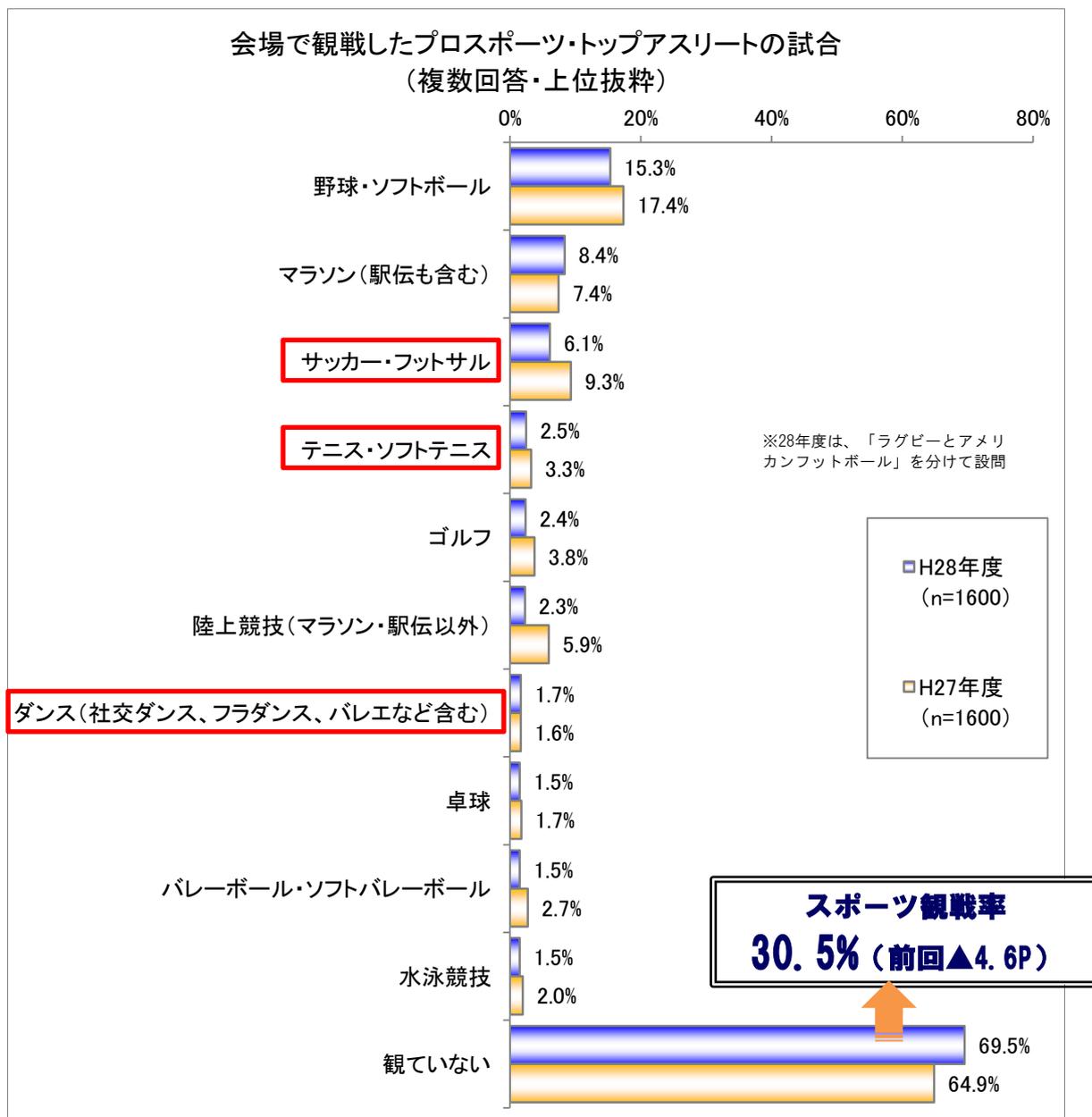


図 34

会場で観戦したスポーツは、「野球・ソフトボール」(15.3%)が高く、「マラソン(駅伝も含む)」(8.4%)、「サッカー・フットサル」(6.1%)、「テニス・ソフトテニス」(2.5%)と続く。

また、「観戦していない」が69.5%となったため、スポーツの観戦率は30.5%となった(前回▲4.6ポイント)。(次頁に実施率比較)

27年度と比較すると、調査開始以来、毎年2位だった「サッカー・フットサル」が9.3%から6.1%に減少(▲3.2ポイント)し、3位に陥落した。また、「ラグビー」も、3.0%から1.4%に減少(▲1.6ポイント)し、7位から11位に下がった。

一方で、「テニス・ソフトテニス」は3.3%から2.5%に減少(▲0.8ポイント)したものの、6位から4位に上昇した。また、「ダンス」が1.6%から1.7%に微増(+0.1ポイント)し、11位から7位に上昇した。

27年度は、調査時期の影響が大きく、ワールドカップやオリンピックリオ大会に向けた国際大会や世界選手権が開催されていた、「ラグビー」や「バレーボール」、「水泳」などがポイントを伸ばしたと考えられる。

(2) 性別による比較

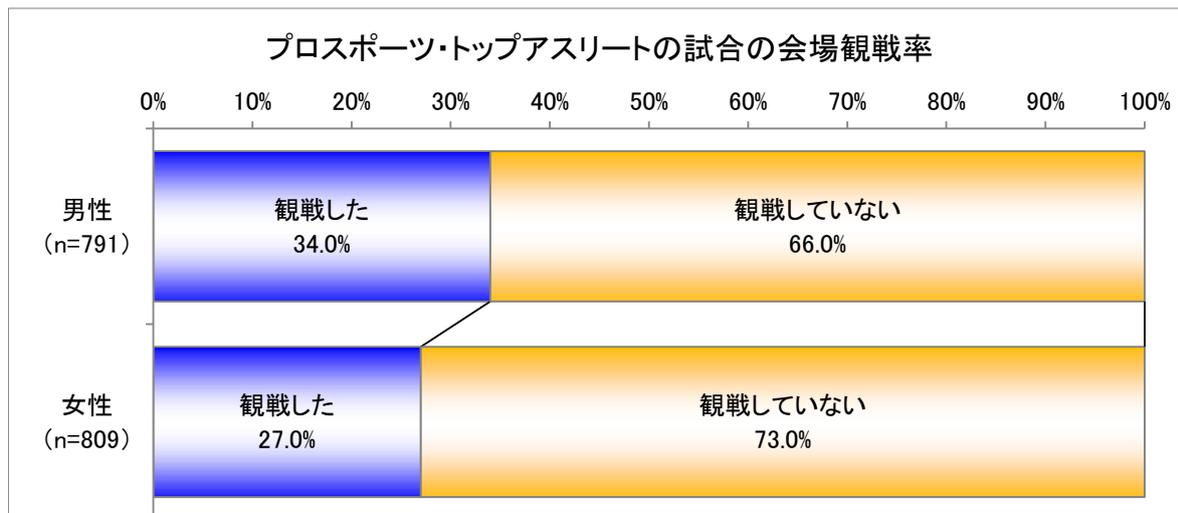


図 35

【男性】は観戦率が34.0%、【女性】は観戦率が27.0%となった。【男性】の方が7.0ポイント高く、男女の観戦率には差が見られ、【男性】と【女性】には有意差があった ($p < 0.05$)。

(3) 年代による比較



図 36

観戦した割合は、いずれの年代も3割程度となっている。
【30代】は、観戦率が34.1%となっており、全世代の中で一番高いものの、他の年代との有意差はなかった。

2-15 過去1年間に会場で観戦したトップアスリートの大会やプロスポーツの回数

(1) 単純集計結果（前年度比）

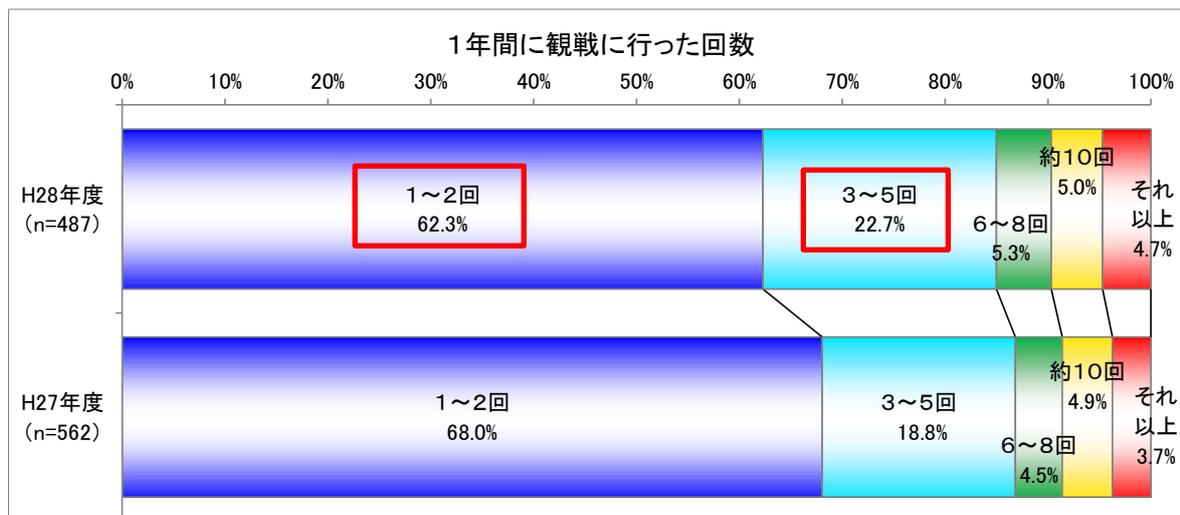


図 37

開催会場で観戦した回数は、「1～2回」（62.3%）が圧倒的に高い。これに、「3～5回（3ヶ月に1回程度）」（22.7%）と続く。

27年度と比較すると、「1～2回」が5.7ポイント減少しているものの、「3～5回」が3.9ポイント、「6～8回」が0.8ポイント、「約10回」が0.1ポイント、「それ以上」が1.0ポイント、それぞれ増加している。

28年度は、観戦率としては下がったものの（P.31参照）、観戦頻度が全体的に上がっている傾向にある。

(2) 年代による比較

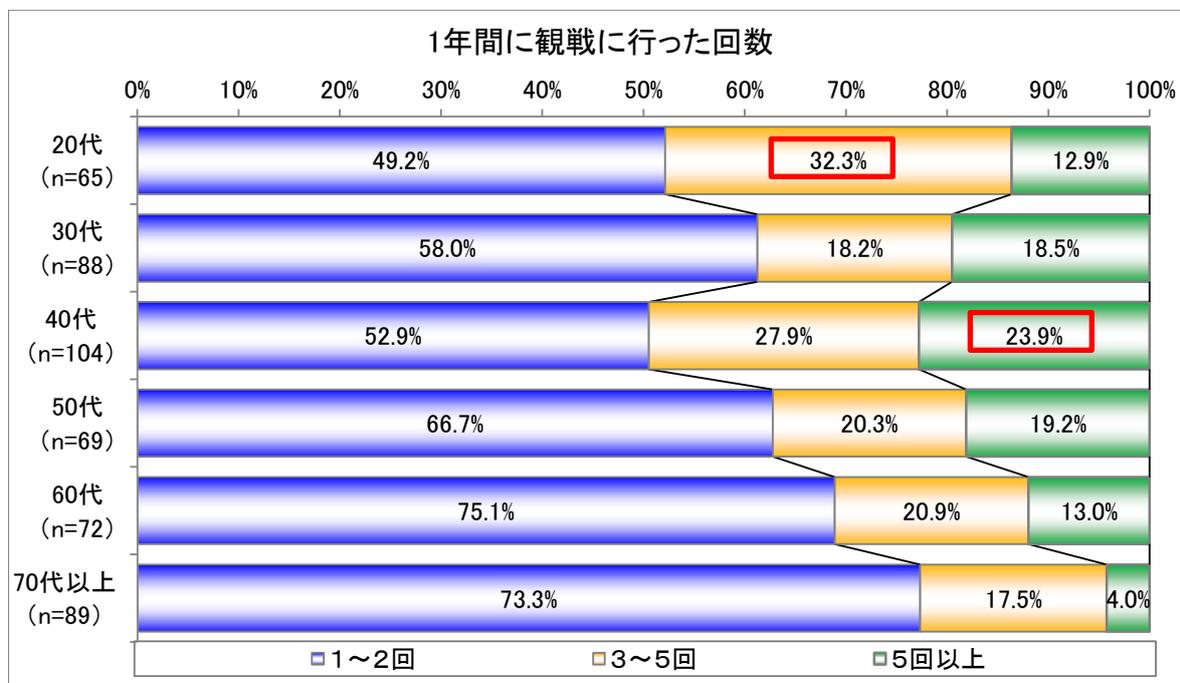


図 38

いずれの年代も、「1～2回」が高く、過半数近くもしくは、過半数を上回っている。

【20代】は「3～5回」の割合が比較的高く3割を超えている。また、【40代】は、「5回以上」と、比較的頻度の高い割合が23.9%となっており、どの年代よりも高い。

【20代】、【40代】は、複数回の観戦を行っている割合が高い傾向にある。

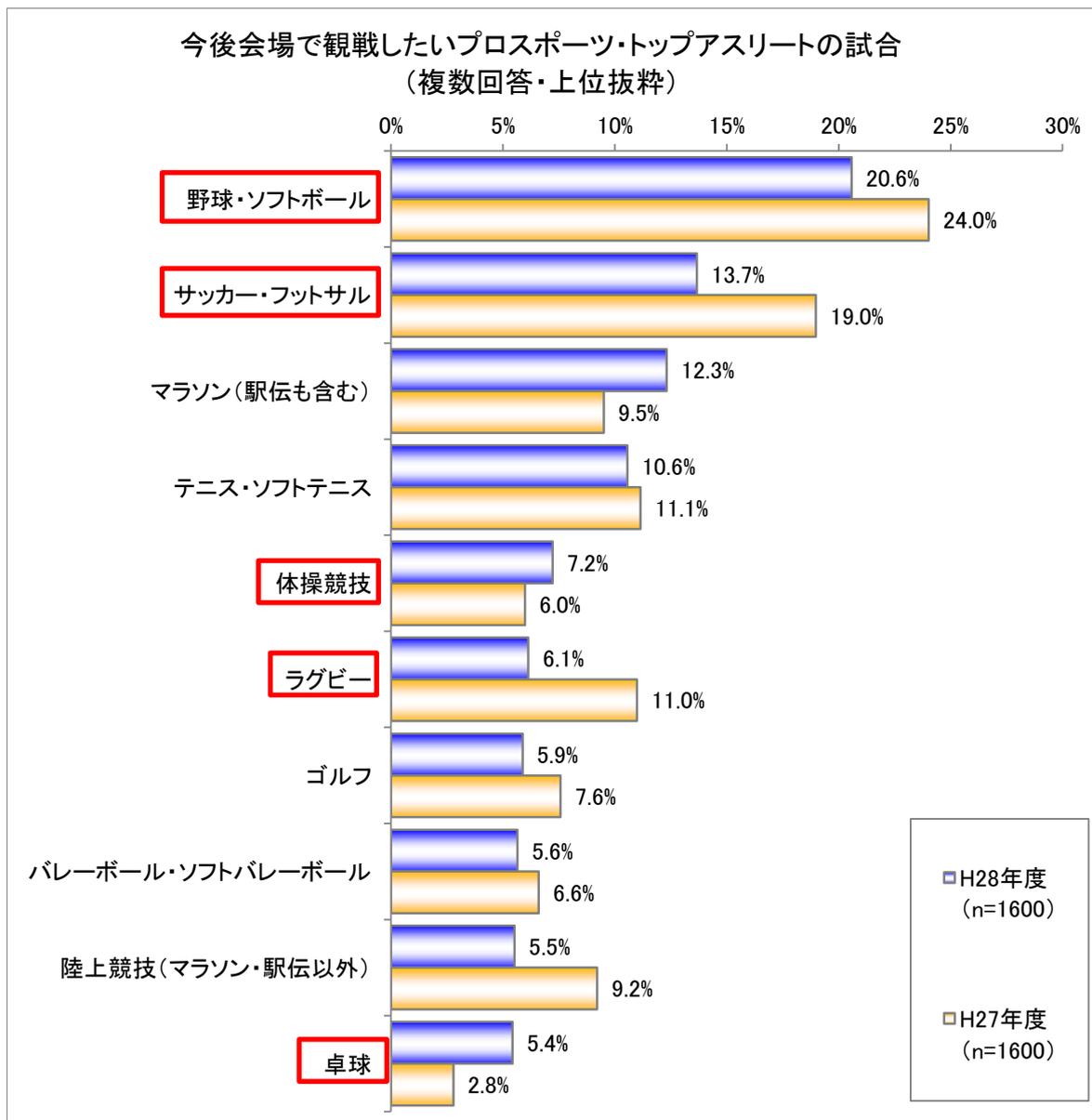


図 39 ※28年度は、「ラグビーとアメリカンフットボール」を分けて設問

今後、開催会場で観戦したいスポーツは、「野球・ソフトボール」(20.6%)が一番高く、「サッカー・フットサル」(13.7%)、「マラソン(駅伝も含む)」(12.3%)、「テニス・ソフトテニス」(10.6%)と続く。

27年度と比較すると、「野球・ソフトボール」の観戦希望が24.0%から20.6%(▲3.4ポイント)、「サッカー・フットサル」は19.0%から13.7%(▲5.3ポイント)減少している。観戦希望種目が「野球」「サッカー」の2強から他の種目へ分散傾向にある。

また、「ラグビー」は11.0%から6.1%(▲4.9ポイント)、「スケート・ホッケーなどの氷上スポーツ」は7.2%から5.1%(▲2.1ポイント)に、それぞれ減少し、「ラグビー」は4位から6位に、「スケート・ホッケー」は8位から12位に下がった。ラグビーは、アメリカンフットボール(3.0%)と分けて設問したことも影響していると考えられる。

一方、「体操競技」は、6.0%から7.2%(+1.2ポイント)となり、10位から5位に上昇した。さらに、「卓球」は、2.8%から5.4%(+2.6ポイント)となり、17位から10位に上昇した。

調査時期がリオオリンピック・パラリンピック直後だったことも影響し、選手の活躍が多数報道されたことも影響したと考えられる。

2-17 過去1年間に行った運動・スポーツに関するボランティア活動

(1) 単純集計結果（前年度比）

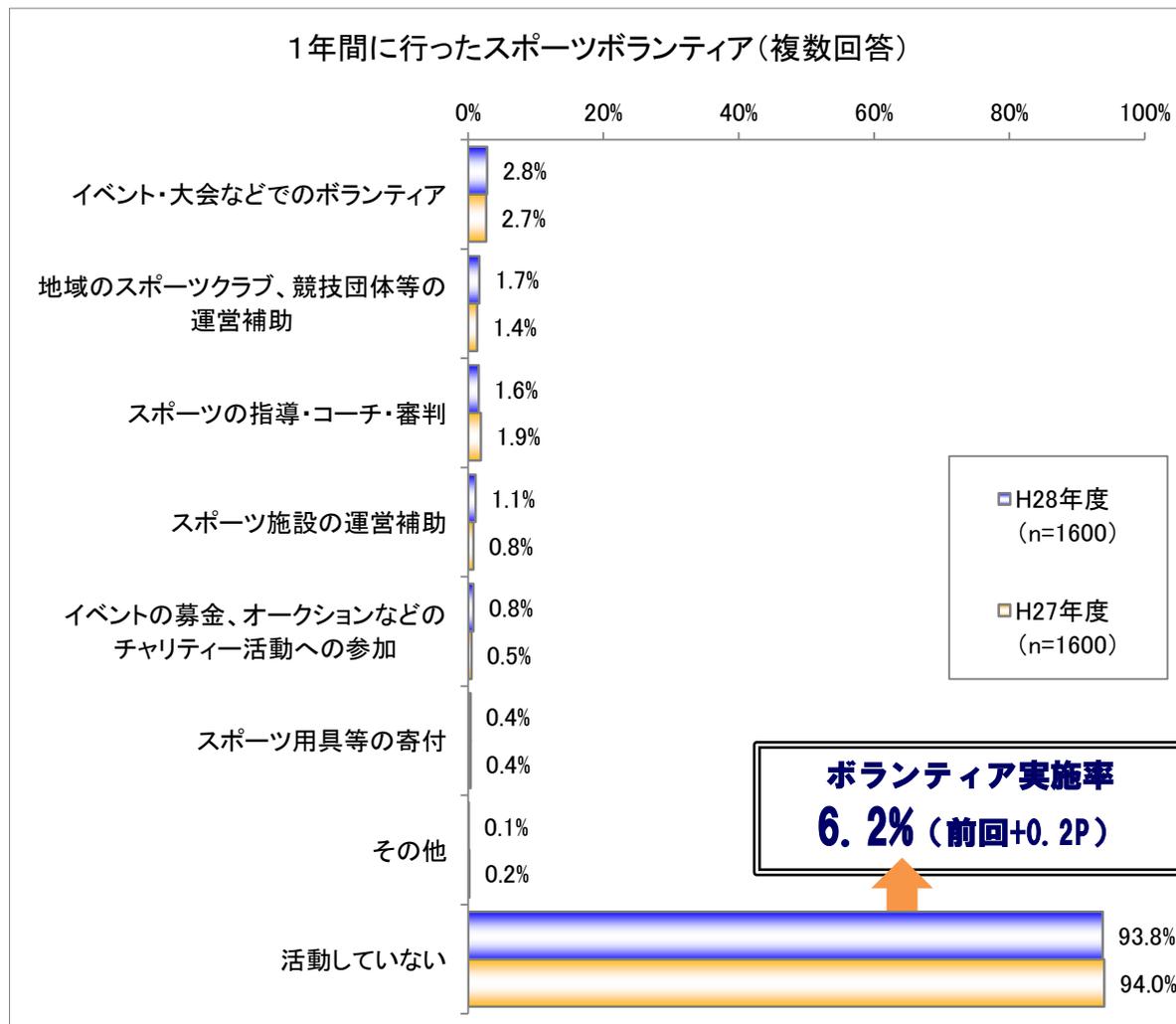


図 40

1年間に行ったスポーツボランティア活動は、「イベント・大会などでのボランティア」（2.8%）が高く、「地域のスポーツクラブ、競技団体等の運営補助」（1.7%）、「スポーツの指導・コーチ・審判」（1.6%）と続く。

しかしながら、「活動していない」（93.8%）が圧倒的に高く 9割以上がスポーツ関連のボランティアには参加していない状況であり、ボランティアの参加率は、6.2%（前回+0.2ポイント）となった。27年度と比較しても、割合・傾向ともにほぼ変わらない。

(2) 性別・年代による比較

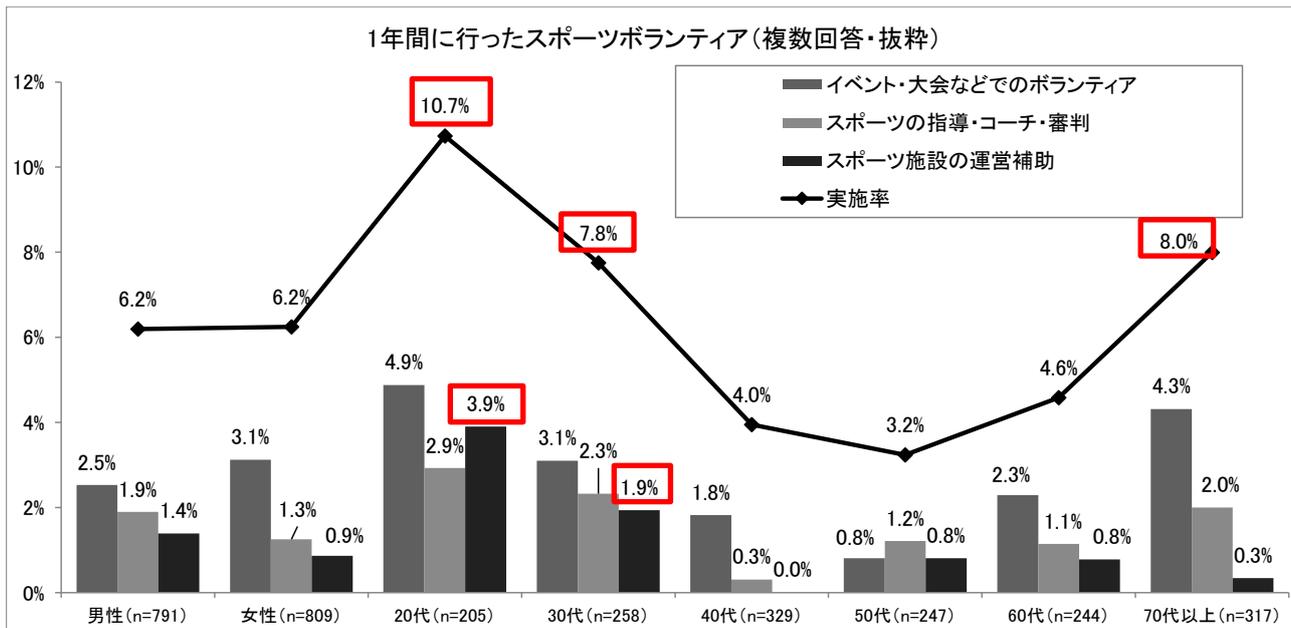


図 41

【男性】【女性】には、実施率・実施項目に差はあまり見られない。一方で、年代で比較すると、【20代】の実施率が10.7%と一番高く、【70代以上】が8.0%、【30代】が7.8%と続く。
 また、実施項目では、どの年代においても「イベント・大会などでのボランティア」の割合が高い。【20代】【30代】は、「スポーツ施設の運営補助」の割合が比較的高く、特に【20代】は【40代以上】に対して有意差があった ($p < 0.05$)。

2-18 興味があるスポーツボランティア

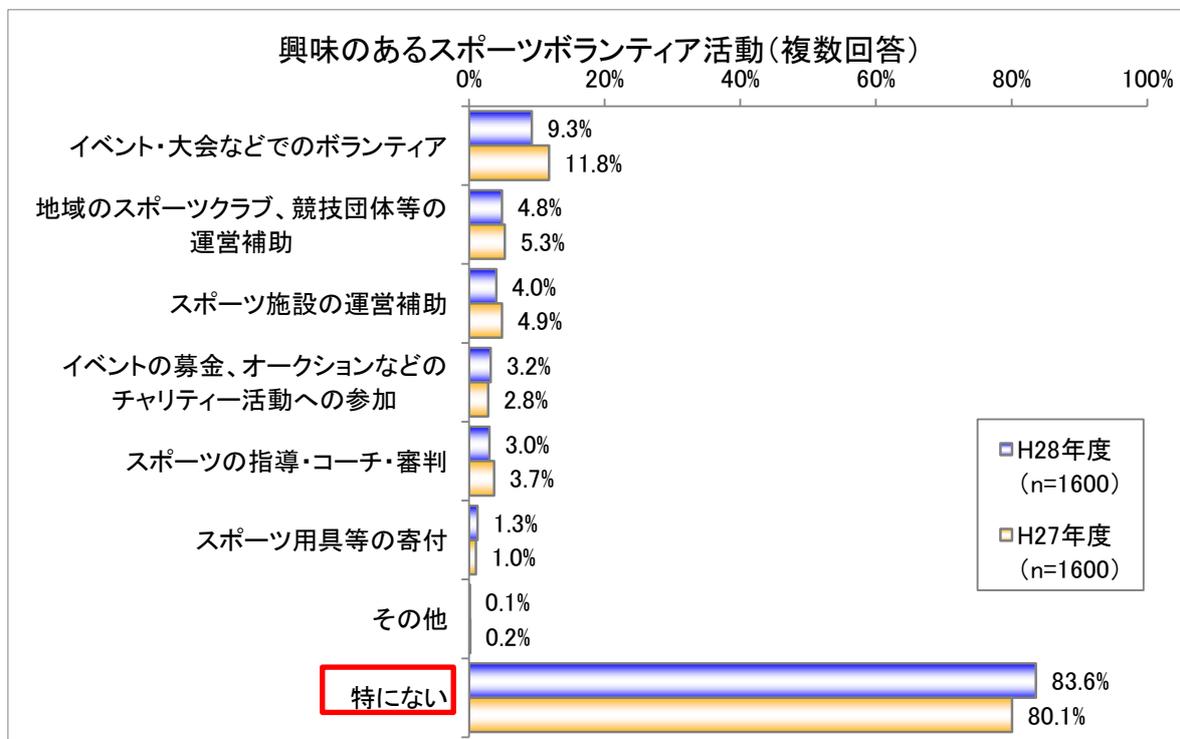


図 42

興味があるボランティア活動は、「イベント・大会などでのボランティア」(9.3%)が一番高く、「地域のスポーツクラブ、競技団体等の運営補助」(4.8%)、「スポーツ施設の運営補助」(4.0%)と続く。27年度と比較しても、割合・傾向ともにほぼ変わらない。「特になし」(83.6%)が圧倒的に高く、8割以上となっており、スポーツボランティア活動の興味は、まだまだ低い状態と言える。

2-19 今後、スポーツボランティア活動に参加したいか

(1) 単純集計結果（前年度比）

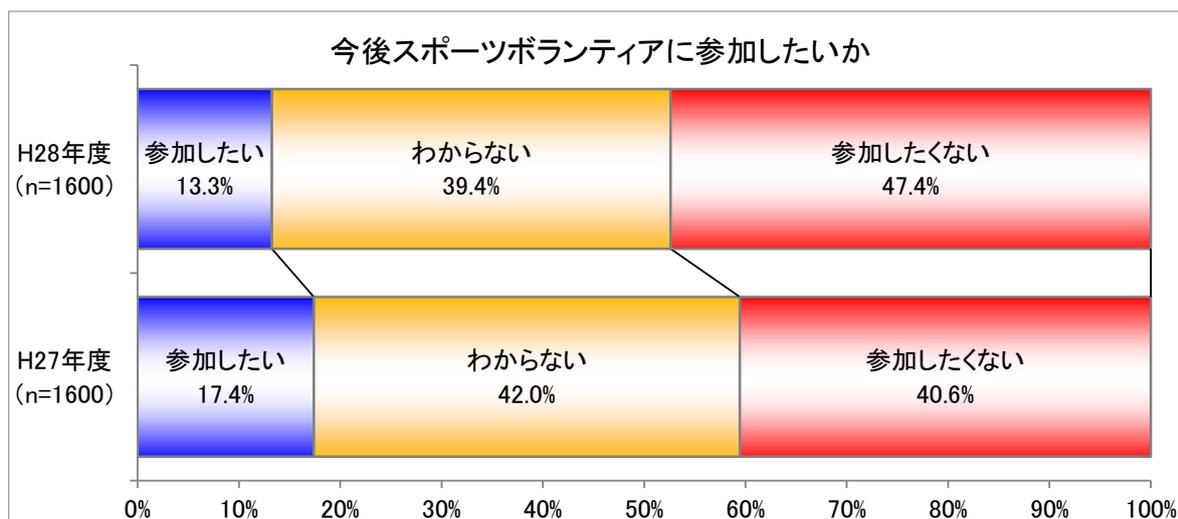


図 43

今後スポーツボランティアに参加したいかは、「参加したい」（13.3%）、「参加したくない」（47.4%）と「わからない」（39.4%）となった。

27年度と比較すると、「参加したい」が4.1ポイント減少し、「参加したくない」が6.8ポイント増加した。

(2) 性別・年代による比較

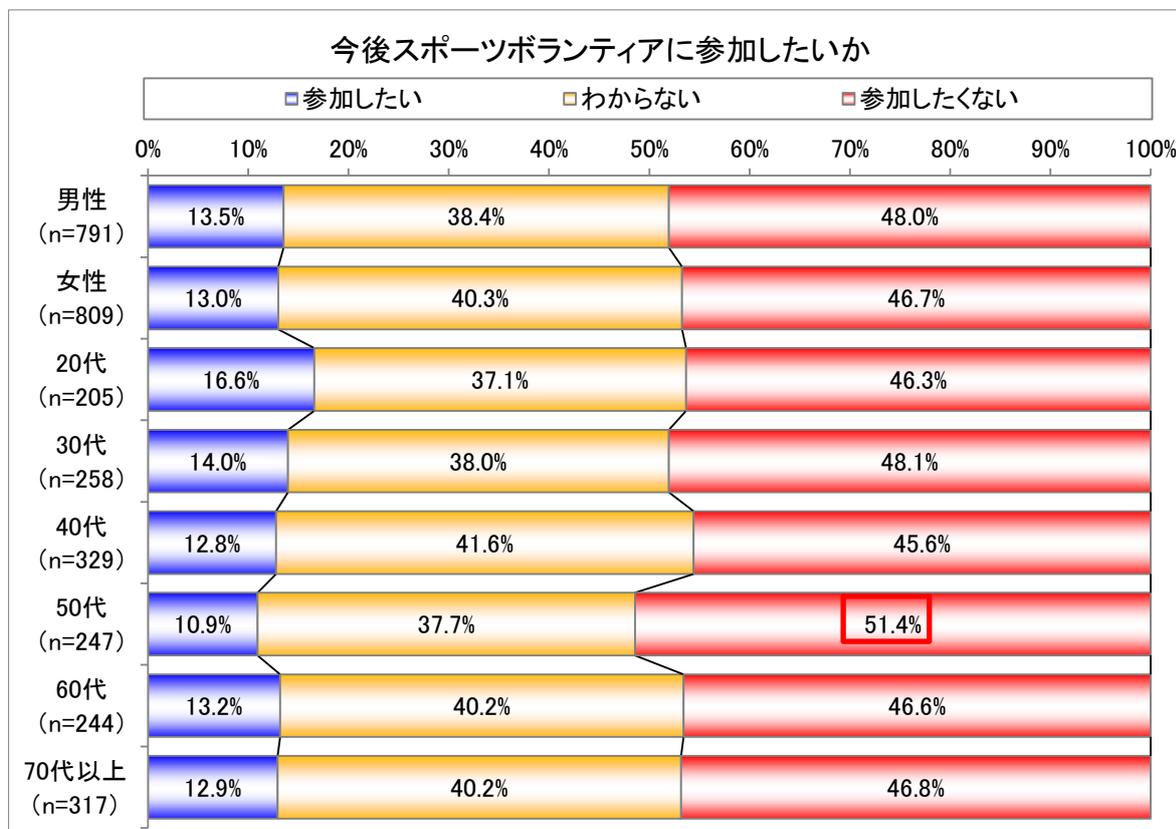


図 44

いずれの年代においても、「参加したい」とする割合は10%代に留まった。また、「参加したくない」とする割合が過半数近くに達している。

なお、【50代】では、「参加したくない」が51.4%となり、過半数を上回る結果となった。

2-20 どのようなきっかけがあればボランティア活動に参加(継続)するか

(1) 単純集計結果（前年度比）

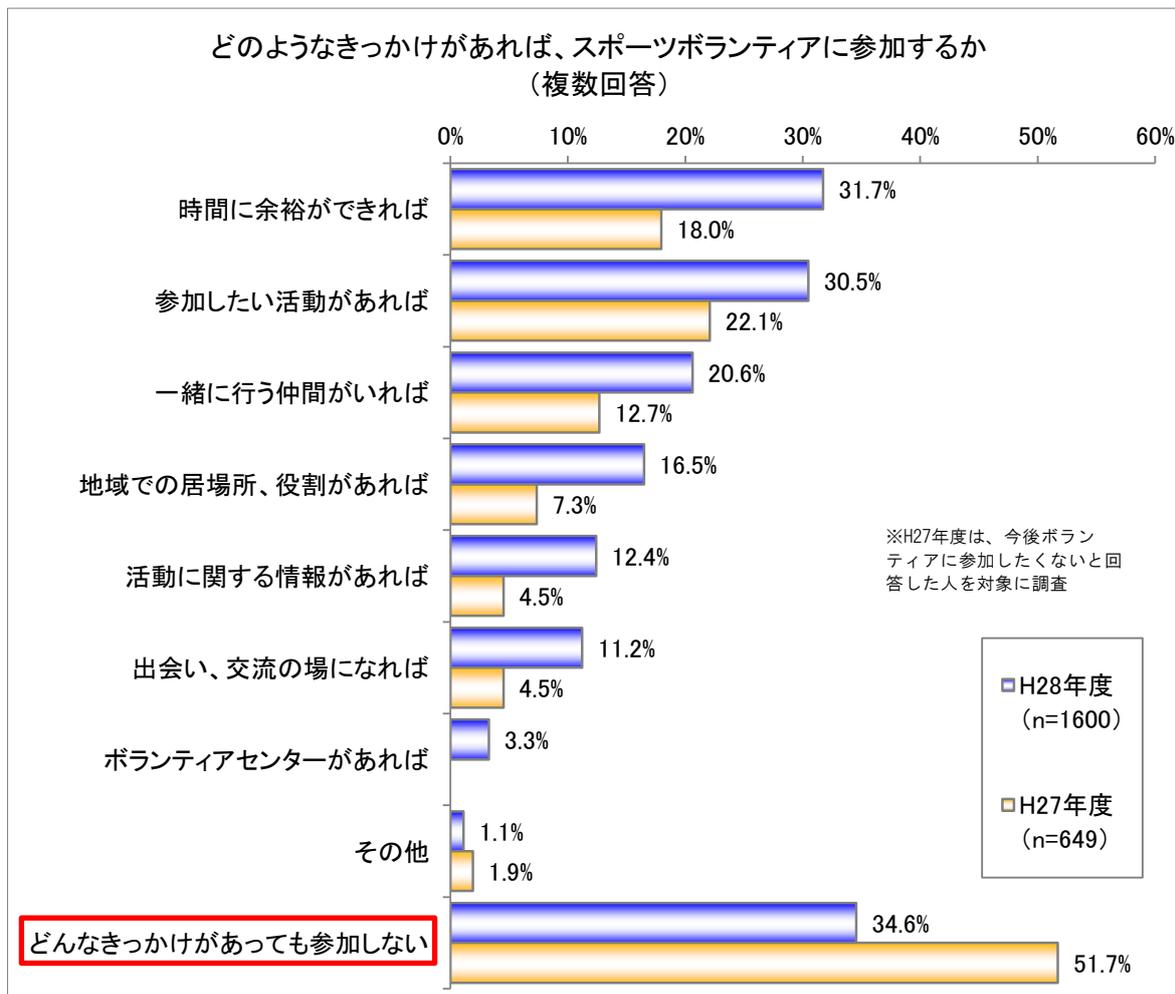


図 45

どのようなきっかけがあればスポーツに関するボランティア活動に参加するかは、「時間に余裕ができれば」(31.7%)、「参加したい活動があれば」(30.5%)、「一緒に行く仲間がいれば」(20.6%)と続く。

しかしながら、「どんなきっかけがあっても参加しない」(34.6%)が最も高く、スポーツボランティアの推進は、まだまだ厳しい状況である。

27年度と比較すると、27年度は【今後ボランティア活動に参加したくない】と回答した人を対象に調査しているため、「どんなきっかけがあっても参加しない」とする回答の割合が高くなっている。しかしながら、「時間に余裕ができれば」、「参加したい活動があれば」、「一緒に行く仲間がいれば」とする回答が高い傾向は変わらない。

(2) 年代による比較

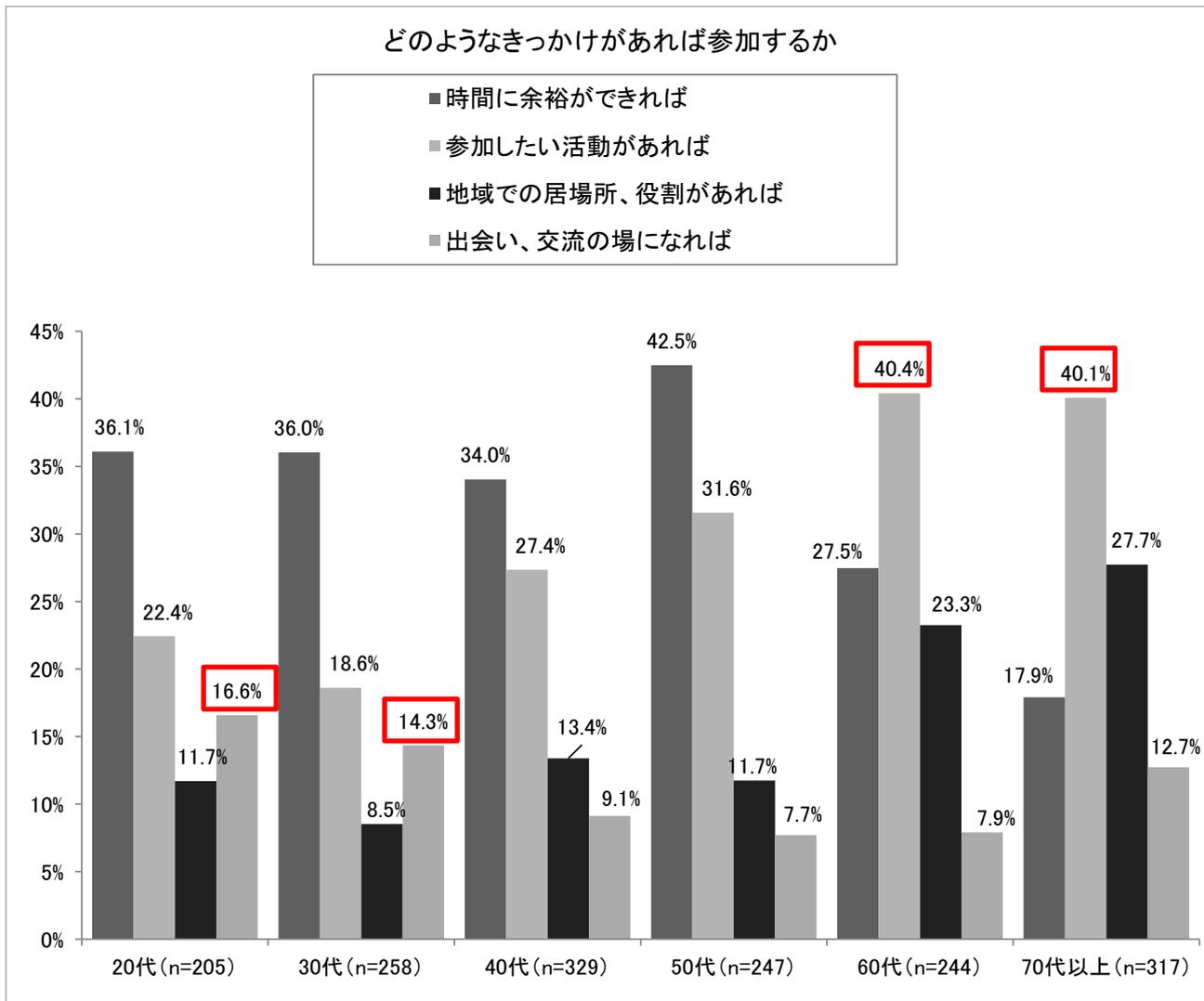


図 46

【20代～50代】は、「時間に余裕があれば」の割合が圧倒的に高く、3割～4割近くが回答している。ついで、「参加したい活動があれば」が続く。

【20代】、【30代】は、「出会い、交流の場になれば」の回答割合も比較的高く、【40代～60代】に対して有意差があった ($p < 0.05$)。

【60代】、【70代】は、「参加したい活動があれば」の割合が圧倒的に高く、「時間に余裕があれば」もしくは、「地域での居場所、役割があれば」が続く。

2-21 子どもの頃に身体を動かして遊ぶことが好きだったか

(1) 単純集計結果（前年度比）

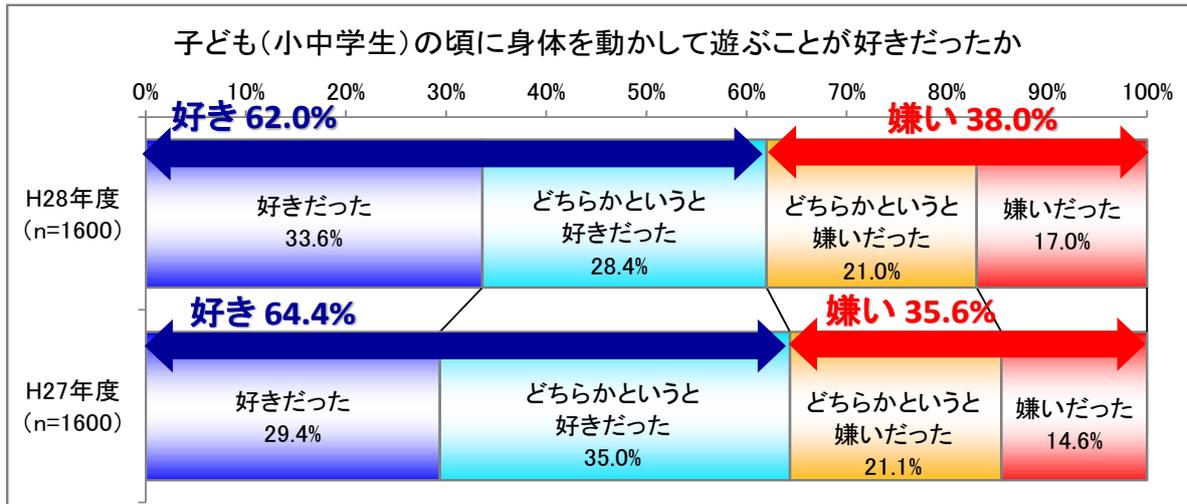


図 47

子どもの頃に身体を動かして遊ぶことが好きだったかは、「好きだった」（33.6%）と「どちらかという好きだった」（28.4%）が高い。「好きだった」と「どちらかという好きだった」を足した「好き」な傾向は62.0%となっており、「どちらかという嫌いだった」と「嫌いだった」を足した「嫌い」な傾向は38.0%となっている。

27年度と比較しても、「好き」と「嫌い」の傾向と割合はほぼ変わらない。子どもの頃は、比較的体を動かして遊ぶことが好きな傾向にある。

(2) 性別・年代による比較

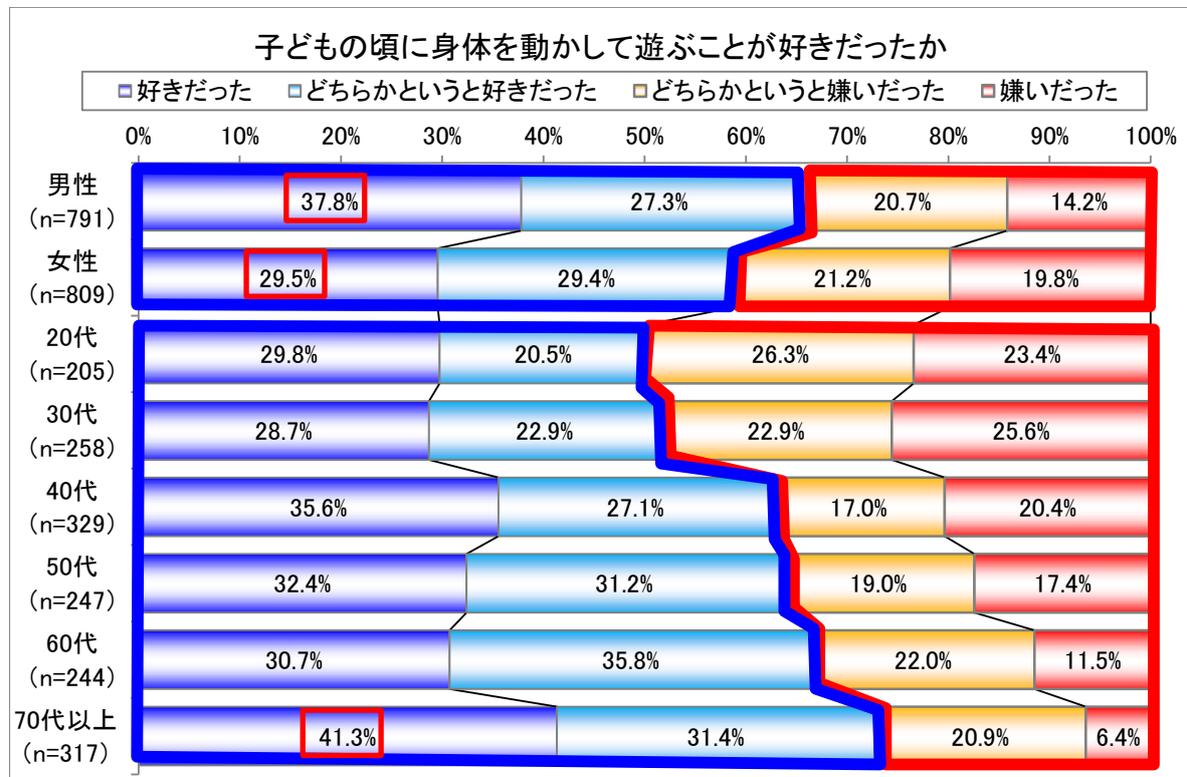


図 48

【男性】は【女性】よりも比較的「好き」だった傾向が高く、有意差があった ($p < 0.05$)。年代で比較すると、【70代以上】は、「好き」だった傾向が非常に高く、7割以上が「好き」だった傾向にある。年代が下がるにつれて、「好き」だった傾向が低くなり、【20代】、【30代】は、「好き」と「嫌い」の傾向がほぼ同じくらいとなっている。

2-22 子どもの頃に行っていた運動・スポーツ

(1) 単純集計結果（前年度比）

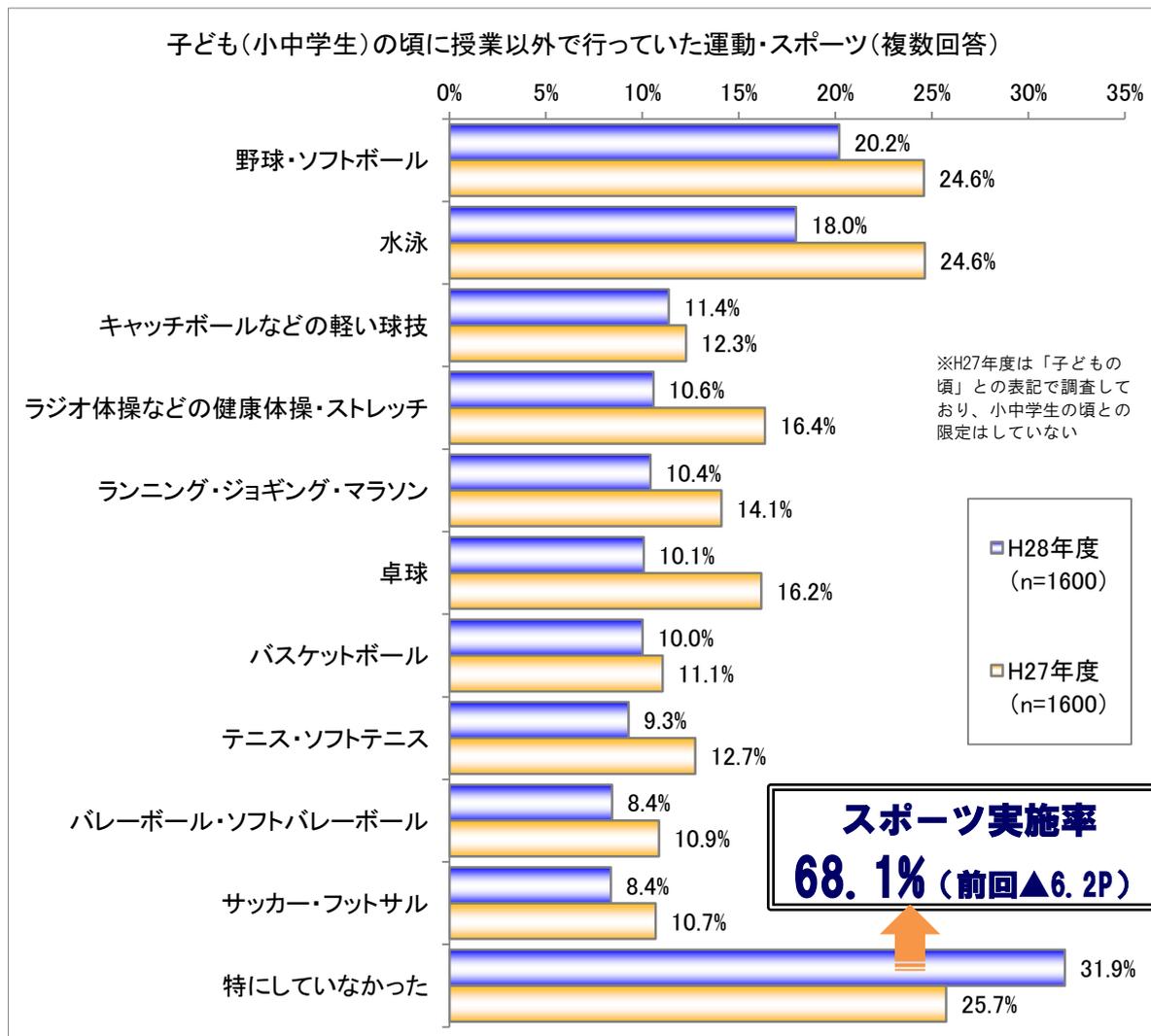


図 49

自身が子どもの頃に行っていた運動・スポーツは、「野球・ソフトボール」(20.2%)が一番高く、「水泳」(18.0%)、「キャッチボールなどの軽い球技」(11.4%)、「ラジオ体操などの健康体操・ストレッチ」(10.6%)と続く。

また、「特にしていなかった」が31.9%となったため、運動・スポーツの実施率は68.1%(前回▲6.2ポイント)となった。28年度は、「子どもの頃」を「小中学生の頃」と限定したことが影響している可能性がある。

(2) 年代による比較

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代 (n=205)	水泳 19.5%	野球・ ソフトボール 14.1%	キャッチボール などの軽い球技 12.2%	テニス・ ソフトテニス 12.2%	バスケットボール 10.7%
30 代 (n=258)	水泳 22.9%	野球・ ソフトボール 14.0%	サッカー・ フットサル 13.6%	バスケットボール 12.0%	ランニング・ ジョギング・マラソン 11.6%
40 代 (n=329)	水泳 23.1%	野球・ ソフトボール 21.3%	バスケットボール 12.8%	ランニング・ ジョギング・マラソン 12.8%	ラジオ体操などの 健康体操・ストレッチ 12.2%
50 代 (n=247)	野球・ ソフトボール 26.3%	水泳 14.2%	テニス・ ソフトテニス 12.6%	バスケットボール 11.7%	キャッチボール などの軽い球技 11.3%
60 代 (n=244)	野球・ ソフトボール 20.3%	キャッチボール などの軽い球技 15.8%	卓球 13.8%	水泳 12.2%	ラジオ体操などの 健康体操・ストレッチ 11.0%
70 代 以上 (n=317)	野球・ ソフトボール 23.2%	ラジオ体操などの 健康体操・ストレッチ 17.5%	卓球 16.0%	水泳 15.1%	キャッチボール などの軽い球技 13.7%

表 1

いずれの年代も、「水泳」や「野球・ソフトボール」は上位 5 位以内に入っている。【40 代】を境に、「野球・ソフトボール」が 2 位から 1 位に上がり、【60 代】、【70 代以上】は「水泳」が 4 位となっている。

【60 代】、【70 代以上】は「卓球」が 3 位に入っており、【20 代】、【50 代】は「テニス・ソフトテニス」、【20 代～50 代】は「バスケットボール」が入っている。

【30 代】、【40 代】は、上位 5 位以内に「キャッチボールなどの軽い球技」は入らなかった。また、【20 代】、【30 代】、【50 代】は、上位 5 位以内に「ラジオ体操などの健康体操・ストレッチ」が入らなかった。

2-23 お子さんが学校の授業やカリキュラム以外で運動・スポーツを行っているか

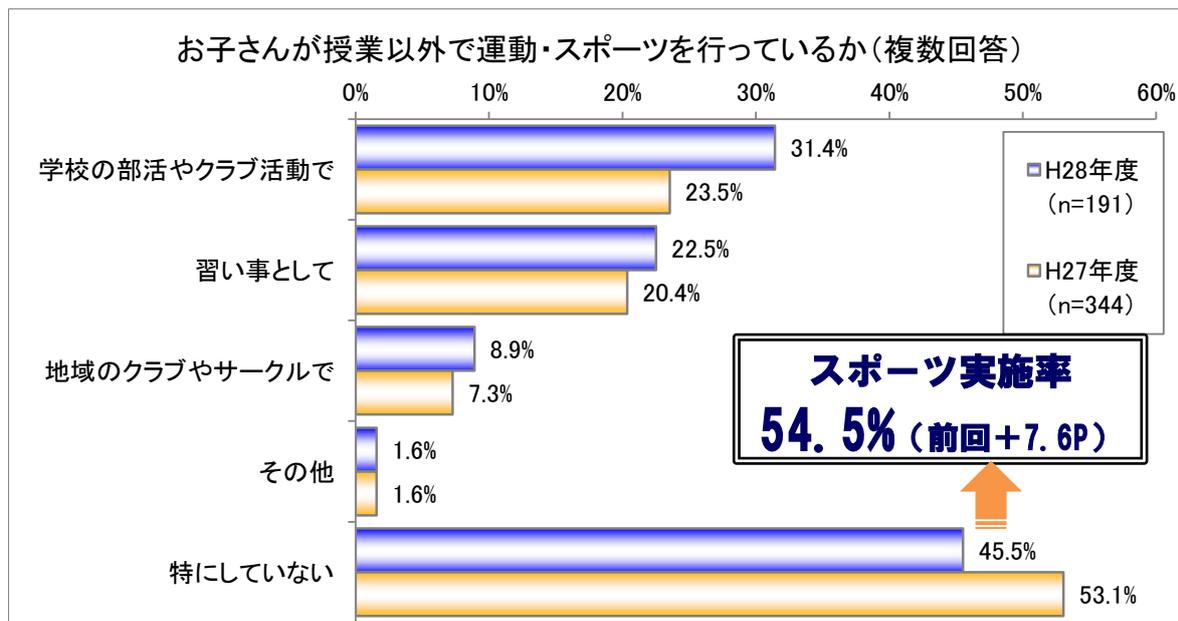


図 50

※小・中・高校生のお子さんがある方に聞いている。ただし、27年度は未就学児も含む。

お子さんの授業以外での運動・スポーツの実施状況は、「学校の部活やクラブ活動で」(31.4%)が
高く、「習い事として」(22.5%)が続く。

また、「特にしていない」が45.5%となったため、運動・スポーツの実施率は54.5%(前回+7.6ポ
イント)となった。

27年度と比較しても、運動・スポーツ実施場面の割合・傾向は、ほぼ変わらない。28年度は、未
就学児が対象から外れたことも影響し、「特にしていない」が7.6ポイント減少したものの、半数近
くが運動・スポーツを行っていない状況となっている。また、運動は「学校の部活やクラブ活動」で
行っている割合が3割を占めている。

なお、お子さんの年齢層は、以下の図51のとおり、27年度と28年度であまり変わらない。

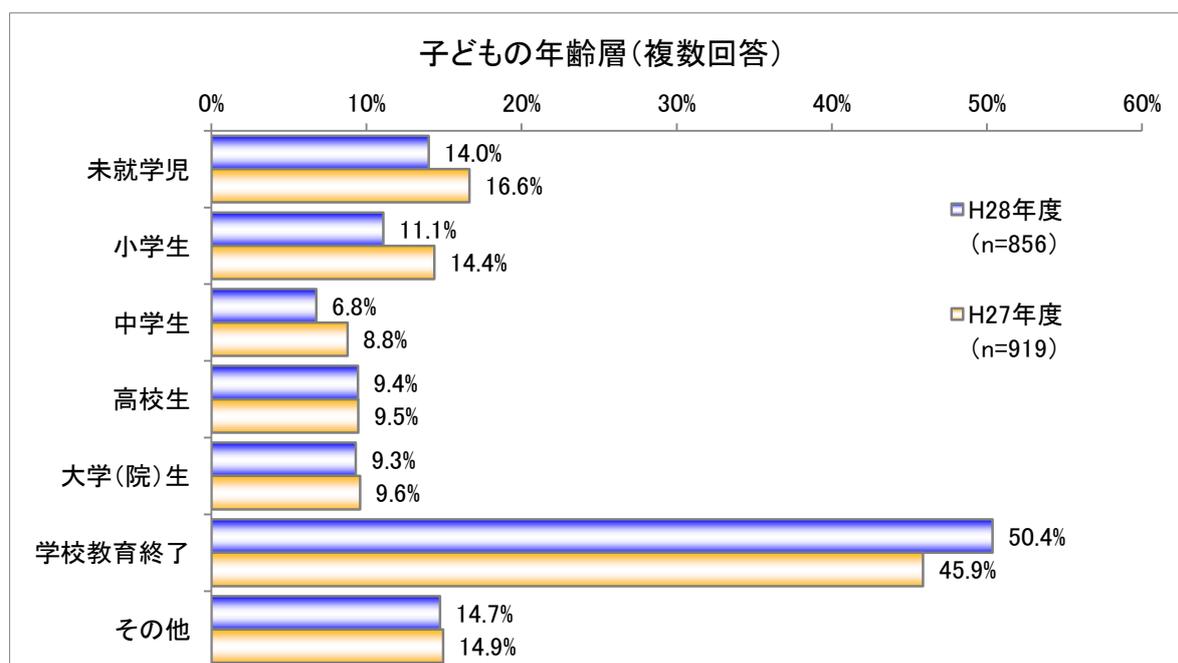


図 51

2-24 お子さんが定期的に行っている運動・スポーツ

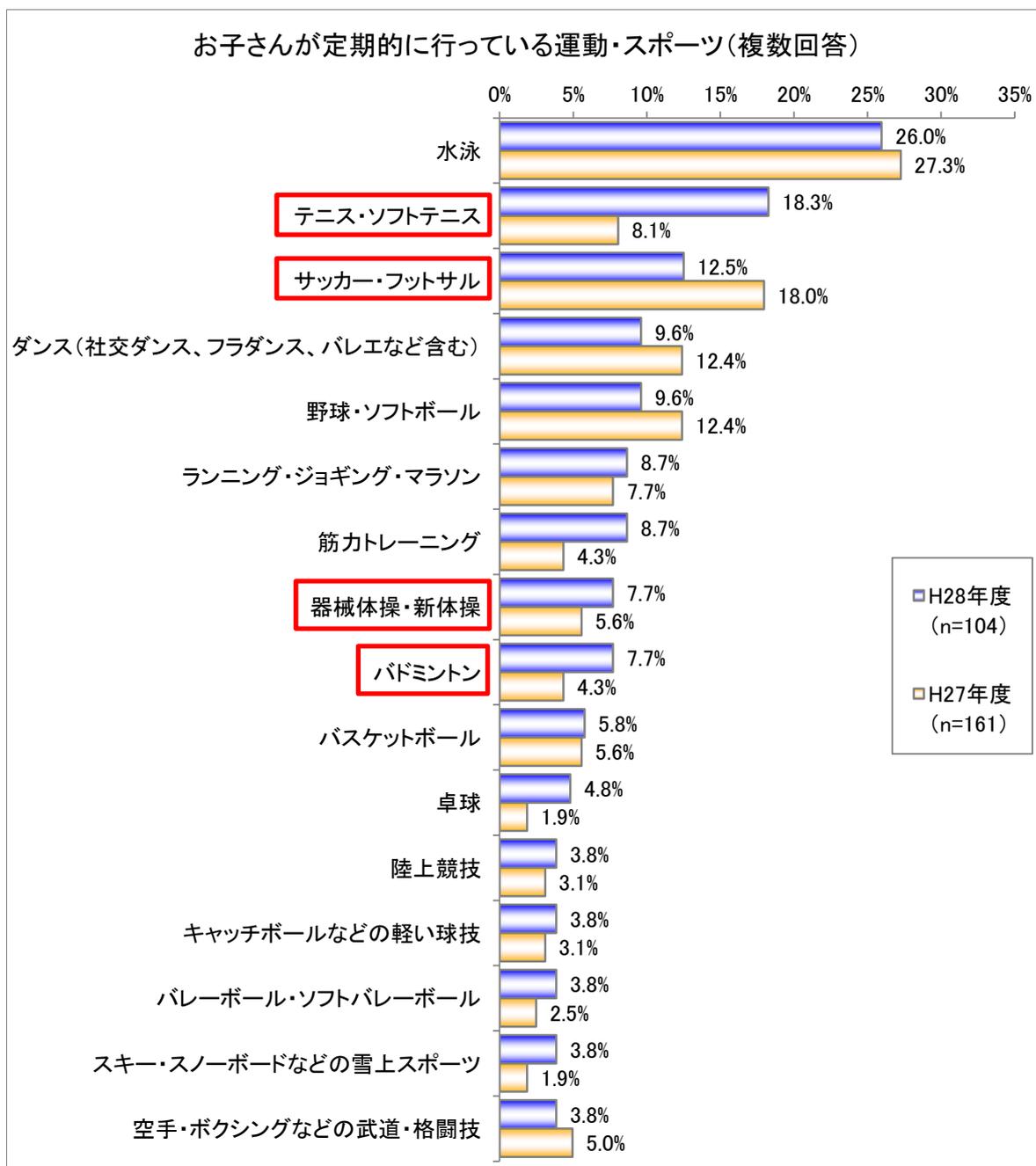


図 52

お子さんが定期的に行っている運動・スポーツは、「水泳」(26.0%)と「テニス・ソフトテニス」(18.3%)が高い。これに、「サッカー・フットサル」(12.5%)、「ダンス(社交ダンス、フラダンス、バレエなど含む)」(9.6%)、「野球・ソフトボール」(9.6%)と続く。

27年度と比較すると、「テニス・ソフトテニス」は、10.2ポイント増加し、7位から2位に上がった。また、「器械体操・新体操」は2.1ポイント、「バドミントン」は3.4ポイント増加し、それぞれ8位、9位に入った。一方、「サッカー・フットサル」は、5.5ポイント減少し、2位から3位に下がった。

また、27年度は、未就学児も対象として調査していたため「ラジオ体操などの健康体操・用事体操・ストレッチ」が6位(8.1%)に入っていたが、今回調査対象を小・中・高校生のお子さんに限定したことも影響し、17位(1.9%)に留まった。

2-25 子どもの頃に行っていた運動・スポーツとお子さんが行っている運動・スポーツ

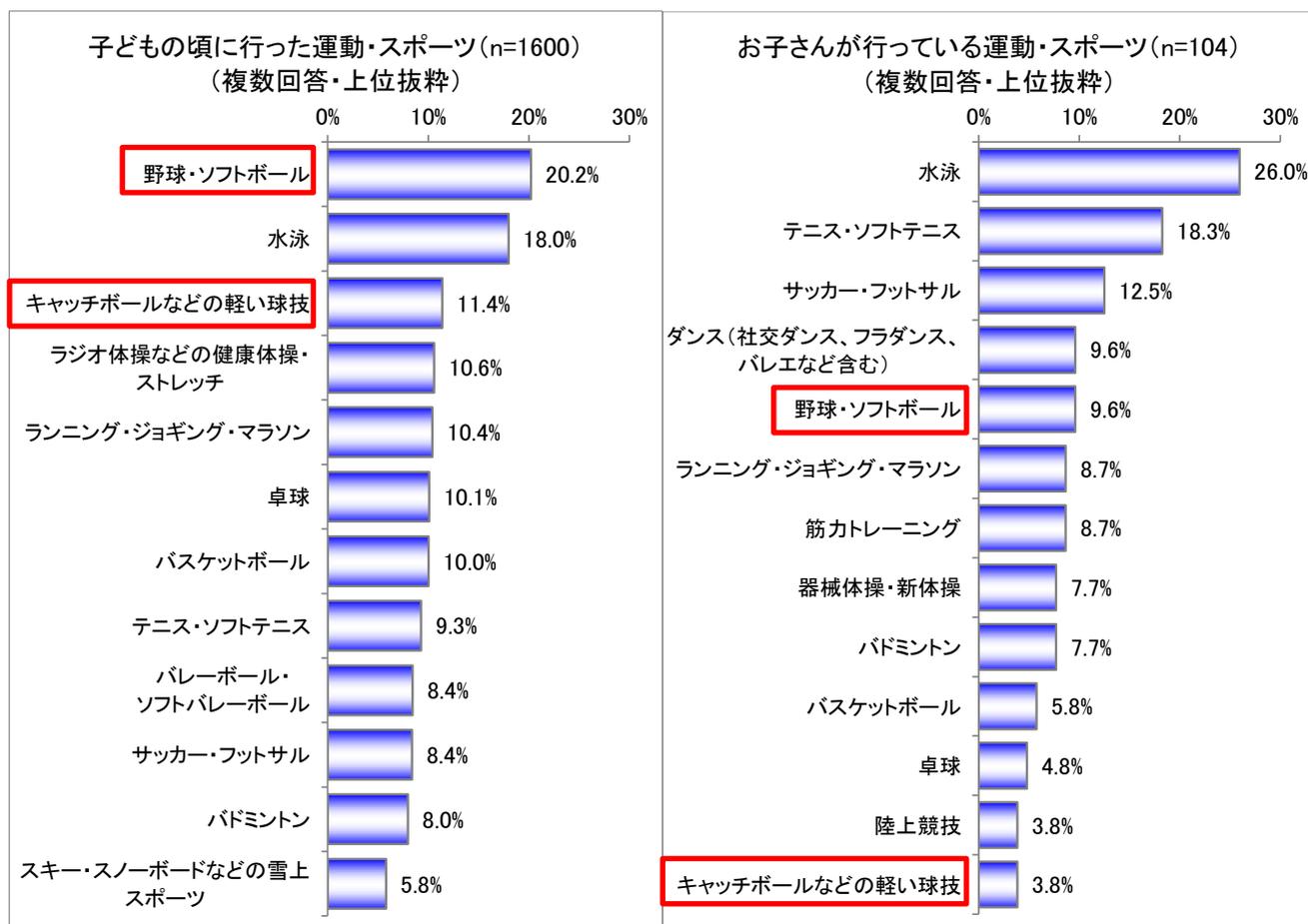


図 53

【回答者が子どもの頃に行っていた運動・スポーツ】は、「野球・ソフトボール」(20.2%)、「水泳」(18.0%)が高く、「キャッチボールなどの軽い球技」(11.4%)が続く。

【回答者のお子さんが行っている運動・スポーツ】は、「水泳」(26.0%)が最も高く、「テニス・ソフトテニス」(18.3%)、「サッカー・フットサル」(12.5%)と続く。

また、【回答者のお子さん】は、「サッカー・フットサル」(12.5%)、「ダンス」(9.6%)、が上位に入るなど、時代の流れとともに、子どもの運動・スポーツ実施種目には大きな変化が見られる。

【子どもの頃】の1位であった「野球・ソフトボール」(20.2%)は、【回答者のお子さん】では約半分(9.6%)に減少している。さらに、【子どもの頃】の3位であった「キャッチボールなどの軽い球技」は11.4%から3.8%の約1/3に減少し、13位に留まっている。

上記に挙げた項目も含め、ボールを投げる競技の実施率が大幅に落ちていることが分かる。このことが、遠投能力の低下につながっている要因の一つとも考えられる。

2-26 横浜市内や区内のスポーツに関する情報の入手先

(1) 単純集計結果（前年度比）

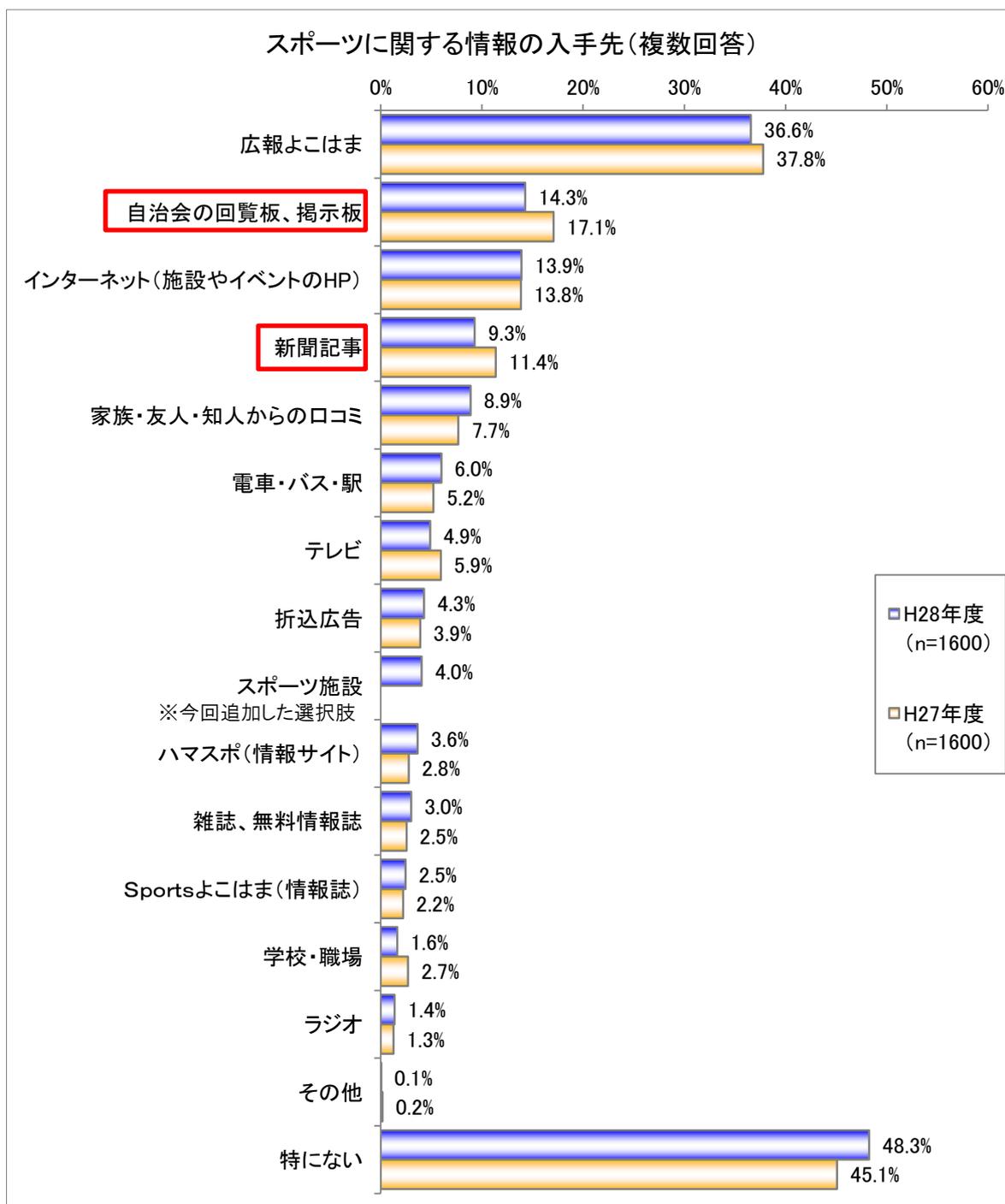


図 54

スポーツに関する情報の入手先は、「広報よこはま」（36.6%）が圧倒的に高い。これに、「自治会の回覧板、掲示板」（14.3%）、「インターネット（施設やイベントのホームページ）」（13.9%）、「新聞記事」（9.3%）と続く。しかしながら、「特にない」が 48.3%となっており、情報を自ら入手していない割合が高い。

27年度と比較すると、「自治会の回覧板、掲示板」が 2.8 ポイント減少したものの 2 位を維持している。また、「新聞記事」も 2.1 ポイント減少したものの 4 位を保った。その他、各項目の割合・傾向はほぼ変わらない。

また、情報の入手先は「特にない」とする割合が、27年度も約 5 割程度おり、この傾向も変わらない。

(2) 年代による比較

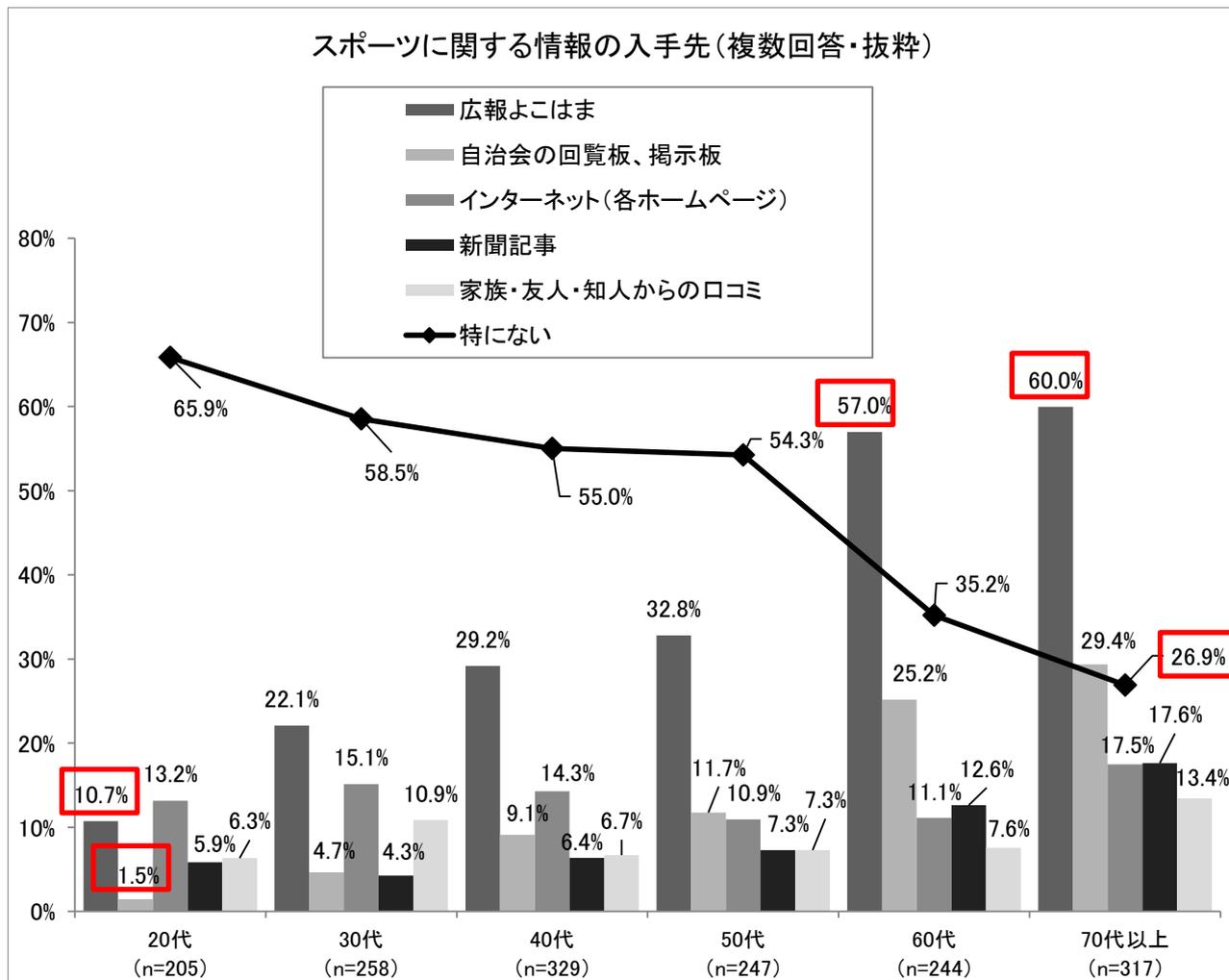


図 55

【60代】、【70代以上】は、「広報よこはま」の割合が圧倒的に高く、いずれも約6割近くに達している。一方で、【20代】は、「広報よこはま」の割合が1割程度に留まっている。

また、「自治体の回覧板、掲示板」も同様に、【60代】、【70代以上】は回答の割合が高いが、【20代】は、わずか1%台と非常に低くなっている。

【70代以上】は、各情報媒体から情報を得ている割合が高く、「特に入手していない」割合が26.9%に留まる。しかし、年代とともに入手割合が減少し、【20代】は、6割以上が情報を「特に入手していない」状況となっている。

2-27 どのようなスポーツ情報が欲しいか

(1) 単純集計結果（前年度比）

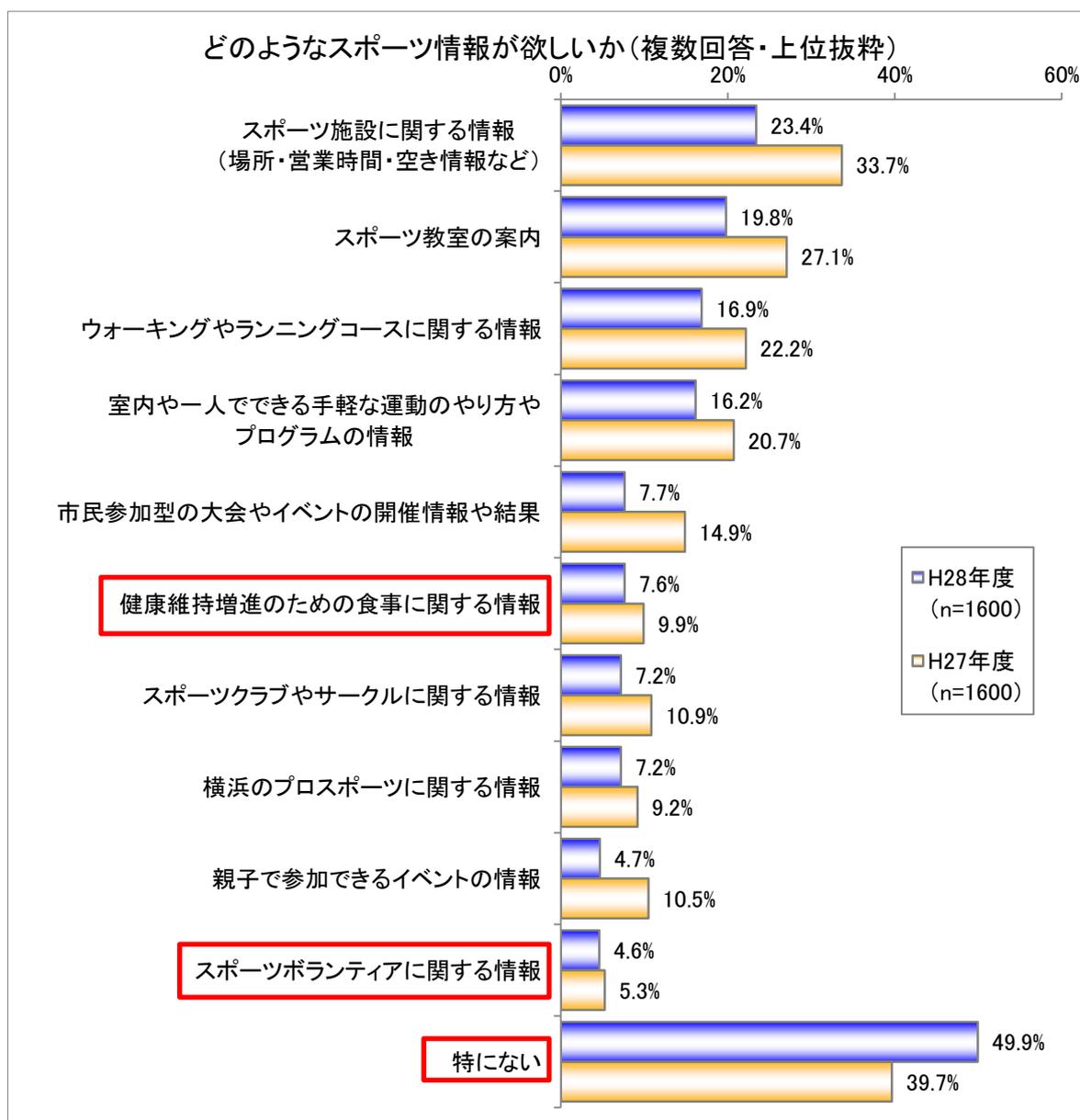


図 56

どのようなスポーツ情報が欲しいかは、「スポーツ施設に関する情報（場所・営業時間・空き情報など）」（23.4%）が高く、「スポーツ教室の案内」（19.8%）、「ウォーキングやランニングコースに関する情報」（16.9%）、「室内や一人でできる手軽な運動のやり方やプログラムの情報」（16.2%）と続く。ただし、「特になし」（49.9%）が過半数近くを占めている。

27年度と比較すると、「特になし」とする割合が10.2ポイント増えたため、その他の回答割合が全体的に低くなっている。「健康維持増進のための食事に関する情報」（7.6%）は2.3ポイント減少したものの、8位から6位に上がった。また、「スポーツボランティアに関する情報」（4.6%）は0.7ポイント減少したものの11位から10位に上がった。その他の各項目についても傾向はほぼ変わらない。

(2) 年代による比較

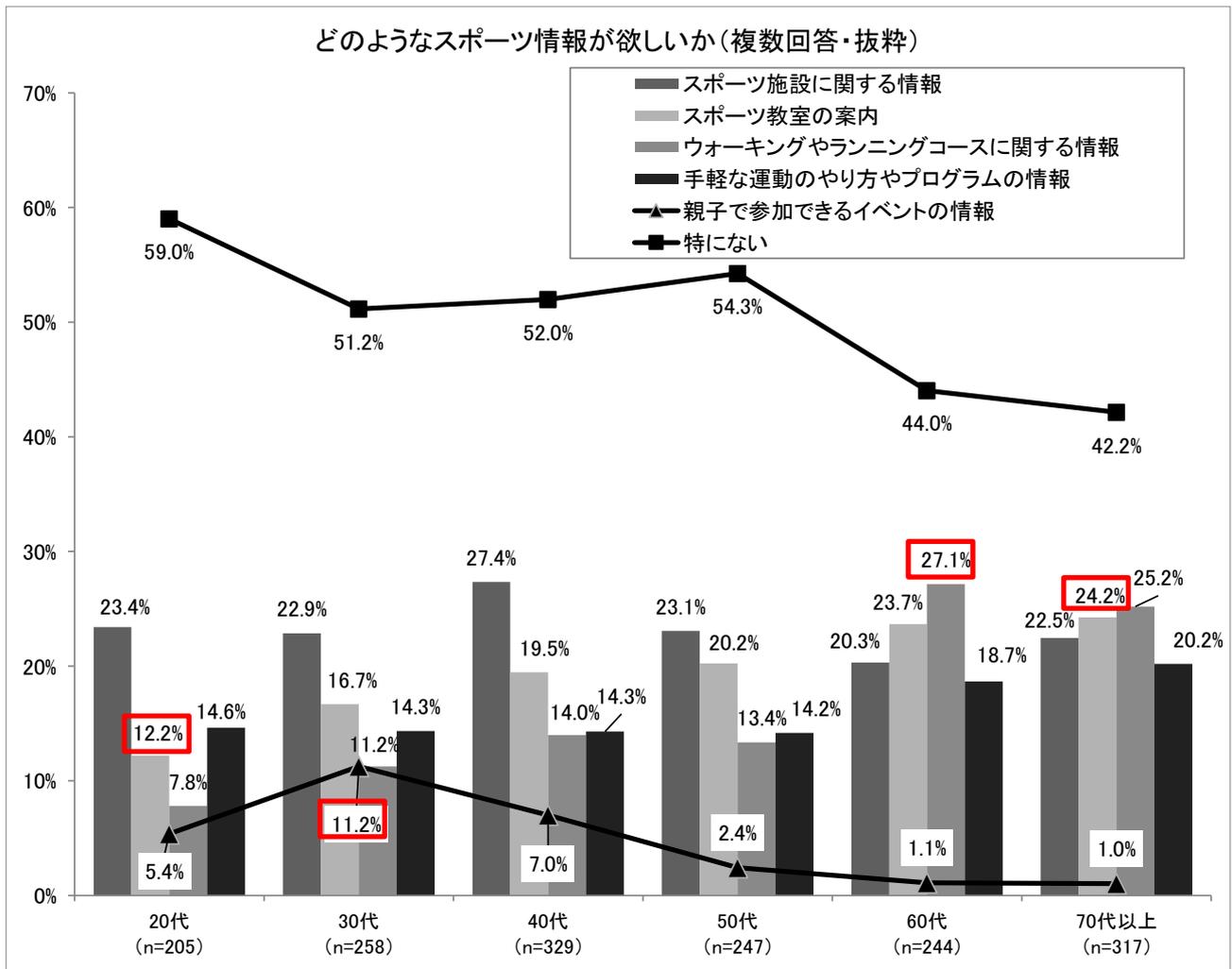


図 57

いずれの年代においても、「スポーツ施設に関する情報(場所・営業時間・空き情報など)」は比較的高くなっており、【20代~50代】では欲しい情報の1位となっている。

【30代】は、「親子で参加できるイベントの情報」の割合が比較的高くなっており、40代を除く各世代に対して有意差があった($p < 0.05$)。

「スポーツ教室の案内」は、年代が上がるにつれて希望する割合が高くなっており、【20代】(12.2%)と【70代以上】(24.2%)では、約2倍の差が生じている。

また、【60代】は、「ウォーキングやランニングコースに関する情報」(27.1%)の割合がどの年代よりも高く、欲しい情報の1位となっている。

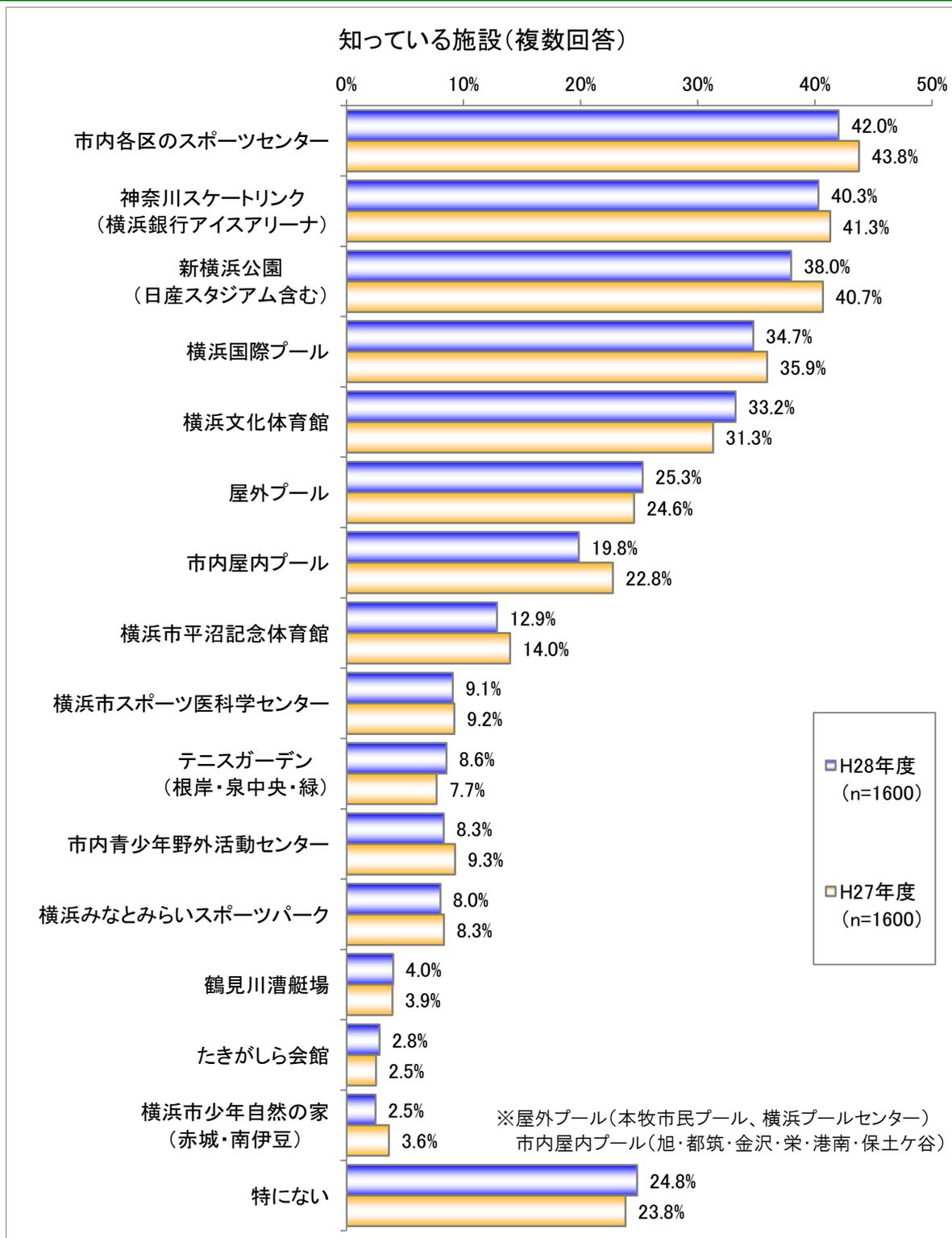


図 58

知っている施設は、「市内各区のスポーツセンター」(42.0%)が最も高い。次いで、「神奈川スケートリンク(横浜銀行アイスアリーナ)」(40.3%)、「新横浜公園(日産スタジアム含む)」(38.0%)、「横浜国際プール」(34.7%)と続く。

27年度と比較しても、割合に若干の増減はあるものの、認知度の傾向に大きな変動はない。

2-29 利用したことがある施設

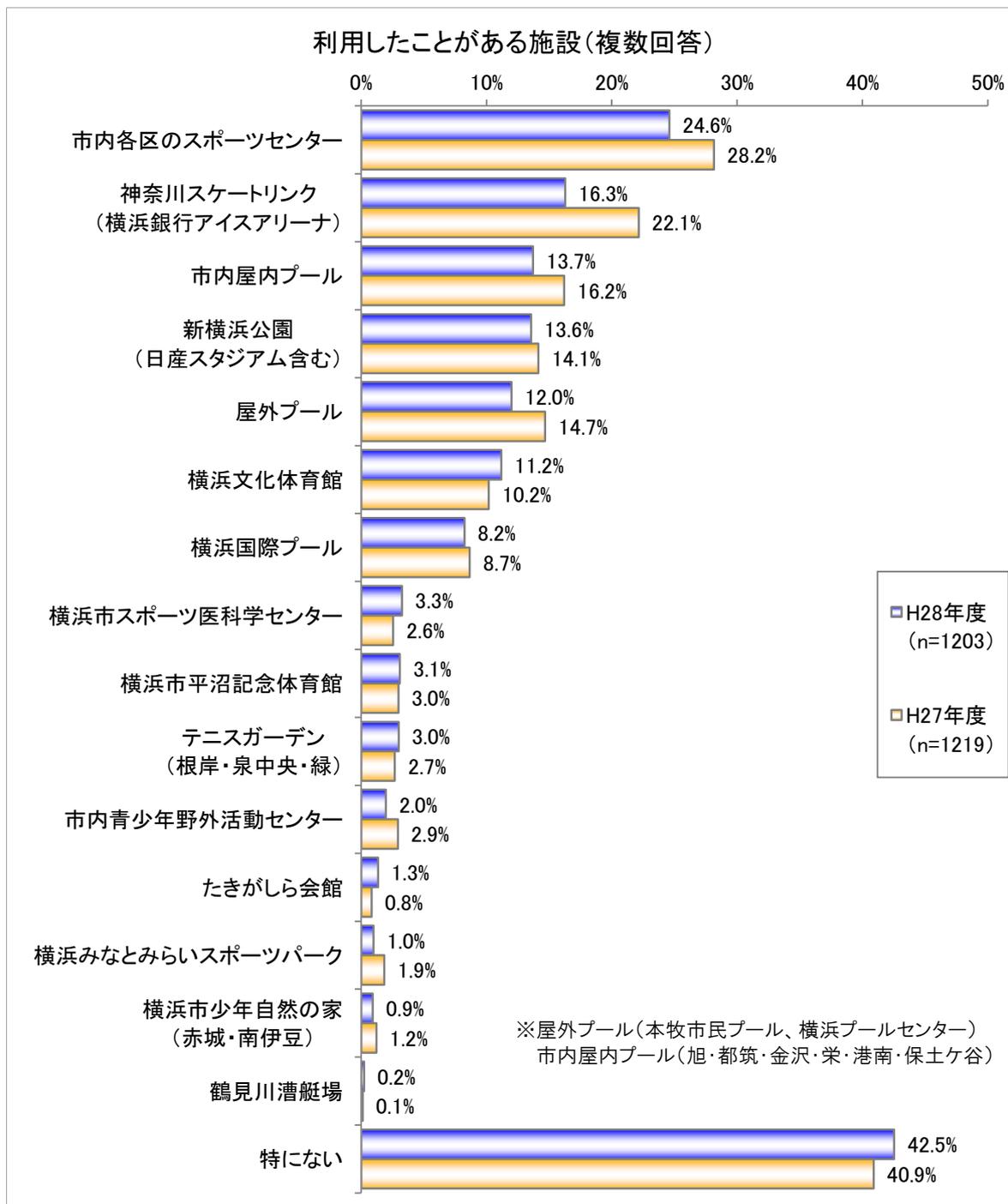


図 59

利用したことがある施設は、「市内各区のスポーツセンター」(24.6%)が高い。これに、「神奈川スケートリンク(横浜銀行アイスアリーナ)」(16.3%)、「市内屋内プール(旭・都筑・金沢・栄・港南・保土ヶ谷)」(13.7%)、「新横浜公園(日産スタジアム含む)」(13.6%)と続く。

27年度と比較すると、「市内各区のスポーツセンター」は3.6ポイント、「神奈川スケートリンク(横浜銀行アイスアリーナ)」は5.8ポイント、「市内屋内プール」は2.5ポイント減少したものの上位3位の順位に変動はない。また、その他の施設も、割合・傾向ともに大きな変動はない。

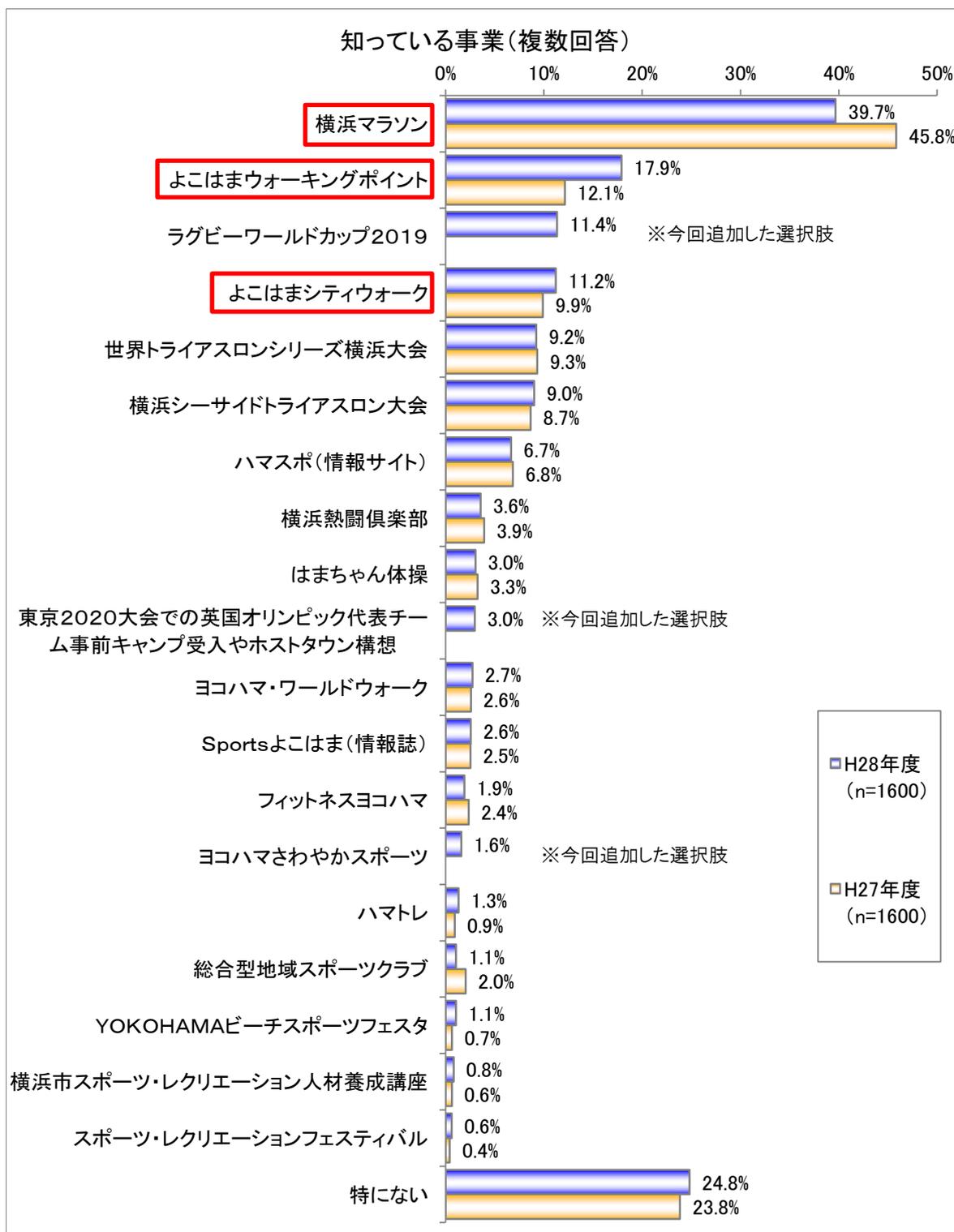


図 60

知っている事業は、「横浜マラソン」(39.7%)が圧倒的に高くなった。「よこはまウォーキングポイント」(17.9%)、「ラグビーワールドカップ2019」(11.4%)、「よこはまシティウォーク」(11.2%)、「世界トライアスロンシリーズ横浜大会」(9.2%)、「横浜シーサイドトライアスロン大会」(9.0%)と続く。

27年度と比較すると、「横浜マラソン」は45.8%から39.7%となり、6.1ポイント減少したものの1位となった。また、「よこはまウォーキングポイント」は、5.8ポイントの増加、「よこはまシティウォーク」は、1.3ポイントの増加となり、近年のウォーキングブームを色濃く反映する形となった。また、その他の事業は、割合・傾向ともに大きな変動はない。

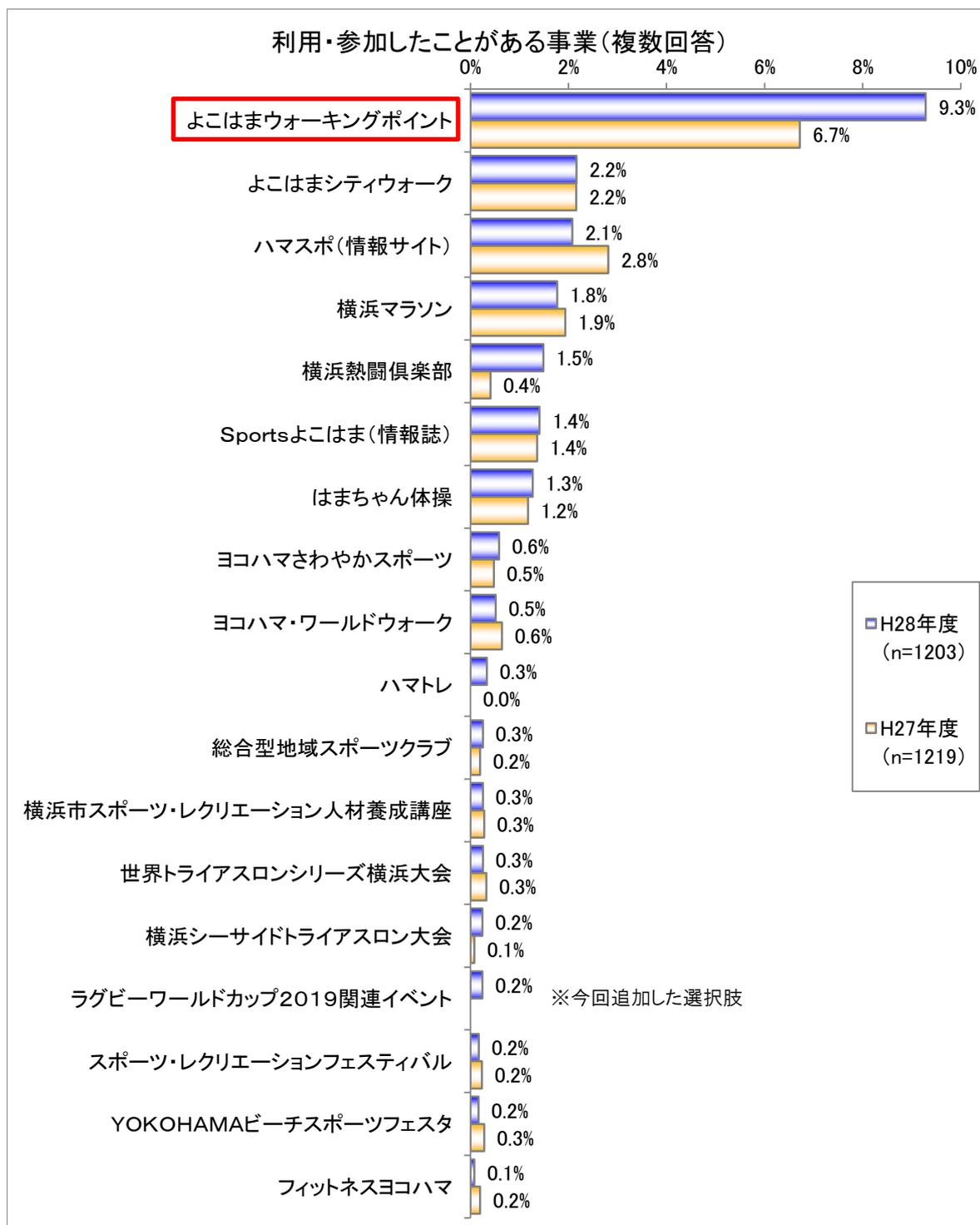


図 61

利用したことがある事業は、「よこはまウォーキングポイント」(9.3%)が圧倒的に高く、約1割に達する。「よこはまシティウォーク」(2.2%)、「ハマスポ(情報サイト)」(2.1%)、「横浜マラソン」(1.8%)と続く。

27年度と比較すると、「よこはまウォーキングポイント」は2.6ポイント増加しており、事業参加者が増えている。その他の項目は、割合・傾向ともに大きな変動は無く、全体的に割合は低い傾向にある。

2-32 公共スポーツ施設に望むこと

(1) 単純集計結果（前年度比）

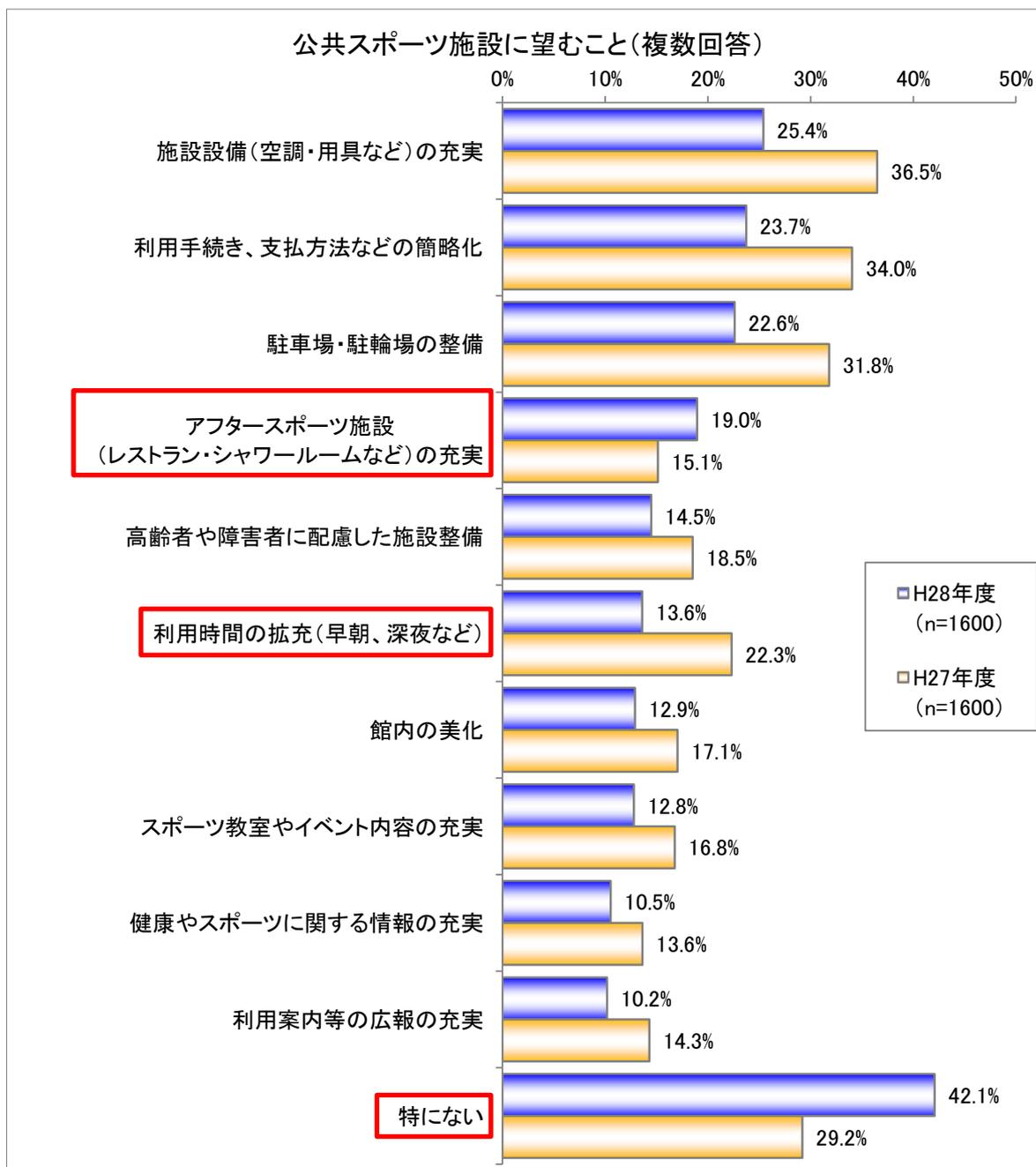


図 62

公共スポーツ施設に望むことは、「施設設備（空調・用具など）の充実」（25.4%）が高く、「利用手続き、支払方法などの簡略化」（23.7%）、「駐車場・駐輪場の整備」（22.6%）、「アフタースポーツ施設（レストラン・シャワールームなど）の充実」（19.0%）と続く。しかしながら、「特にない」（42.1%）が最も高く、4割に達する。

27年度と比較すると、「特にない」とする割合が12.9ポイント増えたため、その他の回答割合が全体的に低くなっている。ただし、「アフタースポーツ施設の充実」が15.1%から19.0%に増加（+3.9ポイント）し、9位から4位に上がった。一方で、「利用時間の拡充（早朝、深夜など）」は22.3%から13.6%に減少（▲8.7ポイント）し、4位から6位に下がった。

その他の項目は、割合・傾向ともに大きな変動はない。

(2) 年代による比較

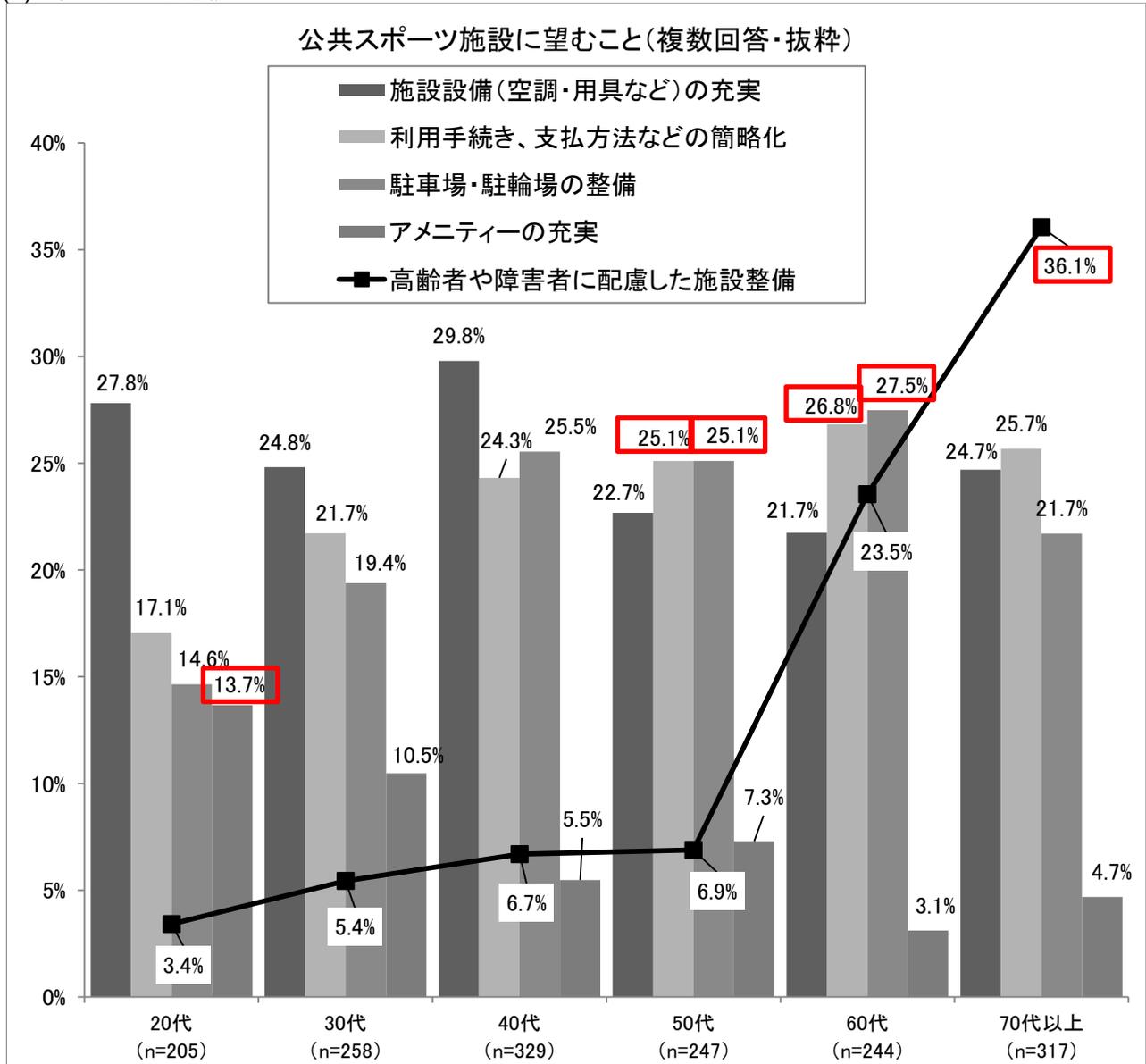


図 63

【20代~40代】は、「施設設備(空調・用具など)の充実」が高く、いずれの年代でも公共スポーツ施設に望むことの1位となっている。【50代】、【60代】になると、「利用手続き、支払方法などの簡略化」や「駐車場・駐輪場の整備」の割合が高くなる。

【20代】は、「アメニティーの充実」(13.7%)の割合がいずれの年代よりも高く、【30代】を除く各世代に対して有意差があった ($p < 0.05$)。

【70代以上】では、「高齢者や障害者に配慮した施設整備」が圧倒的に高く、約4割が回答しており、どの世代に対しても有意差があった ($p < 0.05$)。

2-33 横浜市内のスポーツが盛んになるために必要なこと

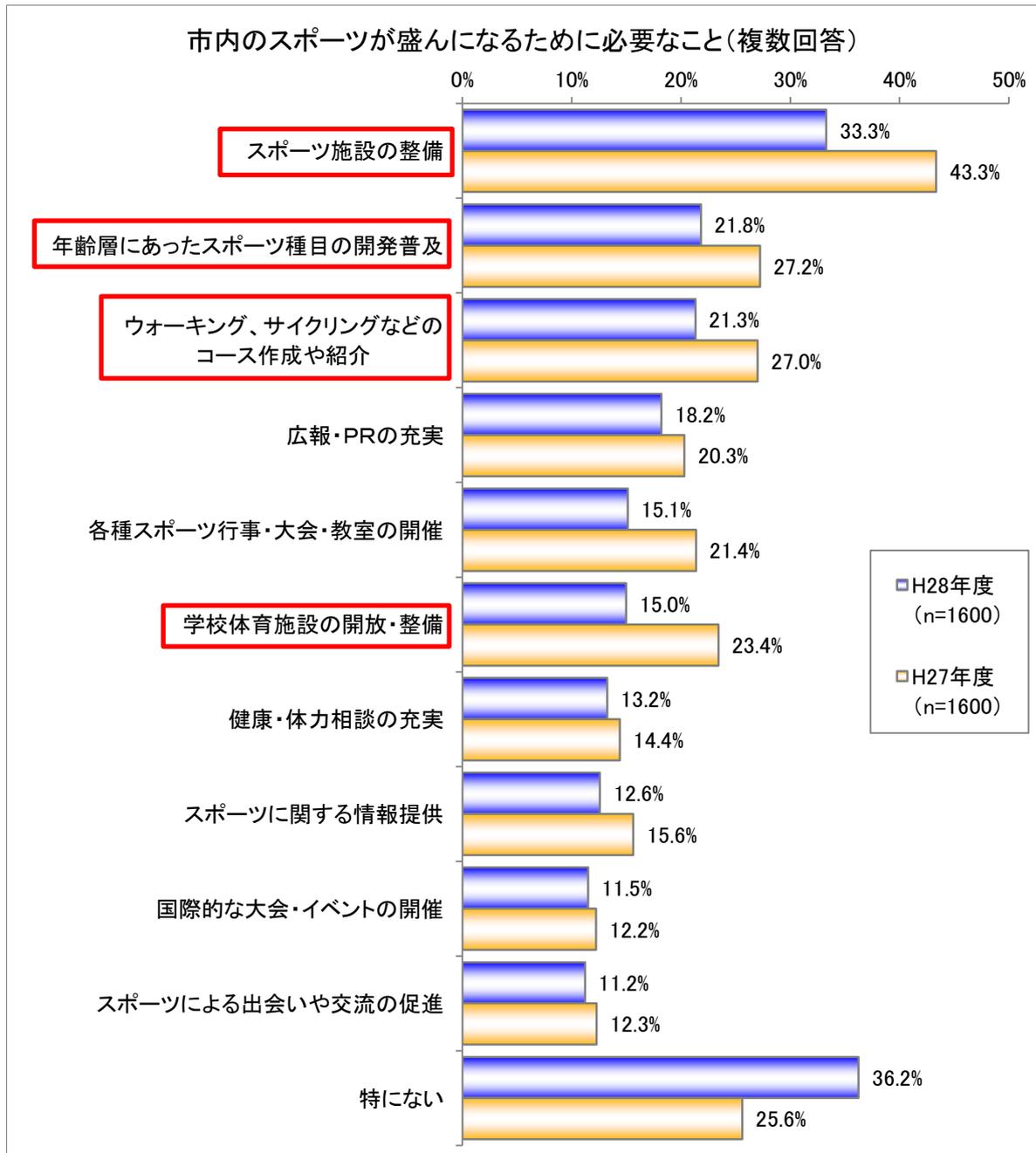


図 64

市内のスポーツが盛んになるために必要なことは、「スポーツ施設の整備」(33.3%)が高く約3割に達する。これに、「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」(21.8%)、「ウォーキング、サイクリングなどのコース作成や紹介」(21.3%)、「広報・PRの充実」(18.2%)と続く。

27年度と比較すると、「特にない」とする割合が10.6ポイント増えたため、その他の回答割合が全体的に低くなっている。

「スポーツ施設の整備」は10.0ポイント、「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」は5.4ポイント、「ウォーキング、サイクリングなどのコース作成や紹介」は5.7ポイント減少したものの、上位3位は変わらない。一方、「学校体育施設の開放・整備」は、8.4ポイント減少し、4位から6位に下がった。また、「運動・スポーツの必要性の教育・啓発」は、7.8ポイント減少し、7位から13位に下がった。27年度は、「市内の子どもの体力低下」に関する質問が途中に入っていたことが影響していると考えられる。

その他の項目は傾向に大きな変動はない。

2-34 運動・スポーツを行うにあたって必要な指導者

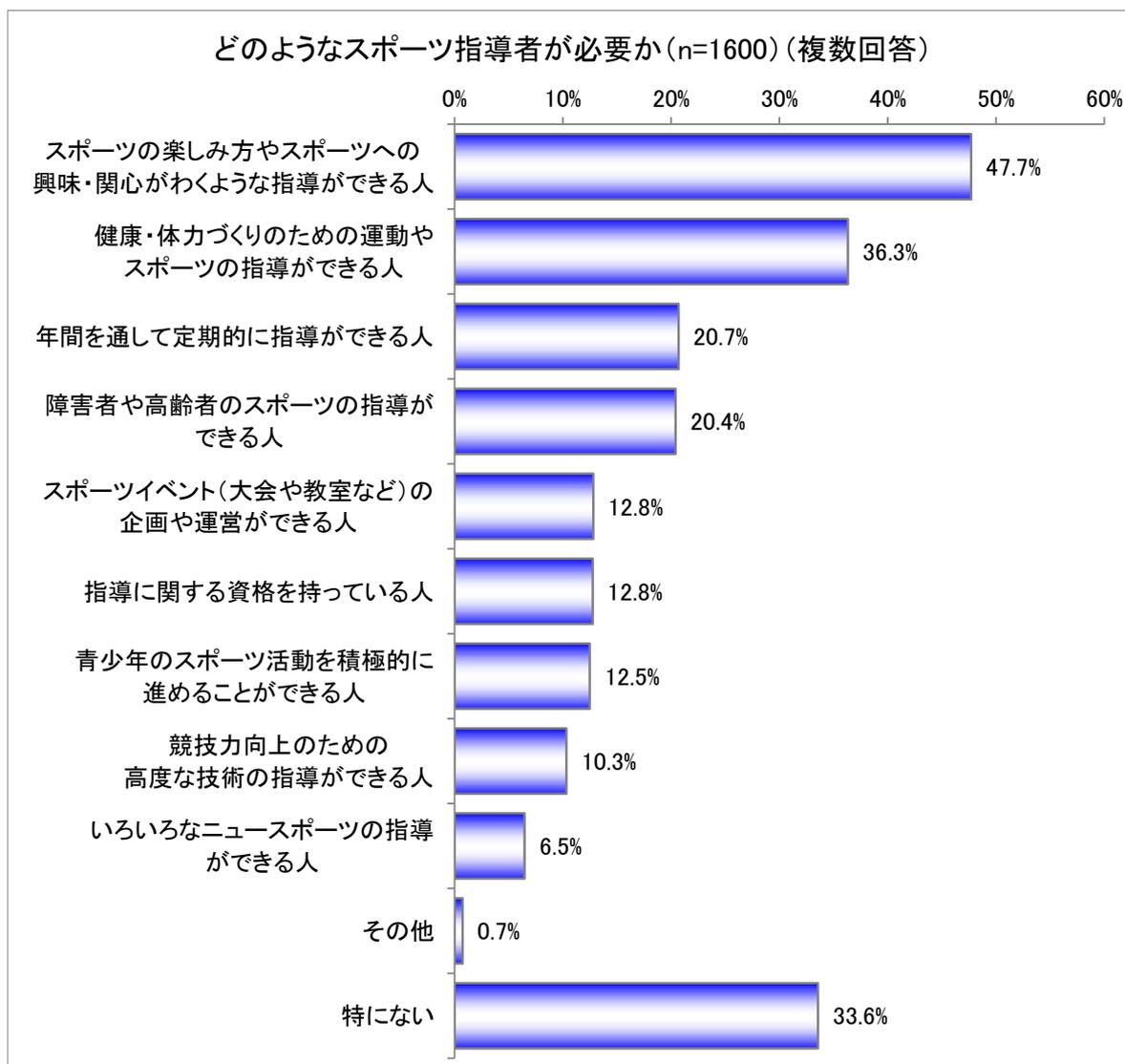


図 65

必要なスポーツ指導者は、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」(47.7%)が最も高く、過半数近くが回答している。次いで、「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」(36.3%)、「年間を通して定期的に指導ができる人」(20.7%)、「障害者や高齢者のスポーツの指導ができる人」(20.4%)と続く。

運動・スポーツは、「楽しみながら」、「健康の維持増進のために」、「継続的に」行いたいという考え方が反映されている。

2-35 リオオリンピック・パラリンピックに対する行動

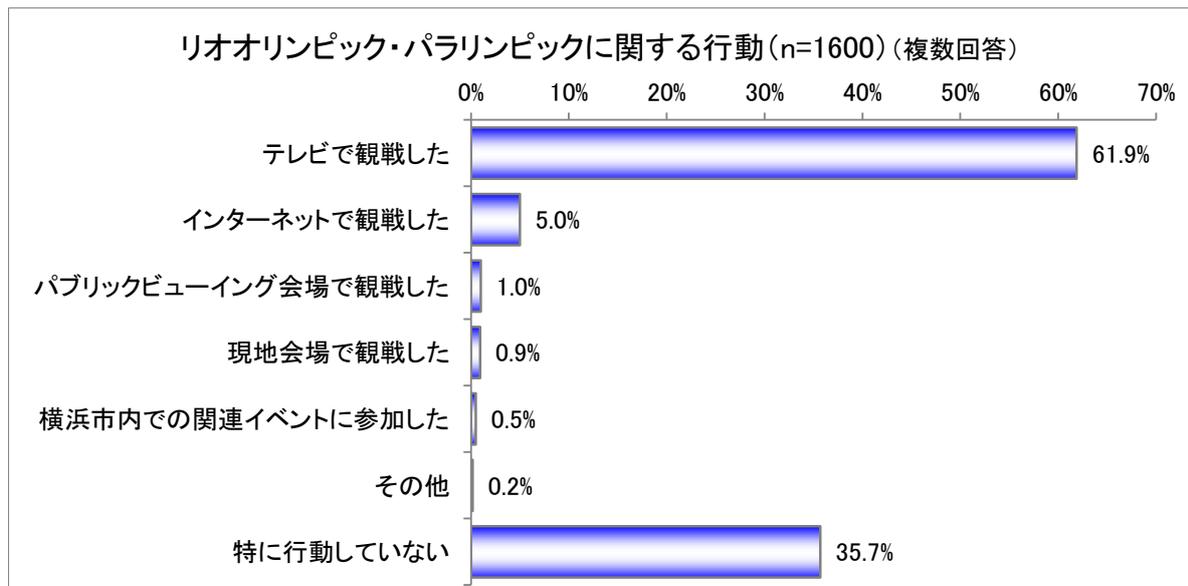


図 66

リオオリンピック・パラリンピックは、「テレビで観戦した」(61.9%)が圧倒的に高く約6割に達する。これに、「インターネットで観戦した」(5.0%)が続く。
「特に行動していない」は35.7%となり、3割近くは関心を持っていない。

2-36 リオオリンピック・パラリンピック観戦(イベント参加)後の行動変化

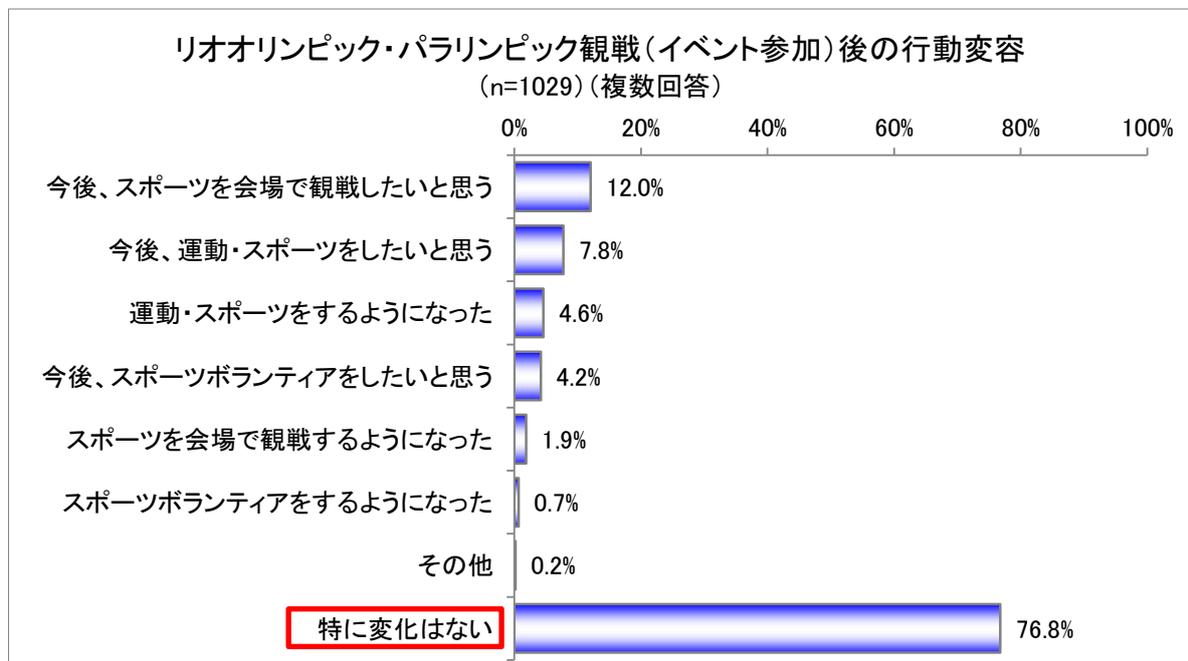


図 67

観戦(イベント参加)後の行動変容は、「今後、スポーツを会場で観戦したいと思う」(12.0%)、「今後、運動・スポーツをしたいと思う」(7.8%)、「運動・スポーツをするようになった」(4.6%)と続く。
しかしながら、「特に変化はない」(76.8%)が圧倒的に高く、8割近くに達する。オリンピックやパラリンピックの観戦や関連イベントへの参加が、行動変容にまではあまりつながっていない。

2-37 オリンピック・パラリンピック東京大会について

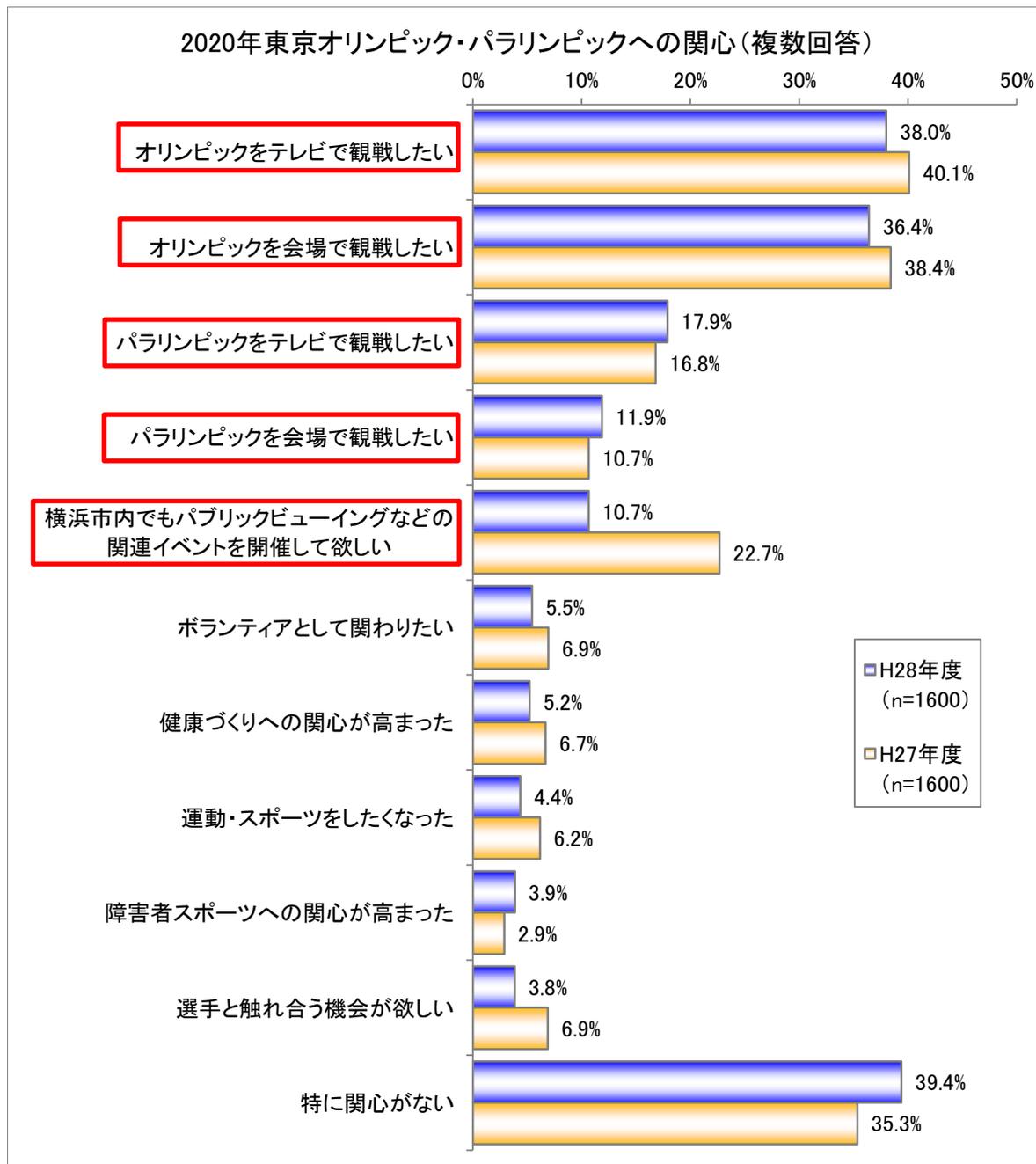


図 68

2020年東京オリンピック・パラリンピックは、「オリンピックをテレビで観戦したい」(38.0%)、「オリンピックを会場で観戦したい」(36.4%)、「パラリンピックをテレビで観戦したい」(17.9%)、「パラリンピックを会場で観戦したい」(11.9%)と続く。しかし、「特に関心がない」(39.4%)が最も高く、約4割に達している。

27年度と比較すると、オリンピックは、「テレビで観戦したい」が2.1ポイント、「会場で観戦したい」が2.0ポイントの微減となった。一方、パラリンピックは、「テレビで観戦したい」が1.1ポイント、「会場で観戦したい」が1.2ポイントの微増となった。オリンピックと比較するとまだまだ観戦の希望割合は低いものの、パラリンピックに対する関心が若干高まった。

また、「横浜市内でも何か関連イベントを開催して欲しい」は、12.0ポイントの減少となり、3位から5位に下がった。

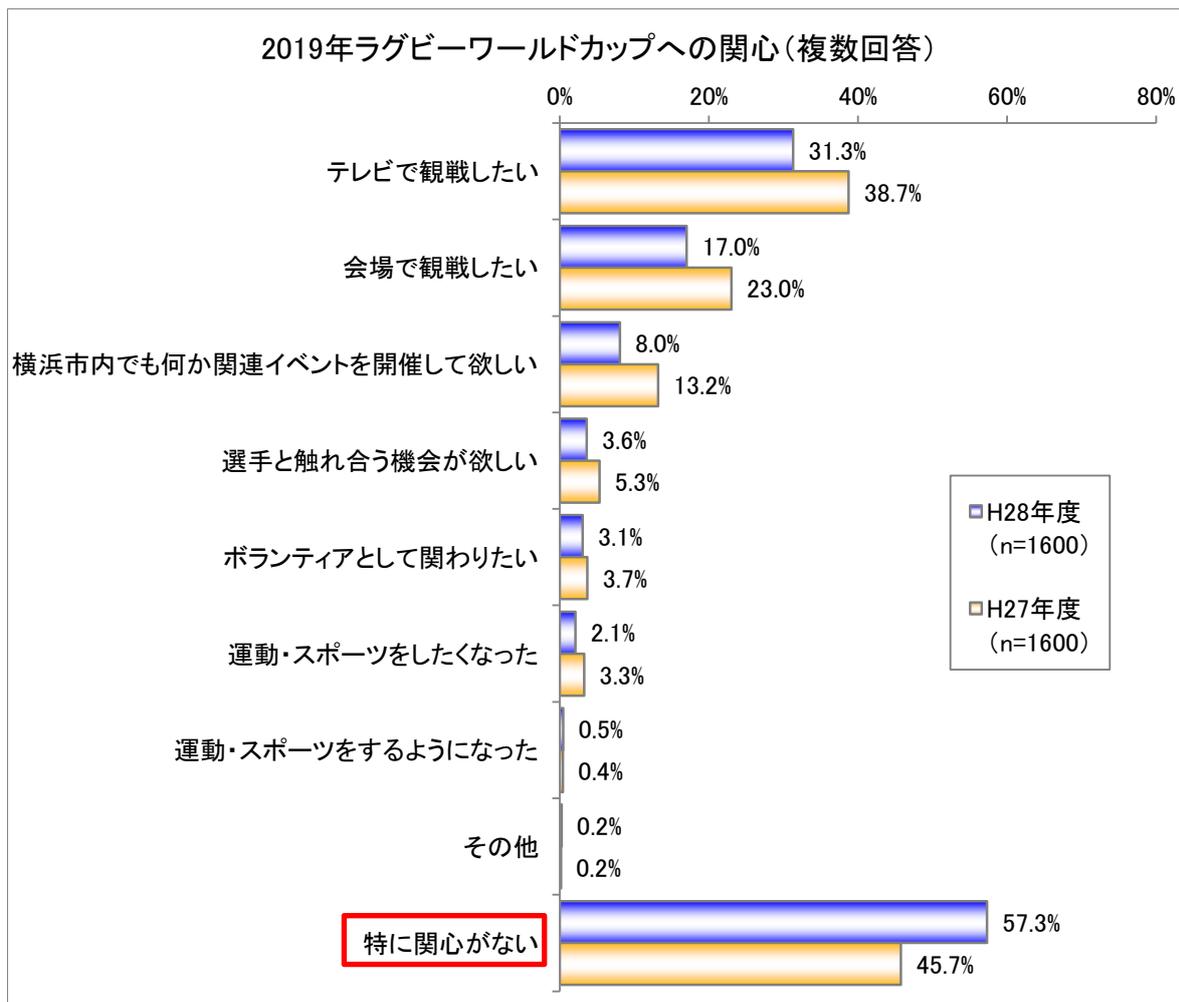


図 69

2019年ラグビーワールドカップは、「テレビで観戦したい」(31.3%)、「会場で観戦したい」(17.0%)、「横浜市内でも何か関連イベントを開催して欲しい」(8.0%)と続く。しかし、「特に関心がない」(57.3%)が圧倒的に高く、過半数を超えている。

27年度と比較すると、「特に関心がない」とする割合が11.6ポイント増えたため、その他の回答割合が全体的に低くなっている。ただし、回答の傾向に大きな変動はない。

27年度は、調査時期にラグビーワールドカップ2015を開催していたことも影響し、比較的関心が高かったと考えられる。

2-39 今現在、健康だと感じているか

(1) 単純集計結果（前年度比）

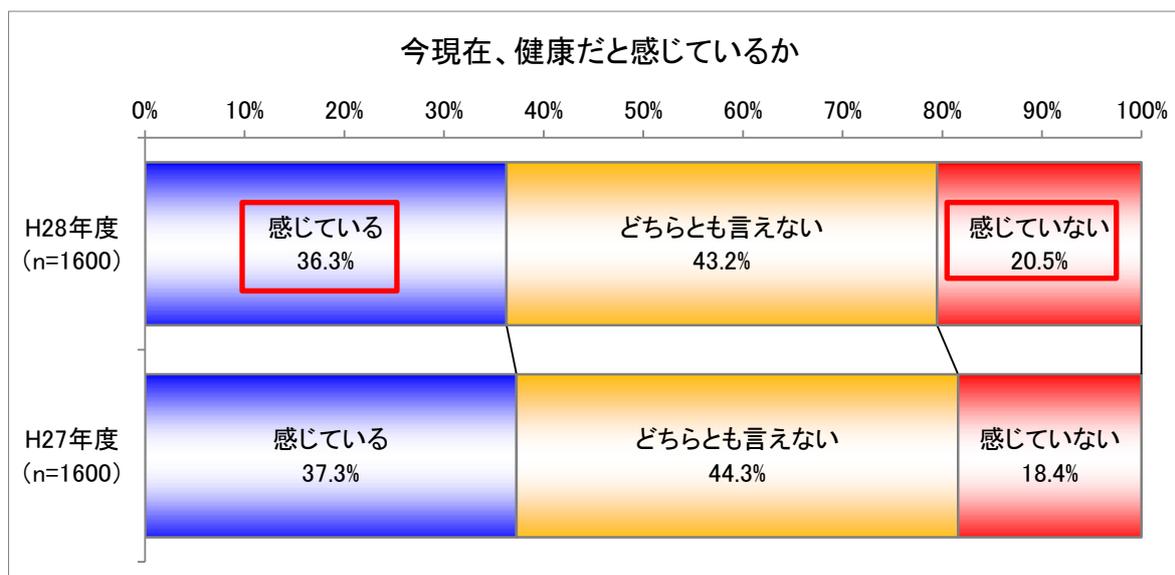


図 70

健康状態については、健康だと「感じている」(36.3%)、「感じていない」(20.5%)となっている。健康だと「感じている」割合は、「感じていない」割合の約 1.8 倍となっている。
27 年度と比較しても、健康だと感じている割合・傾向共にほぼ変わりはない。ただし、健康だと「感じている」が 1.0 ポイントの微減となり、「感じていない」が 2.1 ポイントの増加となっている。

(2) 性別による比較

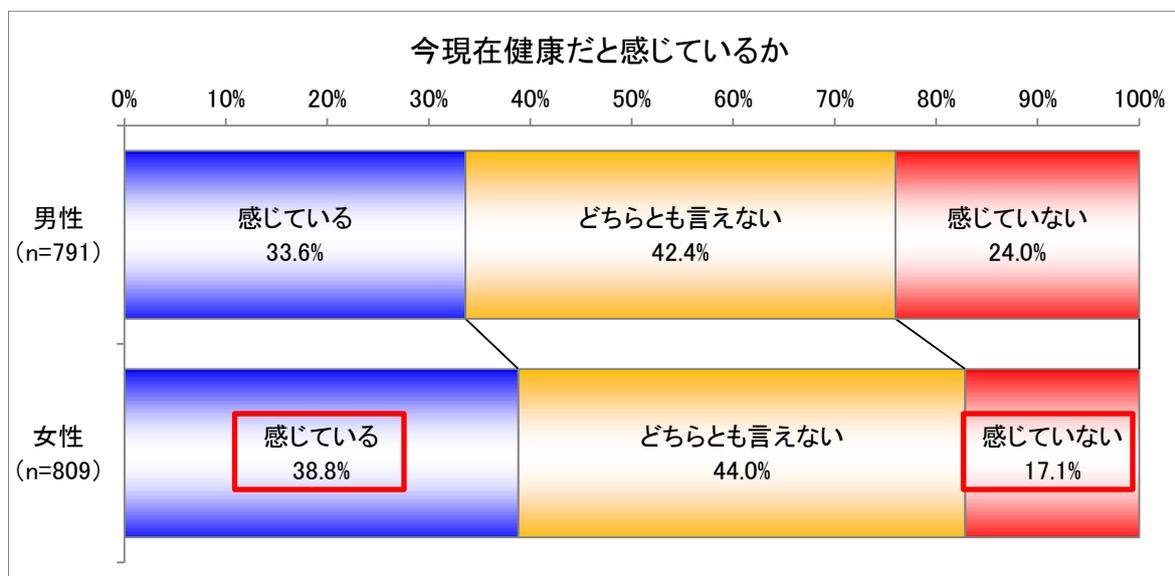


図 71

性別で比較すると、男女ともに健康だと「感じている」方が、「感じていない」よりも高い。また、「どちらとも言えない」が一番高くなっている。

【女性】の方が、【男性】よりも健康だと「感じている」割合が、5.2 ポイント高く、有意差があった ($p < 0.05$)。

また、【女性】は健康だと「感じている」(38.8%) 割合が、「感じていない」(17.1%) 割合の約 2 倍以上となっており、今現在は、健康だと「感じている」割合が、比較的高い傾向にある。

(3) 年代による比較

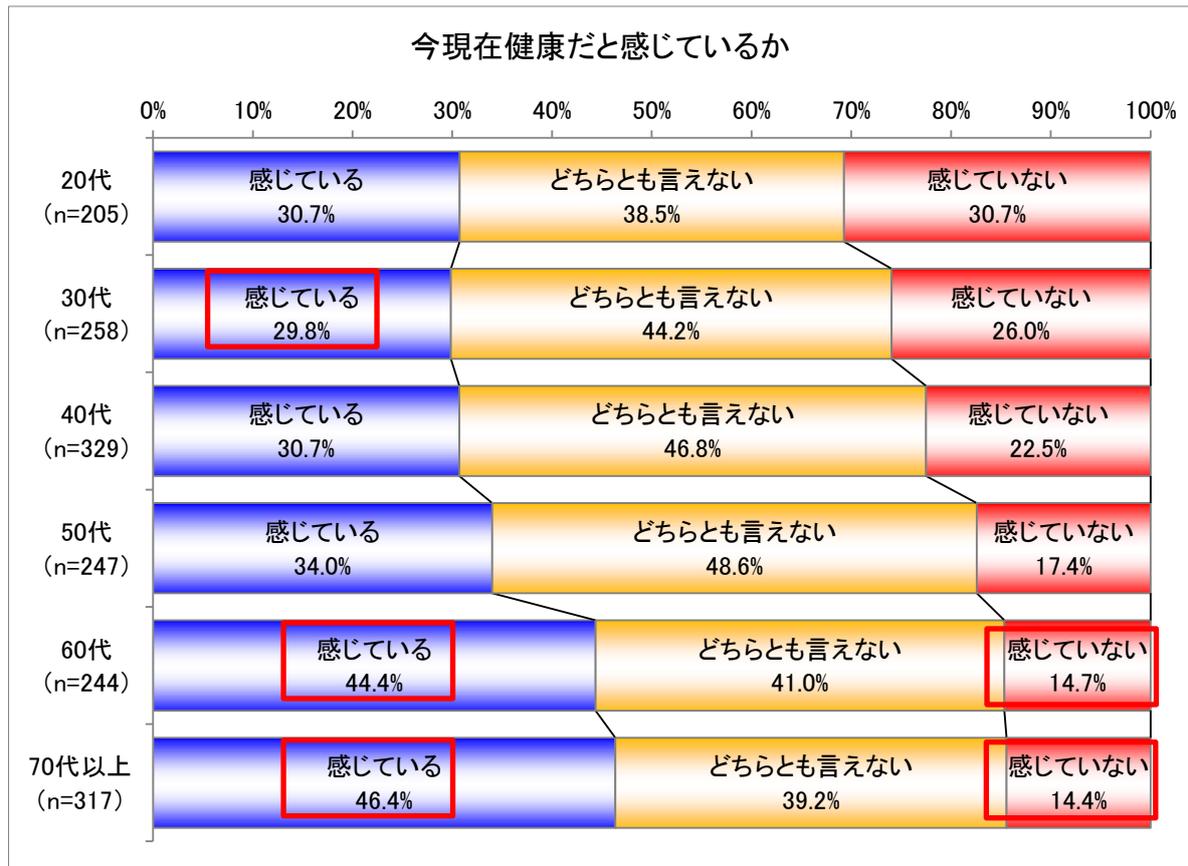


図 72

年代で比較すると、【20代】を除く全ての年代において、健康だと「感じている」が、「感じていない」よりも高い。

【30代】は、健康だと「感じている」割合が29.8%となっており、全年代の中で一番低い状態となっている。【20代】は、健康だと「感じていない」割合が30.7%となっており、全年代の中で一番高くなっている。また、「感じている」と「感じていない」が同じ割合になっており、二極化している状態になっている。

【60代】【70代以上】は、健康だと「感じている」割合が4割以上となっており、逆に健康だと「感じていない」割合が10%台に留まっている。

2-40 直近1年間の医療費について

(1) 単純集計結果

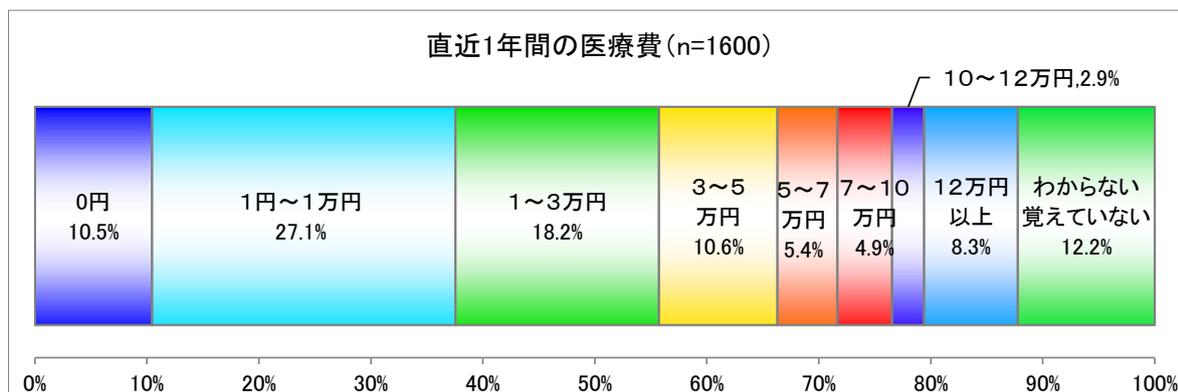


図 73

自身の直近1年間の医療費は、「1円～1万円未満」(27.1%)と「1万円～3万円未満」(18.2%)が高い。これに、「わからない・覚えていない」(12.2%)、「3万円～5万円未満」(10.6%)と続く。

(2) 性別による比較

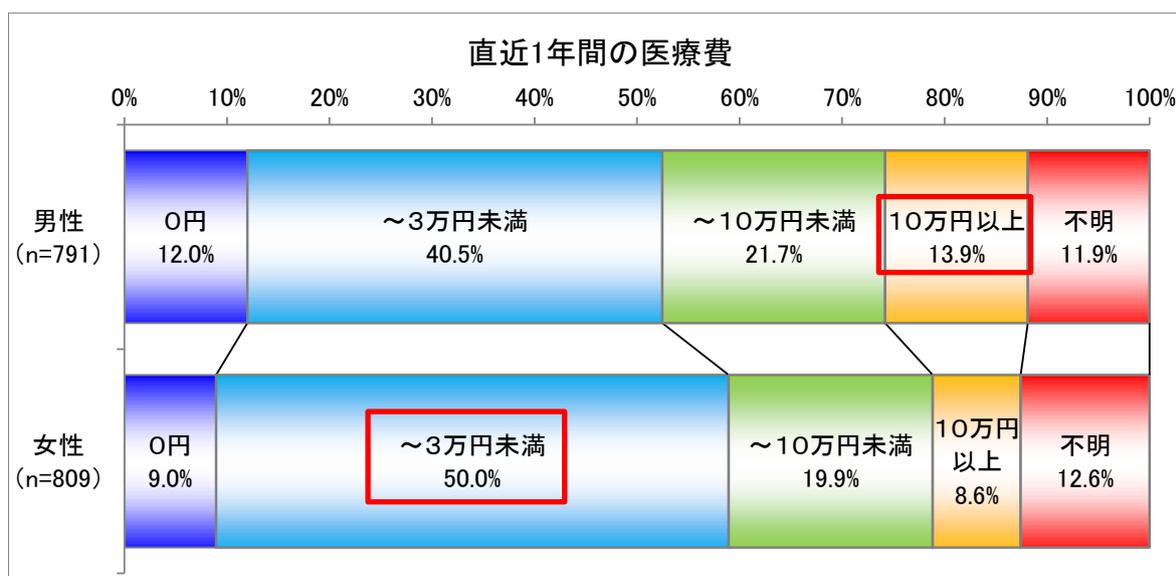


図 74

性別で比較すると、【男性】と【女性】では、医療費がかかった割合に差は見られない。(男性：76.1%、女性：78.4%)

【女性】は、「～3万円未満」の割合が高く過半数に達しており、【男性】に対して有意差があった ($p < 0.05$)。

一方【男性】は、「10万円以上」の割合が高く、【女性】に対して有意差があった ($p < 0.05$)。

(3) 年代による比較

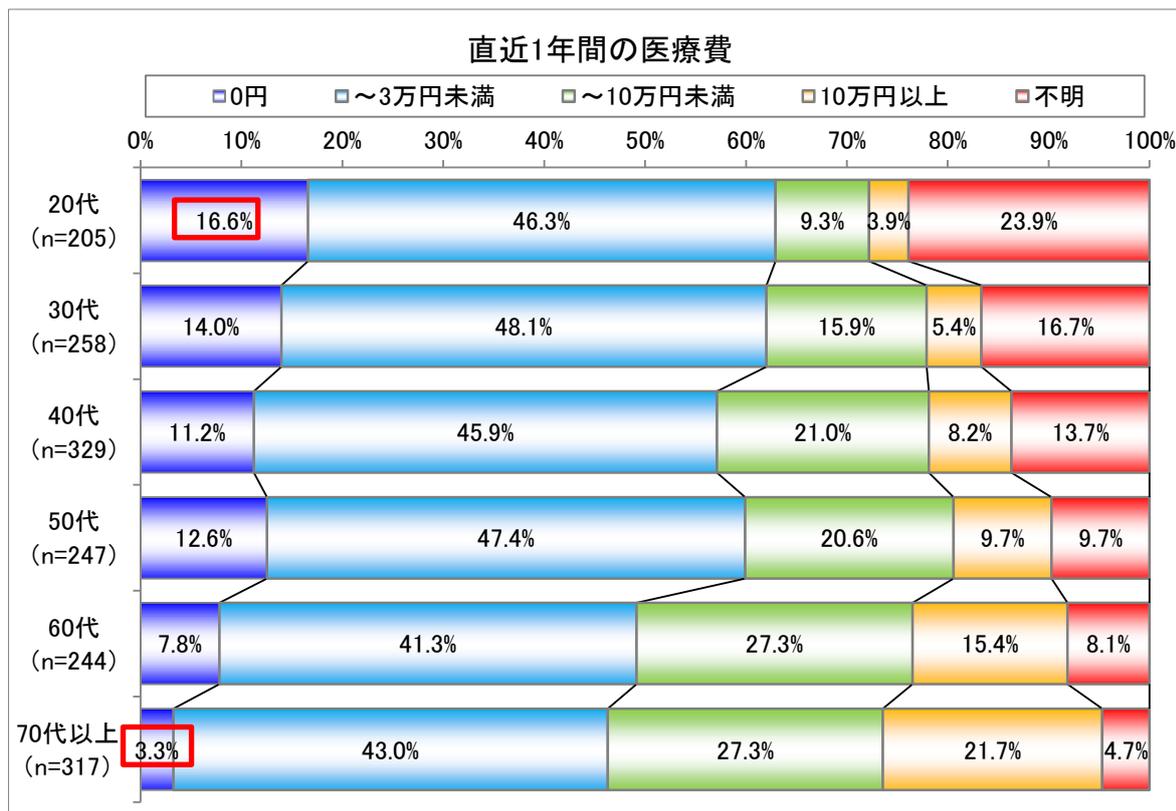


図 75

年代よって比較すると、【20代】は「0円」(16.6%)の割合が一番高い。年代が上がるとともに「0円」の割合が低くなり、【70代以上】(3.3%)が一番低くなっている。
 また、医療費を把握している割合は、【70代以上】(95.3%)が一番高く、年代が下がるに従って低くなり、【20代】(76.1%)で一番低くなっている。

「3万円未満」の割合はいずれの年代も4割~5割となっており、あまり差は見られない。しかし、「3万円以上」の割合は年代とともに高くなり、【70代以上】はほぼ過半数に達している。

2-41 健康寿命を延ばすために取り組みたいこと

(1) 単純集計結果

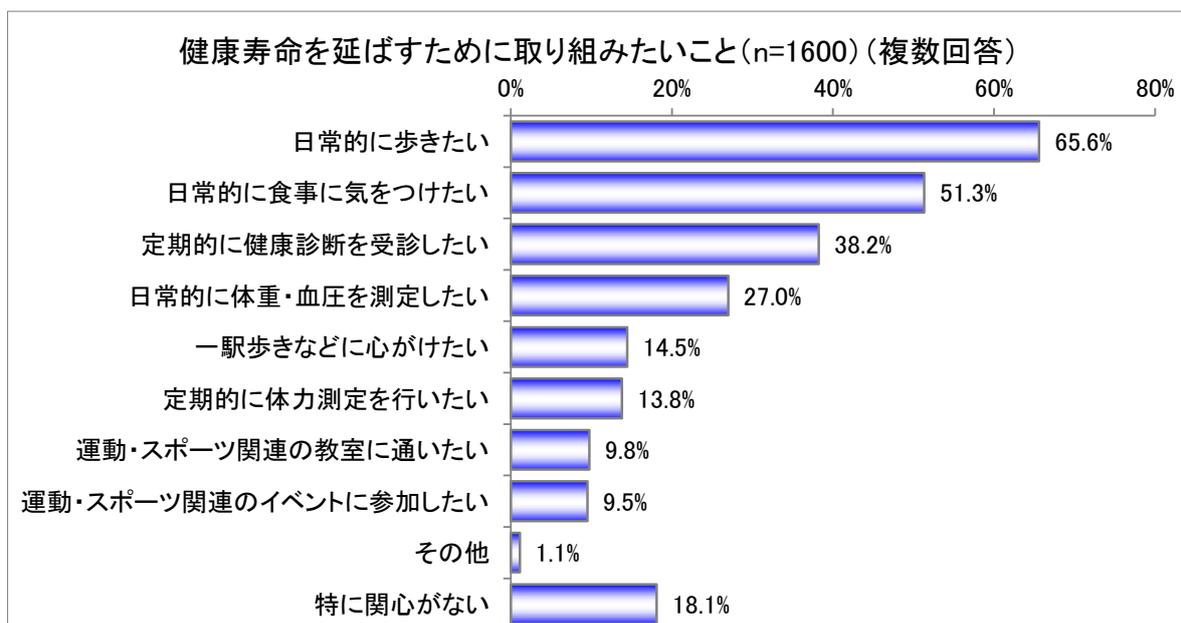


図 76

健康寿命を延ばすために取り組みたいことは、「日常的に歩きたい」(65.6%)と「日常的に食事に気をつけたい」(51.3%)が高い。これに、「定期的に健康診断を受診したい」(38.2%)、「日常的に体重・血圧を測定したい」(27.0%)と続く。

(2) 性別による比較

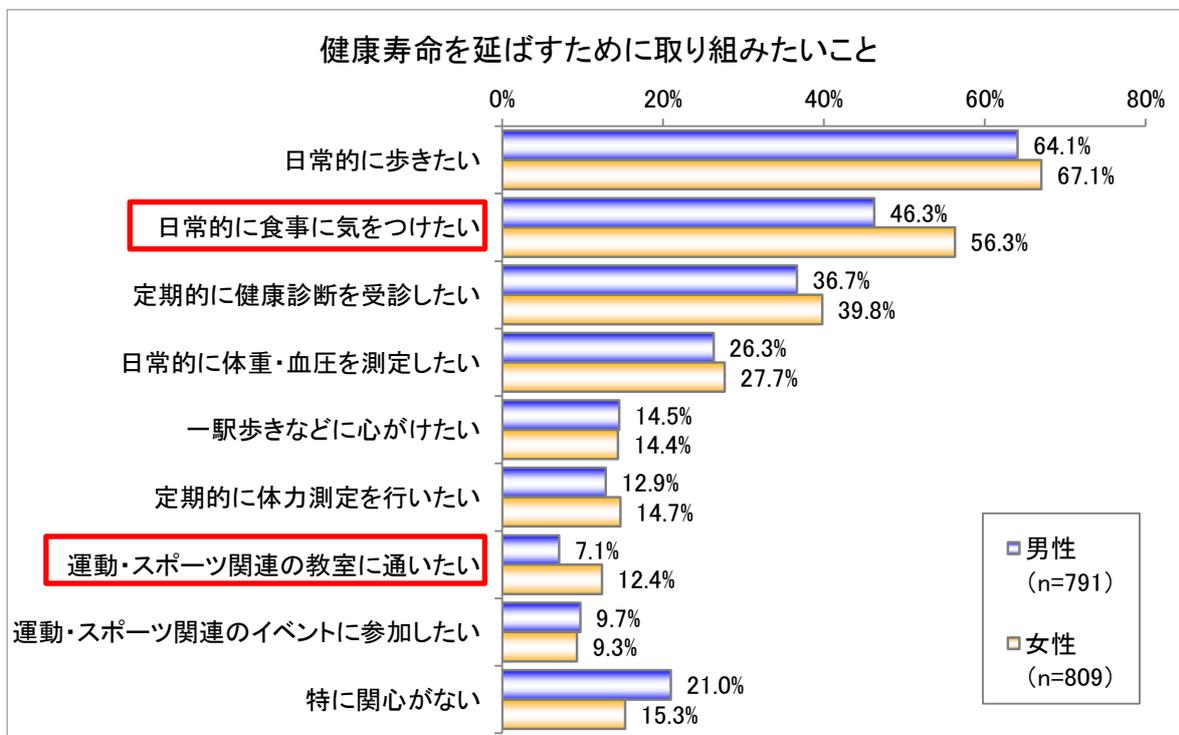


図 77

性別で比較すると、どちらも、「日常的に歩きたい」が高く、6割以上となっている。
【男性】よりも【女性】の方が、「日常的に食事に気をつけたい」の割合が高く、有意差があった ($p < 0.05$)。また、「運動・スポーツ関連の教室に通いたい」の割合も高く、有意差があった ($p < 0.05$)。

(3) 年代による比較

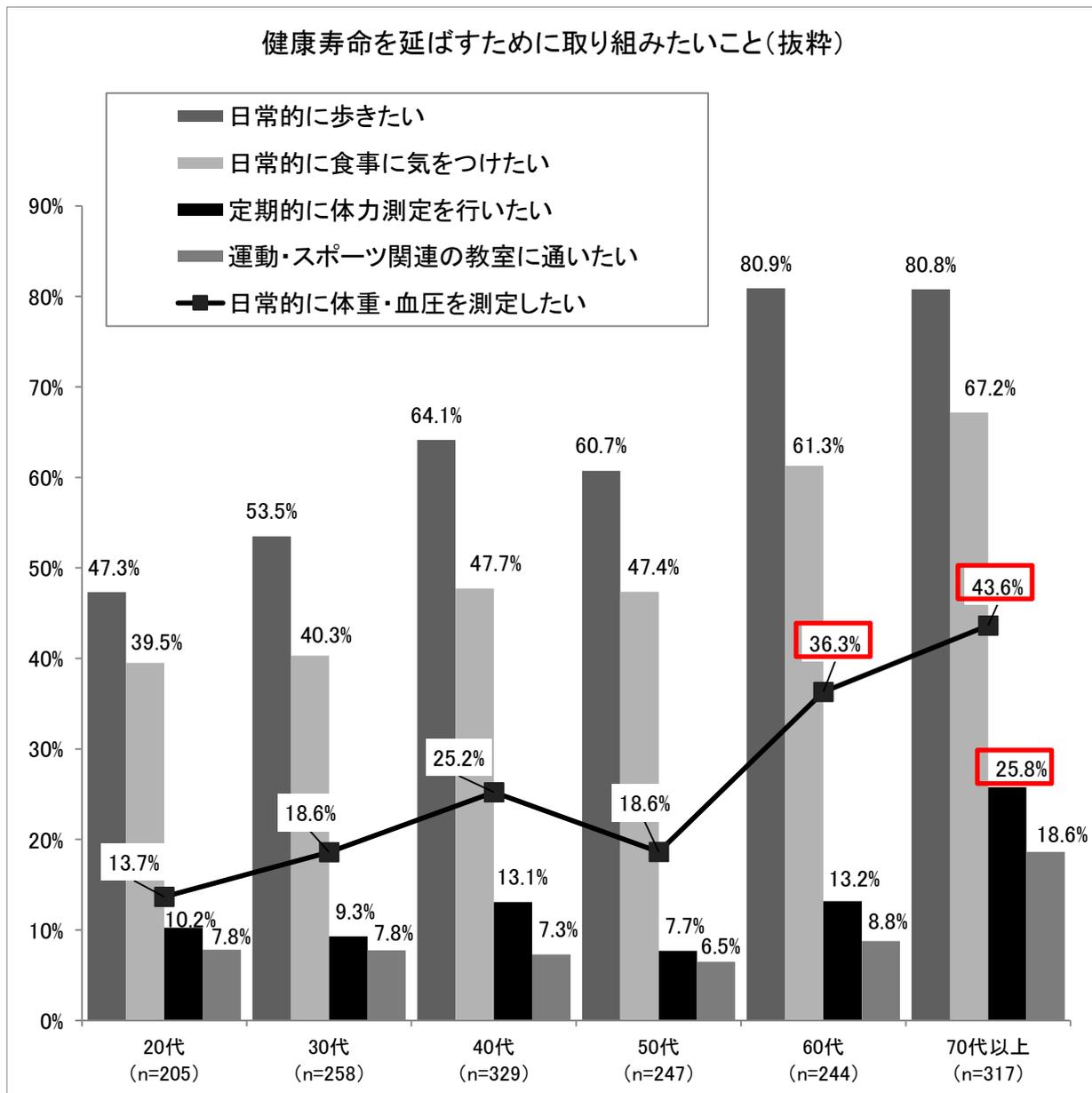


図 78

年代で比較すると、どの年代も、「日常的に歩きたい」が高く、「日常的に食事に気をつけたい」が続いている。

【60代】、【70代以上】は、「日常的に体重・血圧を測定したい」の割合が比較的高い。また、【70代以上】は、「定期的な体力測定を行いたい」の割合がどの年代よりも高く、全ての年代に対して有意差があった ($p < 0.05$)。

第3章 実施者・非実施者に関する比較

第3章では、過去1年間に運動・スポーツを行った人（以下「実施者」という。）と、行わなかった人（以下「非実施者」という。）と各設問をクロス集計し、比較分析を行った。

3-1 過去1年間の運動・スポーツ実施率(性別と年代による比較)【再掲】

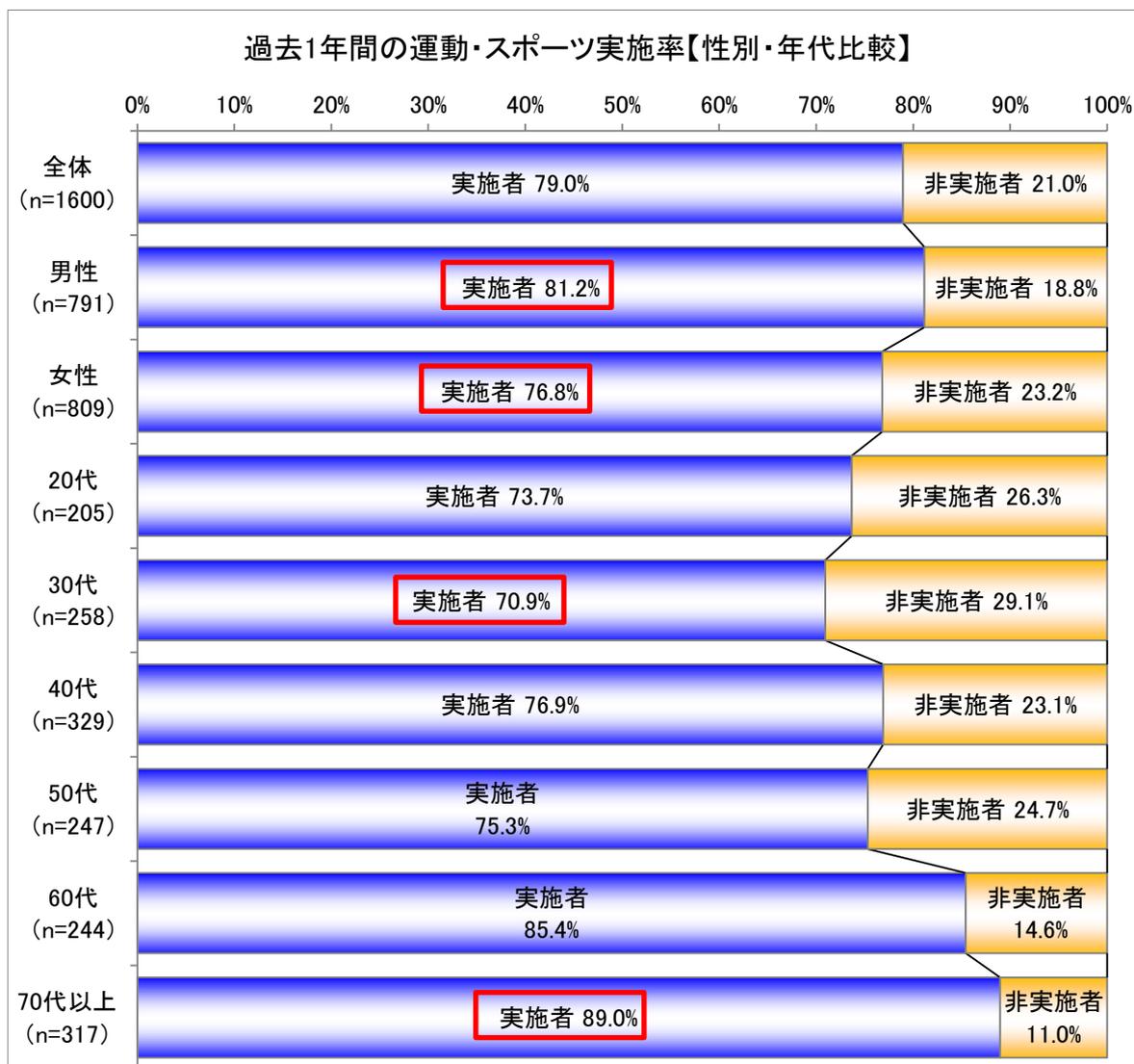


図 79

運動・スポーツの実施率は、【男性】（81.2%）の方が【女性】（76.8%）よりも4.4ポイント高く、実施率が比較的高い傾向にある。

【70代以上】の実施率は89.0%となり、全年代の中で一番高くなっている。【30代】の実施率は70.9%となっており、全年代の中で一番低くなっており、【30代】と【70代以上】の運動・スポーツ実施率は、18.1ポイントもの差が生じている。

3-2 運動・スポーツについてどのように感じているか

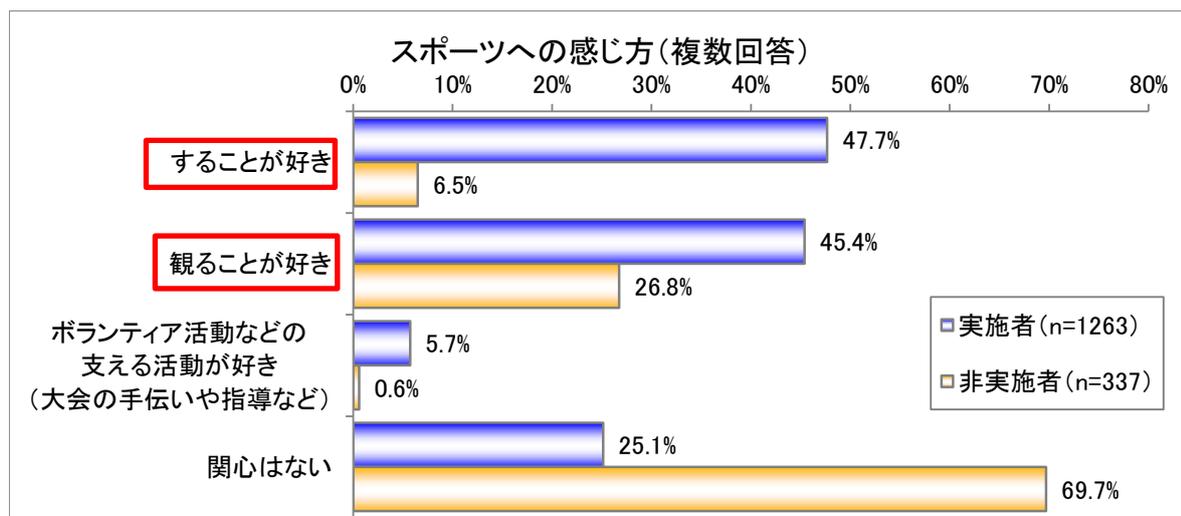


図 80

【実施者】は、「することが好き」(47.7%)が高く、僅差で「観ることが好き」(45.4%)が続く。【非実施者】は、「関心はない」(69.7%)が圧倒的に高く、「観ることが好き」(26.8%)が続く。

【実施者】は、「することが好き」の割合が過半数近くに達しているが、【非実施者】は、1割にも満たない状況であり、41.2ポイントもの大きな差が見られる。

【非実施者】は、「観ることが好き」(26.8%)が「することが好き」(6.5%)の約4倍となっており、「すること」と「観ること」への感じ方には大きな差がみられる。

また、【実施者】の7割以上は、「する・観る・支える」のいずれかに関心を持っているが、【非実施者】は3割以上が関心のない状態となっており、運動・スポーツへの関心には大きな差がある。

3-3 現在の運動・スポーツの実施状況への満足度

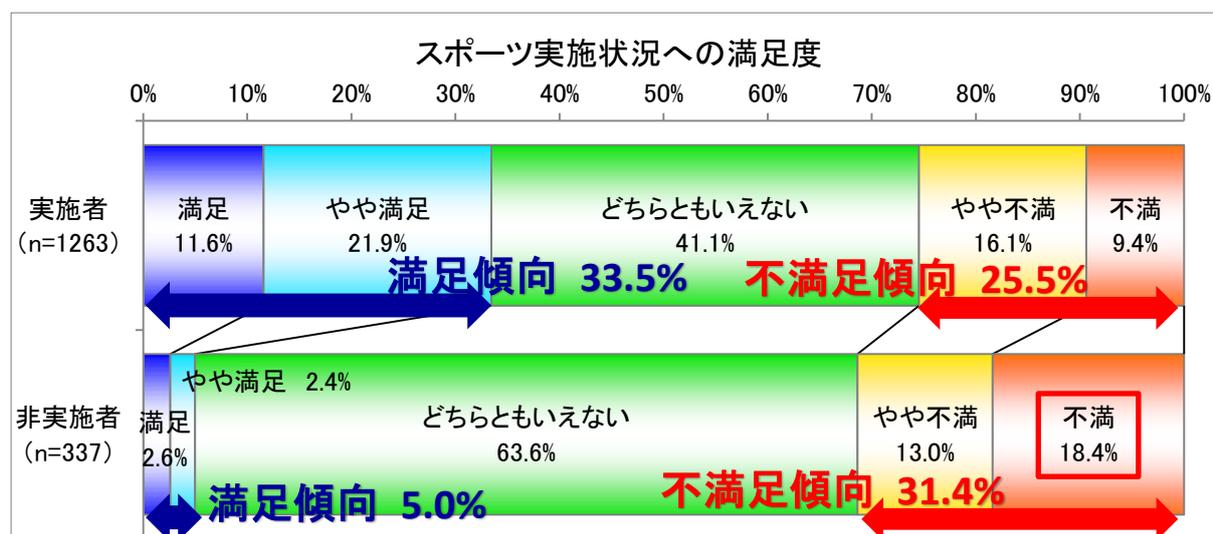


図 81

【実施者】【非実施者】ともに、「どちらともいえない」が一番高い。

【非実施者】は、「やや不満」と「不満」を足した「不満足傾向」の割合が3割程度となっている。特に「不満」の割合が2割近くに達しており、【実施者】の2倍となっている。さらには、「満足」と「やや満足」を足した「満足傾向」の割合は、【実施者】が33.5%に対し、【非実施者】はわずか5.0%となっている。28.5ポイントもの差が生じており、【非実施者】は現状に「満足」とする割合が、極めて低い状況となっている。

3-4 今現在、運動不足だと感じているか

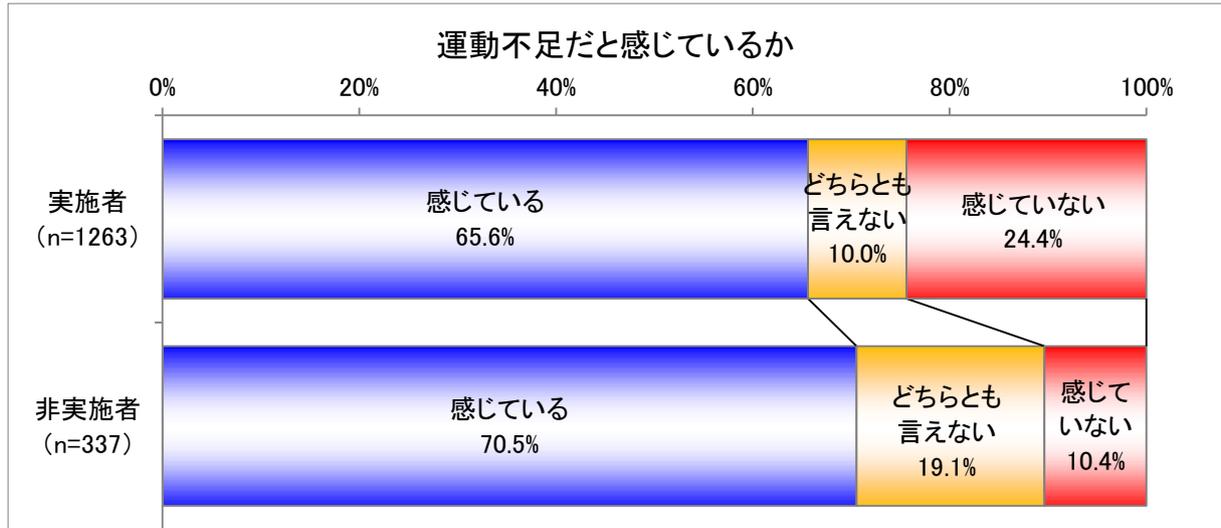


図 82

【実施者】は、運動不足だと「感じている」(65.6%)、「感じていない」(24.4%)となっている。【非実施者】は、運動不足だと「感じている」(70.5%)、「感じていない」(10.4%)となっている。

【非実施者】の方が、運動不足だと「感じている」(70.5%)割合が高く、約7割を超えており、【実施者】(65.6%)との差は、4.9ポイントにも及び。

3-5 運動・スポーツを行わなかった(年に1~3日しか行わなかった)理由

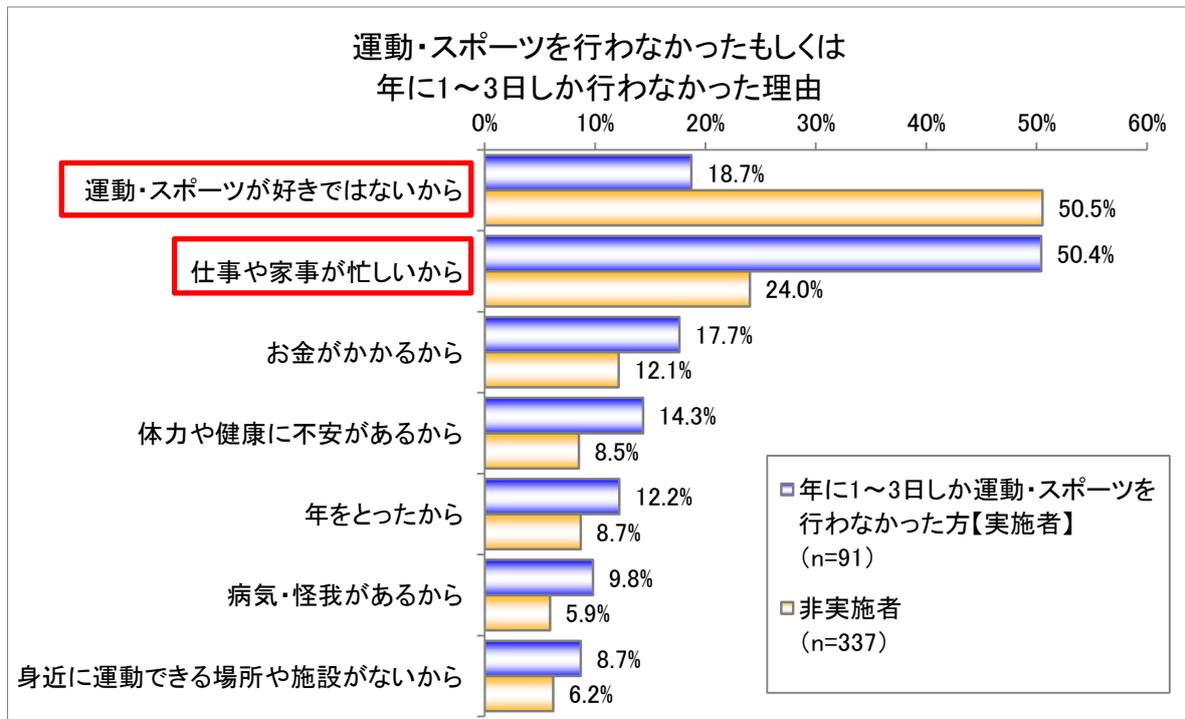


図 83

【実施者】は、「仕事や家事が忙しいから」(50.4%)が圧倒的に高く、過半数に達している。一方、【非実施者】は、「運動・スポーツが好きではないから」(50.5%)が圧倒的に高く、過半数に達している。

【実施者】と【非実施者】には、運動を行わなかった理由に大きな差が見られた。

3-6 今後行ってみたい運動・スポーツ

	1位	2位	3位	4位	5位
実施者 (n=1263)	ウォーキング 57.3%	散歩 45.8%	筋力トレーニング 29.7%	ラジオ体操などの健康体操・美容体操・ストレッチ 22.2%	ヨガ・ピラティス 19.1%
非実施者 (n=337)	行ってみたいものはない 52.0%	ウォーキング 18.0%	散歩 17.2%	ヨガ・ピラティス 9.8%	筋力トレーニング 9.8%

表 2

【実施者】は、「ウォーキング」(57.3%)と「散歩」(45.8%)が高い。これに、「筋力トレーニング」(29.7%)、「ラジオ体操などの健康体操・美容体操・ストレッチ」(22.2%)、と続く。

【非実施者】は、「行ってみたいものはない」(52.0%)が圧倒的に高い。これに、「ウォーキング」(18.0%)、「散歩(ペットの散歩も含む)」(17.2%)、「ヨガ・ピラティス」(9.8%)と続く。

3-7 過去1年間に会場で観戦したトップアスリートの大会やプロスポーツ

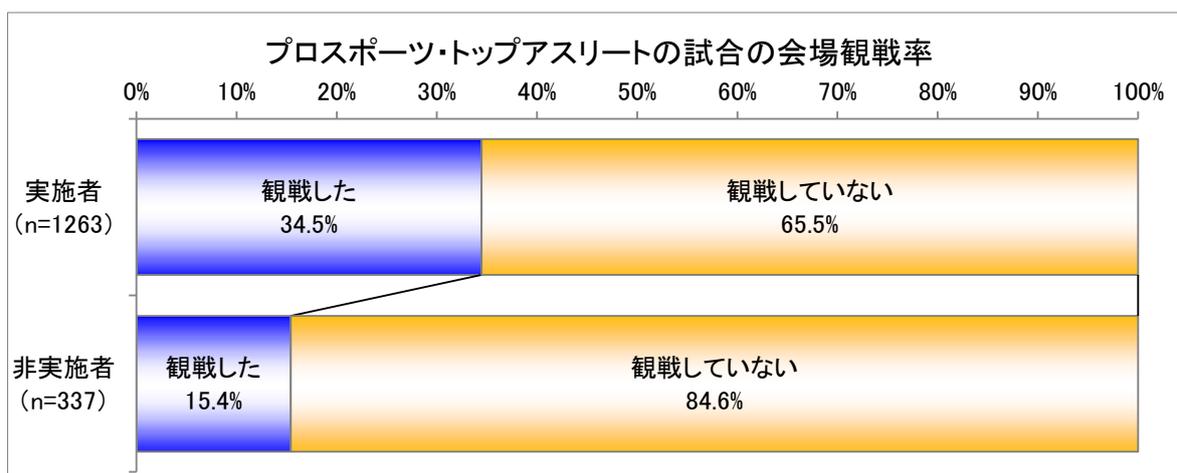


図 84

	1位	2位	3位	4位	5位
実施者 (n=1263)	野球・ソフトボール 17.6%	マラソン (駅伝も含む) 9.7%	サッカー・フットサル 6.8%	テニス・ソフトテニス 3.1%	ゴルフ 2.9%
非実施者 (n=337)	観ていない 84.6%	野球・ソフトボール 6.9%	サッカー・フットサル 3.6%	マラソン (駅伝も含む) 3.5%	モータースポーツ 1.5%

表 3

【実施者】は34.5%が会場で観戦しているが、【非実施者】の会場観戦率は、15.4%に留まった。観戦率は2倍以上の差が生じている。

観戦した種目を見てみると、【実施者】は、「野球・ソフトボール」(17.6%)、「マラソン(駅伝も含む)」(9.7%)、「サッカー・フットサル」(6.8%)、「テニス・ソフトテニス」(3.1%)と続く。

【非実施者】「観ていない」(84.6%)が圧倒的に高い。これに、「野球・ソフトボール」(6.9%)、「サッカー・フットサル」(3.6%)、「マラソン(駅伝も含む)」(3.5%)、「モータースポーツ」(1.5%)と続く。

3-8 過去1年間に行った運動・スポーツに関するボランティア活動

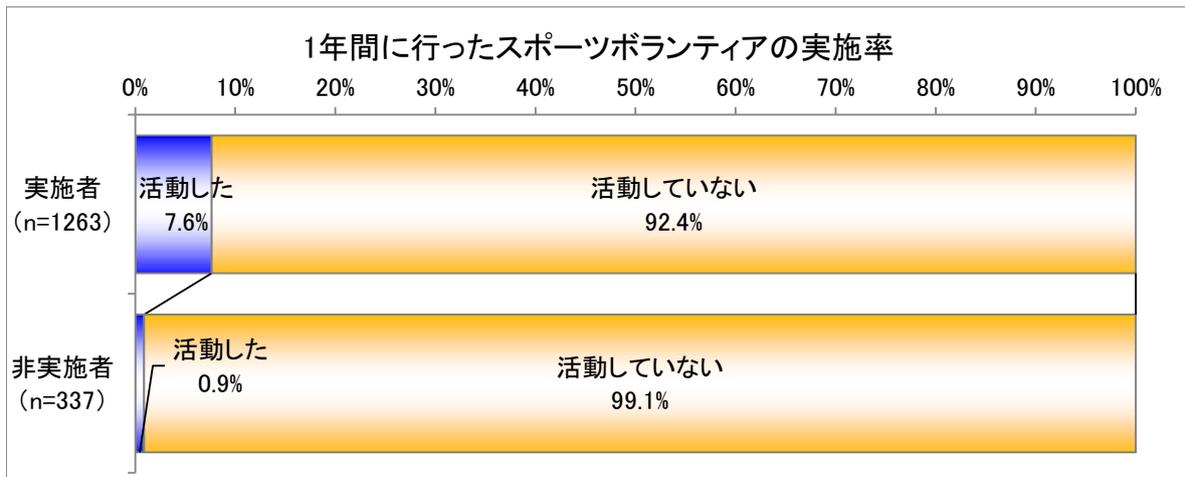


図 85

【実施者】【非実施者】ともに、実施率は10%にもたず、いずれも実施率は非常に低い。特に、【非実施者】は、実施率が1%を切っている状況となっている。

3-9 子どもの頃に身体を動かして遊ぶことが好きだったか

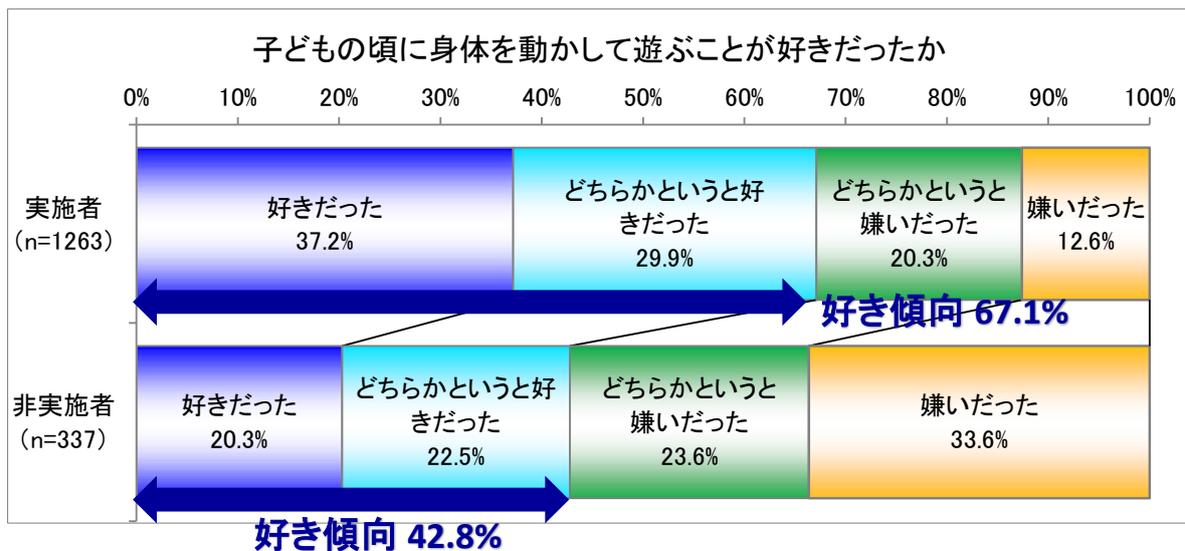


図 86

【実施者】は、「好きだった」(37.2%)と「どちらかという好きだった」(29.9%)が高く、「好き」な傾向が約7割近い。

【非実施者】は、「嫌いだった」(33.6%)と「どちらかという嫌いだった」(23.6%)が高く、「嫌い」な傾向が約6割近い。

【実施者】は、子どもの頃から身体を動かして遊ぶことが好きな傾向にあり、子どもの頃の意識が、成人してからの運動・スポーツ実施状況に大きく影響していると考えられる。

しかし、【非実施者】の内、約4割は「好き」だった傾向にあり、逆に、【実施者】の内、約3割は「嫌い」だった傾向にある。子どもの頃の意識に影響されず、現在の実施状況になっている要因も探る必要がある。

3-10 お子さんが学校の授業やカリキュラム以外で運動・スポーツを行っているか

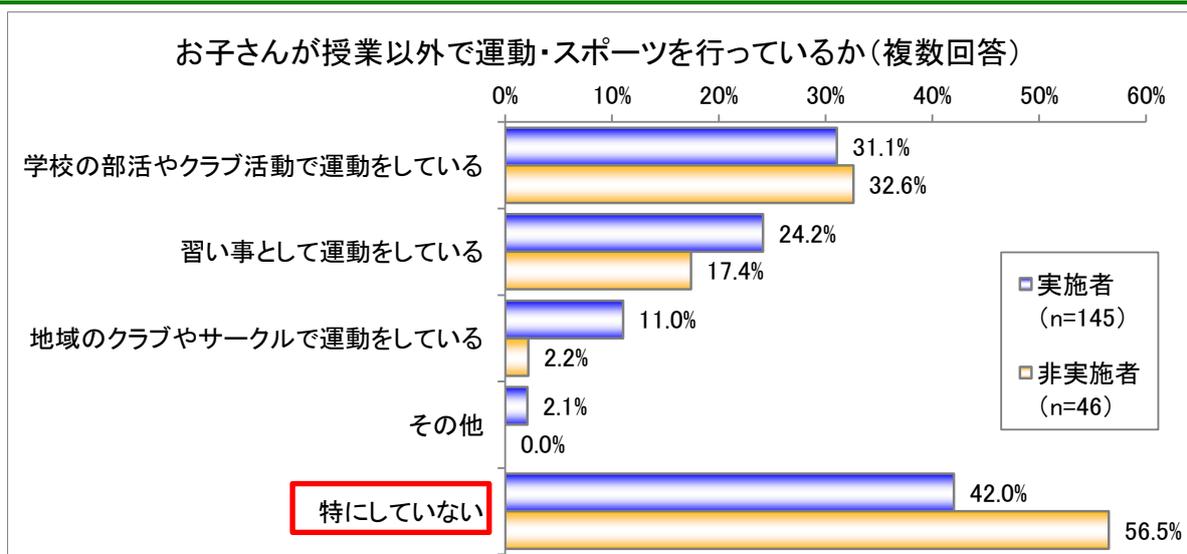


図 87

※小・中・高校生のお子さんがある方に聞いている。

【実施者】の子どもは、「特にしていない」(42.0%)と「学校の部活やクラブ活動で運動をしている」(31.1%)が高く、「習い事として運動をしている」(24.2%)が続く。

【非実施者】の子どもは、「特にしていない」(56.5%)が圧倒的に高い。これに、「学校の部活やクラブ活動で運動をしている」(32.6%)、「習い事として運動をしている」(17.4%)と続く。

いずれも、子どもの運動・スポーツの実施率は低いものの、【非実施者】の子どもにおいては、過半数以上が「特にしていない」状況となっており、【実施者】とは、14.5ポイントもの差が生じている。親の運動・スポーツ実施状況が、子どもの運動・スポーツ実施状況にも影響を与えている可能性がある。

3-11 お子さんが定期的に行っている運動・スポーツ

	1位	2位	3位	4位	5位
実施者 (n=84)	水泳 26.2%	テニス・ ソフトテニス 16.7%	野球・ ソフトボール 11.9%	サッカー・ フットサル 11.9%	ダンス 9.5%
非実施者 (n=20)	水泳 25.0%	テニス・ ソフトテニス 25.0%	卓球 15.0%	サッカー・ フットサル 15.0%	ランニング・ジョ ギング・マラソン 10.0%

表 4

【非実施者】の子どもは、サンプル数が少ない(n=20)ため、参考となる。

【実施者】の子どもは、「水泳」(26.2%)と「テニス・ソフトテニス」(16.7%)が高い。これに、「野球・ソフトボール」(11.9%)、「サッカー・フットサル」(11.9%)、「ダンス(社交ダンス、フラダンス、バレエなど含む)」(9.5%)と続く。

【非実施者】の子どもは、「水泳」(25.0%)、「テニス・ソフトテニス」(25.0%)と「卓球」(15.0%)、「サッカー・フットサル」(15.0%)が高い。

3-12 今現在、健康だと感じているか

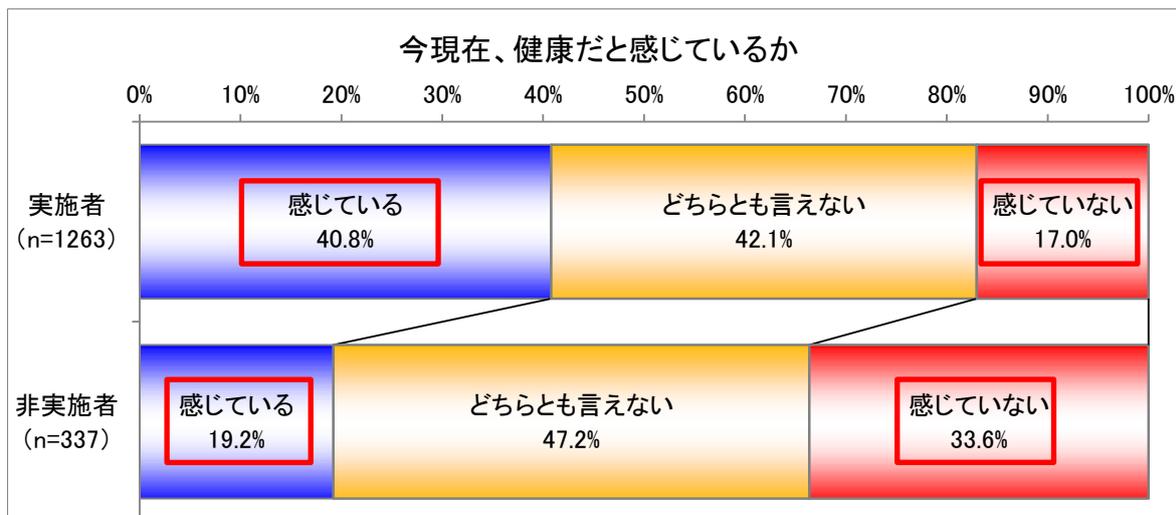


図 88

【実施者】は、健康だと「感じている」(40.8%)、「感じていない」(17.0%)となっている。
 【非実施者】は、健康だと「感じている」(19.2%)、「感じていない」(33.6%)となっている。
 【実施者】は【非実施者】よりも、健康だと「感じている」割合が、21.6ポイントも高く、約2倍となっている。
 一方、健康だと「感じていない」割合は16.6ポイントも低く、約半分になっている。健康と運動・スポーツは密接な関係にあるといえる。

3-13 直近1年間の医療費について

(1) 単純比較

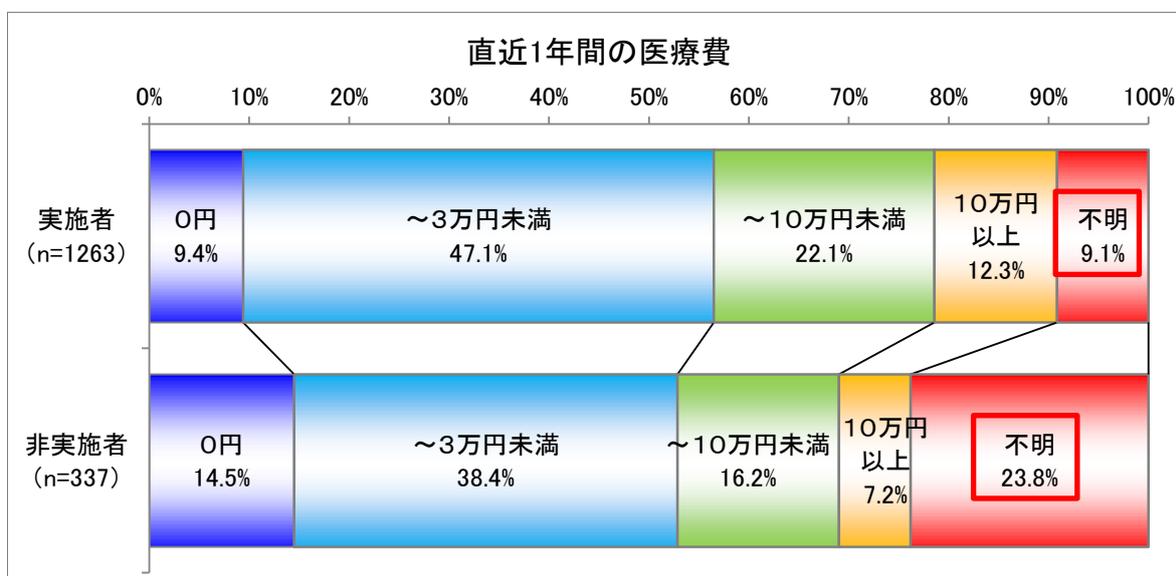
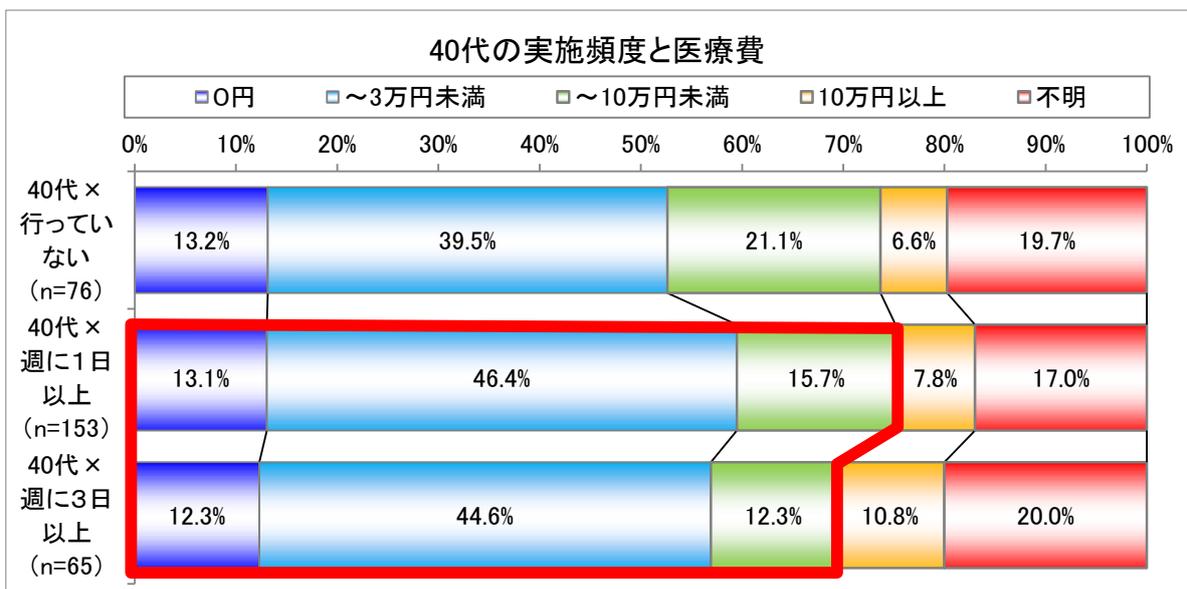
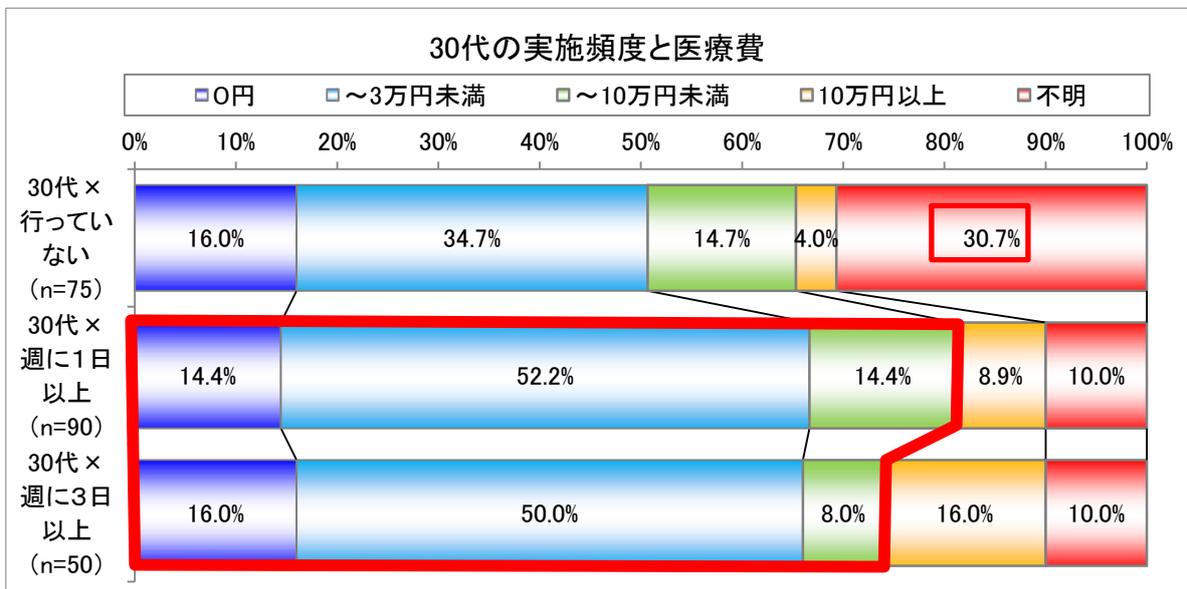
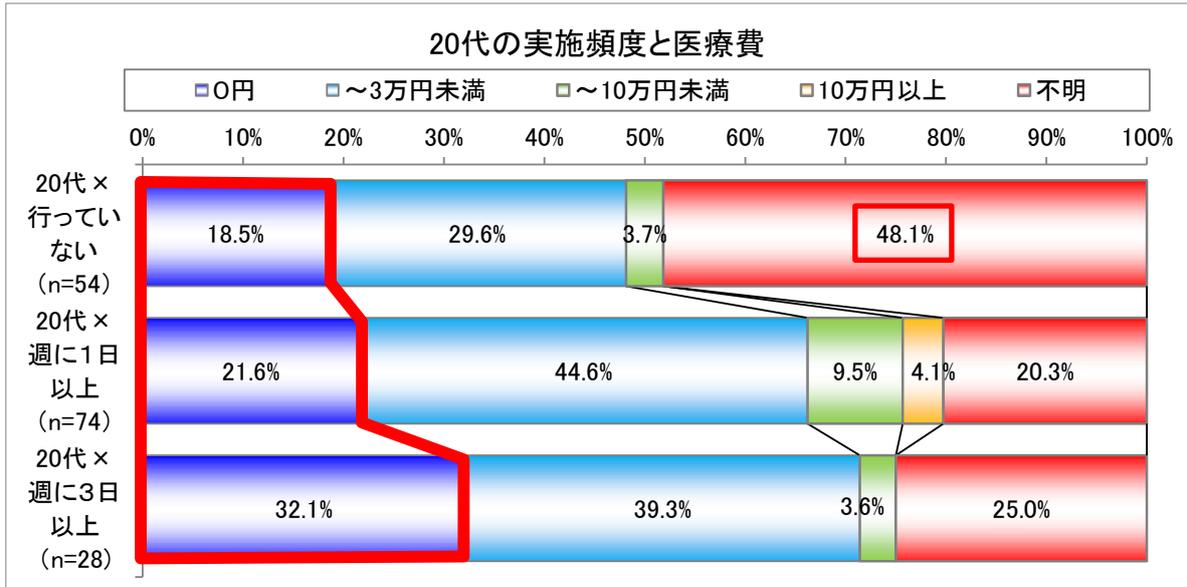


図 89

【実施者】は、「~3万円未満」(47.1%)が高く、「~10万円未満」(22.1%)、「10万円以上」(12.3%)と続く。【非実施者】も、「~3万円未満」(38.4%)が高いが、「不明」(23.8%)、「~10万円未満」(16.2%)、「0円」(14.5%)と続く。
 【実施者】の方が医療費をかけている傾向となっているが、【非実施者】は、医療費への意識が低いためか「不明」の割合が高く、【実施者】の2倍以上となっていることが影響していると考えられる。

(2) 年代と実施頻度との比較



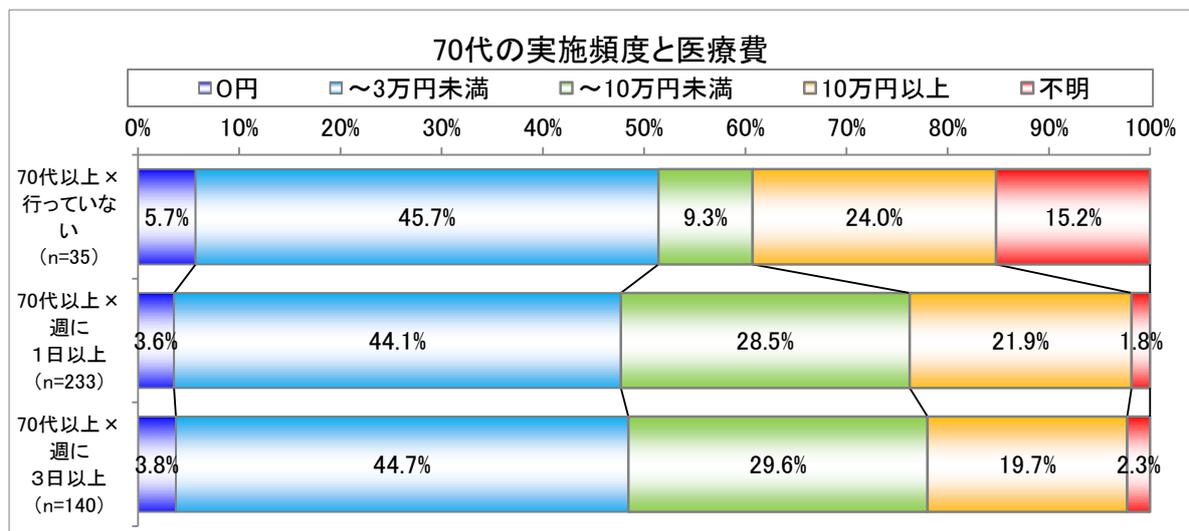
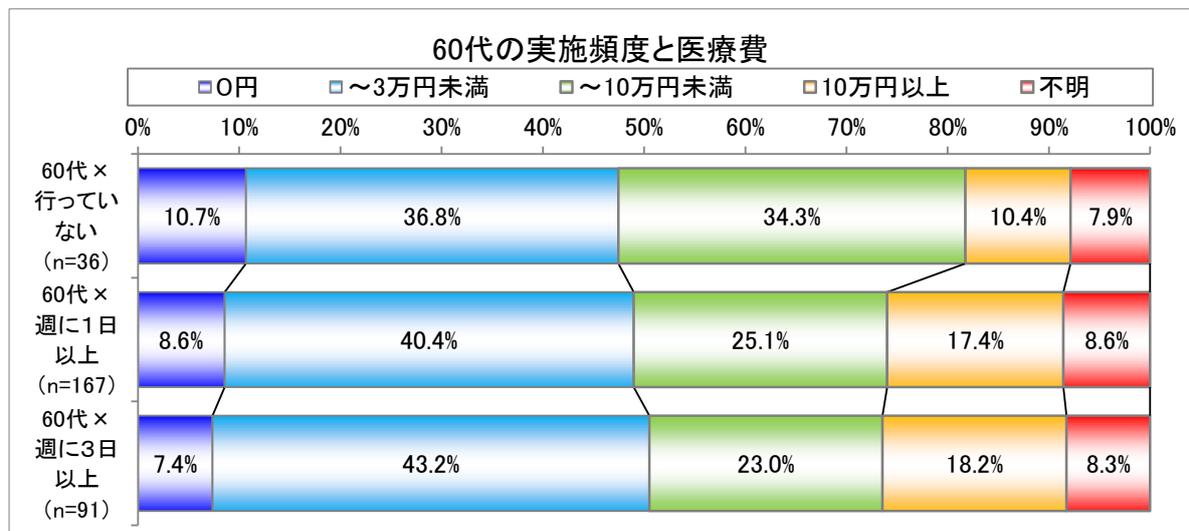
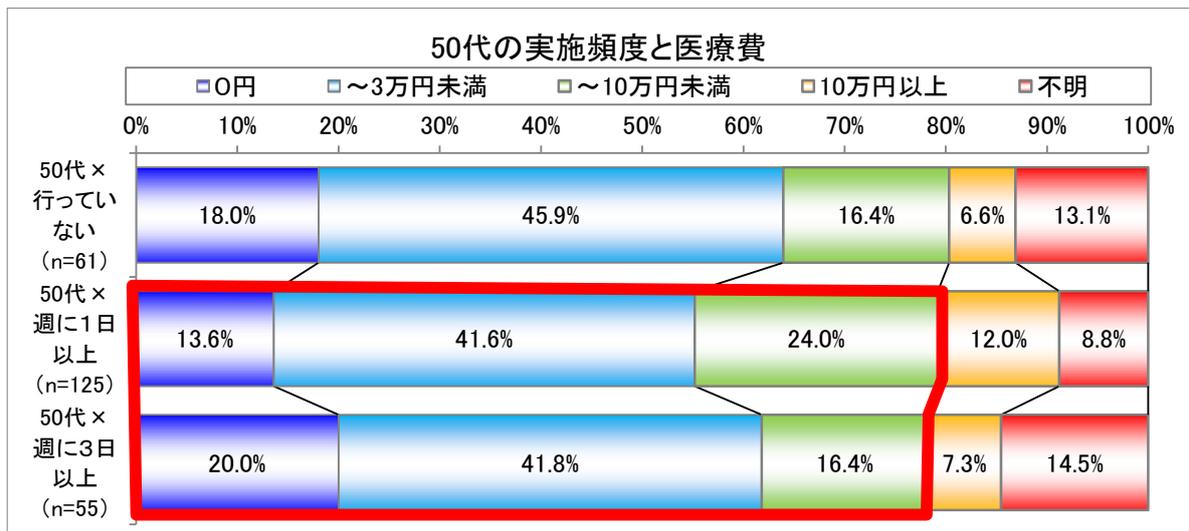


図 90

【20代】は、実施頻度が上がると、「0円」の割合が高くなっている。しかしながら、【行っていない人】は「不明」(48.1%)が圧倒的に高く、過半数近くが非常に関心の低い状態となっている。また、【30代】も同様に、【行っていない人】は、「不明」(30.7%)の割合が約3割となっており、関心の低い状態となっている。

【30代~50代】の実施者は、【週に1日以上】よりも【週に3日以上】の方が、「10万円未満」の割合が低くなった。しかし、【60代】【70代以上】では、この傾向は見られなかった。

3-14 健康寿命を延ばすために取り組みたいこと

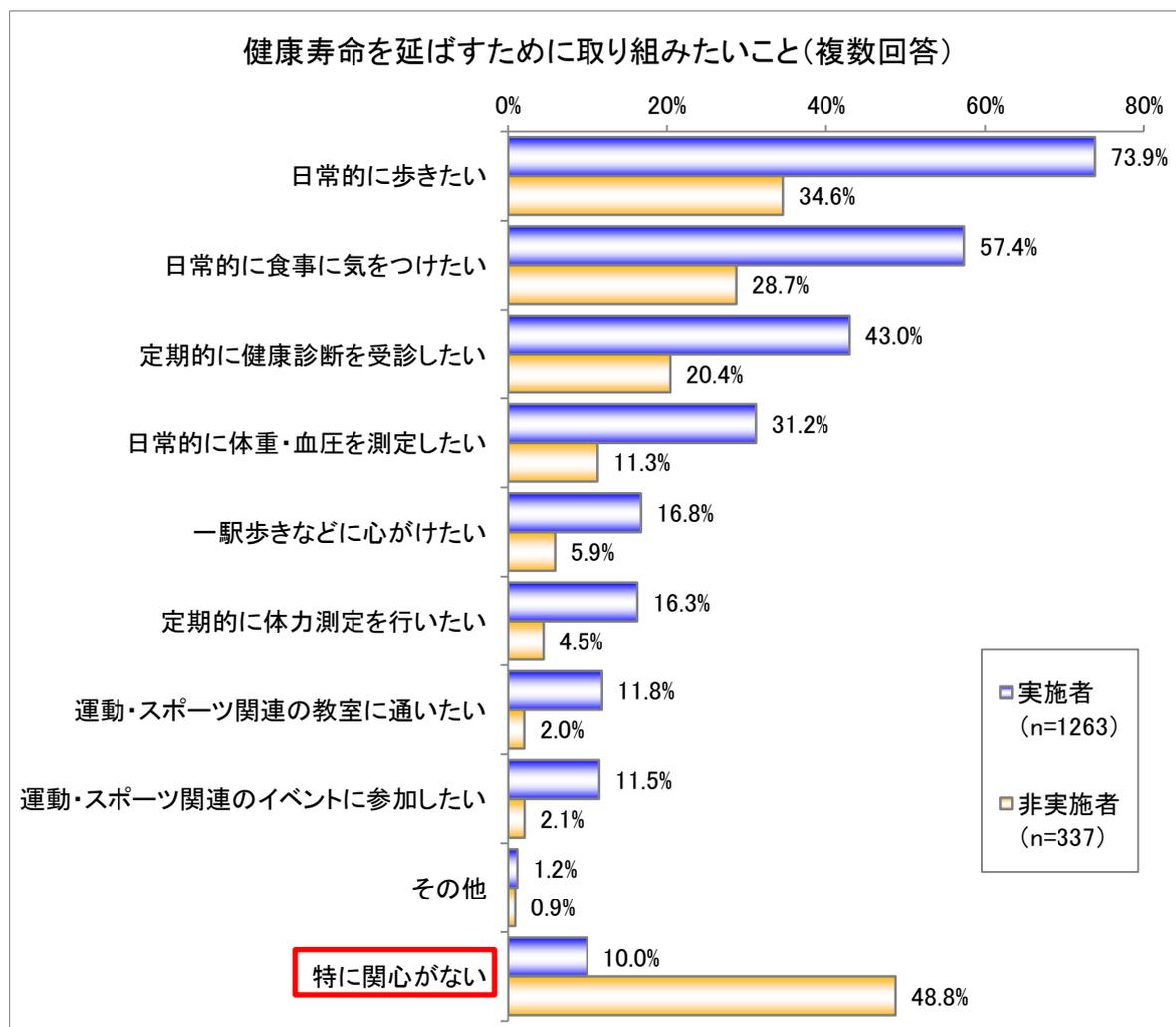


図 91

【実施者】は、「日常的に歩きたい」(73.9%)と「日常的に食事に気をつけたい」(57.4%)が高い。これに、「定期的に健康診断を受診したい」(43.0%)、「日常的に体重・血圧を測定したい」(31.2%)と続く。

【非実施者】も、「日常的に歩きたい」(34.6%)が高く、「日常的に食事に気をつけたい」(28.7%)、「定期的に健康診断を受診したい」(20.4%)と続く。しかし、「特に関心がない」(48.8%)が過半数近くに達している。

「健康寿命」を延ばすためには、【非実施者】における「特に関心がない」の割合を減らし、自身の健康について関心を持ってもらうように取り組む必要がある。

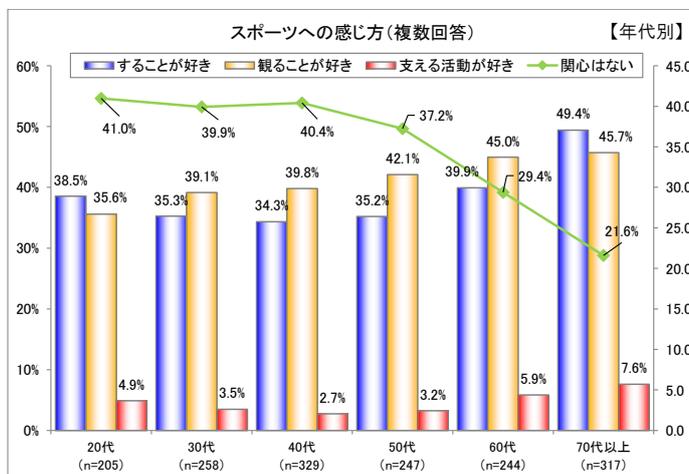
第4章 まとめ

4-1 運動・スポーツの感じ方

運動・スポーツは、「すること」よりも「観ること」が好きな割合が若干高く、「関心はない」とする割合が約3割を占めた。

性別で比較すると、男性は、女性よりも「すること」も「観ること」も好きな割合が高く、結果として、スポーツへの「関心」は、女性より男性のほうが高い結果となった。

右図のとおり、年代で比較すると、20代と70代以上は、「観ること」よりも「すること」が好きな割合が高かったが、それ以外の年代では、「観ること」の方が好きな割合が高かった。また、20代～50代では、「関心はない」とする割合が約4割にも達した。(P. 11～12 参照)

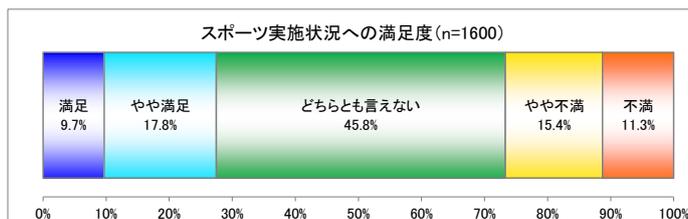


4-2 運動・スポーツ実施状況への満足度

右図のとおり、「満足」と「やや満足」を足した「満足傾向」と、「やや不満」と「不満」を足した「不満足傾向」は、どちらも約3割でほぼ同じ割合となった。

性別で比較すると、男女ともに、「満足傾向」、「不満足傾向」ともに3割程度で変わらないものの、男性の方が、「不満足傾向」が高く、女性の方が「満足傾向」が高かった。

年代で比較すると、70代以上は、「満足傾向」の割合が全年代の中で一番高く、「不満足傾向」の割合は全年代の中で一番低かった。「満足傾向」がとても高い状況と言える。一方で、20代～50代は満足傾向よりも、不満足傾向が上回る結果となった。中でも、30代と40代は、70代と比較すると「満足傾向」が約1/2、「不満足傾向」が約2倍となっており、「不満足傾向」が極めて高い状況と言える。(P. 13～14 参照)

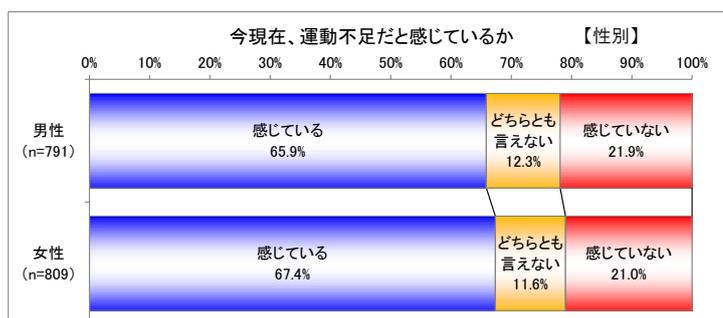


4-3 運動不足に対する意識

運動不足については、「感じている」が約7割、「感じていない」が約2割程度となった。

下図のとおり、性別で比較すると、男女ともに、運動不足を「感じている」割合が約7割で変わらないものの、男性の方が、女性の方が運動不足を「感じている」割合が若干高かった。

年代で比較すると、どの年代も運動不足だと「感じている」割合が高く、多くの年代で約7割に達した。しかし、60代と70代以上は、運動不足だと「感じている」割合が、他の年代に比べて低く、6割弱に留まっており、運動不足だと「感じていない」割合も3割程度に達していた。(P. 15～16 参照)

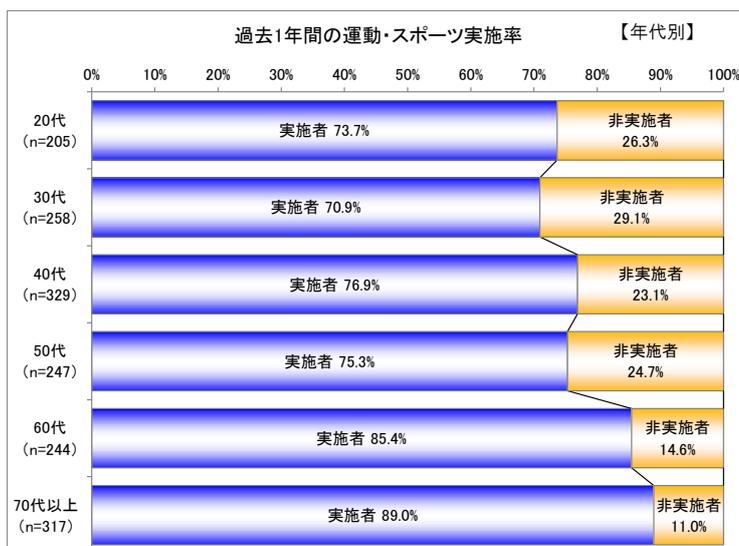


4-4 運動・スポーツの実施率と実施頻度

(1) 過去1年間の運動・スポーツ実施率

過去1年間の運動・スポーツの実施者は79.0%、非実施者は21.0%となった。27年度と比較すると、運動・スポーツの実施者は0.6ポイントの微増となった。調査開始(19年度)以降、実施率は75.0%から80.0%前後で推移している状況である。

性別で比較すると、男性の実施率は81.2%、女性の実施率は76.8%となった。男性の方が4.4ポイント高くなっており、運動・スポーツの実施率は、男性の方が女性よりも比較的高い傾向にある。

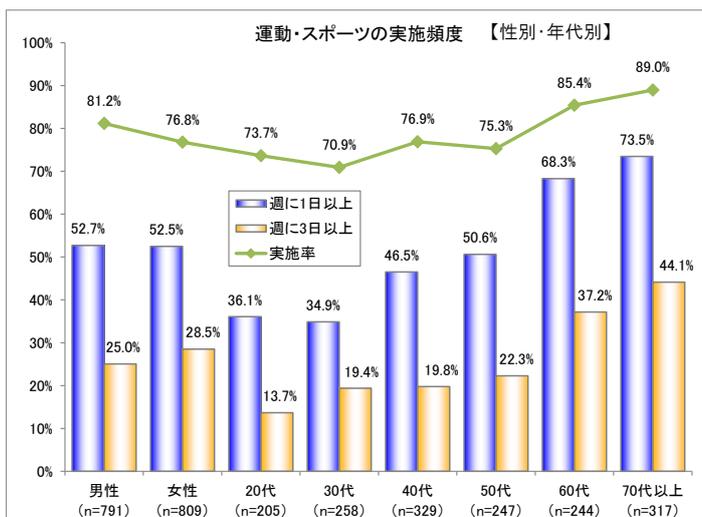


上図のとおり、年代で比較すると、70代以上の実施率は全年代の中で一番高く、30代の実施率は全年代の中で一番低くなった。20代~50代と60代以上との間には、10ポイント以上の差があり、現役世代とそれ以上の世代との間に実施率の壁ができています。(P.18~19参照)

(2) 運動・スポーツの実施頻度(週に1日以上、3日以上)

「週に1日以上」は52.6%(27年度結果+3.3ポイントの微増)、「週に3日以上」は26.8%(27年度結果+3.4ポイントの微増)となっており、実施頻度が若干上がったものの、国及び横浜市が掲げる計画目標には及ばなかった(週1回以上の実施率では12.4ポイント、週3回以上の実施率では3.2ポイントの未達)。

右図のとおり、性別で比較すると、男性の方が運動・スポーツの実施率は高いものの、週に3日以上の実施率は低く、男性よりも女性の方が比較的实施頻度が高かった。



また、年代で比較すると、60代と70代以上は、実施率も実施頻度も高かったが、20代や30代は、実施率も実施頻度も低い状態であった。特に20代は、週に3日以上の実施率が13.7%となっており、最も実施頻度が低かった。(P.20~21参照)

国のスポーツ基本計画および横浜市のスポーツ推進計画では、「成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%程度)、週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人(30%程度)となること」を目標としている。

4-5 運動・スポーツの会場での観戦率

過去1年間のプロスポーツやトップアスリート大会の会場観戦率は、30.5%となり、前回調査(27年度)から4.6ポイント減少した。

性別で比較すると、男性は34.0%、女性は27.0%となり、男性の方が比較的観戦率が高かった。

年代で比較すると、30代は観戦率が全世代の中で一番高かったものの、その他の年代も3割程度となり、年代による差はあまり見られなかった。

横浜市のスポーツ推進計画では、「トップアスリートが参加するスポーツ大会やプロスポーツを間近で観戦した市民の割合を50%以上となること」を目標としているが、目標には19.5ポイントの未達となっている。(P. 31~32 参照)

4-6 運動・スポーツのボランティア活動への参加率

過去1年間の運動・スポーツに関するボランティア活動参加率は6.2%となり、前回調査(27年度)から0.2ポイントの微増となった。

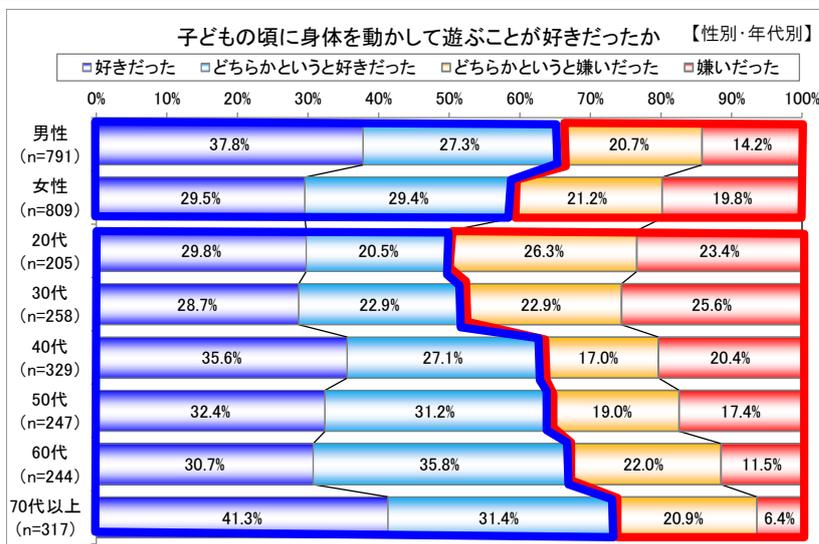
横浜市のスポーツ推進計画では、「スポーツボランティアを行ったことがある市民の割合を10%以上となること」を目標としている。28年度は、調査結果が伸びたものの、目標には3.8ポイントの未達となっている。(P. 35~36 参照)

4-7 子どもの頃の状況

子どもの頃は、身体を動かして遊ぶことが「好き」な傾向が約6割、「嫌い」な傾向は約4割となった。

子どもの頃は、比較的身体を動かして遊ぶことが好きな傾向にある。

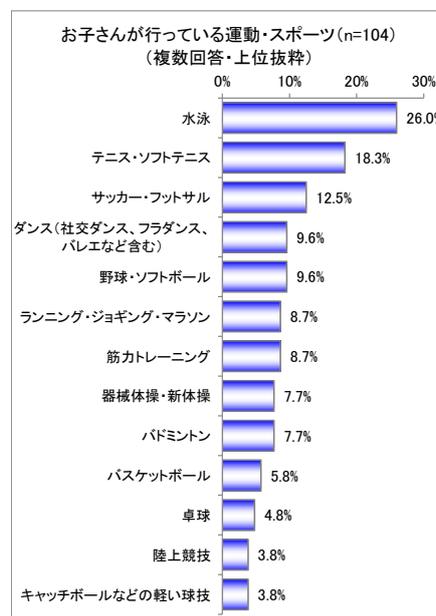
右図のとおり、性別で比較すると、男性は女性よりも比較的「好き」だった傾向が高かった。また、年代で比較すると、70代以上は「好き」だった傾向が非常に高いが、年代が下がるにつれて、「好き」だった傾向が低くなり、20代・30代は「好き」と「嫌い」の傾向がほぼ同じくらいとなった。(P. 40 参照)



4-8 回答者が子どもの頃と回答者のお子さんが行っているスポーツ

回答者自身が子どもの頃に行っていた運動・スポーツは、「野球・ソフトボール」、「水泳」、「キャッチボールなどの軽い球技」が多く、7割近くが運動・スポーツを行っていた。年代によって実施種目が異なるものの、「野球・ソフトボール」と「水泳」は、どの年代でも上位に入った。

一方、右図のとおり、回答者のお子さんが学校の授業以外で行っている運動・スポーツは、「水泳」、「テニス・ソフトテニス」、「サッカー・フットサル」が多かった。しかしながら、運動・スポーツの実施率は6割弱に留まり、実施率が低い結果となった。また、ボールを投げる競技の実施率が大幅に落ちており、このことが、遠投能力の低下につながっている要因の一つとも考えられる。(P. 41~45 参照)



4-9 健康への関心

自身が健康だと「感じている」割合は約4割、「感じていない」割合が約2割となり、健康だと「感じている」割合は、「感じていない」割合の約2倍となった。

性別で比較すると、男女ともに健康だと「感じている」方が、「感じていない」よりも高いものの、女性の方が、男性よりも健康だと「感じている」割合が高かった。

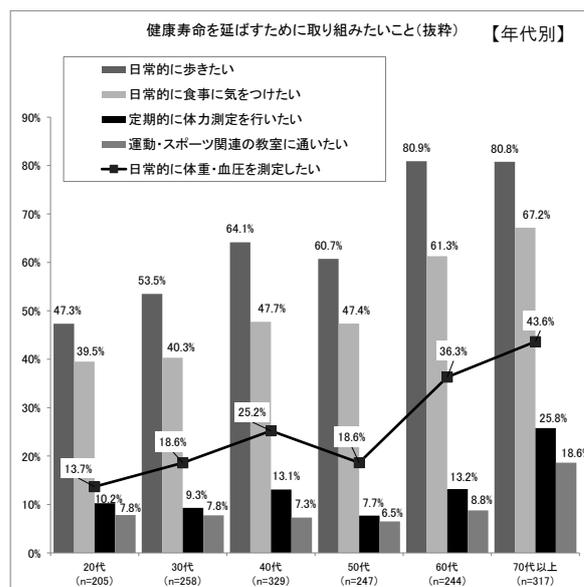
年代で比較すると、30代は、健康だと「感じている」割合が全年代の中で一番低く、逆に、60代・70代以上は、健康だと「感じている」割合が4割以上と比較的高い結果となった。(P. 61~62 参照)

4-10 健康寿命を延ばすためには

健康寿命を延ばすために取り組みたいことは、「日常的に歩きたい」と「日常的に食事に気をつけたい」との回答が過半数を超えた。

性別で比較すると、男女ともに「日常的に歩きたい」が高かったものの、男性よりも女性の方が、「日常的に食事に気をつけたい」の割合が非常に高く、食事への意識が高かった。また、「運動・スポーツ関連の教室に通いたい」の割合も高かった。

右図のとおり、年代で比較すると、60代・70代以上は、「日常的に体重・血圧を測定したい」の割合が比較的高く、また、70代以上は、「定期的に体力測定を行いたい」の割合がどの年代よりも高かった。(P. 65~66 参照)



4-11 おわりに

今回の調査では、新たに「医療費」や「健康寿命」に関する質問事項を追加し、運動・スポーツと医療費との関係や健康との関係を分析した。(P. 73~76 参照)

医療費と運動・スポーツとの関係について、20代は実施頻度が上がると、「0円」の割合が高くなるなど、一部に傾向は見られた。しかし、運動・スポーツを行っていない人は、医療費への意識・関心が低いためか、医療費が「不明」の割合が高く、医療費との直接の関係性を導き出すことはできなかった。今後も引き続き関係性を調査し、分析を行いたい。

健康と運動・スポーツとの関係についてだが、運動・スポーツを行っている人は、行っていない人の2倍近くが、健康だと「感じている」状況であった。運動・スポーツを行うこと＝健康につながる、と直接は言い切れないものの、健康への感じ方と、運動・スポーツには関係性が見えた。

また、健康寿命の延伸に向けては、「日常的に歩く・食事に気をつける」という意識はどの年代においても高く、多くの方が必要な取り組みだと感じていることが分かった。また一方で、「健康寿命」を延ばすための取り組みに、「特に関心がない」とする方も多く、運動・スポーツを行っていない方の過半数近くが、「特に関心がない」とした。この方々に、自身の健康について関心を持っていただき、健康寿命の延伸に向けて取り組んでいただけるようにする必要がある。

最後に、今後、スポーツ・運動を市民が継続的に実施していくためには、市民のニーズをしっかりと調査・分析した事業を展開する必要がある。いつまでもスポーツが楽しめる明るく豊かな社会が実現されるよう、スポーツに関わる方々にはこの調査結果を参考にしていただきたい。

資料

1 調査項目

【全員回答】

設問1：運動・スポーツについてどのように感じていますか。（複数可）

することが好き	観ることが好き	ボランティア活動などの支える活動が好き (大会の手伝いや指導など)	関心はない
---------	---------	--------------------------------------	-------

設問2：現在の運動・スポーツ実施状況に満足していますか。

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
----	------	-----------	------	----

設問3：今現在、ご自身は運動不足だと感じていますか。

感じている	感じていない	どちらとも言えない
-------	--------	-----------

設問4：この1年間にどのような運動・スポーツをしましたか。

あてはまるものを全て教えてください（複数可）

散歩 (ペットの散歩も含む)	ウォーキング (意識して長く歩く、早く歩く、通勤通学の際の一駅歩きなども含む)	ランニング・ジョギング・マラソン	ラジオ体操などの健康体操・美容体操・ストレッチ
筋力トレーニング	ヨガ・ピラティス	エアロビクス・アクアビクス	ダンス (社交ダンス、フラダンス、バレエなども含む)
太極拳・気功	水泳	器械体操・新体操	陸上競技
キャッチボールなどの軽い球技	バスケットボール	バレーボール・ソフトバレーボール	卓球
バドミントン	テニス・ソフトテニス	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル
ラグビー	ボウリング	ゴルフ (練習も含む)	ゲートボール・グラウンドゴルフ
海水浴(遊泳)	サーフィン・ダイビングなどの水上(中)スポーツ	登山・ハイキング	サイクリング・サイクルスポーツ
インラインスケート・スケートボードなどのローラースポーツ	スキー・スノーボードなどの雪上スポーツ	スケート・ホッケーなどの氷上スポーツ	釣り
キャンプ・野外活動	空手・ボクシング・柔道・相撲などの武道・格闘技	弓道などの射的スポーツ	その他()
行っていない			

【設問4で運動・スポーツを行った方（実施者）のみ回答】

設問5：この1年間に前問でお答えになった運動・スポーツの実施日数は全部でどのくらいになりますか。

年に1～3日	3ヶ月に1～2日 (年4～11日)	月に1～3日程度 (年12～50日)	週に1日程度 (年51～100日)
週に2日程度 (年101～150日)	週に3日以上 (年151日以上)	ほぼ毎日	

設問6：それらの運動・スポーツをしたのはどのような理由からですか。（複数可）

健康・体力の維持、増進	競技力・技術の向上	減量・美容・肥満解消	気分転換・ストレス解消
楽しいから・好きだから	運動不足を感じるから	家族とのふれあい	友人・仲間との交流
老化防止・介護予防	病気や障害の治療・リハビリ	その他()	

設問7：それらの運動・スポーツはどのような場所で行いましたか。（複数可）

自宅	公共のスポーツ施設 (スポーツセンター、体育館など)	民間のスポーツ施設	学校の体育施設
職場内のスポーツ施設	道路	公園や空き地、広場	山、川、海などの自然
その他()			

【設問4で運動・スポーツを行わなかった方（非実施者）、設問5で年に1～3日行った方のみ回答】

設問8：なぜ運動・スポーツを行わなかった（できなかった）のかを教えてください。

なぜ運動・スポーツを年に1～3日程度しか行わなかった（できなかった）のか教えてください。（複数可）

仕事や家事が忙しいから	育児や介護が忙しいから	体力や健康に不安があるから	病気・怪我があるから
年をとったから	託児サービスがないから	早朝深夜に施設が開館していないから	身近に運動できる場所や施設がないから
仲間がいないから	指導者がいないから	お金がかかるから	運動・スポーツに関する情報がないから
興味がある運動・スポーツのプログラムがないから	運動・スポーツが好きではないから	その他()	

設問9：あなた自身が運動・スポーツに費やしても良いと思う金額は1ヶ月あたりいくらくらいですか。

0円	1円～3千円未満	3千円～5千円未満	5千円～1万円未満
1万円～2万円未満	2万円～5万円未満	5万円以上	

設問10：今後はどのような運動・スポーツを行ってみたいですか。今行っているものも含めてご回答ください。（複数可）

散歩 (ペットの散歩含む)	ウォーキング(意識して長く歩く、速く歩く、通勤通学の際の一駅歩きなども含む)	ランニング・ジョギング・マラソン	ラジオ体操などの健康体操・美容体操・ストレッチ
筋力トレーニング	ヨガ・ピラティス	エアロビクス・アクアビクス	ダンス(社交ダンス、フラダンス、バレエなど含む)
太極拳・気功	水泳	器械体操・新体操	陸上競技

キャッチボールなどの軽い球技	バスケットボール	バレーボール・ソフトバレーボール	卓球
バドミントン	テニス・ソフトテニス	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル
ラグビー	ボウリング	ゴルフ(練習も含む)	ゲートボール・グラウンドゴルフ
海水浴(遊泳)	サーフィン・ダイビングなどの水上(中)スポーツ	登山・ハイキング	サイクリング・サイクルスポーツ
インラインスケート・スケートボードなどのローラースポーツ	スキー・スノーボードなどの雪上スポーツ	スケート・ホッケーなどの氷上スポーツ	釣り
キャンプ・野外活動	空手・ボクシング・柔道・相撲などの武道・格闘技	弓道などの射的スポーツ	その他()
行ってみたいものはない			

■■ここからは、スポーツの観戦についてお伺いします■■

設問 11：この1年間に、プロスポーツやトップアスリートが参加するスポーツを、開催会場や間近で直接観戦しましたか。あてはまるものを全て教えてください。(複数可)

マラソン(駅伝も含む)	陸上競技(マラソン・駅伝以外)	体操競技	ダンス(社交ダンス、フラダンス、バレエなど含む)
トライアスロン	水泳競技	バスケットボール	バレーボール・ソフトバレーボール
卓球	バドミントン	テニス・ソフトテニス	野球・ソフトボール
サッカー・フットサル	ゴルフ	サイクリング・サイクルスポーツ	スキー・スノーボードなどの雪上スポーツ
スケート・ホッケーなどの氷上スポーツ	ラグビー	アメリカンフットボール	ボウリング
モータースポーツ	空手・ボクシング・柔道・相撲などの武道・格闘技	釣り	その他()
観ていない			

【設問 11 で観戦した方のみ回答】

設問 12：観戦に行った回数はこの1年間でどのくらいですか。

1～2回	3～5回 (3ヶ月に1回程度)	6～8回 (2ヶ月に1回程度)	約10回 (月に1回程度)
それ以上			

【全員回答】

設問 13：プロスポーツやトップアスリートが参加するスポーツについて今後開催会場や間近で直接観戦したい種目はありますか。あてはまるものを全て教えてください。(複数可)

マラソン(駅伝も含む)	陸上競技(マラソン・駅伝以外)	体操競技	ダンス(社交ダンス、フラダンス、バレエなど含む)
トライアスロン	水泳競技	バスケットボール	バレーボール・ソフトバレーボール
卓球	バドミントン	テニス・ソフトテニス	野球・ソフトボール
サッカー・フットサル	ゴルフ	サイクリング・サイクルスポーツ	スキー・スノーボードなどの雪上スポーツ
スケート・ホッケー(アイス・フィギュア含む)	ラグビー	アメリカンフットボール	ボウリング

モータースポーツ	空手・ボクシング・柔道・相撲などの武道・格闘技	釣り	その他()
特にない			

■■ここからは、運動・スポーツに関するボランティアについてお伺いします■■

設問 14：この1年間に運動・スポーツに関するボランティア活動をしましたか。(複数可)

スポーツの指導・コーチ・審判	イベント・大会などでのボランティア	スポーツ施設の運営補助	地域のスポーツクラブ、競技団体等の運営補助
スポーツ用具等の寄付	イベントの募金、オークションなどのチャリティー活動への参加	その他()	活動していない

設問 15：運動・スポーツに関して、興味のあるボランティア活動はありますか。(複数可)

スポーツの指導・コーチ・審判	イベント・大会などでのボランティア	スポーツ施設の運営補助	地域のスポーツクラブ、競技団体等の運営補助
スポーツ用具等の寄付	イベントの募金、オークションなどのチャリティー活動への参加	その他()	特にない

設問 16：今後、運動・スポーツに関するボランティア活動に参加したいですか。

参加したい	参加したくない	わからない
-------	---------	-------

設問 17：どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツに関するボランティア活動に参加するようになりますか。(複数可)

時間に余裕ができれば	地域での居場所、役割があれば	出会い、交流の場になれば	一緒に行く仲間がいれば
活動に関する情報があれば	参加したい活動があれば	ボランティアセンターがあれば	その他()
どんなきっかけがあっても参加しない			

■■ここからは、子どもの頃の運動・スポーツについてお伺いします■■

設問 18：あなたは子どもの頃(小中学生の頃)に、身体を動かして遊ぶことが好きでしたか。

好きだった	どちらかというと好きだった	どちらかというと嫌いだった	嫌いだった
-------	---------------	---------------	-------

設問 19：あなたは子どもの頃(小中学生の頃)に、学校の授業以外でどんな運動・スポーツをしていましたか。(複数可)

ランニング・ジョギング・マラソン	ラジオ体操などの健康体操・ストレッチ	筋力トレーニング	ダンス(社交ダンス、フラダンス、バレエなど含む)
水泳	器械体操・新体操	陸上競技	キャッチボールなどの軽い球技
バスケットボール	バレーボール・ソフトバレーボール	卓球	バドミントン
テニス・ソフトテニス	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	ラグビー・タグラグビー
ボウリング	ゴルフ(打ちっぱなしなどの練習含む)	登山・ハイキング	サイクリング・サイクルスポーツ

スキー・スノーボードなどの雪上スポーツ	スケート・ホッケーなどの氷上スポーツ	釣り	キャンプ・野外活動
空手・ボクシングなどの武道・格闘技	弓道などの射的スポーツ	サーフィン・ダイビングなどの水上(中)スポーツ	その他()
特にしていなかった			

■■ここからは、高校生以下のお子様がいらっしゃる方にお伺いします■■

【基本情報 F7：高校生以下のお子様がいらっしゃる方のみ回答】

設問 20：お子さんは学校の授業以外で運動・スポーツをしていますか。(複数可)

学校の部活やクラブ活動で運動をしている	地域のクラブやサークルで運動をしている	習い事として運動をしている	その他()
特にしていない			

【設問 20 実施者のみ回答】

設問 21：お子さんは定期的にどのような運動・スポーツをしていますか。(複数可)

ランニング・ジョギング・マラソン	ラジオ体操などの健康体操・幼児体操・ストレッチ	筋力トレーニング	ダンス(社交ダンス、フラダンス、バレエなど含む)
水泳	器械体操・新体操	陸上競技	キャッチボールなどの軽い球技
バスケットボール	バレーボール・ソフトバレーボール	卓球	バドミントン
テニス・ソフトテニス	ラグビー・タグラグビー	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル
ボウリング	ゴルフ(打ちっぱなしなどの練習含む)	登山・ハイキング	サイクリング・サイクルスポーツ
スキー・スノーボードなどの雪上スポーツ	スケート・ホッケーなどの氷上スポーツ	釣り	キャンプ・野外活動
空手・ボクシングなどの武道・格闘技	弓道などの射的スポーツ	サーフィン・ダイビングなどの水上(中)スポーツ	その他()

■■ここからは、横浜市のスポーツについてお伺いします■■

【全員回答】

設問 22：横浜市内や区内のスポーツに関する情報はどこから入手していますか。(複数可)

広報よこはま	Sports よこはま(情報誌)	新聞記事	折込広告
雑誌、無料情報誌	ハマスポ(情報サイト)	電車・バス・駅	家族・友人・知人からの口コミ
インターネット(施設やイベントのホームページ)	テレビ	ラジオ	学校・職場
スポーツ施設	自治会の回覧板、掲示板	その他()	特にない

設問 23：どのようなスポーツ情報が欲しいですか。(複数可)

スポーツ施設に関する情報(場所・営業時間・空き情報など)	スポーツ教室の案内	室内や一人でできる手軽な運動のやり方やプログラムの情報	全国的・国際的な大会・イベントの開催情報や結果
市民参加型の大会やイベントの開催情報や結果	親子で参加できるイベントの情報	託児に関する情報	横浜のプロスポーツに関する情報
指導者の紹介	障害者スポーツに関する情報	健康維持増進のための食事に関する情報	ウォーキングやランニングコースに関する情報

指導者講習会や資格取得などのスポーツ関連講座の情報	スポーツボランティアに関する情報	スポーツクラブやサークルに関する情報	チーム練習や試合相手の情報
スポーツ医科学的情報	横浜のスポーツの歴史	その他()	特になし

設問 24：次の施設・事業の中で知っているものを全て教えてください。(複数可)

市内各区のスポーツセンター	市内青少年野外活動センター	新横浜公園 (日産スタジアム含む)	横浜市スポーツ医科学センター
横浜文化体育館	横浜市平沼記念体育館	横浜国際プール	神奈川スケートリンク (横浜銀行アイスアリーナ)
屋外プール (本牧市民プール・横浜プールセンター)	市内屋内プール (旭・都筑・金沢・栄・港南・保土ケ谷)	テニスガーデン (根岸・泉中央・緑)	横浜みなとみらいスポーツパーク
たしがしら会館	鶴見川漕艇場	横浜市少年自然の家 (赤城・南伊豆)	ハマスポ (情報サイト)
Sports よこはま (情報誌)	総合型地域スポーツクラブ	はまちゃん体操	ハマトレ
ヨコハマさわやかスポーツ	横浜熱闘倶楽部	よこはまウオーキングポイント	横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座
横浜マラソン	横浜シーサイドトライアスロン大会	世界トライアスロンシリーズ横浜大会	ラグビーワールドカップ2019
東京 2020 大会での英国オリンピック代表チーム事前キャンプ受入やホストタウン構想	フィットネスヨコハマ	横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル	YOKOHA ビーチスポーツフェスタ
ヨコハマ・ワールドウォーク	よこはまシティウォーク	特になし	

【設問 24 知っているものがある方のみ回答】

設問 25：次の施設・事業の中で利用したこと、参加したことがあるものを全て教えてください(複数可)

市内各区のスポーツセンター	市内青少年野外活動センター	新横浜公園 (日産スタジアム含む)	横浜市スポーツ医科学センター
横浜文化体育館	横浜市平沼記念体育館	横浜国際プール	神奈川スケートリンク (横浜銀行アイスアリーナ)
屋外プール (本牧市民プール・横浜プールセンター)	市内屋内プール (旭・都筑・金沢・栄・港南・保土ケ谷)	テニスガーデン (根岸・泉中央・緑)	横浜みなとみらいスポーツパーク
たしがしら会館	鶴見川漕艇場	横浜市少年自然の家 (赤城・南伊豆)	ハマスポ (情報サイト)
Sports よこはま (情報誌)	総合型地域スポーツクラブ	はまちゃん体操	ハマトレ
ヨコハマさわやかスポーツ	横浜熱闘倶楽部	よこはまウオーキングポイント	横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座
横浜マラソン	横浜シーサイドトライアスロン大会	世界トライアスロンシリーズ横浜大会	ラグビーワールドカップ2019 関連イベント
フィットネスヨコハマ	横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル	YOKOHA ビーチスポーツフェスタ	ヨコハマ・ワールドウォーク
よこはまシティウォーク	特になし		

【全員回答】

設問 26：公共スポーツ施設にどのような事を望みますか。(複数可)

施設設備 (空調・用具など)の充実	アフタースポーツ施設 (レストラン・シャワールームなど)の充実	高齢者や障害者に配慮した施設整備	駐車場・駐輪場の整備
託児サービスの充実	館内の美化	アメニティーの充実	利用手続き、支払方法などの簡略化
利用時間の拡充 (早朝、深夜など)	お客様対応の向上	スポーツ教室やイベント内容の充実	教室やイベントなどの広報の充実
利用案内等の広報の充実	指導者の資質向上	健康やスポーツに関する情報の充実	健康・体力相談体制の充実
全国的・国際的規模の大会や区民大会・市民大会の充実	障害者スポーツ・レクリエーションプログラムの充実	その他()	特にない

設問 27：横浜市内のスポーツが、ますます盛んになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数可)

スポーツ施設の整備	学校体育施設の開放・整備	各種スポーツ行事・大会・教室の開催	国際的な大会・イベントの開催
年齢層にあったスポーツ種目の開発普及	ウォーキング、サイクリングなどのコース作成や紹介	スポーツによる出会いや交流の促進	地元プロスポーツチームの活性化や選手との交流イベントの充実
広報・PRの充実	健康・体力相談の充実	学校部活動の支援	スポーツ指導者の育成
スポーツボランティアの育成・支援	総合型地域スポーツクラブなどの地域のクラブやサークルの育成・支援	スポーツに関する情報提供	スポーツを通じた国際交流の振興
スポーツ・運動の必要性の教育・啓発	障害者のスポーツ・レクリエーションプログラムの開発	その他()	特にない

設問 28：運動やスポーツを行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。(複数可)

スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人	健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人	障害者や高齢者のスポーツの指導ができる人	青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人
競技力向上のための高度な技術の指導ができる人	スポーツイベント(大会や教室など)の企画や運営ができる人	年間を通して定期的に指導ができる人	いろいろなニュースポーツ(グラウンドゴルフ、インディアカなど)の指導ができる人
指導に関する資格を持っている人	その他()	特にない	

■■ここからは、オリンピックやラグビーワールドカップについてお伺いします。■■

設問 29：2016 リオオリンピック・パラリンピックに関連して、あなたはどのような行動をとりましたか。(複数可)

テレビで観戦した	パブリックビューイング会場で観戦した	インターネットで観戦した	現地会場で観戦した
横浜市内での関連イベントに参加した	その他()	特に行動していない	

【設問 29 観戦した方、イベントに参加した方のみ回答】

設問 30：2016 リオオリンピック・パラリンピックを観戦（イベントに参加）したことで、その後の行動に変化がありましたか。（複数可）

運動・スポーツをするようになった	今後、運動・スポーツをしたいと思う	スポーツを会場で観戦するようになった	今後、スポーツを会場で観戦したいと思う
スポーツボランティアをするようになった	今後スポーツボランティアをしたいと思う	その他()	特に変化はない

【全員回答】

設問 31：2020年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催されますが、どのように感じていますか。（複数可）

オリンピックを会場で観戦したい	パラリンピックを会場で観戦したい	オリンピックをテレビで観戦したい	パラリンピックをテレビで観戦したい
横浜市内でもパブリックビューイングなどの関連イベントを開催して欲しい	スポーツに関わる活動や仕事がしたい	オリンピック・パラリンピアンと触れ合う機会が欲しい	体験してみたいオリンピック競技がある (競技名:)
体験してみたいパラリンピック競技がある (競技名:)	選手と触れ合う機会が欲しい	障害者スポーツへの関心が高まった	ボランティアとして関わりたい
運動・スポーツをしたくなった	運動・スポーツをするようになった	健康づくりへの関心が高まった	国際交流(英国など)への関心が高まった
その他()	特に関心がない		

設問 32：2019年にラグビーワールドカップが日本（決勝戦：横浜国際総合競技場）で開催されますが、どのように感じていますか。（複数可）

会場で観戦したい	テレビで観戦したい	横浜市内でも何か関連イベントを開催して欲しい	選手と触れ合う機会が欲しい
ボランティアとして関わりたい	運動・スポーツをしたくなった	運動・スポーツをするようになった	その他()
特に関心がない			

■■ここからは、健康への関心についてお伺いします。■■

設問 33：今現在、ご自身は健康だと感じていますか。

感じている	どちらとも言えない	感じていない
-------	-----------	--------

設問 34：あなた自身の直近1年間の医療費はいくらくらいでしたか。

0円	1円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満
5万円～7万円未満	7万円～10万円未満	10万円～12円未満	12万円以上
わからない・覚えていない			

設問 35：健康寿命を延ばすために、ご自身が取り組みたいと思うことは何ですか。（複数可）

日常的に歩きたい	一駅歩きなどに心がけたい	日常的に食事に気をつけたい	日常的に体重・血圧を測定したい
運動・スポーツ関連のイベントに参加したい	運動・スポーツ関連の教室に通いたい	定期的に健康診断を受診したい	定期的に体力測定を行いたい
その他()	特に関心がない		

設問 36：あなたが今後ウォーキングを始める場合、もしくは続ける場合どのようなサービスがほしいと思いますか。

どのようなことでもかまいませんので、以下の回答欄にご自由にご記入ください。

特に欲しいサービスがある	特にほしいサービスはない		
--------------	--------------	--	--

◆基本情報

F1：あなたの性別を教えてください

男性	女性
----	----

F2：あなたの年齢はおいくつですか

F3：あなたのお住まいの区はどちらですか

鶴見区	神奈川区	西区	中区
南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区
磯子区	金沢区	港北区	緑区
青葉区	都筑区	戸塚区	栄区
泉区	瀬谷区		

F4：あなたのご職業を教えてください

正社員	契約・嘱託・派遣社員	自営業	パート・アルバイト
学生	専業主婦(夫)	無職	その他()

F5：あなたのご結婚されていますか

未婚	既婚
----	----

F6：お子さんはいらっしゃいますか

いる	いない
----	-----

【F6 お子さんがいる方のみ回答】

F7：お子さんの年齢層について該当するものを全てお選びください（複数可）

未就学児	小学生	中学生	高校生
大学(院)生	学校教育終了	その他()	

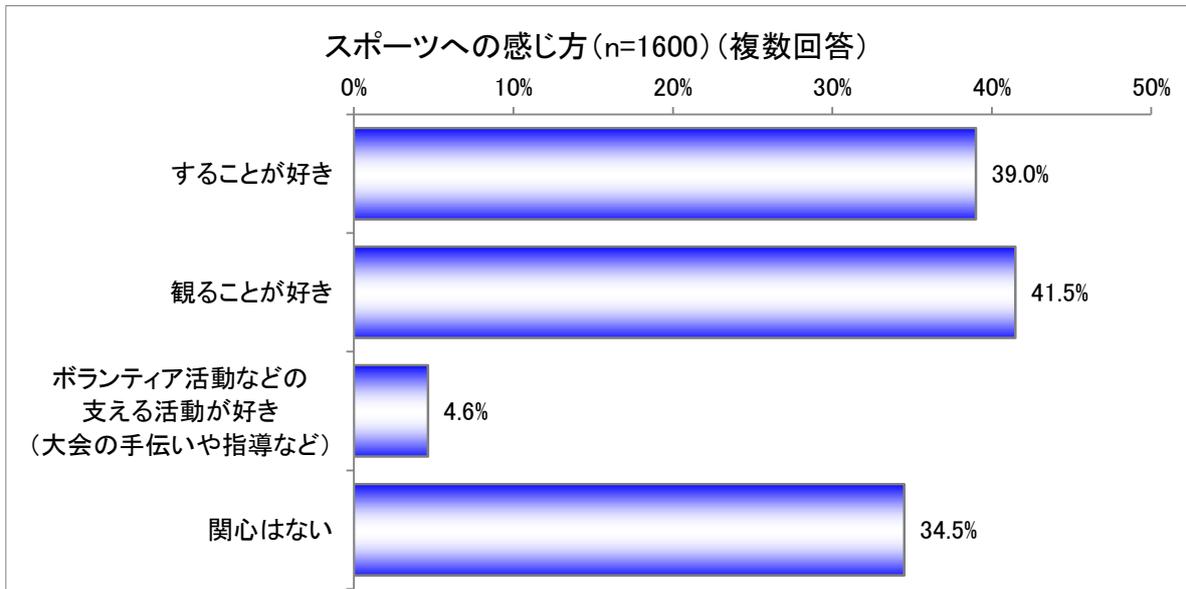
【全員回答】

F8：あなたは、地域のコミュニティー活動やクラブなどに参加していますか。（複数可）

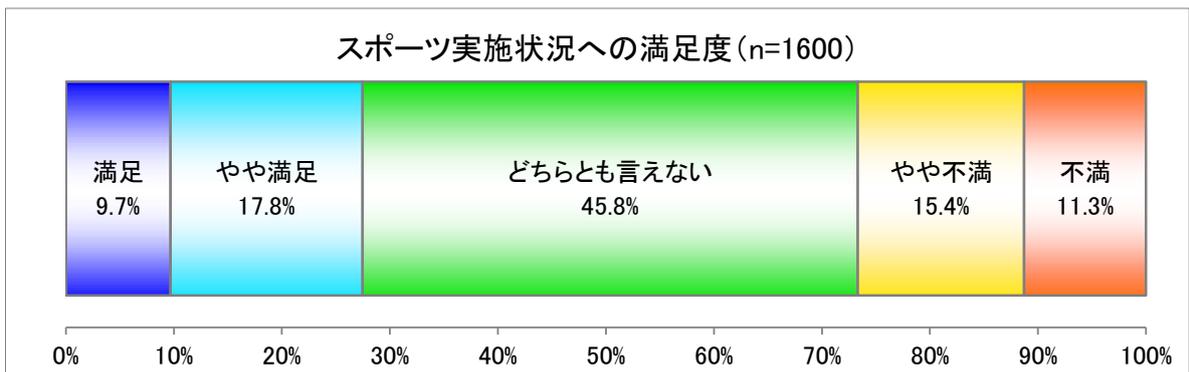
自治会・町内会	消防団	老人会	お祭りなどのイベントの 実行委員会
スポーツクラブ・サークル (総合型スポーツクラブなど)	カルチャークラブ・サークル	その他()	特に参加していない

2 単純集計

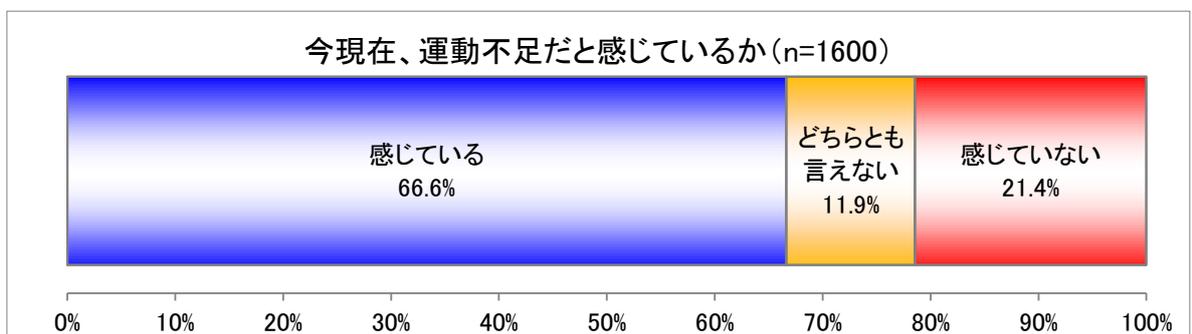
◆設問1 運動・スポーツについてどのように感じていますか。(複数可)



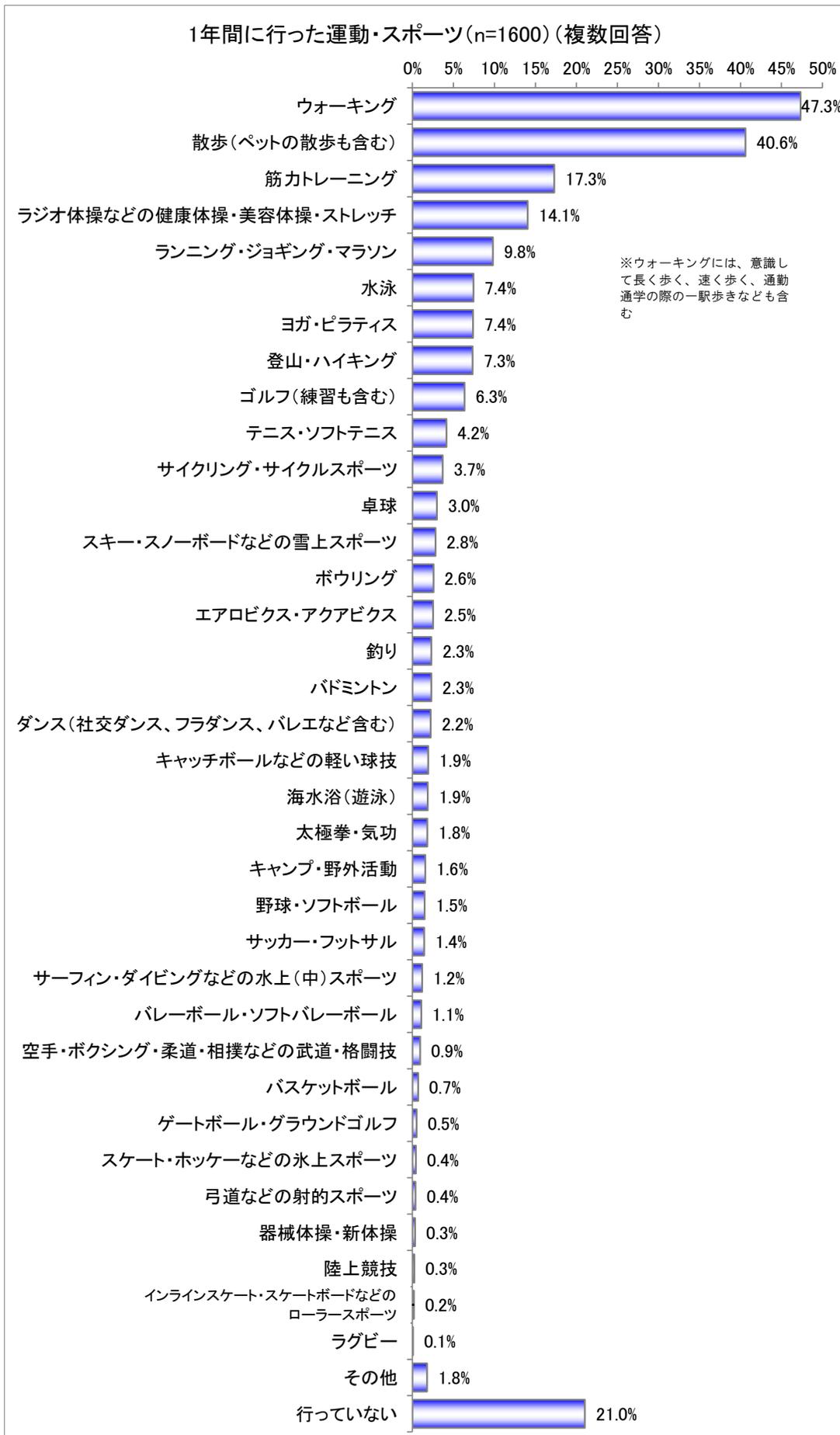
◆設問2 現在の運動・スポーツ実施状況に満足していますか。



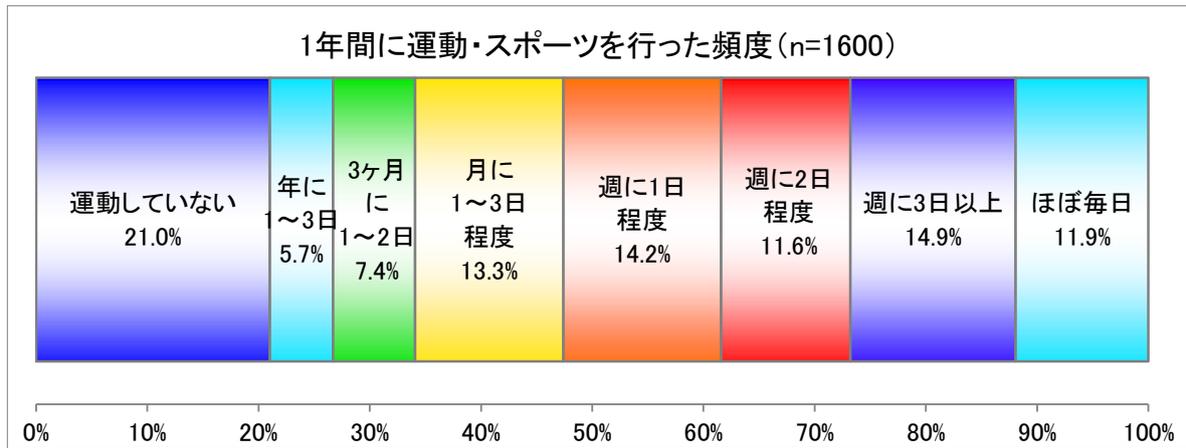
◆設問3 今現在、ご自身は運動不足だと感じていますか。



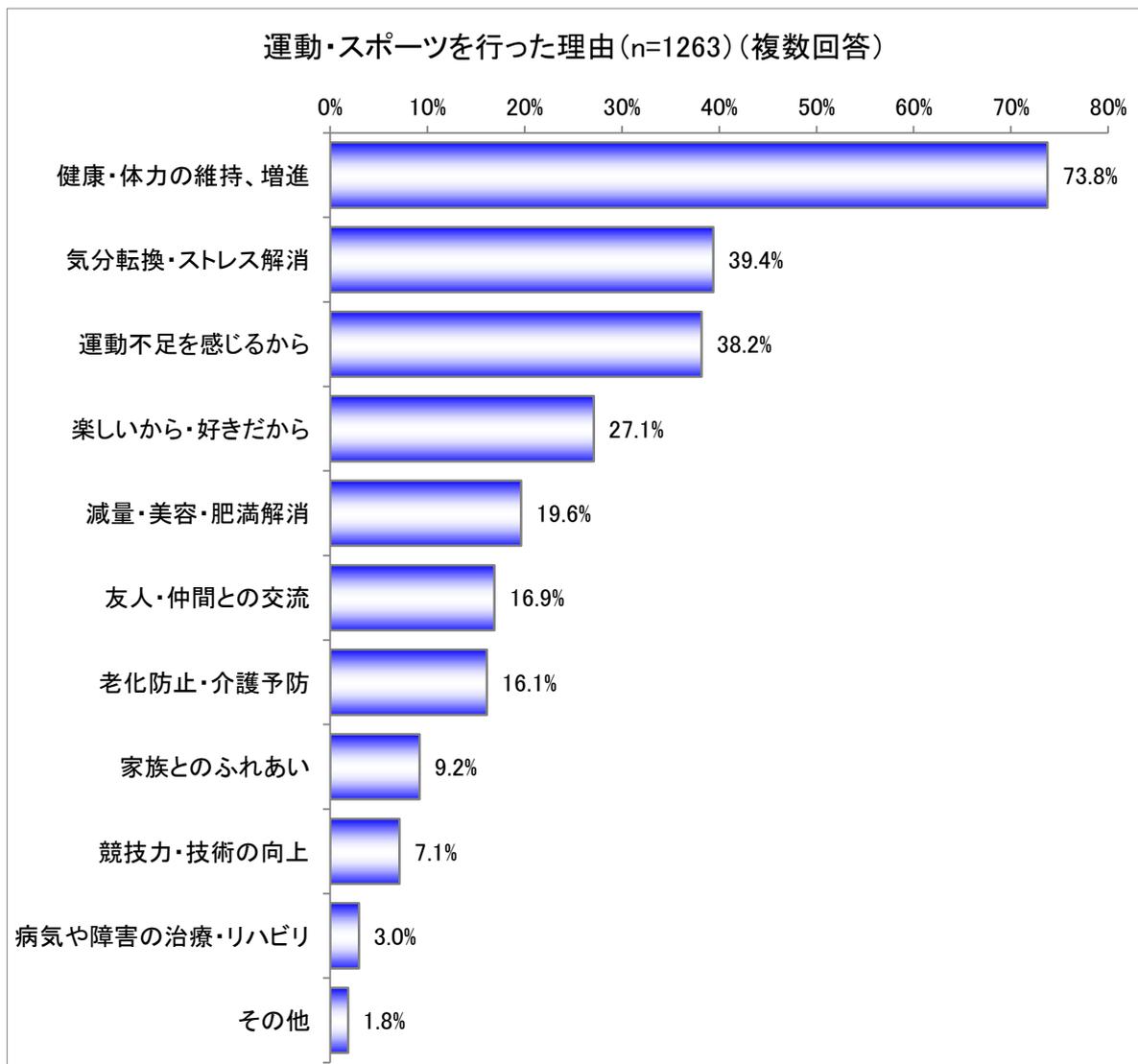
◆設問 4 この1年間にどのような運動・スポーツをしましたか。あてはまるものを全て教えてください。(複数可)



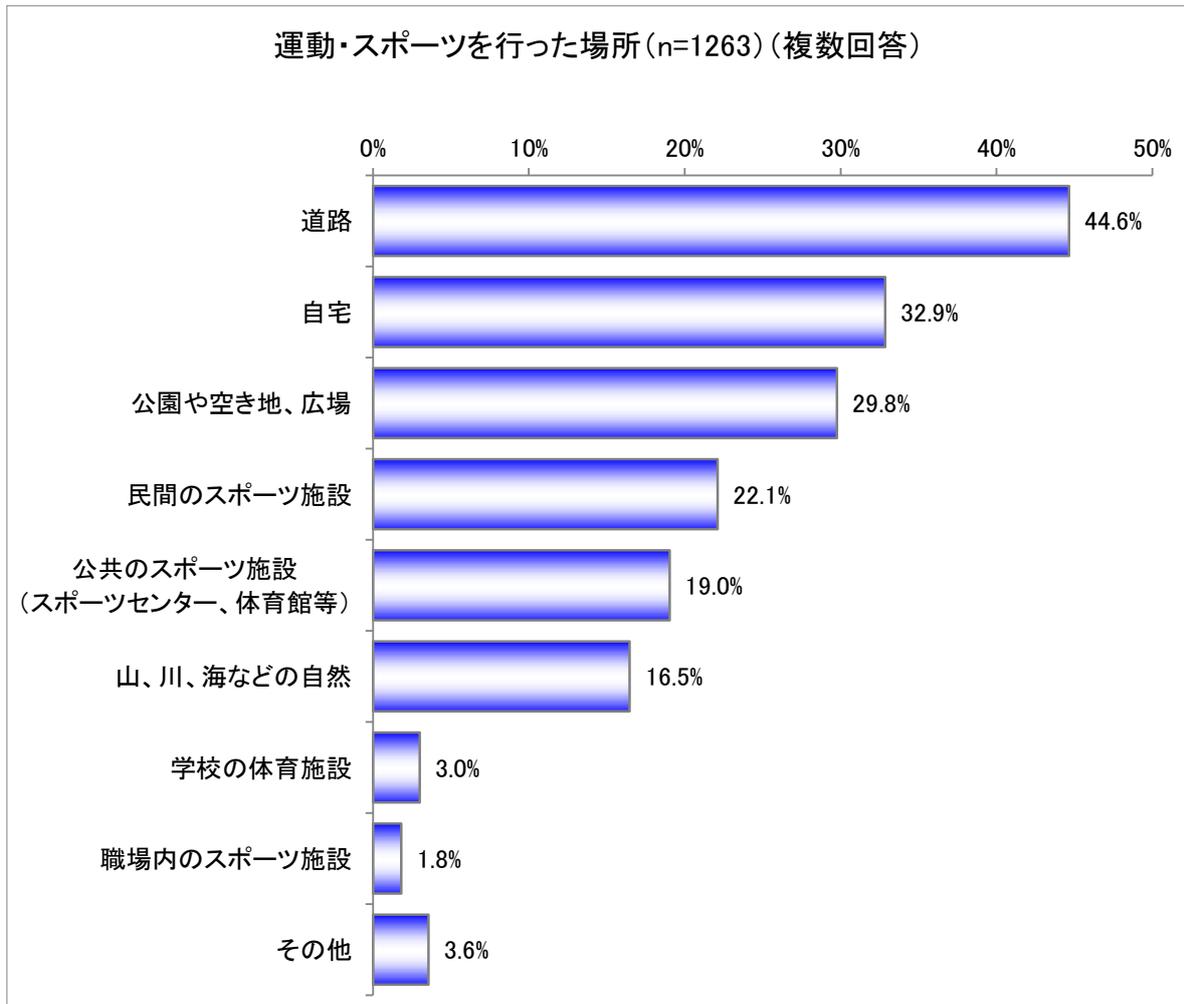
◆設問 5 この1年間に、前問でお答えになった運動・スポーツを行った日数は、全部でどのくらいになりますか。



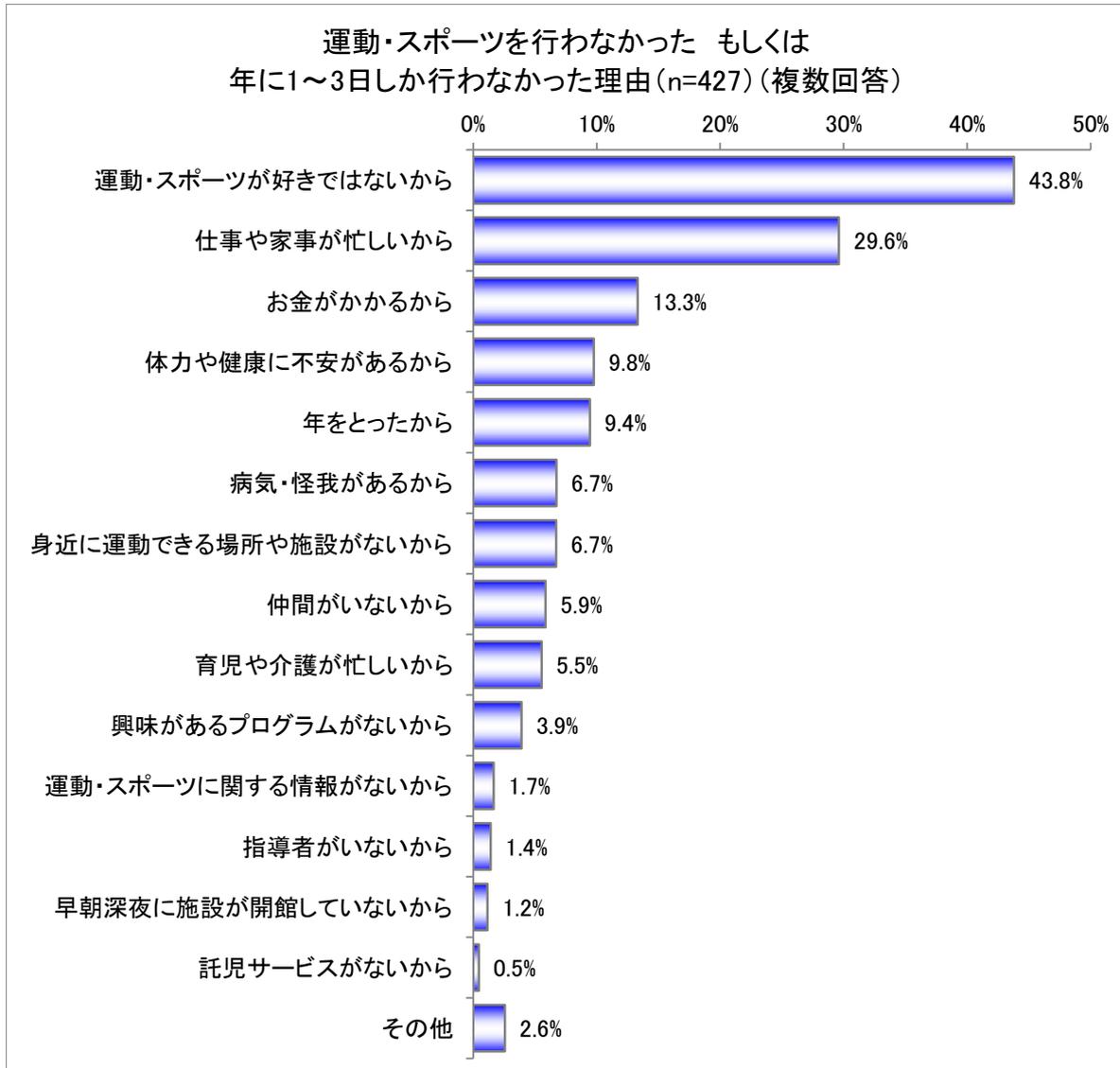
◆設問 6 それらの運動・スポーツをしたのはどのような理由からですか。(複数可)



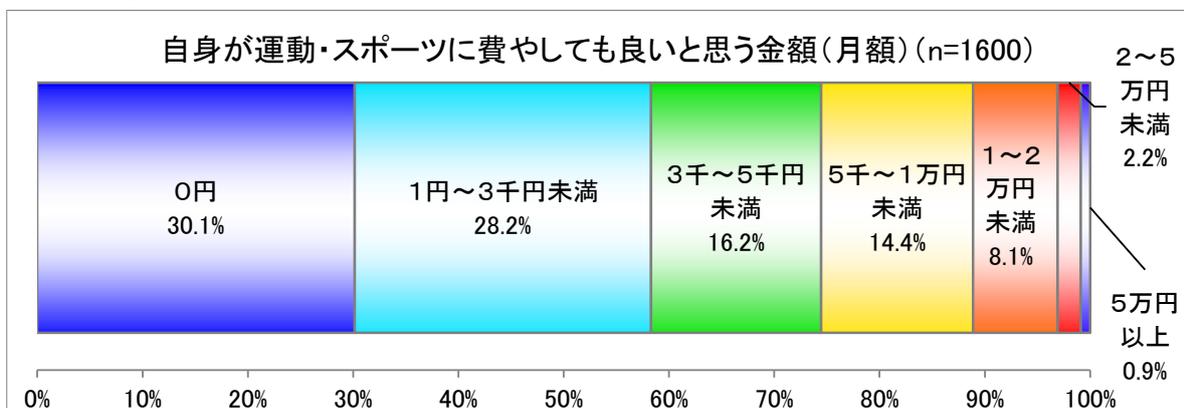
◆設問7 それらの運動・スポーツはどのような場所で行いましたか。(複数可)



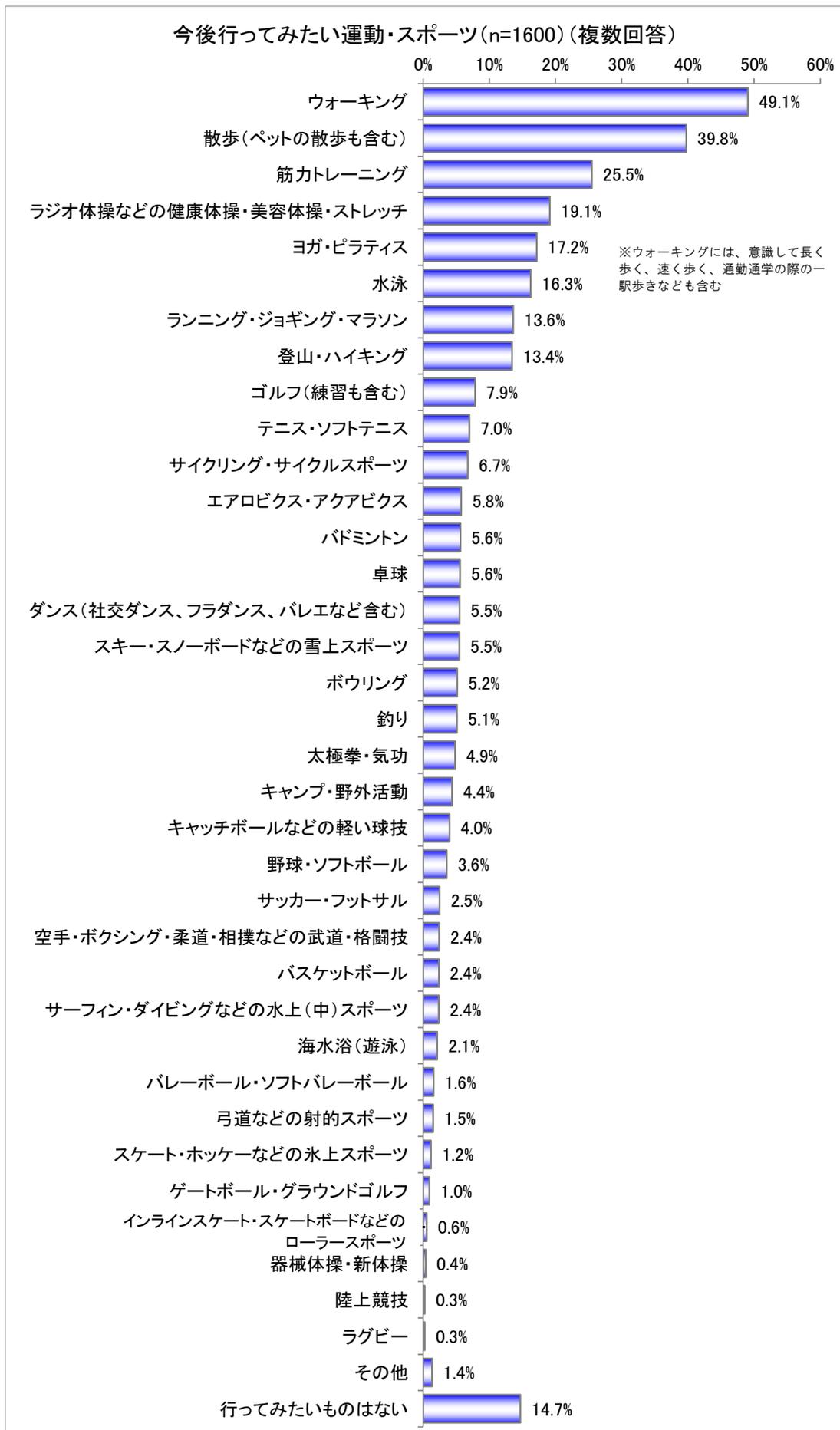
- ◆設問 8 なぜ運動・スポーツを行わなかった（できなかった）のかを教えてください。また、なぜ運動・スポーツを年に1～3日程度しか行わなかった（できなかった）のか教えてください。（複数可）



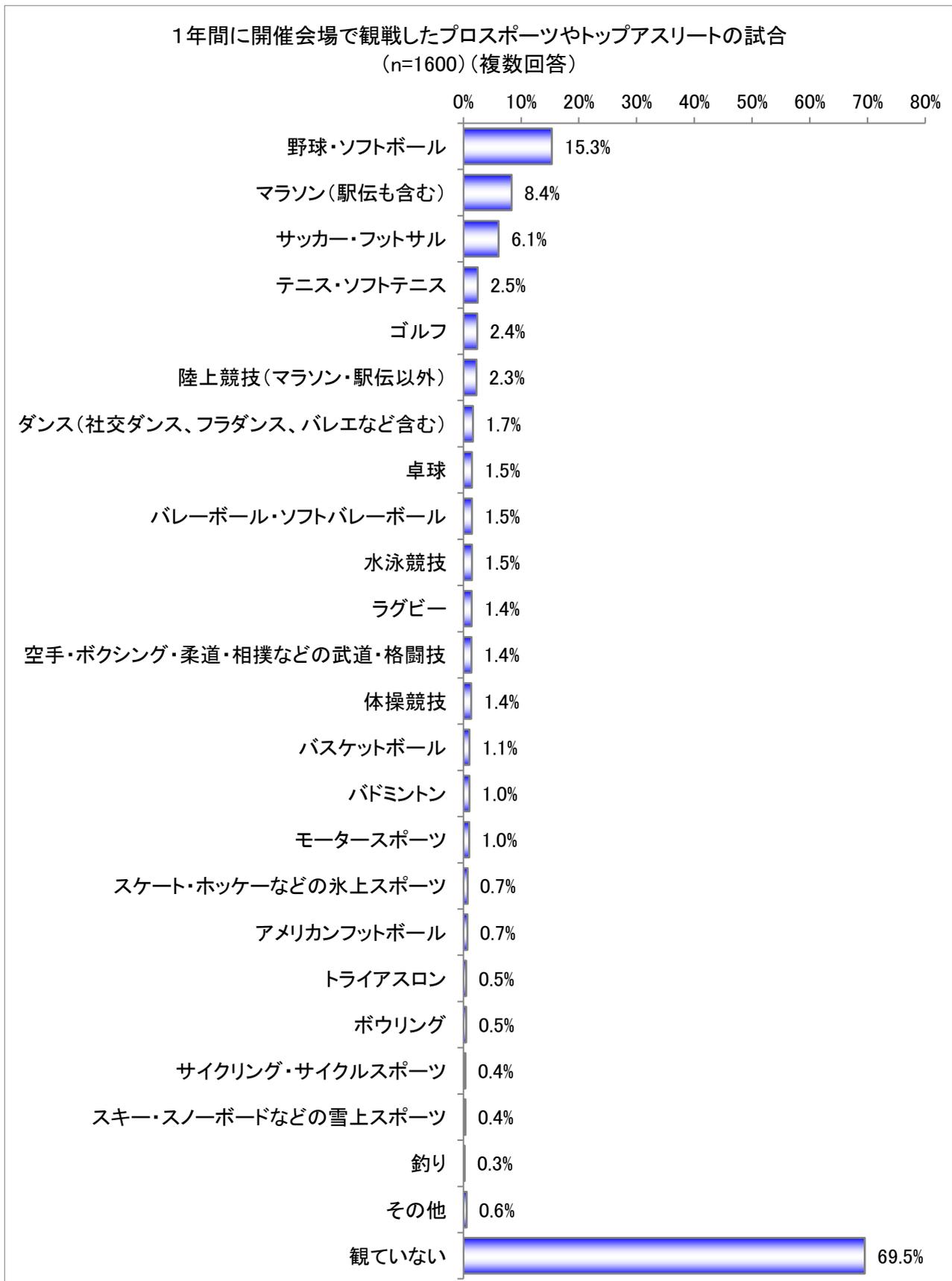
- ◆設問 9 あなた自身が運動・スポーツに費やしても良いと思う金額は1ヶ月あたりいくらくらいですか。



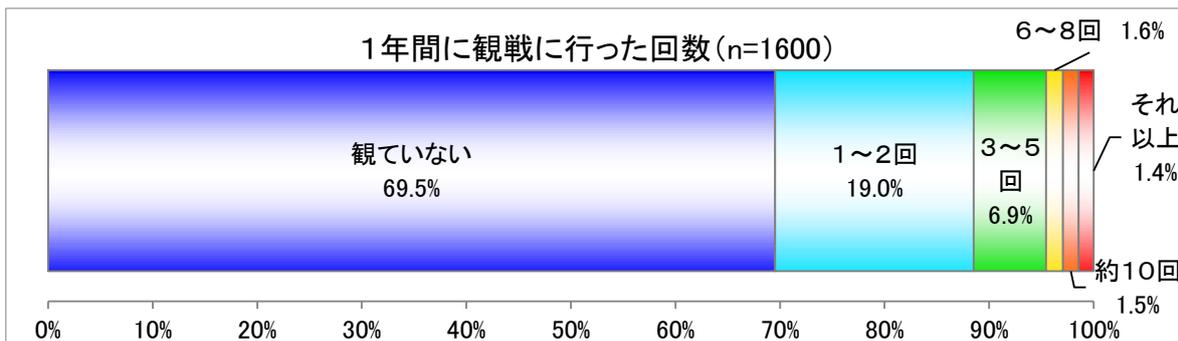
◆設問 10 今後はどのような運動・スポーツを行ってみたいですか。今行っているものも含めてご回答ください。(複数可)



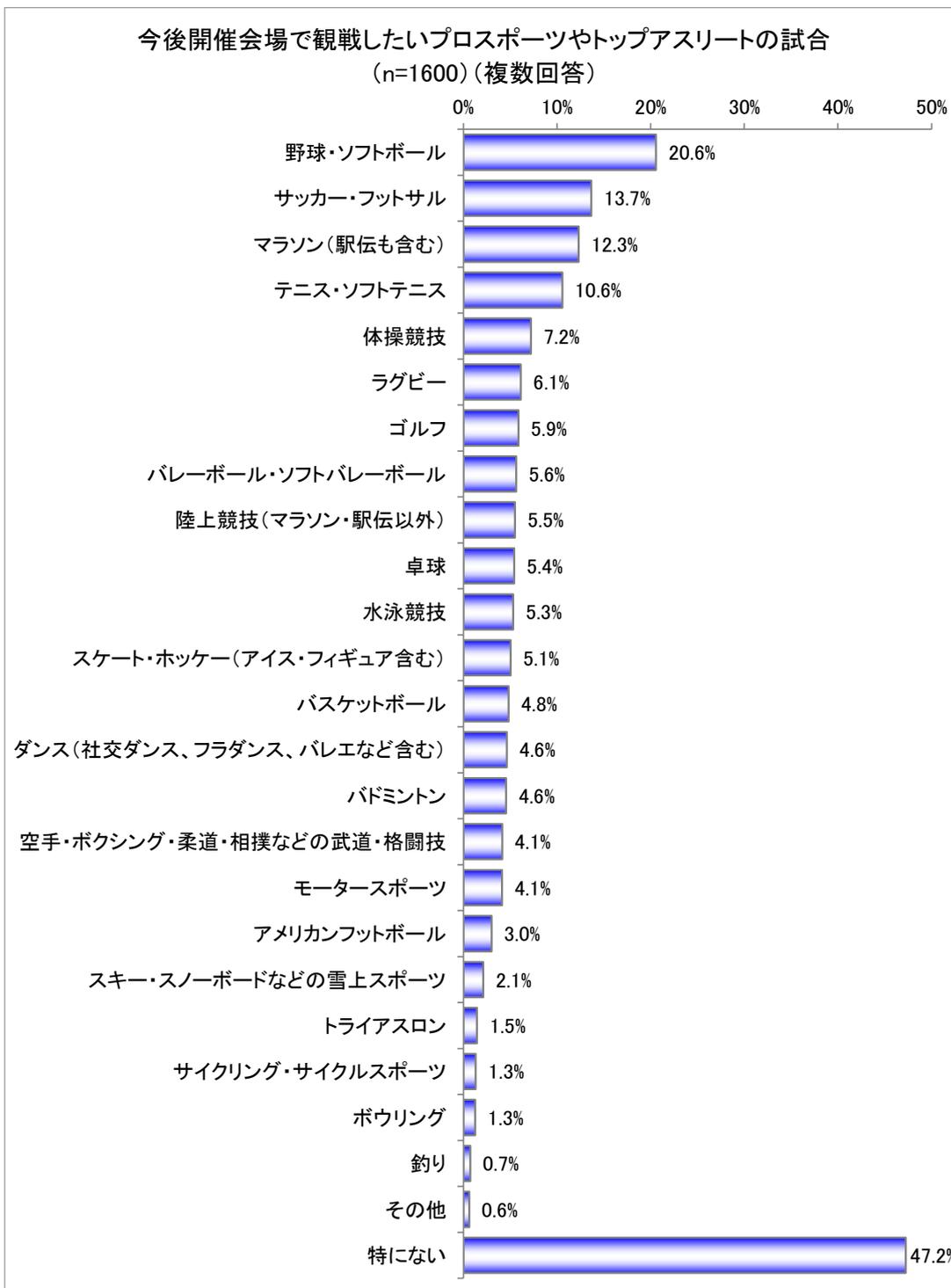
◆設問 11 この1年間に、プロスポーツやトップアスリートが参加するスポーツを、開催会場や間近で直接観戦しましたか。あてはまるものを全て教えてください。(複数可)



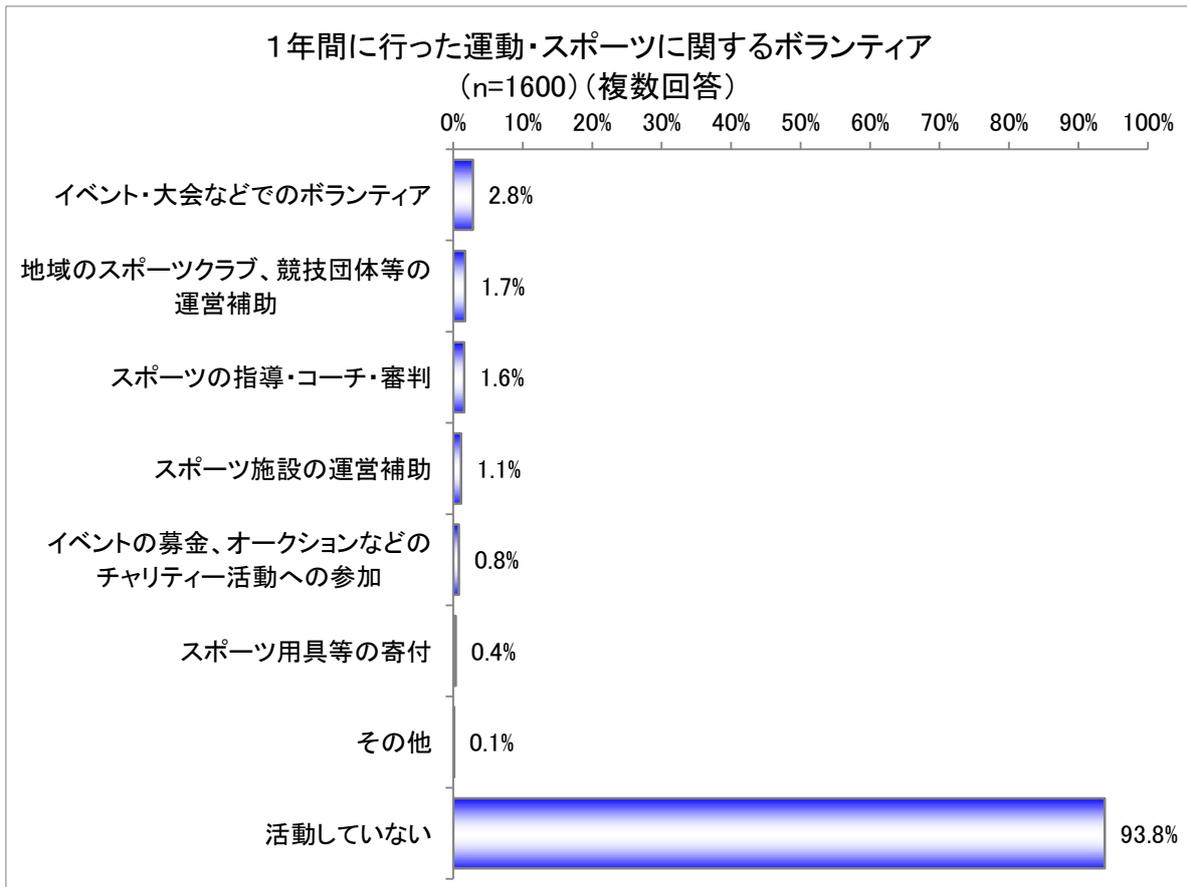
◆設問 12 観戦に行った回数はこの1年間でどのくらいですか。



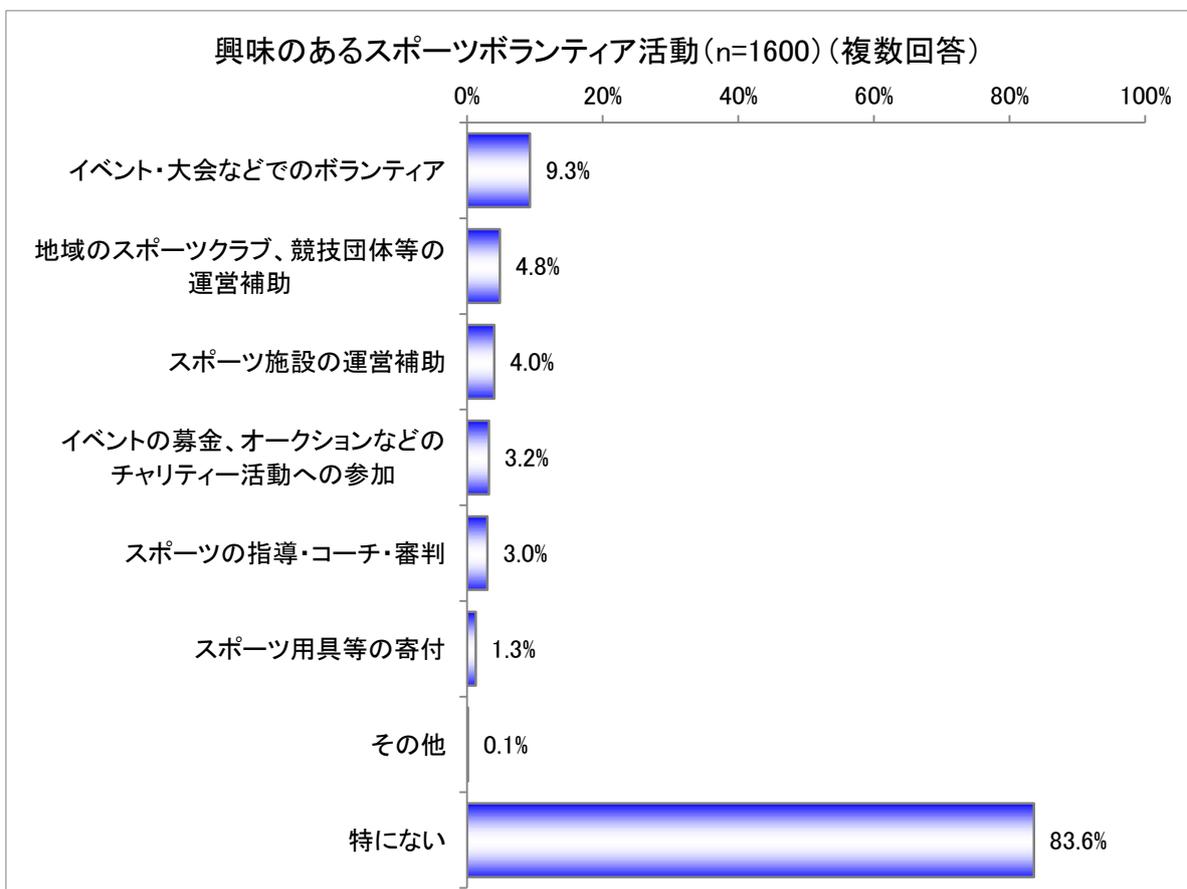
◆設問 13 プロスポーツやトップアスリートが参加するスポーツについて今後開催会場や間近で直接観戦したい種目はありますか。あてはまるものを全て教えてください。(複数可)



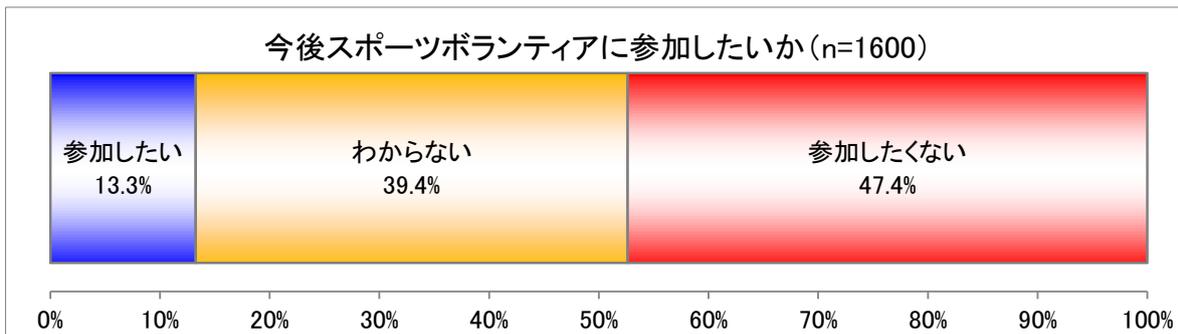
◆設問 14 この1年間に運動・スポーツに関するボランティア活動をしましたか。(複数可)



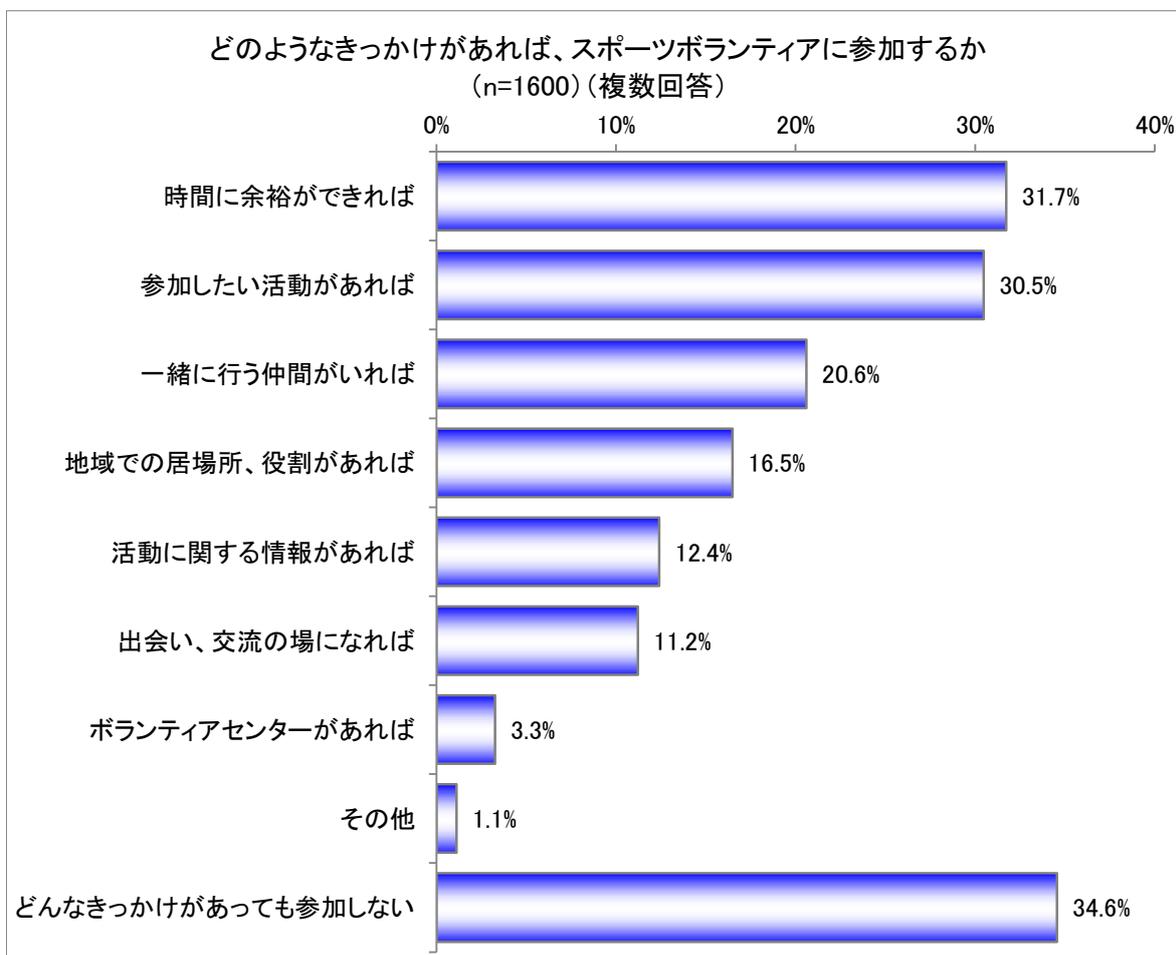
◆設問 15 運動・スポーツに関して、興味のあるボランティア活動はありますか。(複数可)



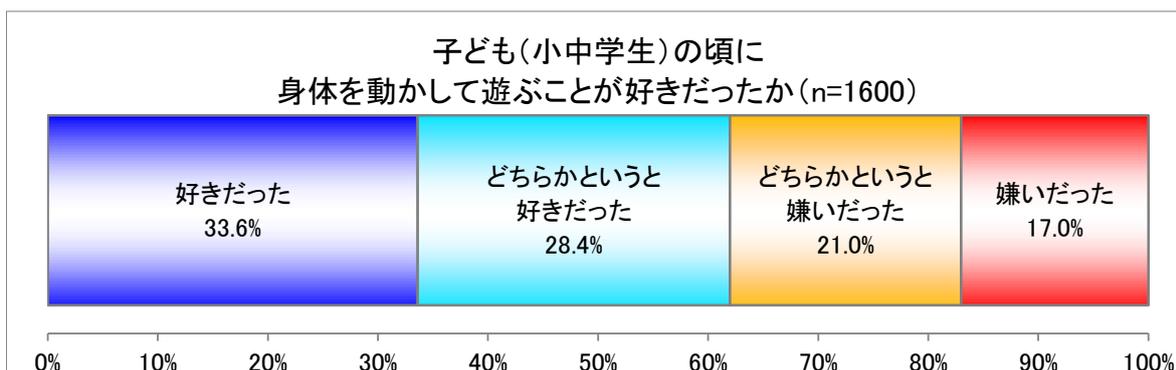
◆設問 16 今後、運動・スポーツに関するボランティア活動に参加したいですか。



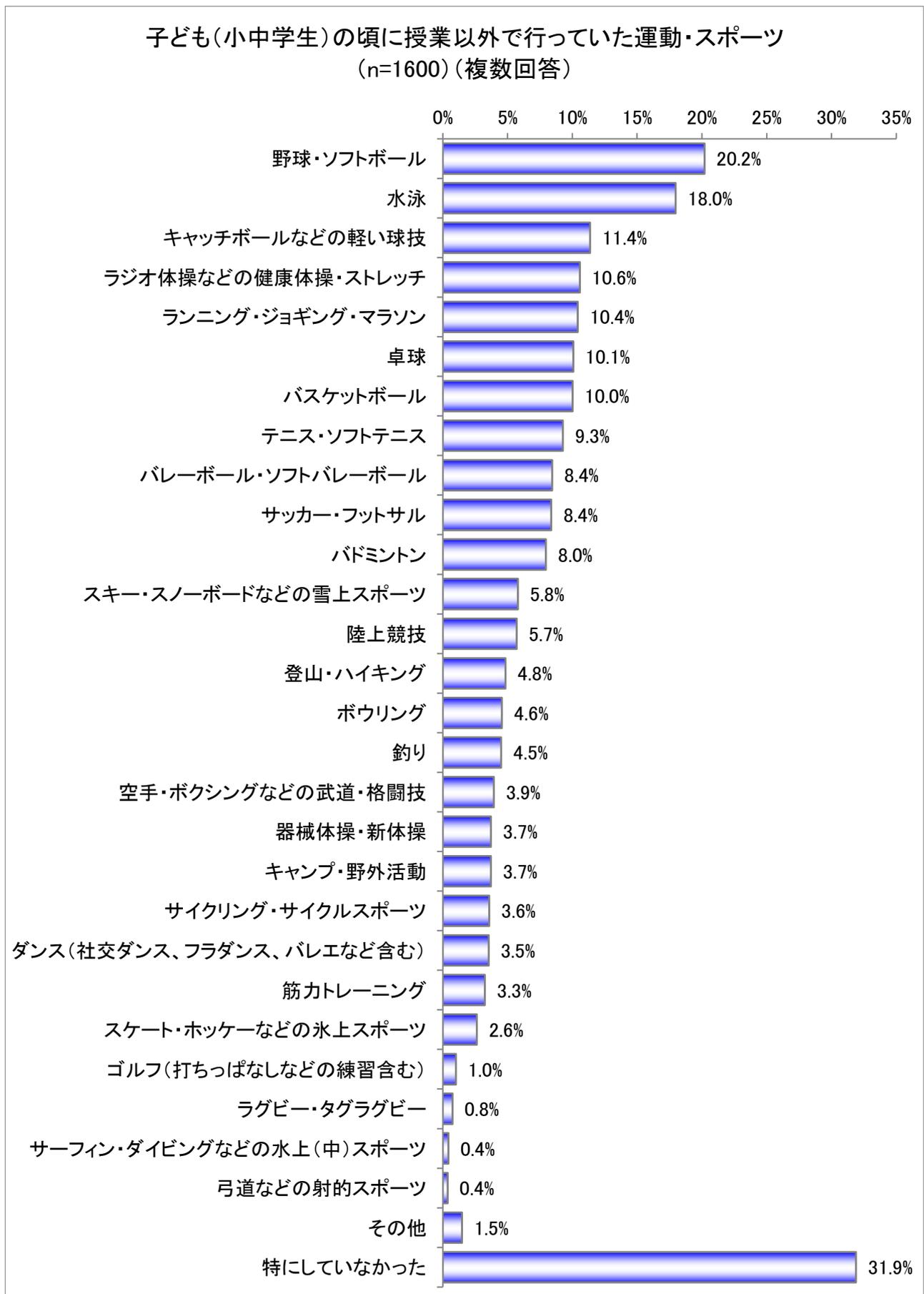
◆設問 17 どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツに関するボランティア活動に参加するようになりますか。(複数可)



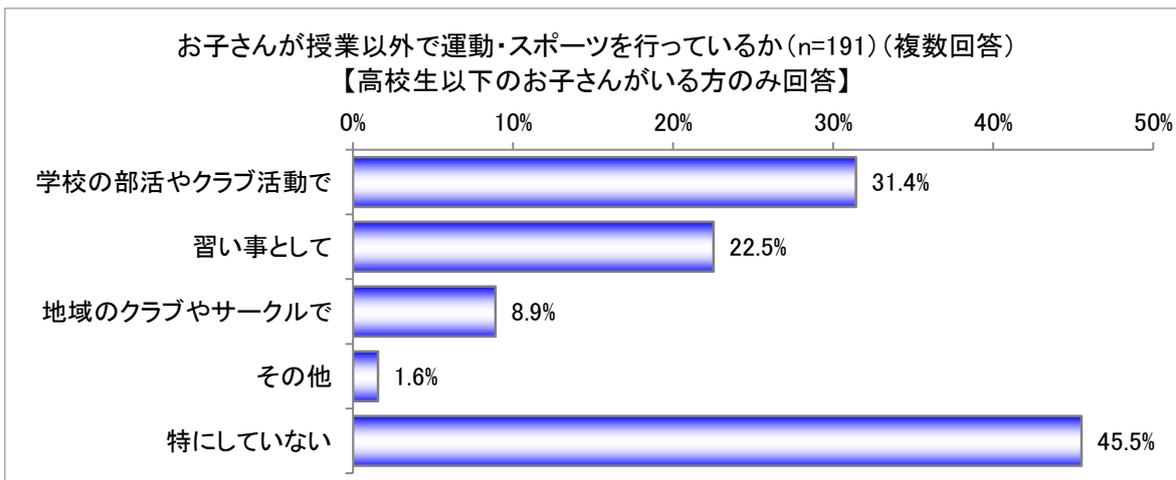
◆設問 18 あなたは子どもの頃（小中学生の頃）に、身体を動かして遊ぶことが好きでしたか。



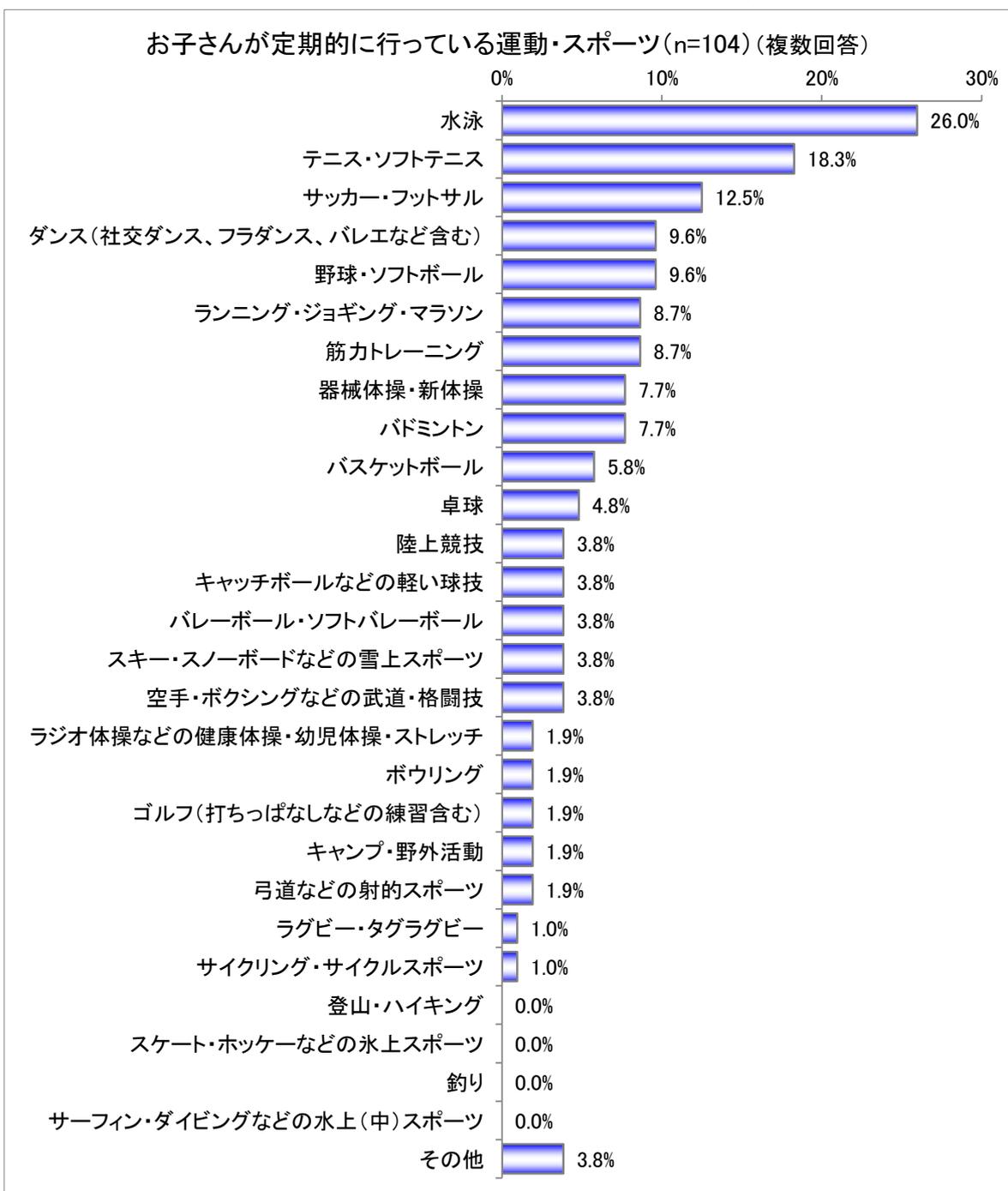
◆設問 19 あなたは子どもの頃（小中学生の頃）に、学校の授業以外でどんな運動・スポーツをしていましたか。（複数可）



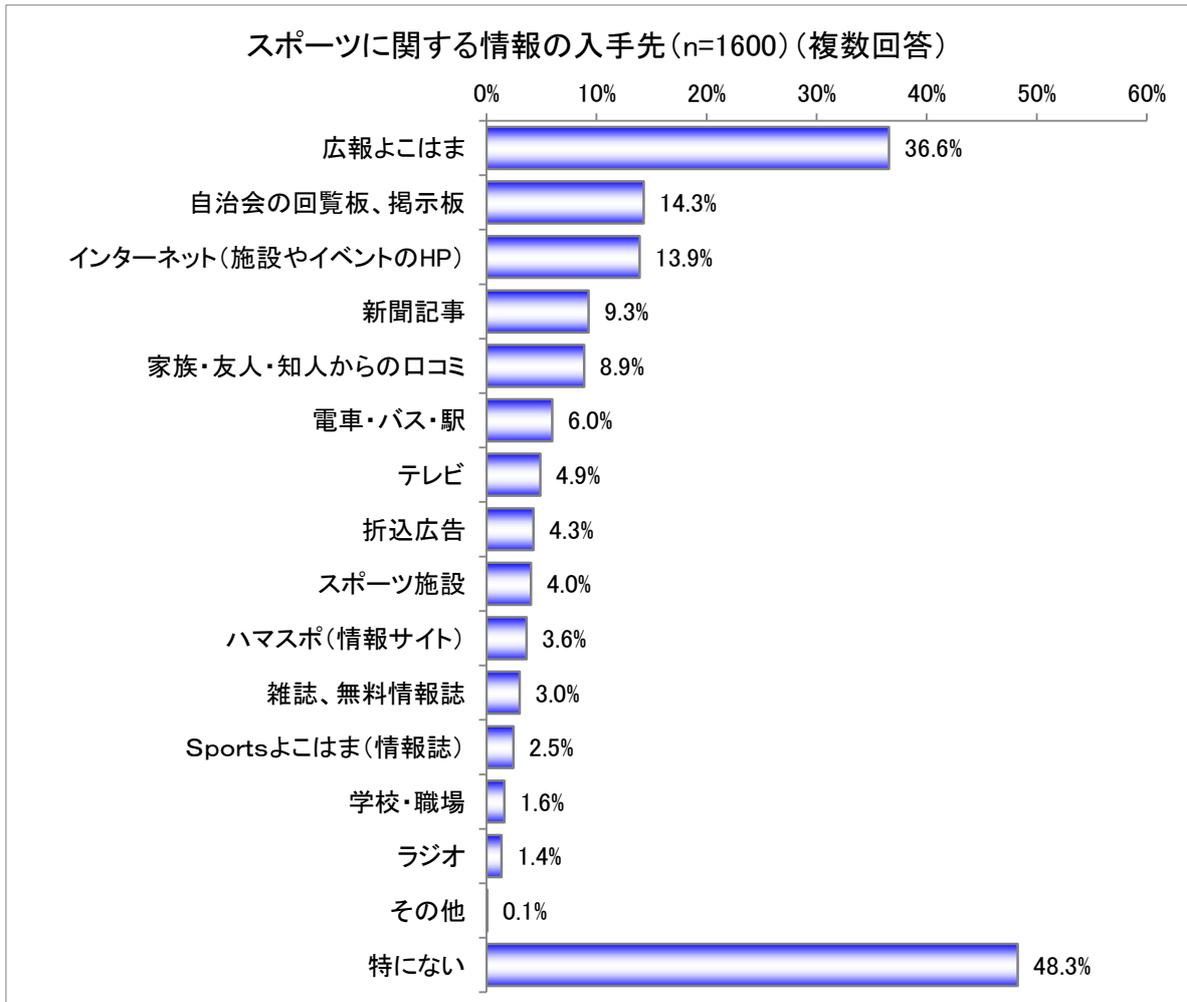
◆設問 20 お子さんは学校の授業以外で運動・スポーツをしていますか。(複数可)



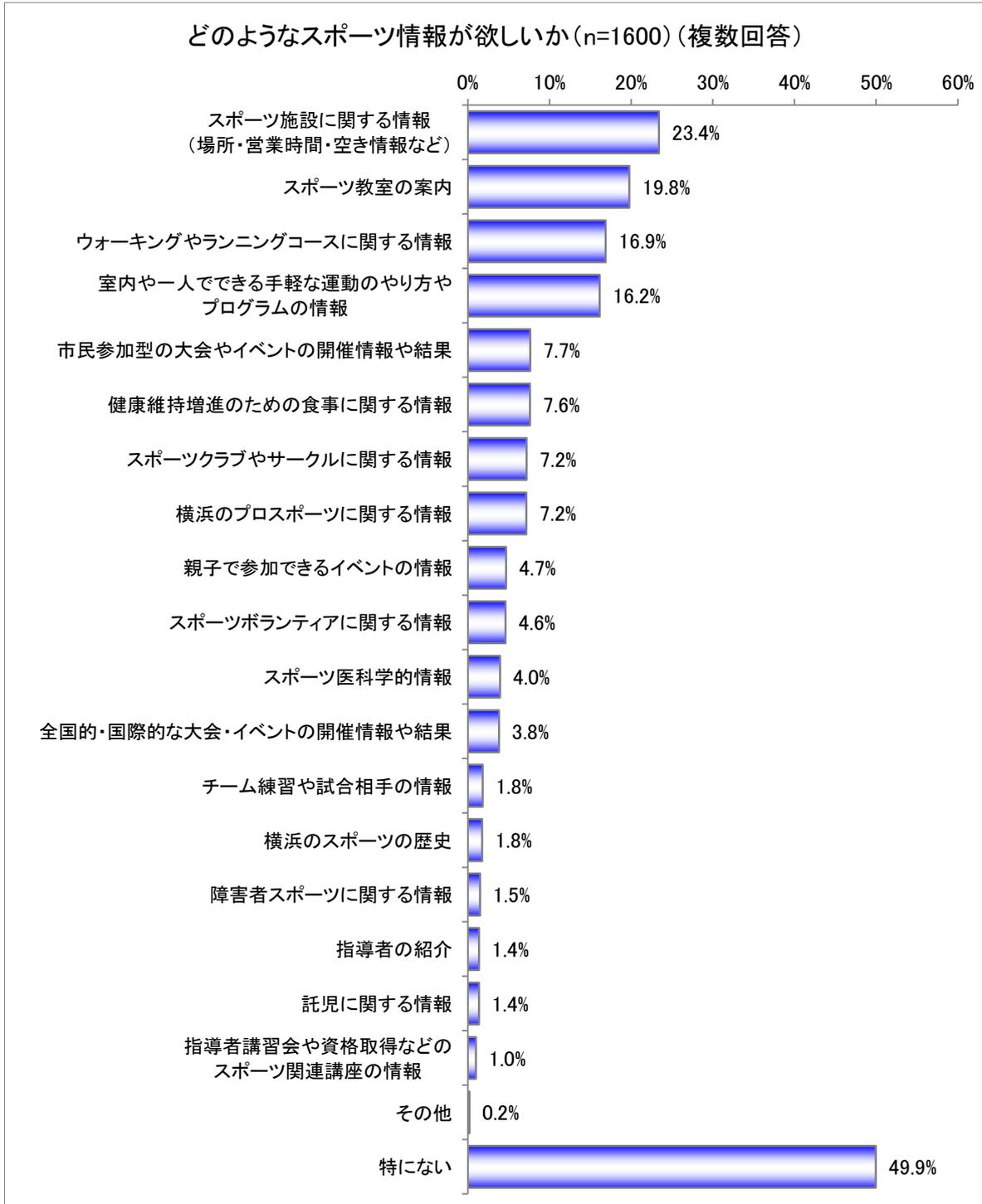
◆設問 21 お子さんは定期的にとどのような運動・スポーツをしていますか。(複数可)



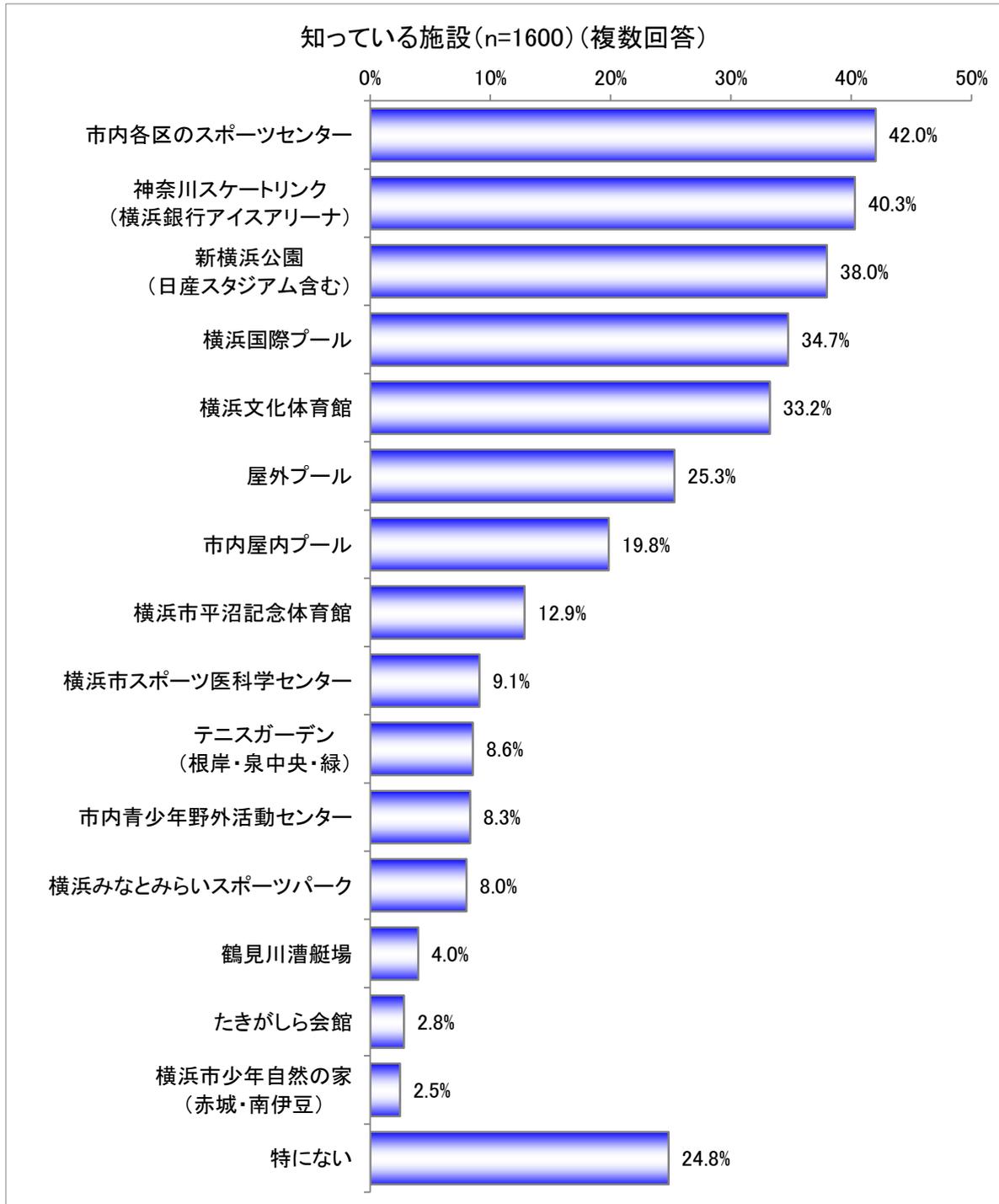
◆設問 22 横浜市内や区内のスポーツに関する情報はどこから入手していますか。(複数可)



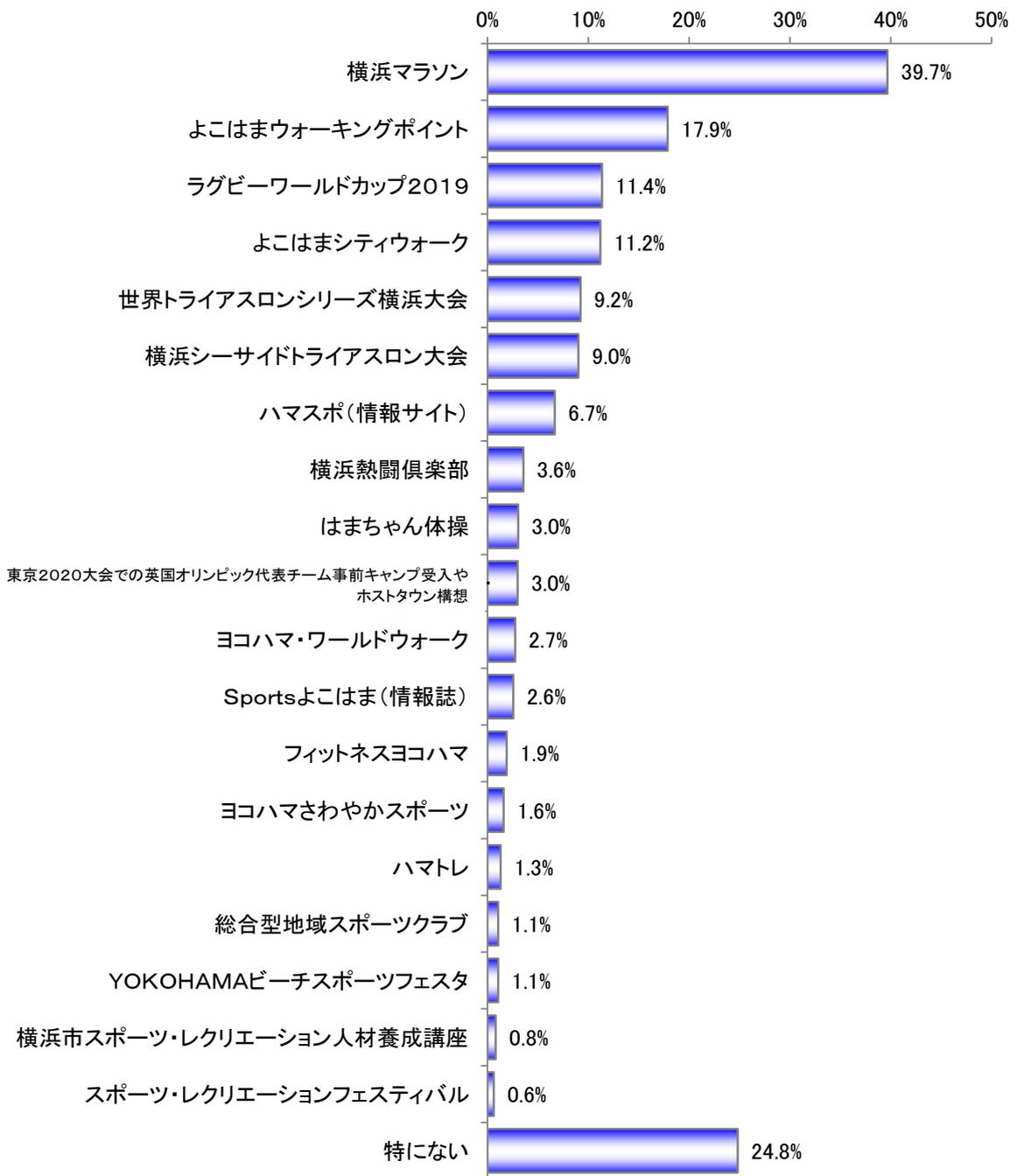
◆設問 23 どのようなスポーツ情報が欲しいですか。(複数可)



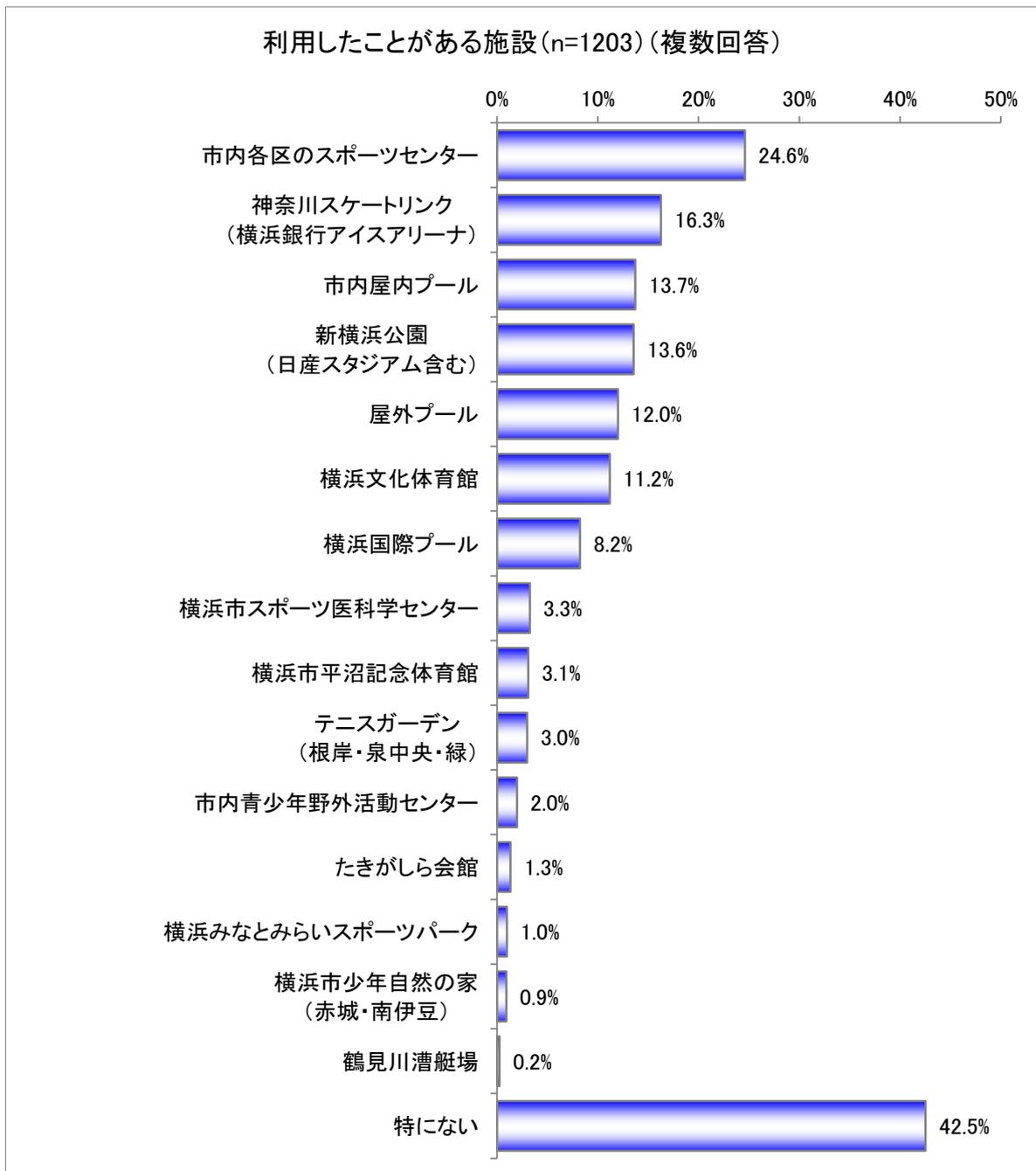
◆設問 24 次の施設・事業の中で知っているものを全て教えてください。(複数可)



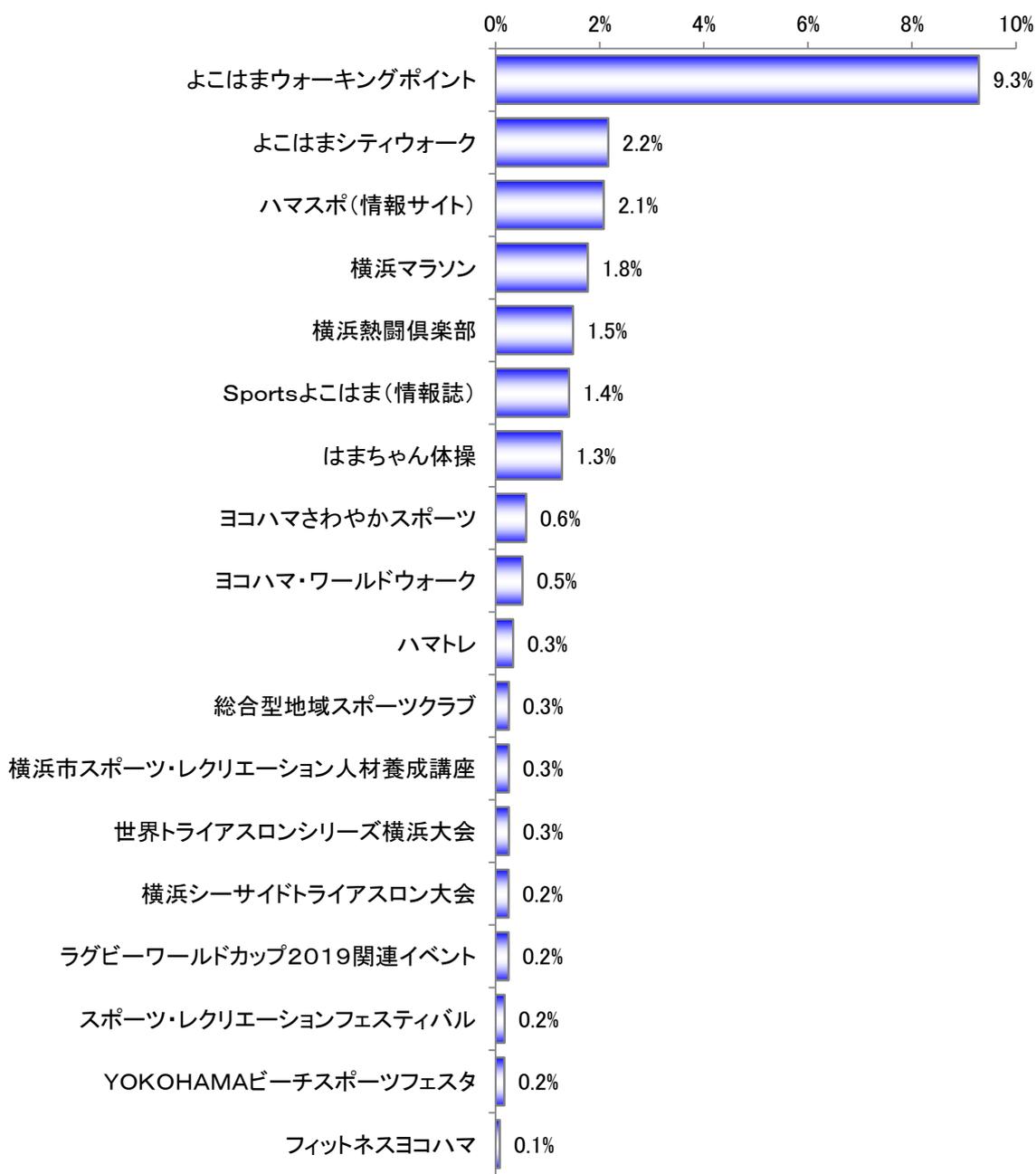
知っている事業(n=1600)(複数回答)



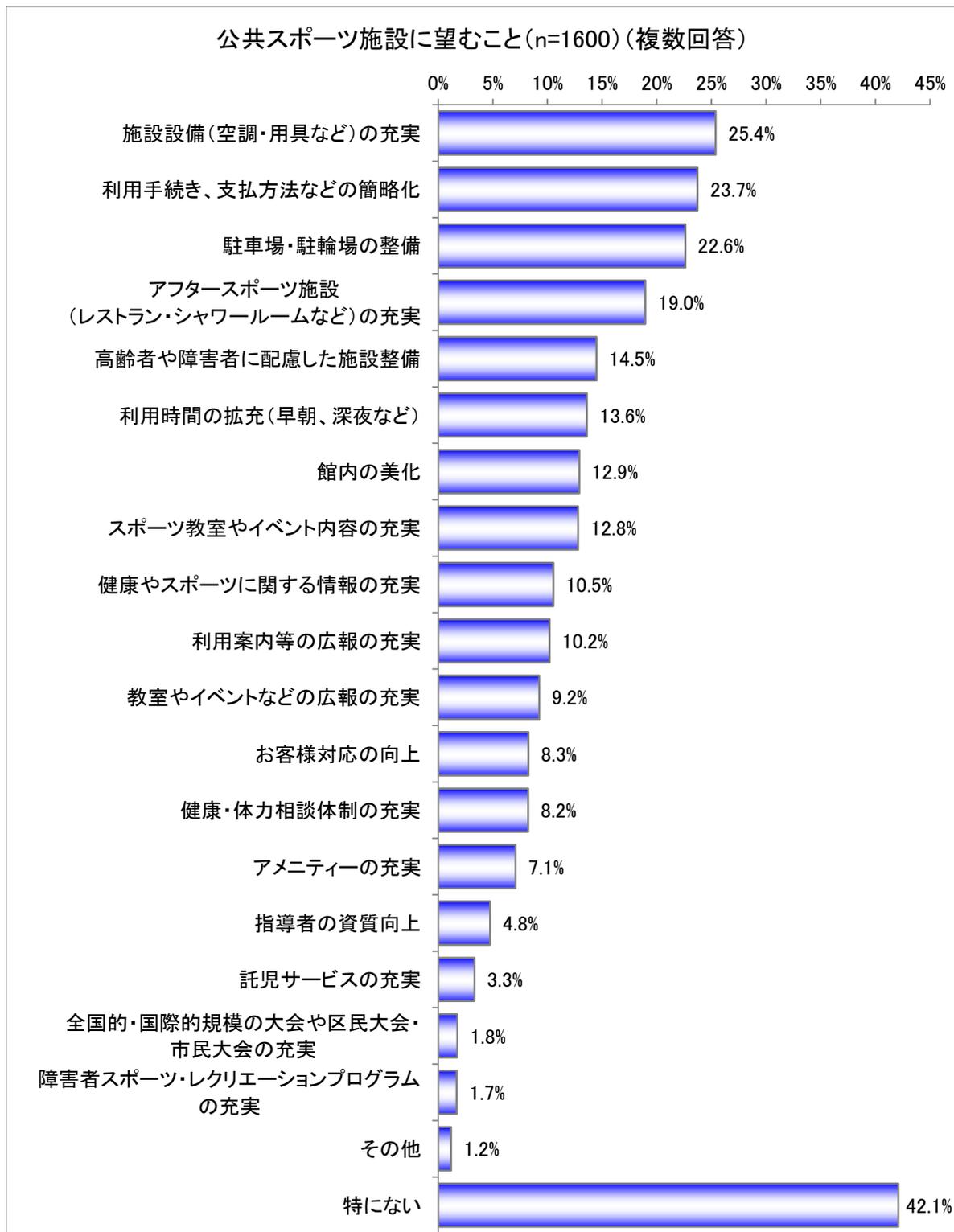
◆設問 25 次の施設・事業の中で利用したこと、参加したことがあるものを全て教えてください。
(複数可)



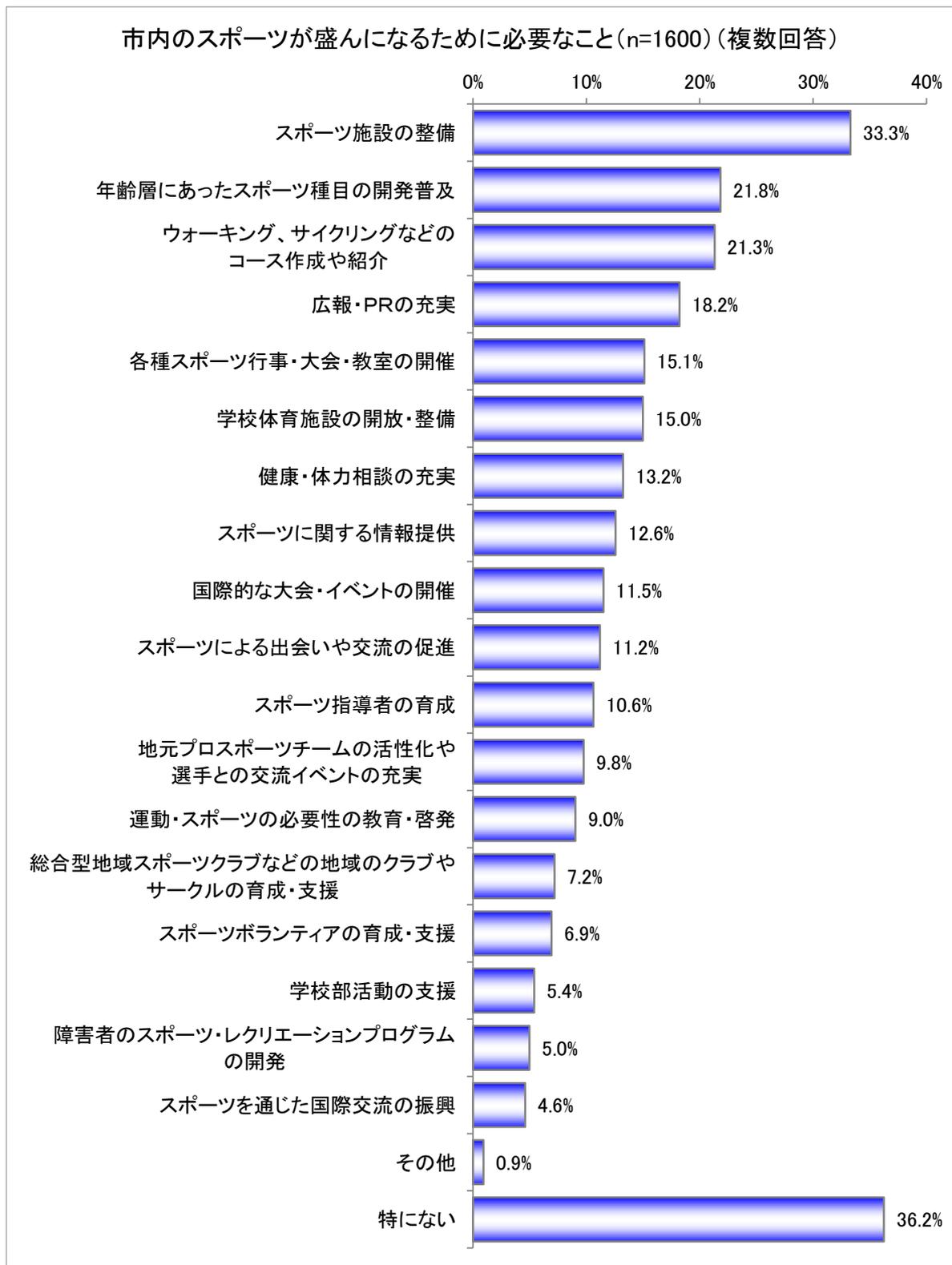
利用・参加したことがある事業(n=1203) (複数回答)



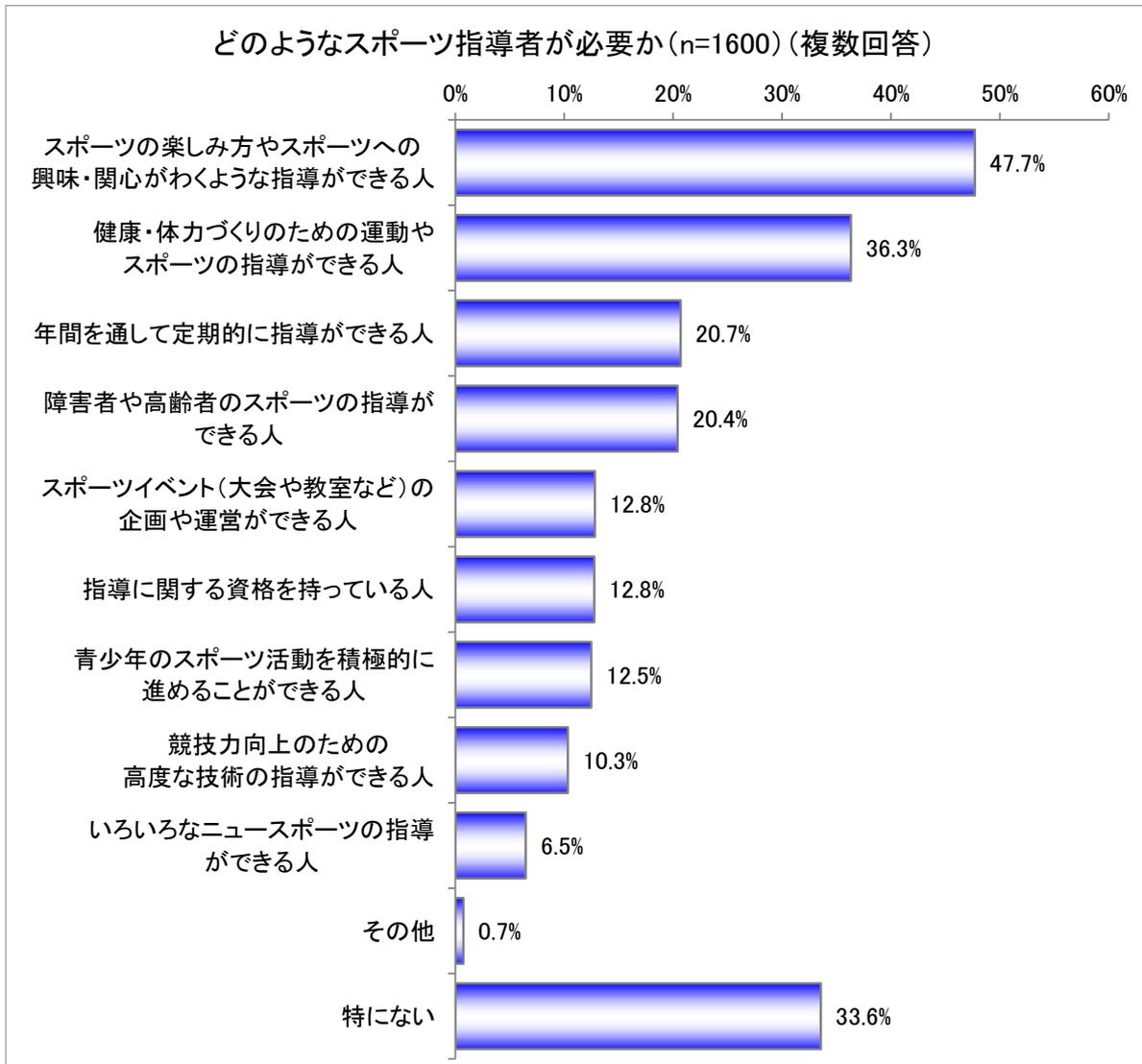
◆設問 26 公共スポーツ施設にどのような事を望みますか。(複数可)



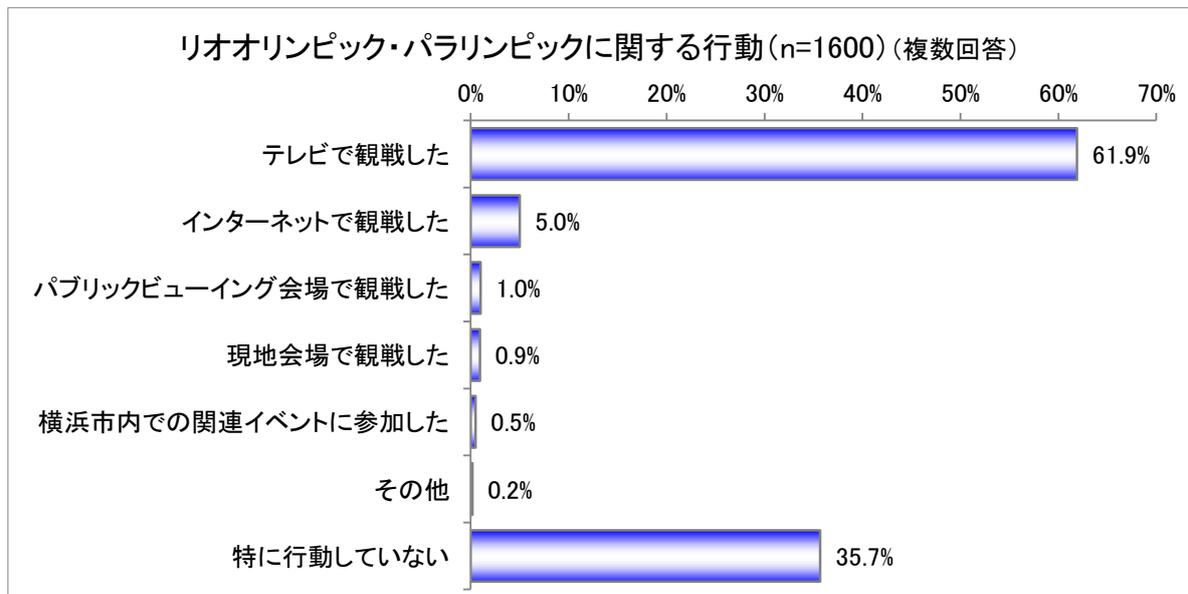
◆設問 27 横浜市内のスポーツがますます盛んになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数可)



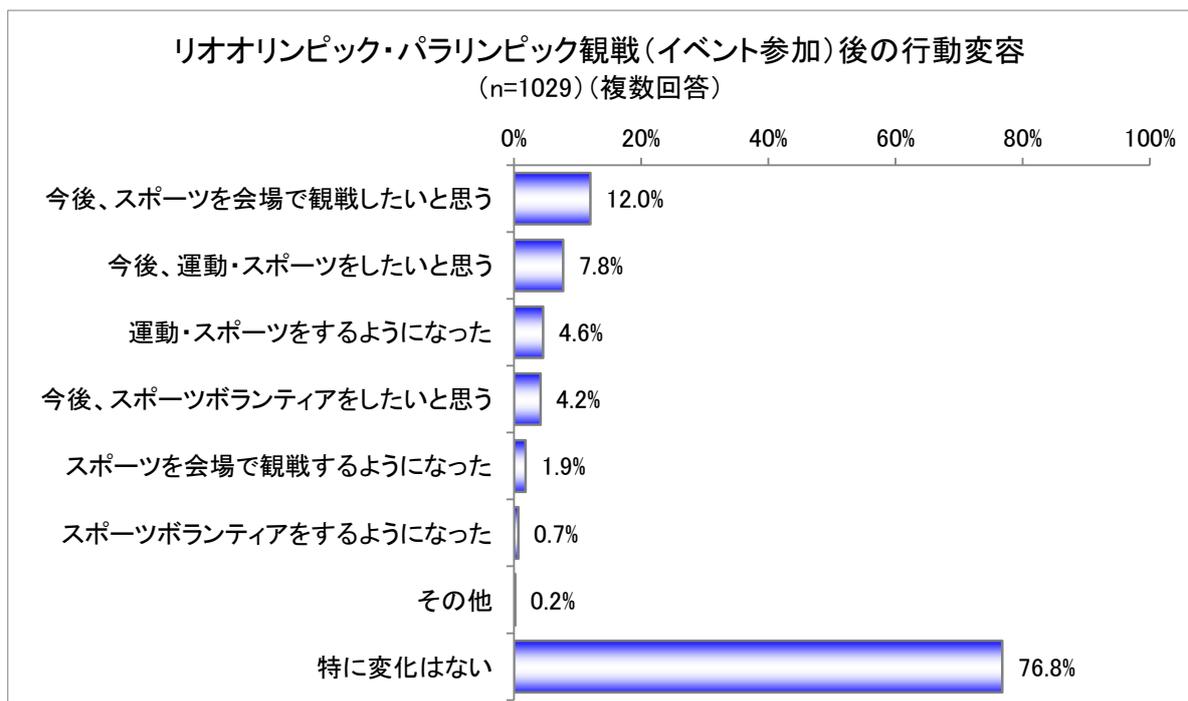
◆設問 28 運動やスポーツを行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。
(複数可)



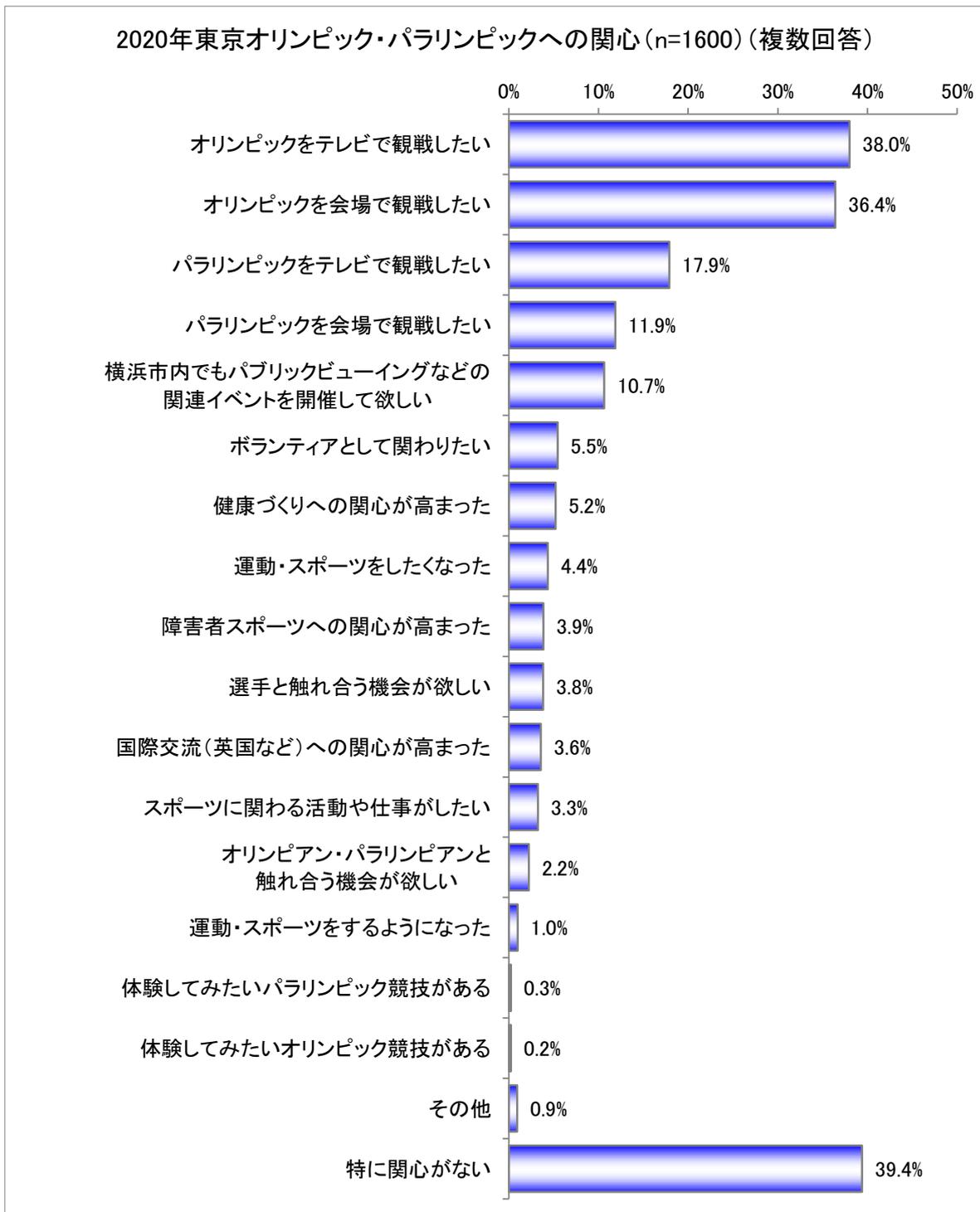
◆設問 29 2016 リオオリンピック・パラリンピックに関連して、あなたはどのような行動をとりましたか。(複数可)



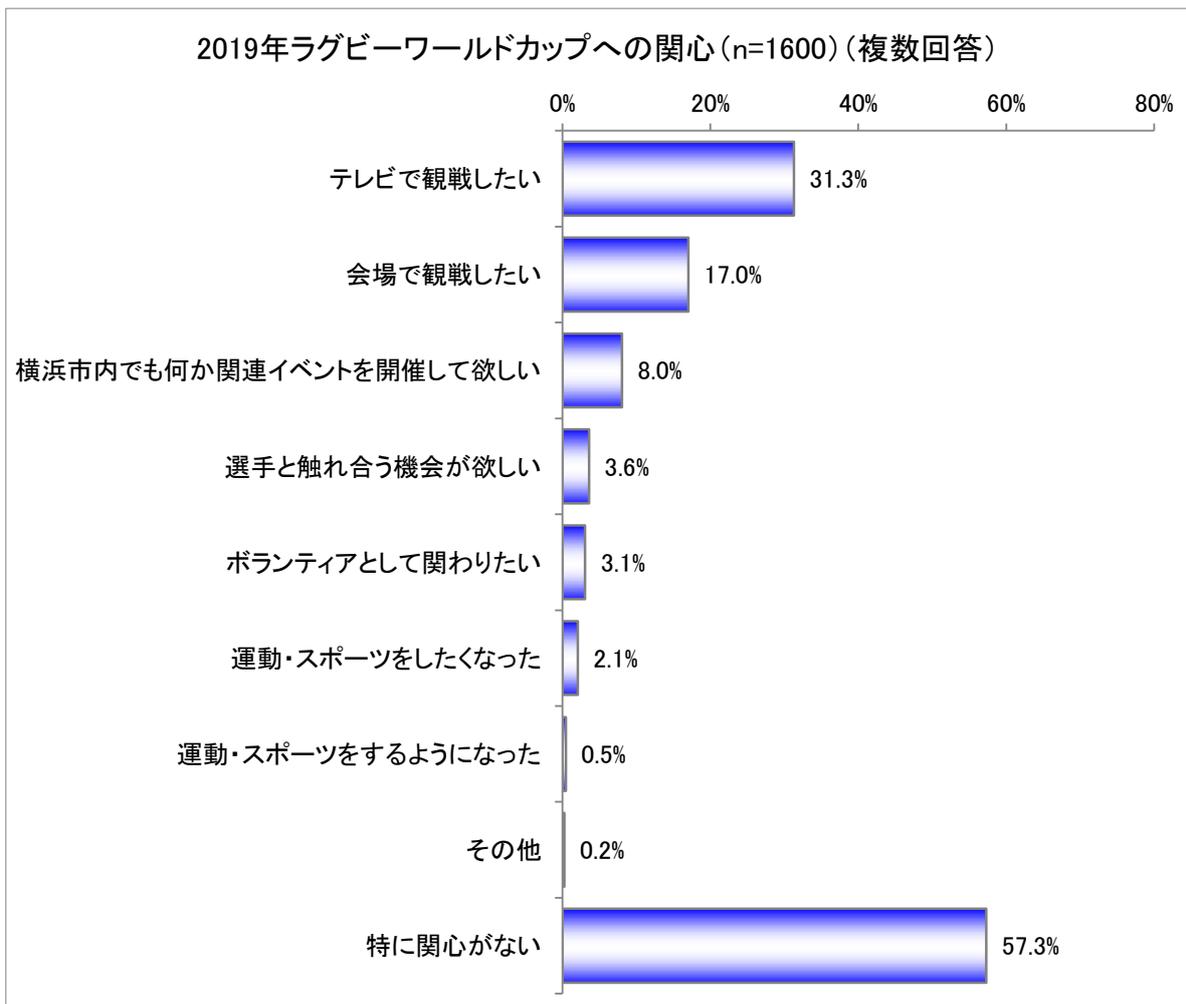
◆設問 30 2016 リオオリンピック・パラリンピックを観戦 (イベントに参加) したことで、その後の行動に変化がありましたか。(複数可)



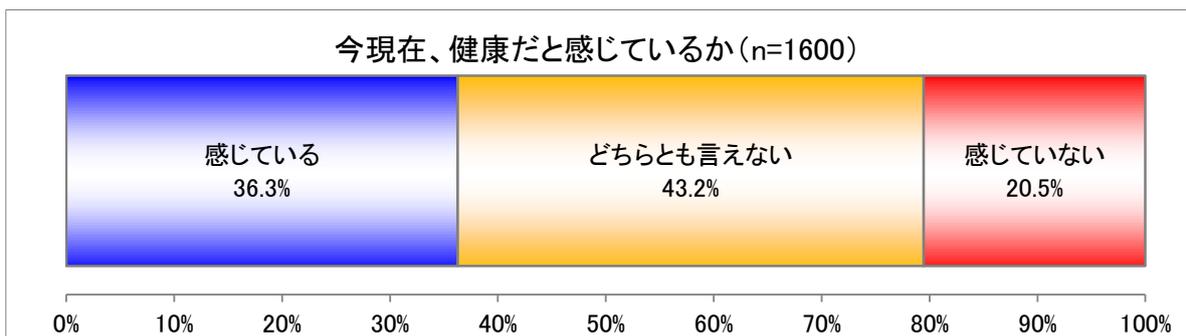
◆設問 31 2020年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催されますが、どのように感じていますか。(複数可)



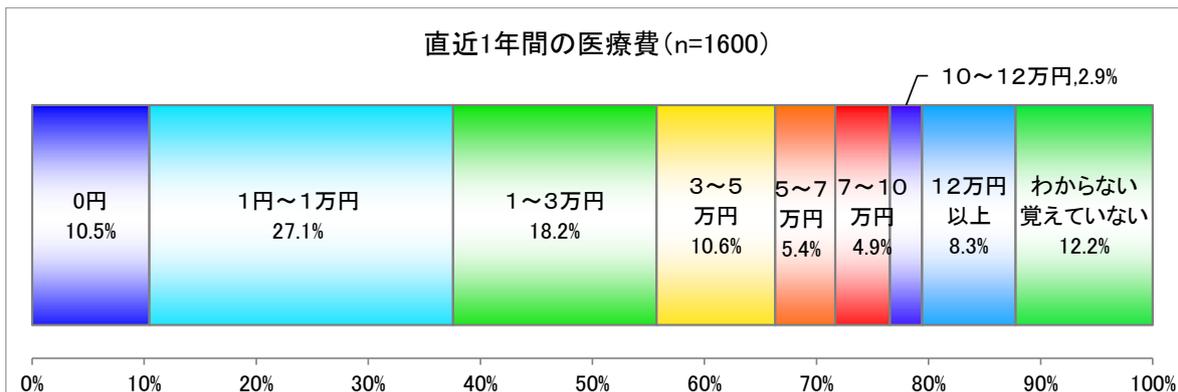
◆設問 32 2019年にラグビーワールドカップが日本（決勝戦：横浜国際総合競技場）で開催されますが、どのように感じていますか。（複数可）



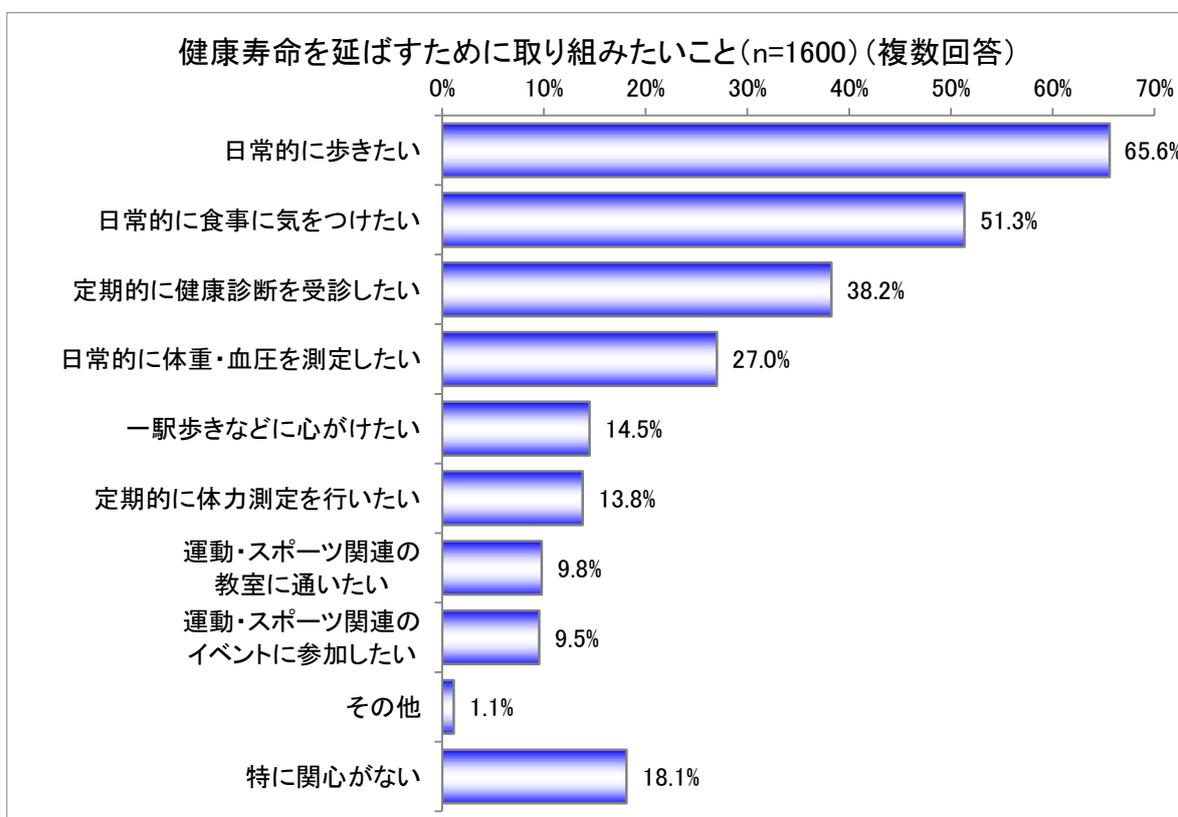
◆設問 33 今現在、ご自身は健康だと感じていますか。



◆設問 34 あなた自身の直近1年間の医療費はいくらくらいでしたか。



◆設問 35 健康寿命を延ばすために、ご自身が行きたいと思うことは何ですか。(複数可)



◆設問 36 あなたが今後ウォーキングを始める場合、もしくは続ける場合どのようなサービスがほしいと思いますか。どのようなことでもかまいませんので、以下の回答欄にご自由にご記入ください。

3 自由記述欄の回答内容

ここでは、各設問の「その他」欄に記入していただいた内容を掲載している。

なお、原則として原文のまま掲載しているが、個人や団体が特定できるものについては伏せ字としている。

設問 4 「この1年間に行った運動・スポーツ」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・乗馬(4人) ・スポーツジム(4人) ・ストレッチ(2人) ・有酸素運動 ・畑仕事 ・社交ダンス ・自彊術(じきょうじゅつ) ・山歩き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキング ・ポタリング ・鬼ごっこなどの遊び ・ヨット ・モータースポーツ ・ボルダリング ・サバイバルゲーム ・ボクササイズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車 ・バイク(サーキット走行) ・ゴルフ ・パークゴルフ ・なわとび ・スラックライン ・エアロバイク

設問 6 「運動・スポーツを行った理由」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ペットの世話(9人) ・仕事で(3人) ・何となく(2人) ・筋力増進 	<ul style="list-style-type: none"> ・腰痛 ・乳幼児がいる、妊娠中 ・節約 ・省エネ 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を撮りたいから ・交通手段 ・クラスで歩くのが好き ・義務

設問 7 「運動・スポーツを行った場所」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフコース(5人) ・自宅付近(7人) ・友人宅(3人) ・マンション内(3人) ・トレーニングジム(2人) ・乗馬クラブ(2人) ・外歩き(2人) ・ホテル(2人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンススタジオ(2人) ・スキー場(2人) ・ゴルフ練習場(2人) ・遊歩道 ・病院 ・畑 ・専門施設 ・職場 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅の集合住宅の付帯設備 ・自宅のジム施設 ・公民館 ・バレエスタジオ ・スポーツクラブ ・サーキット ・アミューズメント施設 ・通勤時・大会会場

設問 8 「運動・スポーツを行わなかった(できなかった)理由」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・暇がないから。 ・妊娠中 ・難病治療中 ・足が少し不自由だから ・興味がないから 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にやりたいという気持ちがないから ・汗をかいて洗濯物が増えるから ・するには、遠くまで行かなければならないから 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活で自転車に乗っている ・ジムに行っている ・なし

設問 10 「今後行いたい運動・スポーツ」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・乗馬(4人) ・スポーツジム(2人) ・スカッシュ(2人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルダリング ・ボクササイズ ・ペタンク 	<ul style="list-style-type: none"> ・スラックライン ・スノーシュー ・ストレッチ

<ul style="list-style-type: none"> ・水中歩行 ・ヨット ・モータースポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボール ・パークゴルフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナースポーツ ・現在の作業
--	--	---

設問 11 「この 1 年間に観戦したプロスポーツやトップアスリートが参加する大会」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・野球 ・太極拳 ・乗馬 	<ul style="list-style-type: none"> ・競馬 ・プロレス ・フィギュアスケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・相撲 ・サーフィン ・MotoGP

設問 13 「今後プロスポーツやトップアスリートが参加する大会を間近で観戦したい種目」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・フィギュアスケート(2 人) ・アイスホッケー ・太極拳 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗馬 ・ボクシング ・プロ野球 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボール ・テニス ・スラックライン

設問 14 「この 1 年間に運動・スポーツに関するボランティア活動」で「その他」と回答した方の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務先のスポーツ選手への募金

設問 15 「興味のあるスポーツボランティア活動」で「その他」と回答した方の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックのボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でも出来る事なら

設問 17 「どのようなきっかけがあればボランティア活動に参加するようになるか」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・体調が整えば(4 人) ・病気から回復したら(3 人) ・もっと若ければ(2 人) ・お金に余裕があれば(2 人) ・老犬の世話が必要無かったら 	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護の家族が在宅でなければ参加できると思う ・実母の介護が必要無かったら ・歩ける用になったら ・身体が健康で動ければ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のスポーツスキルアップになれば ・運動音痴でも大丈夫であれば ・楽しいと思えれば

設問 19 「子どもの頃にどんな運動・スポーツを行っていたか」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボール(6 人) ・ハンドボール(4 人) ・鉄棒(4 人) ・剣道(2 人) ・里山で遊ぶ ・マーチング 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び ・ゴム段とび ・大縄とび ・ジャングルジム ・一輪車 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートボール ・バレエ ・トランポリン ・キックボール ・ウォーキング

設問 20 「お子さんが学校の授業以外で運動・スポーツを行っているか」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・水泳 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に行く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフの練習

設問 21 「お子さんが定期的にどのような運動・スポーツを行っているか」で「その他」と回答した方の内容		
・剣道	・フェンシング	・ダンス

設問 22 「横浜市内や区内のスポーツに関する情報をどこから入手しているか」で「その他」と回答した方の内容		
・友人		

設問 23 「どのようなスポーツ情報を入手したいか」で「その他」と回答した方の内容		
・無料や低価格で参加できるスポーツ情報	・障害児の運動 ・グラウンドゴルフ	・パークゴルフ

設問 26 「公共スポーツ施設にどのようなことを望むか」で「その他」と回答した方の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・立ち寄りやすさ、建物に入るのに身構えなくていい気楽さ ・とつきやすさ ・利用料金の低額化 ・手ごろな価格(2人) ・要介護の家族のサポート(ヘルパー二人対応の障害者) ・駐車場が高いので施設の利用をためらってしまうことが多いのもっと安くして欲しい ・地域ケアプラザ等の増設 ・賞金制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅からの利便性の向上 ・アクセスの改善 ・週1回で良いから、地元から往復のシャトルバスを出して欲しい…有料(100円ぐらい)で良いので。 ・高齢者スポーツ教室 ・広さ ・公立学校のプールの活用 ・安全性 ・グループの専有化の排除 ・お年寄りスポーツ場の拡充ーグラウンドゴルフ場等 ・オンライン予約

設問 27 「横浜市のスポーツが盛んになるために必要なことは何か」で「その他」と回答した方の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金値下げ ・手ごろな価格 ・分からない(2人) ・地域ケアプラザ等(運動できる場所)の増設 ・短時間で参加できる手軽さ ・専有化しているグループへの強い罰則を。 ・くじ引きにならないで参加できるように ・親が関わらなくて済む子どものスポーツクラブ充実 ・賞金制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通不便な所に住んでいるので、区、市、県のどの施設も1度も利用したことがない。 ・ふらっと参加できる ・スポーツを利用したレクリエーションの考案。真面目一辺倒だと増えないと思います。 ・スポーツは単なる健康増進のためのものであるとか学生の部活でやるものという国民性の排除 ・オンライン予約

設問 28 「運動やスポーツを行う上でどのようなスポーツ指導者が必要か」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・精神論根性論ばかりでない人 ・精神的な指導ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人個人にあわせた指導が出来る人。また、そのような機会が 	<ul style="list-style-type: none"> ・レベルを見極めてそのレベルに適した指導ができる人

<ul style="list-style-type: none"> ・自己中心な犯罪者ではない人 ・根性論を振り回す人は排除 ・公正に判断する人 ・わからない 	<ul style="list-style-type: none"> あること。 ・教育者ではなく指導者としての専門的な知見を持っている人 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが嫌いなので分からない ・えこひいきや偏見、差別がなく包容力等のやさしさのある人
--	---	--

設問 29 「リオオリンピック・パラリンピックに関連してどのような行動をとりましたか」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・バーで観戦した 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイジェストを見た 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでニュースを確認した

設問 30 「リオオリンピック・パラリンピックを観戦(イベントに参加)したことで、行動に変化がありましたか」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックに関心 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない 	

設問 31-1 「2020年にオリンピック・パラリンピックが開催されることをどのように感じているか」で「体験してみたいオリンピック競技がある」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ボルダリング(2人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・射撃 	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン

設問 31-2 「2020年にオリンピック・パラリンピックが開催されることをどのように感じているか」で「体験してみたいパラリンピック競技がある」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・砲丸投げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ

設問 31-3 「2020年にオリンピック・パラリンピックが開催されることをどのように感じているか」で「その他」と回答した方の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・開催しないほうが良い(4人) ・テレビでは応援する ・子供も一緒に出来るボランティアがあったら参加したい ・治安が不安 ・今は開催しなければ良かったと感じている(単なる利権になり、税金の無駄遣い) ・金の無駄遣い 	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の抑制 ・高額な大会運営は将来の負債を残すのでやめて欲しい ・建築関係の仕事が増える ・くだらないいさかが多すぎる ・まだ何とも言えない

設問 32 「2019年にラグビーワールドカップが日本で開催されることをどのように感じてるか」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・知らなかった ・やめてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・外人が来ちゃうのでやめて欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーはあまり興味が無い

設問 35 「健康寿命を延ばすために取り組みたいと思うことは何ですか」で「その他」と回答した方の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に運動する(3人) ・筋トレをしたい(3人) ・筋力、ストレッチなど毎日の自前体操(2人) ・適度の運動 ・運動不足にならないようにしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョギングの継続 ・スポーツジムでのトレーニング ・ジムに通っている ・今やっているスポーツを続けた い 	<ul style="list-style-type: none"> ・今のままでよい ・腰痛の回復 ・温泉に行きたい ・たばこ飲酒をやめる ・診断を受けないこと
---	---	--

設問 36 「今後ウォーキングを始める・続ける場合どのようなサービスがほしいと思うか」での自由回答の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・冷たい飲み物が飲みたい自然の中で歩きたい ・立ち寄れるステーションみたいなのがあって万歩計などで歩いてきたことがわかると栄養補助食品やスポーツドリンクなどが少しでもいいのでもらえたりする。 ・目的地を決め、朝晩二回行っており、現状問題ない。 ・目的がはっきりできるもの ・目的、目標別のウォーキングプランの企画。(30分歩きたい場合のおすすめコース、週に〇回〇〇コースを歩けば〇kg落とせる！等) ・無料なサービス ・歩きやすいコースの紹介どのぐらいカロリーが消費できるのかの目安が知りたい ・歩いた歩数や消費カロリーを記録できる ・歩いた時間や歩数と距離、その間の血圧・心拍数などの記録。 ・歩いた距離などから、消費カロリーの計算 ・歩いた距離がすぐに分かると言いと思う ・膝や股関節が痛くならない(なりにくい)安価なシューズの情報提供。 ・特になし(19人) ・体重の管理 ・続けることがとても大切なので自分に合った筋トレや体操を続けること。 ・足が不自由なのであまりウォーキングはできない ・深夜にウォーキングしても警察官に不信感を抱かれたり威圧的に質問されない制度(サービス) ・自分の続ける意識が大切なのでサービスは必要ない。 ・自分に合ったシューズを探すノウハウやここならあるという場所 ・自宅近隣に散歩するところが沢山あるのでサービスの希望はない ・思いつく浮かばない ・市、区でウォーキングを開催するときは健脚組とゆっくり組に分けて欲しい。ゆっくり組みはウォーキングではなく散歩の速度で歩くので疲れてしまう。 ・今までも勝手に気ままに歩いていますので・ ・現在も今後も自宅からスーパーに行くルートで歩き続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングに適したコースに大体のコース時間(30分・1時間・2時間など)と道標、適当なところにベンチなどがあると良い。チロルの山では路傍の石に色をつけてコースがわかるようになっていた。 ・ウォーキングと言えばいろいろあると思うけど、河川敷などのウォーキングが出来る長い(自転車・歩行者)道などには、いざと言う時の有人のプレハブみたいな一時避難場所があると良い。 ・ウォーキングできる車や自転車の通らない道がほしい ・ウォーキングする施設 ・ウォーキングコースの途中に休憩所を作ってほしい。 ・ウォーキングコースの整備(6人) ・ウォーキングコースに公衆トイレの設置をお願いしたい。夏場は日影が出来る所も用意してほしい。 ・ウォーキングコースとして紹介されているところには所どころにベンチが欲しい。自転車の道路とは区別して欲しい。 ・ウォーキングが楽しめるようなコース(自然・景観が良い)の整備 ・ウォーキングが安全で安心して行える環境を整えて欲しい。横浜市内は場所により、歩道とは名ばかりの人がすれ違うことの出来ないような歩道や、車の通りが激しいのに整備された歩道がなく、バスや大型車両が通るとき、歩行者が湧きによけなければならないような道が多いので、安心してウォーキングが出来ない。(ポイント) ・歩数によって何かサービスがもらえる ・歩数によってクーポンなど割引特典が得られるサービス ・歩数でポイントがたまる ・続けることでポイントがたまっていくなど、毎日続けられるようなシステムが欲しい。 ・歩いた距離や歩数に応じて、飲食店などで使えるクーポンがもらえたり、優待が受けられたりするサービス。 ・歩いた距離に応じてポイントがもらえる。ためたポイントで地域のお店で特典などのサービスが受けられる。 ・歩いた距離に応じてポイントがもらえて、そのポイントが貯まると他のポイントや市内での買い物に使えるようになるサービス ・歩いた歩数がポイントになると面白い
---	---

<p>特別な事をしようとする継続できないから、毎日日常買い物ついでに歩く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬と一緒に参加できるもの ・犬との散歩を10年以上続けていることが私の健康法。朝夕1時間前後毎日歩いている。 ・腰痛治療のため運動できない ・高齢者向けの施設の充実とケア ・高価なウォーキングシューズが本当に必要ですか？ 等々伺いたい。 ・港北スポーツセンターを利用しているがトレーニングジムが狭すぎて窮屈。もっと市民がゆっくりと身体を動かせるようお願いしたい。 ・幸い住居周辺は恵まれていると思うが、そうでない所は多い。特に早くから開けていた他区内は、バス便などの優遇措置をこざるなど、健康寿命の観点から対策に力を入れるべきと思う。 ・月に2回程度の、横浜の歴史を学んだり、自然を観察するシルバーウォーキングを横浜市が定期的に主催し、広報で参加者を募り、高齢者の健康維持、増進に役立つことを期待します。 ・区によって、ウォーキングの取り組み方が違うが全くない区に住んでいる人にとってはほかの区がうらやましい。 ・近くで、気軽にできる場所の、プログラムをつくってほしい ・筋トレの必要性 ・記録用紙の配布と提出、コメント。 ・記録を付けてみんなで励まし合えるようなアプリ ・帰りのことを考えると距離をセーブしてしまうので、行けるとこまで行った後の帰りのアシがほしい。 ・会場までの往復交通費の支給割引券等の配布 ・果して運動をする事によって健康が保てるのでしょうか？ ・何の関心もない ・位置情報ゲーム(ポケモン Go など)とのコラボ ・ルート検索 ・ルート案内図を決めて欲しいです。 ・ミネラルウォーターのサービス。ユニフォームや靴のサービス。 ・ポケモン GO みたいな歩きながら楽しめる事 ・ポケモン GO みたいなゲームと連動 ・ポケモン go とのコラボ。 ・ランキングイベントとかがあると楽しい ・ふらつきがあるので、同行者がいて欲しい ・すでに始めています。問題の想定が不自然ですね。 ・スタンプラリーなど、楽しんでやれたり、このくらい歩いたら、どのくらいのカロリーが消費されるなどの情報があったら嬉しい ・スタンプラリー ・スタンプラリー ・ウォーキング協会に所属しているのでこれからも続けたいが家から現地集合までの交通費が高い・交通費の補助でも 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いた距離ごとに何か得点がもらえとか、ウォーキングラリーみたいなもの ・続けたら何か歩数などによってプレゼントやご褒美が欲しいと思う ・続けたらご褒美がもらえたりすると、やる気を持続でき続けられそう。 ・歩行出勤者へも交通費支給 ・抽選だけでなくもれなくもらえるプレゼントがほしいです ・今のウォーキングポイントを増やしてほしい ・現在行っているウォーキングポイントの商品券当選確率を上げて欲しい ・行うことによる得点のようなものが ・現在おこなわれている(私は参加していません)横浜ウォーキングポイントのような、歩いた歩数に応じて記念品がもらえるなどの付加価値があると参加したくなると思います。 ・現在ウォーキングポイントが貯まると抽選で商品券がもらえるらしいが、抽選ではなく必ずもらえる条件に変更して欲しい。 ・景品が貰える ・楽しい企画。ポイントがもらえる。 ・何かモチベーションにつながるものが欲しい。 少々のお金を払ってもよいので、距離に合わせて商品がもらえとか。ポイントが付くとか。 ・横浜市のウォーキングポイントに加入しているが、とても良い方法だと思う。もっとご褒美が有ればなお張り合いが有って頑張る人が増えると思う。 ・横浜市が歩く距離でポイントを発行するような話題を聞いたことがあるが、この制度を充実して、だれでも参加できるように、広報してほしい。 ・横浜市が行っているウォーキングポイントのシステムはとても良い。 ・横浜市ウォーキングポイント、金額は少なくして多くの人にいきわたるようにしてほしい。 ・横浜ウォーキングポイントふくめ、そのようなプログラムをもっと使いやすく充実してほしい ・横浜ウォーキングポイントに参加してみたい ・ランナーに対して割引が欲しい ・よこはまウォーキングはよいと思う。 ・ポイント制度 ・ポイントによるクーポン ・ポイントで食品もらえる ・ポイントサービスの向上。 ・ドコモヘルスケアみたいに何らかのポイントが貯まる ・お金がたまる ・ウォーキングを続けることによって、何か特典を得られるアプリが欲しい ・ウォーキングポイントを、もっと、何かサービスと関連するような、楽しみがあつたら嬉しい。 ・ウォーキングポイント
---	--

<p>あればなー。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング運動に対する市民参加を支援するサービス ・ウォーキングを始めるのになんでこんなサービスが必要なのだろう？無駄・ばからしい。 ・ウォーキングによるスタンプラリーのようなもの。 ・ウォーキングシューズの無料プレゼント ・ウォーキングシューズの提供等。 ・ウォーキングしていますが、階段とか道筋でゴミが常に置いてある場所がある ・ウォーキングしていて通報されないサービス ・ウォーキング・ラジオ体操ぐらいしかやっていない。これらは、一人で、自由にとりくんでいるので、特に他のサービス望んでいない。 ・イベントがあれば参加したい ・GPSと歩行距離を入力するだけで、ランダムにルートを選択してくれる機能。慣れた道ばかりでなく、知らない道・知らない風景に出会えそうで楽しみが増す。 ・歩数計を無料配布(3人) ・歩道の整備(5人) ・歩道にちょっと休める簡易ベンチがあると助かる。 ・歩道と自転車道とを分けて欲しい ・歩行者専用道路のようなものがあればウォーキングをする人にとって便利のように思います。 ・歩く場所の環境整備・春は花、秋は紅葉、夏は噴水、冬は太陽が楽しめ、危険緒ない事。 ・歩きやすいコースの整備 ・排ガスとかなく空気がきれい景色がよい道の整備 ・道路整備(2人) ・鶴見川の土手の整備と治安の強化 ・専用道路の整備 ・推奨コースの紹介。歩道の整備。 ・例えば川沿いを歩く時に休憩スポットやトイレ、売店などあると楽しくできそう。 ・緑道の整備(草刈等) ・排気ガスが少ない公園 ・道路の歩道を歩くとき、道路側へ傾斜が付いていて非常に歩きにくい、多分雨水を下水に流すためだと思うが、人には優しくない ・途中の休憩場、飲み物販売所付き ・途中、お茶が飲めるような休憩所 ・天候に左右されないこと。身近な場所にあること。 ・適した施設の拡充 ・町に住んでいるので、ウォーキング専用道路が欲しい。特に自転車の事故が多いので痛感している。 ・昼間歩くのは明るくて環境が良いが帰りの道が道路の電灯が切れていたりして暗いので改善してほしい ・着替えや飲食、休憩ができる場所 ・大通りは問題ないが、住宅街の小さい通りの危険性が高い、路地交差にミラーの設置が必要。結構早朝車のスピー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングの歩行距離に応じたポイントの付与が有れば、より楽しく続けられるかもしれない。 ・ウォーキングすることで、何かのポイントがもらえるような、継続するためのモチベーションとなるようなサービス ・楽しく歩けるイベントや、ポイントが貯まるようなアプリがあればいいと思う、 ・『よこはまウォーキングポイント』の当選確率を上げてほしい。 ・ある程度ポイントが貯まったら、もれなく商品券に換えてくれる。 ・Tポイントや永久不滅ポイントなどが貯まるサービス。また、抽選での豪華プレゼント企画など。 ・歩くだけでも(自分の足に合った靴が無かったり、歩き方のくせがあつて)すぐ足や腰が故障するので、基本的に続けることが億劫になる。体のゆがみが調整できるアドバイスがあるのならできるような気がする。 ・歩き方の指導 ・歩き方のコツや、正しい歩き方などを教えてくれるサービス ・歩き方など指導してくれるとうれしい ・地域でのウォーキング教室の定常開催。 ・歩き方、どのくらい歩けばいいかなどの情報。 ・続くコツや、足痩せにきく歩き方、どのくらいの距離や時間を歩くといいなど教えて欲しい ・正しく効果のあるウォーキングのやり方を教えてくれるサービス。 ・正しい歩き方の指導 ・正しいウォーキングの仕方をスポーツセンター等で教えて欲しい。 ・効果的な方法を指導してもらえたら良い ・効果的なウォーキングの指導 ・健康維持に関する総合的なアドバイス ・関節や腰などに不安がある人がウォーキングをする場合の注意点など、体力や体調に不安がある人向けのアドバイスが欲しい ・フルマラソン完走を目的とした講習など ・どのようなものを揃えたらいいのかわからないので、おすすめのウォーキングシューズなどを教えて欲しい。また、自分一人だとなかなか続かない人もいると思うので始めたての人には専属のトレーナーが付いてもらえるとうれしいと思います。 ・ウォーキング教室を開催して欲しい ・ウォーキングに関する簡単な講座開設。簡単なコース紹介 ・ウォーキングに対する知識を持った人の指導 ・インストラクター同行 ・靴選びのアドバイスコースの紹介歩き方講座 ・万歩計の支給、医学的知識の教育など物資および知識面の応援がほしい ・毎週1回朝のウォーキングを指導してほしい。 ・遊歩道おすすめコースの提示
---	--

ドに注意！

- ・車社会をなくして歩道をメインの道にしてほしい
- ・車の走らない道路があると素敵だと思う。
- ・車の少ないコースの整備歩き方教室
- ・室内で夜間もできる近所の施設
- ・自転車用の道を！歩道を走るので危険。
- ・自転車禁止の安心して歩ける歩道、遊歩道の設定。暴走自転車が多くて頭に来ています。すれ違う時に減速せずに真横を通る、後ろからもの凄いスピードで追い抜く、自分は歩行者を優先しなければいけないのにベルを鳴らして歩行者をどけようとするなど。警察はなぜ交通違反で取り締まれるはずなのに取り締まらないのかもの凄く不満があります。どうせ警察官にとって査定にならないからやらないのでしょうか。
- ・自宅近くで安全にウォーキング出来る場所 遊歩道の確保など
- ・四季折々の自然を楽しみながらの散歩ができる場所の拡張及び整備
- ・今現在、実行中ですが、普通のスポーツジム以外で、ウォーキングやジョギングが出来る場所(建物)が欲しいと思います。(機械の上でテクテク歩く以外)
- ・距離や強度が測れるコース設定をした場所が身近にあるとよい
- ・距離がわかる標識
- ・休憩所の施設
- ・休憩所(トイレ・ベンチ・水飲み場)
- ・休憩出来る場所が決まってあるといい
- ・休憩施設の充実
- ・好きな公園(徳生公園)の周りをウォーキングをしています。何分早足で歩いたか、などは分かりますがそれが何キロなのか分かりません。例えば公園の地図のコースに○→△△は何キロなどと色表示(市営バスの色別ルート表示のような)が在ると、今日は◇キロ歩いた、などの目安になって楽しいと思います。ちなみに万歩計のようなものは持っていません。
- ・公衆トイレ
- ・公共交通の充実。途中で疲れたらバスや電車に乗りたい。ちょっと一休みできるような(お茶を飲んだり、行った先でコーヒーが飲めるとか)お店があれば、たくさん歩く。
- ・公園の充実
- ・公園などのルート看板、また、「何 m」などの小さい看板があるといいなと思います
- ・交通事故のないような歩道の整備
- ・交通事故にあわない、安全なコース
- ・交通の整備、自動車道と歩行者の接触留意など安心して歩けるようにする
- ・交通に心配なく歩けるところが欲しい
- ・空気が汚れていないところ(排気ガス・花粉・PM2.5 などが気になる)でウォーキングをしたい。

- ・複数の人が、同時に、安全にウォーキングできる場所やコースの準備。地域でのウォーキング会の設置、開催(例、毎日10時～12時まで)と出席率の高い人への景品提供(継続参加したくなるようなものやイベントの準備)
- ・標準的なコースを紹介してほしい。スタンプラリーのような楽しみがあれば続けられると思う。
- ・比較的安全にウォーキングを行える地域の紹介
- ・排気ガスの少ない専用コース
- ・良い散策コースの紹介
- ・地域別の多くの推奨コースの設定や広報
- ・地域でウォーキングコースのオススメとか、見どころがあったら教えてほしい
- ・多数のウォーキングコースの紹介とその標準徒歩時間及び難易度。
- ・身近な場所のウォーキングのいろいろなコースを初会してほしい。
- ・身近なところからの適切なコースの地図があるとうれしい
- ・初心者向きのウォーキングコースの催し
- ・住んでいる地域のコースがいくつか紹介されたら、そのコースを歩いてみたいと思います。
- ・史蹟等を含めたマップが欲しい
- ・散歩コースの紹介
- ・混んでいない 時間で専用コースになるなど
- ・時々地図を見なくなる時がある。知らない場所とかだと道に迷ったときもあって、(自己責任だけど)地図があったらな〜と、何度か思いました！
- ・近隣のウォーキングコースの紹介
- ・区内の簡単な散策コースの紹介を何種類か作って紹介してほしい。
- ・気持ちよく歩けるスポット情報が欲しい。新たに作る必要はないように思う。口コミでも良いので情報が欲しい。
- ・気軽にに行ける場所でのウォーキング大会があれば、参加してみたいと思う。
- ・各地区の距離に応じたウォーキングコースの案内
- ・家の周りなどに史蹟が多いのでその場所をわかりやすくして、あと史蹟も綺麗にして今までのマップにも載ってないような小さいもの(お地藏さんとか)とかのマップとかも作るというな〜と思います(散歩していると、あっこんなどころにもこんなのがあったんだ〜みたいのが結構あったので)
- ・横浜市内のウォーキングコースの情報が欲しい
- ・駅から歩けるコースがあるといいと思う。
- ・安全なコースの情報
- ・よいコースの紹介
- ・マップがほしい
- ・コースの紹介。
- ・コースの紹介、設定
- ・コースの紹介、充実
- ・コースの照会をしてほしい
- ・お薦めコースの紹介

<ul style="list-style-type: none"> ・季節や天候に左右されない環境 ・街灯が無いところが比較的多くみられるので、もっと増やしてほしい。 ・街中でもウォーキングしやすいように歩道など安全にウォーキングできるように整備してほしい。自転車道の確保など ・街にウォーキングしやすい環境をつくってほしい。例えば、中区の日本大通り等は歩道が整備されていて緑化もされ歩いていて楽しい。あのような整備、緑化は街全体すべて無理だと思うが、住宅地などの電柱などに何百メートル、何キロとか表示してウォーキングしていて目標になるようなものをつくってほしい。 ・快適で自然を満喫できるコースで無理なく行いたい ・河川敷などのウォーキングコースでの休憩場所の確保。 ・飲料や休憩場所の提供 ・横浜市内に、ランニングステーションをもっと増やしてほしい。特に、女性1人でも安心して使える(清潔なシャワールームがある、スタッフが常駐している等)設備がほしい。 ・安全に歩行できる環境 ・安全に歩けるコースが色々あれば楽しい ・安全に歩くことのできる環境 ・安全にウォーキングが出来る様の標識等 ・安全にウォーキングが出来る環境。どうしても交通量が多い道路などを歩く事になり、また、道路がでこぼこで歩きづらいので、少しでも足下が改善されると良いのですが。 ・安全な歩道 ・安全なコース ・安全なウォーキングコースの設置 ・安全で楽しい施設、ウォーキングの目的となるような、運動以外の興味がわく施設 ・安心して歩けて、道路をひざの負担がかからないように舗装してほしい ・安心してウォーキングできるスポットを作してほしい ・ベンチ、木陰など適当な公的な休憩場所。 ・トイレや休憩所の充実。 ・トイレの充実 ・トイレ・休憩所の充実(清潔) ・シャワー ・サービスというよりは治安をよくして歩きやすい街造りを進めて欲しい。 ・サービスというか道路を安全に歩けるように歩道を整備してほしい。 ・ここ5年間ほぼ毎日夜間においてウォーキングを行っております。その理由は昼間は車、自転車との接触事故を避ける為より少ない時間帯夜間を選んでおります。しかし道路上ではまだ無灯火の自転車が多くしばしば危険を感じます。夜間に安全に歩ける場所が必要だと痛切に感じております。 ・コースの設定とそのコース添いにトイレを設置する。 ・お勤めのコースの整備。スイーツなどが食べられる休憩場 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレマップがあると助かる ・それぞれの地域でマップがほしい。 ・このコースを何分で歩くとか何カロリー消費する、等の目安が載っている地図などの無料配布、インターネットサービスがあるとうれしい。 ・おすすめコースマップがあると嬉しい ・ウォーキングコースなどの紹介。 ・ウォーキング推奨の道が表示されていると良い ・ウォーキングの参考になるコースを開発してほしい。 ・ウォーキングのルート情報 ・ウォーキングに適した場所の紹介 ・ウォーキングに適した自動車の少ない安全なコースのルート案内地図発行。トイレ位置も必須記載。 ・ウォーキングコースの整備(休憩施設など)、ウォーキングコースの紹介 ・ウォーキングコースの情報を教えてほしい ・いろいろなコースの案内図の作成 ・地区で開催しているウォーキング大会の情報の配信。 ・情報-広報にそうゆうコーナーがあるといいな。 ・情報が少ないので何とかして欲しい ・経験のない人が始めたいような情報 ・靴を紹介してほしい ・ウォーキングに最適な情報があるサイト ・いろいろなスポーツ情報の提供 ・年齢別のウォーキングのグループが欲しい ・同年齢・同体力のサークルが欲しいと思います。 ・同好会や愛好会の紹介 ・都筑区の殆どの散歩に適した道は、歩いたので、他の区の情報を知りたい ・仲間探し ・仲間との交流 ・地域、地域でウォーキングクラブを作って欲しい。 ・身近で定期的に参加者を募っておこなってもらえれば始められるかも知れないと思う ・初心者でも安心して楽しめる雰囲気を作るサービス。 ・出会いがあるウォーキングがあればいいなと思う ・集まるメンバーを募る ・参加者それぞれへの、最適な運動量の見積もりの事前説明。ウォーキング後の体力増強あるいは維持状況の判定と評価、今後へのアドバイス。ウォーキング後の、参加者間の交流促進など。 ・参加できるグループの紹介 ・参加しやすい環境が欲しい。 ・三日坊主にならないように、みんなで励ましあえるようなシステムをつくりたい。 ・根岸森林公園はラジオ体操の指導者がいて参加しやすいのでウォーキングも指導者がいて昼の参加しやすい時間帯に毎日実施してほしい ・楽しくなり、仲間ができるようなウォーキング
--	--

<p>所の設置。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング出来るコースの整備拡張 遠方の場合には駐車スペースの準備 ・ウォーキング専用公園 ・ウォーキング実施場所の整備充実 ・ウォーキングを安全にすることができる場所がほしい ・ウォーキングをするのにふさわしい場所(コース)の充実。 ・ウォーキングロードの案内板が欲しい。所々公園などをつないで木陰や水飲み場などがあると良い。 ・ウォーキングのための道路の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に歩けるグループを紹介してくれるサービス。 ・みんなでウォーキング ・グループを募ってほしい ・グループで毎月ぐらいがいいと思う。 ・すぐ近くに仲間がいること ・ウォーキングは一人だとつまらないので身近な場所のウォーキングで 仲間が欲しい～ ・ウォーキングの歩道上に何か所かトイレを設置して欲しいです。そうすれば、女性の参加が増えます！
--	---

基本情報 5 「職業」で、「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・フリーランス(3人) ・公務員(2人) ・教職員(2人) ・役者 ・翻訳業 ・非常勤講師 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤顧問 ・定年退職 ・駐車場を経営 ・専門職 ・声楽家 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由業 ・監査役 ・学習塾自営 ・英会話講師 ・SOHO(3人)

基本情報 8 「お子さまの年齢層」で、「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人(110人) ・既婚(5人) ・会社員(4人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学校生(4人) ・浪人生 	<ul style="list-style-type: none"> ・無職 ・主婦

基本情報 9 「地域のコミュニティ活動やクラブなどに参加しているか」で「その他」と回答した方の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動(7人) ・マンション管理組合(2人) ・緑化関係 ・市民の森愛護会 ・公園管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協役員 ・少年野球チーム ・小学校のPTA サークル ・商店会 ・マンションの親睦会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ママさんバレー ・ふるさと会 ・オーケストラ ・NPO

【平成 28 年度横浜市民スポーツ意識調査報告書】

平成 29(2017)年 3 月

編集・発行

公益財団法人横浜市体育協会

横浜市中区尾上町 6-81

ニッセイ横浜尾上町ビル内

045-640-0016 (経営企画部)

<http://www2.yspc.or.jp/ysa/>